

ス、ヤウ云フ狀況ガ、經濟界ガ常態ニ復シタト申シマスカ
一種ノ景氣ガ出テ參リ、人口ガ工場ニ移動シテ參ルト云フ
ヤウナ關係デ、今ノ朝鮮デハ約八斗足ラズ詰リ大正年代ノ
普通ノ狀況ニ一人當リノ消費ガ戻ツテ參ツタ譯デアリマ
ス、臺灣ニ於キマシテモ、先程村上サンカラ御話ノ如ク殖
エテ居リマス、是ハ大キナ原因デアリマスガ、例ヘバ臺
灣デハ豚肉ヲ非常ニ食ベテ居ツタ、所ガ其ノ飼料ヲ輸入ニ
仰イデ居ツタノガ現在ノ狀況デハ輸入飼料ノ不足ノ爲ニ豚
ノ頭數ガ減リ、隨テ肉ノ消費ヲ米ニ置換ヘテ補フト云フ關
係モアリマシテ、臺灣モ最近ノ狀況デハ一人當リ八斗乃至
九斗トナリ、内地ト餘リ違ハナイ所マデ來テ居リマス、此
ノ狀況ヲ又元ノ消費ニ戻スト云フコトハ容易デナイト考ヘ
マス、彼此レ考ヘ合セマス、生産ガ稍豊作ノ狀況即チ朝
鮮ニ付テハ二千五百萬石、臺灣ニ付テハ一千萬石ト云フヤ
ウナ所ヘ參リマシテモ、數年前ノヤウニ朝鮮カラ八、九百
萬石來ル、臺灣カラ四、五百萬石來ルト云フ狀況ニ持ツテ
參ルコトハ中々容易デナイト思ヒマスガ、唯大體申上ゲテ
宜シイ事ハ、昨年一昨年ノヤウナ數量カラ見マスレバ相當
回復スルト云フコトモ豫想サレマス、本年朝鮮臺灣合セテ

假ニ五百萬石内地ノ純民需トシテ入ツタトスレバ、之ニ對
シテ三、四百萬石殖エルト云フコトハ生産ガ常態ニ復スレ
バ考ヘラレマス、此ノ外軍ノ關係トカ、特殊用途、或ハ支
那滿洲ニ對スル輸出ト云フコトモ色々考ヘナケレバナリマ
セヌノデ、内地ヘ來ル量ガ算術的ニ幾ラト云フコトハ中々
考ヘラレマセヌノト、一ツハ色々ノ關係デ生産ガ多イ年ニ
ハドウシテモ消費モ殖エル傾向ニアル、ソレ等ノコトヲ考
ヘ合セマシテ全體ノ計畫ヲ立テネバナラヌカト考ヘテ居リ
マス。
中澤委員 大體近イ將來ニ於テハ、昔ノヤウニイザト云フ場
合ニハ朝鮮カラ一千萬石、臺灣カラ五、六百萬石ト云フモ
ノガ入ツテ來ナイト云フ推定ノ下ニ内地ノ米穀政策ヲ考ヘ
ネバナラヌト云フコトニナリマスカ。
竹内拓務省殖産局長 大體サウデゴザイマス。
中澤委員 非常ニ努力シテ戴イテ、最大限度朝鮮カラ五百萬
石、臺灣カラ三百萬石位ハ頂戴出來ルコトニナリマスカ。
竹内拓務省殖産局長 今ノ内地ノ米穀事情ガ續ク限り、假ニ
朝鮮ノ作柄ガ非常ニ良クナリマシテモ、ヤハリ消費規正ハ
當然内地ニ於テモ行ハレマスシ、朝鮮ニ於テモ著シク穀

ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、生産ハ昨年ニ比ベテ良
クナツテモ、消費ハ幾ラモ殖ヤサズ、其ノ差額ハ外ニ出サ
セルコトニナラウト考ヘテ居リマス。

開等テ滿洲方良イト云フコトハチヨイ、開イテ居リマス
ガ、具體的ナ話ハナイノデ、此ノ際詳細承ツテ置キタイト
思ヒマス、對滿事務局ノ方ニ承リタイ。

村上委員 細カイ問題デスガ、臺灣ト福州方面トノ米ノ戎克
貿易デスネ、人ニ依ツテハ色々言ヒマスガ、是ハ數量ハ大
シタコトハナイト思ヒマスガ、事情ハドウ云フ風ニナツテ
居リマスカ、密貿易モ含メテノ意味デスネ。

東郷小委員 對滿事務局カラハ見エテ居ナイヤウデスガ、
拓務省ノ方デ何か……デハ次ノ機會ニ致シマス。

吉池事務官 ソレハモウ今ハアリマセヌ、昭和十五年ノ初メ
頃ハサウ云フ密貿易デ支那ノ方ニ米ガ流レタンデヤナイカ
ト云フヤウナ噂モアリマシタノデ、ソレ等ノ方面ヲ能ク調
査致シマシタガ、全然サウ云フ實例ガナイヤウデゴザイマ
ス。

末松委員 先刻御話ノアツタ今回ノ内地ノ米穀ニ對スル獎勵
金及ビ値上ト外地ノ關係デスガ、今拓務省トシテハ相當ノ
値上ヲスルト云フコトデ政府部内デ交渉ヲ進メテ居ラレル
ト云フコトデスガ、値上ヲスルト云フコトニナレバ特別會
計デヤルカ、或ハ内地ノ一般會計デヤルカト云フヤウナ問
題ハドウ云フ風ニ解釋シテ居ラレマスカ。

村上委員 サウスルト、大體今臺灣デ生産サレタ米ハ福州方
面ニハ漏レナイモノト考ヘテ宜イ譯デスカ。

北島拓務次官 或ル程度ノ値上ト申シマスカ、内地ニ做ツタ
ヤウナ實質上ノ値上ニナルヤウナコトハヤリタイト思ツテ
居リマス、唯其ノ程度及ビ方法ニ付キマシテハマダ色々相
談中デゴザイマスカラ、マダソコマデハツキリ申上ゲ兼ネ
マス。

三井委員 私質問デアリマセヌガ希望ヲ述ベサセテ戴キマ
ス、只今朝鮮臺灣ノ事情ヲ詳シク承ツテ吾々ノ心配シテ居
ツタ點ガ餘程ハツキリシタト思ヒマス、併シナガラ私ハ滿
洲ヲ離レテ日本ノ食糧問題ハ考ヘラレナイト思ヒマス、新

末松委員 全然内地ノヤウナ風ニスル必要ハナイカモ知レマ
セヌガ、少シハ上ゲルコトニシナイト、私ハ色々方面デ
支障ガ起ルノデハナイカト思ヒマスノデ、拓務省トシテ大

イニ御奮闘ヲ願フテ置キタイ。

北島拓務次官 私モ其ノ積リデ居リマス。

沖島委員 先刻滿洲ノ食糧ノ問題ニ付テ御尋ネガアリマシタガ、ソレニ關聯シテ拓務省管下デ米ノ生産ノナイノガ棒太ト南洋廳管下ダラウト思ヒマスガ、之ニ對スル食糧ノ供給確保ト言ヒマスカ、大體ノ御話ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス。

北島拓務次官

沖島サンモ能ク御存ジノ通り、棒太デハ全然米ノ生産ハゴザイマセヌ、結局棒太ニ付テハ内地カラ米ヲ向フヘ持ツテ行ツテ不安ノナイ程度ノ「ストツク」ヲスル或ハ供給ヲスル以外ニハ考ヘル餘地ガナイト思ヒマス、唯米ニ代ルベキ食物ヲ向フデヤルトスレバ、馬鈴薯トカ燕麥トカ多少考ヘラレヌコトハナイ譯デスガ、食糧ノ補ヒトシテハ餘リニ數量ガ貧弱デ殆ド問題ニナリマセヌ、地元デ多少ナリト生産ヲスルト云フコトハ勿論必要デアリマスガ、内地カラ供給スル米ト云フコトガ殆ド眼目デ恐ラク如何ナル名案モ外ニハナイト思ヒマス、南洋ニ付キマシテハ多少米ハ出來ルコトハ出來マスケレドモ、御承知ノ通りサウ云フ耕作ヲスル土地ガ非常ニ少クアリマスシ、之ヲ急速ニ増加

スルト云フ事ハ到底不可能デアリマス。唯現在砂糖ノ耕地ダトカ、或ハ未墾地モ多少ゴザイマスシ、「バイナツブル」ナンカノ耕地モ多少ゴザイマスノデ、サウ云フ方面ヲ「甘蔗ヲ今直チニ廢メルト云フ譯ニ參リマセヌガ、「バイナツブル」ノヤウナモノハ比較的不要不念ノモノデモアリマスルノデ、サウ云フモノヲ整理シテ、米ハ到底難カシイト思ヒマスガ、何カ米ニ代ルベキ作物ヲ出來ルダケ地元デ生産スルト云フコトハ現在モ極力ヤツテ居リマス、併シ是トテ限度ガゴザイマシテ、到底食糧ノ全部ヲ島内ニ於テ自給スルト云フコトハ不可能デアルト思ヒマス、結局内地カラ米ヲ向フヘ持ツテ行クト云フ以外ニハ途ハナイダラウト思ヒマス、唯棒太ハ米ノ貯藏ト云フコトモ氣候其ノ他ノ關係上比較的實行シ易イノデアリマスガ、南洋デハ氣候ノ關係カラサウ長イ間之ヲ貯藏スルコトハ困難デアリマスノデ、サウ云フ點ニ付キマシテハ棒太以上ニ色々困難ナ事情モゴザイマシテ吾々トシテモ非常ニ苦慮致シテ居リマス、結局毎月々々或ル程度之ヲ補給スル以外ニハ外ニ考ヘル方法モナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス。

村上委員 米價ノ問題ハ非常ニ「デリケート」ナ問題デアリマ

スカラ、是ハ伺フコトガ無理カト思ヒマスガ、朝鮮ノ價格操作或ハ獎勵金ノ問題ニ付テ考ヘラレルノハ舍音ノ問題デスガ、是ハ朝鮮ノ小作料令後多少變化ガ來テ居ルノデセウカ、ドウデセウカ、地主ト舍音ト小作ノ關係ハ今ドウナツテ居リマスカ。

吉池委員 最近デハ米ノ供出ト云フコトガ非常ニ喧シクナツテ參リマシテ、村上サンノ御存ジノヤウナ時代ノ地主ト小作人ノ間ニ舍音ガ在シテ云々ト云フ餘地ガナクナツテ參リマシタ、左様御承知願ツテ差支ナイヤウナコトニナツテ來テ居リマス。

竹内拓務省殖産局長 一寸御許ヲ得テ、實ハ問題外デスガ、砂糖ノ問題ニ付テ申上ゲテ見タイト思ヒマス。御承知ノヤウニ砂糖ハ昨年ハ非常ニ不作デアリマシタガ、本年ハ昨年ニ比シテ相當回復ガ豫想サレ、臺灣ダケデ昨年ハ千三百三十萬「ピクル」デアツタガ、今年ハ少クトモ千八百萬「ピクル」ハアル、或ハモット好イカモ知レヌヒイフ風ナ話デアリマス。サウスルト現在ノ砂糖ノ需給ガ相當緩和サレルト云フコトガ考ヘラレマス。ソコデ是レハ私共ノ職責トシテハナク、寧ロ農林省ナリ商工省カラ御伺ヒスル問題ダ

ト思ヒマスガ、兎ニ角サウ云フヤウニ砂糖ノ供給ニ餘力ガ出來タ場合ニ、今業務用ト家庭用ト云フモノガアルガ、其ノドチラヲ緩メタラ宜シイカ。丁度好イ機會デスカラ御意見ヲ伺フテ參考ニシタイト思ヒマス。

榎原委員 砂糖ハ白砂糖ダト人體ニ害ガアルガ、黒砂糖ナラ却ツテ滋養ニナルト云フコトハ今日科學的ニ分ツテ居ル、ソコデ農村デモサウ云フコトヲ知ツテ居ル人ハ黒ヲ非常ニ要求スルノデスガ、アレハ黒砂糖ノ儘内地ニ持ツテ來ルコトハ出來ナイノデスカ。

竹内拓務省殖産局長 ソレハ蜜ノ關係ガアツテ、蜜自身トシテハ「アルコール」ノ原料其ノ他ノ關係モアツテ、實際ノ榮養ト云フ點カラハ科學的ニ申シテドウカ知ラヌガ、蜜ヲ利用スルト云フ關係ニ於テ今ノトコロ生産會社或ハ政府トシテモコレヲ含蜜糖ニ戻スト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ。

竹内委員 從來家庭デ消費シテ居ツタノハ一人當リドノ位デシタラウカ、サウ云フコトハ身分リニナリマセヌカ。

竹内拓務省殖産局長 現在大都會デ一人一ヶ月〇。六斤、地方デハ都會ガ〇。五斤、農村ハ最近モウ少シ減ラシテ居リマスガ、コレガ大體從來ノ家庭用ノ實績ヲ餘リ減ラシテ居

ラナイ数量ダト當局ノ方デハ申シテ居リマス。唯コレハ平均化セシテ數字デスカラ、家庭ニ依ツテハ、殊ニ東京アタリノ餘裕アル家庭ニ於テハ相當苦痛ヲ感ジテ居リマスガ、全體トスルト家庭用ハ實ハ餘リ減ラシテ居リマセヌ。今非常ニ規正シテ居ルノハ寧ろ業務用ノ方デ、コレガオ菓子ノ缺乏ト云フコトニナツテ居ルト思ヒマス。

竹内委員 東京ノ一般ノ家庭デハ非常ニ少クナツタヤウニ思ツテ居リマスガ、今御話ヲ伺フト、平均ガ少クナツタト云フダケノコトデスネ。併シ今マデ家庭デオ砂糖ヲ使ヒ過ギテ居ツタト云フコトハ争ハレナイ事實ダト思ヒマス。私共ハ體位向上ト云フ方面カラ申シタラ、今位ノ量ノ方ガ子供ヲ育テ上ニハ最モ宜イト思ヒマス。唯オ乳ヲ飲マセル時ダケハアレデハ足りナイノデ、モウ少シ増シテ戴ク必要ガアリマスガ、オ乳ヲ止メタ子供ニハ今以上ニオ菓子ガ出テ來ルト云フコトデアツタラ大變ダト思ヒマス。今日マデオ砂糖ノ過剩、オ菓子ノ過食ハ子供ヲ育テ上ニ弊害ダトトドンナニ言ツテモ、アレバ食ベサセテシマヒマス。ソレデ實ハカウ云フヤウニナラナカツタナラバ、禁酒運動ミタイニ大キナ減糖運動ヲシナケレバナラヌカト思フ程都會デ

原料トスル菓子ソノ他ノ製造業者ノ救済ト云フ方面カラ言ヘバ、ソチラヘ流ス方ガ宜イガ。今ノヤウニ家庭用砂糖ニ付テ困ガアツタリ、各方面デ困ツテ居ル状態ヲ見ルト、ヤハリ家庭ヘ流シタ方ガ宜クハナイカ。

竹内拓務省殖産局長 ソレハ昨年臺灣ガ例年ニ比ベテ二割以上少カツタトコロニ、沖縄、南洋、北海道等ノ砂糖産地ガ悉ク悪カツタトイフノガ、今日ノ非常ナ窮屈ナ原因デス。ソレガ今年ハ幸ヒニモ各地共平年作ニ戻リマシタ。サウスルト支那滿洲ヘハ多少行ツテ居ルガ、今ノ情勢デハ自然現在ヨリ供給ガ緩和サレマス。切符制度ヲ設ケタノモ、今御話ノ如ク供給ノ最低限ノ確保ト云フコトト、生産ガ減レバ已ムヲ得ズ消費ヲ減ラサナケレバナラヌガ、最モ合理的ニ又公平ニ減ラスニハ切符制ガ最モ宜イト云フ點カラデアリマス。家庭用ニ付テハ最低限ノ量ヲ確保シテ、業務用ニハ現正ノ程度ガモツトキツウゴザイマス。日本ニ於テハ、御承知ノ如ク外國ト違ツテ、糖分ハ買フ菓子デ攝ツテ、家庭デハ砂糖ヲ入レタ菓子ハ餘リ作りマセヌ。ソレデ全體ノ三割ハ家庭用、七割ハ業務用トナツテ居ツテ、ソノ三割ノ方モ一部分縮メタガ、大部分ハ七割ノ業務用ヲ壓縮シテ今賄

ハ子供ヲ育テ上ニオ菓子ノ亂暴ナ食ベサセ方ヲシテ居リマシタ。ソレデ業務用ヲ殖ヤスト云フコトデオ菓子ガモツト出テ來ルト云フトデアツタナラ、一般ノ人ノ見解デハ、モツト殖ヤシテ貰ヒタイト云フ要求デセウカラ、殖エタラ喜ビマセウガ、育児方面カラ申シタラ餘リ殖ヤサナイ方ガ宜シイト思ヒマス。

竹内拓務省殖産局長 最近胃腸病ガ減ツタサウデスネ。
竹内委員 著シイ減リ方デス。
三井委員 子供ノ寝小便モ減ツテキマス、砂糖ヲ一週間廢メタラ直グ治ルト言ハレテ居ル位デス。
沖島委員 今ノ御話ダト、業務用ニ出セバ菓子ガ殖エルカラト云フノデ、結局業務用モ家庭用モ餘リ殖ヤサヌ方ガ宜イト云フコトニナリマスネ。
榊原委員 私ハ黒砂糖ナラ殖エテモ宜イト思フ。
末松委員 政府ガ砂糖ト「マツチ」ノ切符制ヲヤツタノハ、十分ニ供給出來ルト云フヤウナ見解ノ下ニヤツタヤウデアルガ、「マツチ」ハ非常ニ潤澤デアルガ、砂糖ハ各家庭デ困ツテ居ルヤウデス。今日ノヤウニ砂糖ガ缺乏シタソノ主タル原因ハ何デスカ。ソレカラ今ノ御問ニ對シテハ、砂糖ヲ

ツテ居ルノデス。ソノ點デ家庭用ヲ殖ヤスガ宜イト云フ御意見モアリマセウシ、或ハ菓子ノナイト云フコトハ子供ノアル家庭デハ困ルト云フヤウナ氣分カラ、ア、云フヤウナ行列ヲ作ツテ居ル状態ハ面白クナイ。ソコデ寧ろ業務用ニ流シタ方ガ宜イト云フ御意見モアリマセウガ……

森下委員 農村デハ砂糖ガ餘ル。ソコデ業者ガ行ツテソレヲ買集メテ居ルト云フコトガ或ル縣デ去年ノ暮カラ今年ノ五月マデドン／＼行ハレテ居ツタ。
大權委員 私ハ農村ノ側カラ申スノデスガ、今ノ農村ニ砂糖ガ餘ツテソレヲ買集メタト云フヤウナコトハ聞カナイガ、併シ餘ツテ居ル事實ハ若干ゴザイマス。一寸變ナ話デスガ今マデ本當ニ砂糖ヲ使ハナカツタ農家ガ、實ハ困ツテハ居ヌガ、物資不足ノ折ダカラト云フノデ頂戴ハシテ居ル。併シ實ヲ言フト、砂糖モ結構ダガ、ソノ代リニ干魚ダトカダシ雜魚ヲ貰ヒタイト希望シテ居ルノデス。ソレデ隣組ノ組織ガ完全ニ出來テ、一種ノ配給機構ノヤウナ状態ニナツタラ、隣組切符ト云フヤウナモノデ總テノ物ノ頭割リニ配給シテ、砂糖ヲ望ム者ト鹽鰯ヲ望ム者トガアルカラ、ソノ間ノ需給ノ關係ヲ適當ニ打合セテヤルト云フヤウナ給リ

アル政策が採レナイモノカト思フノデス。ソレカラ専門家ニ聴クト、菓子方減ツタノデ小兒ノ消化不良ガ減ツタト云フヤウナコトモアルガ、コレハ嚴格ニ言ヘバ必ズシモ菓子ノ爲メバカリデモナイ。要スルニ色々ノ食料品ガ足りナクナツタ爲デ、大人ノ方ダツテ胃腸病ハ減ツタ。是ハ咀嚼ヲ完全ニシロト云フコトガ頗リニ叫バレタリ、色々ナ事情ガ綜合サレテ胃腸病ヲ少クシタ事實ハアル。又一面醫學者ノ中ニハ「アチドーヂス」ノ話ヲシテ砂糖ヲ食ベテハ駄目ダトマルデ砂糖ヲ親ノ仇ノヤウニ言フ人モアルシ、砂糖禮讚者モアルガ、近頃農村デモ、砂糖ハ疲勞回復ニ速效的ノ效能ガアルト云フヤウナ學說ヲ盲信シテ、若い學者ハヤタラニ砂糖ヲ嘗メテ疲勞回復ニ努メテ居ルガ、是レハ非常ニマツイコトデ、農村ノ勤者ハドウシテモ鹽分ヲ餘計ニ攝ラナケレバ本當ノ仕事ハ出來ナイ。老子ハ支那全土ヲ漫遊シテ國境ヘ行クト早速旗亭ニ入ツテ料理ヲ食ベテ見テ、甘味ノ多イ所デハ、コノ國ハモウ飽和點ニ達シテ居ル、下リ坂ニアルトカ、鹽ノ利イタ料理ノ時ニハコノ國ニハ新興氣分ガ横溢シテ居ルト云フヤウニ區分ケシタト云フコトデアルガ、現實問題トシテハ、農村ノ古老ハ、若い者ガ砂糖ヲ食

ベ過ギルト朝寢ヲスルト朝寢ト結付ケテ居ル。是ハ考ヘテ見ルト、成程砂糖ノ餘計入ツタ夜食ヲ食ベルト熟眠出來ナイガ、鹽分ノ多イ夜食ダト能ク眠レルノデス。今竹内サンカラ菓子ニ對シテ御痛撃ガアツタガ、砂糖ヲ家庭ヘ多ク流サレサルコトモ結構ダガ、是ハ大キナ立場カラ砂糖ヲ餘リ要求シテ居ラヌ所ト要求シテ居ル所ト面倒ダガ仕分ケルヤウナ方法ヲ講ジテ戴イテ、餘分ガアレバ業者ヘ流シテヤレバ必ズシモ從來ノ菓子ニコダハル必要ハナイシ、今一流ノ菓子屋ニ於テモ「カロリー」ヲ研究シテ糖分ヲ官ク利用シテ代用食ヲ賣出シテ居ル所モアルガ、吾々素人ガ家庭デ砂糖ヲ嘗メタリ湯ノ中ニ入レテ飲ンダリスルノト違ツテ、サウ云フ所ヘ持ツテ行ケバ砂糖ヲ巧妙ニ利用シテ消費スルコトガ出來ル。ソレカラ實ハ私ノ家ハ平生オ客サンノ多イ家デ、砂糖ガナクテ困ツテ居ツタノデスガ、先般不幸ガアツテ砂糖ガナイト言フト、驚クベキコトニハ、百姓ガ皆三斤五斤ト持ツテ來テ呉レテ、百斤バカリ頂戴シタガ、兎ニ角百姓ノ家デハソソナ風ニ蓄メテ居ルヤウデス。ソレカラ年寄りニ言ハセルト、砂糖ナドヲ配ツテ貰ツテハ困ルト云フヤウナ極端ナコトヲ言フ者モアル位デ、コレニ代ルベキモノガ

アレバ別ダガ、今ノ所デハ仕方ナシニ貰ツテ置クト云フヤウナ滑稽ナ話モアリマス。

西川委員 餘リ増配ヲ歡迎サレヌヤウナ御話デスガ、私ガ山

口縣ノ農村ニ半月バカリ歸ツテ見テ居ツタ所デハ、〇・三斤シカ配給サレテ居ラヌノデスカラ、幾ラ農村ダツテ〇・三斤デハ足りハシマセヌ。一體農村デハ三日ニ一度位ハ雜穀トカ粉米ヲ利用シテ菓子ヲ作ツタリシテ食ベルノデスガ是ガ砂糖ガナイト食ベラレナイノデス。昔ハ鹽味デ食ツタ時代モアルガ、ソソナコトハ遺憾デハ言ヘテモ、今日實際問題トシテ砂糖ナシニハ食ベラレヌ。デスカラ砂糖ノ不足ト云フコトハ、農家ノ食糧ノ上ニ、更ニ米ノ供出ノ上ニモ相當響イテ居リマス。サウ云フ譯デ砂糖増配ノ要求ハ極メテ痛切ナルモノデス。ソコデコノ頃ハ水飴ヲ作ル習慣ガ非常ニ農村ニ普及シテ居ル。ソノ水飴ノ原料ハ主トシテ麥粉或ハ碎米デ、サウ云フモノガ菓子ニナラズニ水飴ニナル傾向ガアル。ソコデ是ハ食糧問題ノ見地カラモ、農村ノ需要狀態ヲ能ク調べテ實際不足スル方面ニハ相當増配スルコトガ必要デハナイカト云フノガ私共ノ縣ニ於ケル痛切ナル意見デス。

ソレカラ業務用ヘ運ス方ガ宜イカ、家庭ヘ流スベキカト云フ點ハ、竹内サンカラ色々御意見モアツタガ、實際問題トシテオハツヲ與ヘナイデ子供ヲ育テルコトハ出來ナイ。

オハツハドウシテモ要ル。ソノオハツノ爲ニコノ頃家庭ノ主婦ガ如何ニ苦勞シテ居ルカ。菓子屋ノ前ニ行列シテ居ルアノ姿ハ何トカシテ子供ニオハツヲ與ヘタイトイフ母ノ切實ナル願ヒカラデアアルコトヲ認識シテ戴キタイ。ソコデ日本デハ家庭デ菓子ヲ作ル習慣ハナイガ、オハツガ菓子屋カラ菓子ノ形デ供給サレルヨリモ、小麥粉ナリ其ノ他オハツノ原料ニナルモノヲ家庭ニ配給シテ、各家庭ノ主婦ガ自分デ子供ノ爲ニコハツヲ作ツテヤルヤウニコノ際生活ヲ改メサセルベキデアルト思フ。菓子屋サンニハ氣ノ毒ダガ、轉業對策ハ着々進ミツ、アルシ、又日本ノ職業構成カラ言ツテア、云フ小サイ商工業者ガ餘リニモ多過ギル。殊ニ菓子屋ガ多イ。東京ノ街ヲ歩イテ御覽ニナレバ分ルガ、何軒カニ一軒ハ必ズ菓子屋ガアル。カウ云フ職業構成ハ決シテ堅實ナル社會組織デハナイト思フ。ダカラ若シ砂糖ニ餘裕ガアルナラ、家庭ヘオ運シニナツテ、主婦ガ自分ノ手デ子供ノ營養問題モ考慮シテ、餘リ砂糖ノ過分ニナラヌヤウナオ

八ツヲ作ツテ子供ニ與ヘルコトノ出来ルヤウニ御取計ヒア
ランコトヲ切ニ御願ヒシタイト思フ。

村上委員 是ハ農村ノ砂糖ト一口ニ片付ケテシマツテハ間違
ヒガ出テ來ルト思フ。是ハ私調査シタ譯デモナク、色々ナ
本ヲ讀ンダ譯デモナイガ、自分ノ想像デハ、農村ニ於ケル
砂糖ノ要求量ハ農繁期ト農閑期デハ違ヒガアリハシナイカ
私ノ乏シイ經驗デモ、運動ノ選手ヲヤツテ居ツタ時代、非
常ニ激シイ運動ヲヤルトドウシテモ甘イモノガ欲シクナル
ガ、練習ヲ休ンデ居ル期間ハサウ欲シクナイ。ソレカラ私
ハ農民道場ニ關係シテ居リマスガ、農繁期ニハドウシテモ
今ノ配給デハ足りナイノデ、蜜蜂ヲ飼ツテ蜂蜜ヲ補給シテ
居リマス。サウ云フ點カラ考ヘルト、ドウモ農繁期ニハ砂
糖ノ足ラヌ状態ガ起ツテ居ルノデハナイカ。唯白糖トナル
ト、生理的ニハ要求シナイノデハナイガ、經濟的ノ見地カ
ラ節約スルト云フ點モアツタノデハナイカト思フ。素人考
ヘトシテ、農繁期ト農閑期トデハ要求ノ程度ニ違ヒガアリ
ハシナイカト思フノデスガ、サウ云フ點ハ竹内サンナド專
門家ノ目デ御覽ニナツテドウデセウカ。

竹内委員 全ク御同感デゴザイマス。始終插リツケルトドウ

タ通り、結局黒ヲ白ニスルノハ蜜ヲ取ルノデスガ、ソレガ
「アルコール」ヤ酒ノ原料トシテ必要ナノデス。

竹内委員 私ハ大變ニ減ツテ居ルカト思ヒマシタガ、先程家
庭用ハサウ減ツテキナイト云フ御話ヲ伺ツテ驚キマシタ。
コノ上多ク流スト云フコトニ付テハソレノ違ツタ立場
カラノ御話ガアリマセウガ、十分研究シテ戴イテ、過ギル
所ノナイヤウニ、又足りナイ所ノナイヤウニ……

森下委員 今マデ砂糖會社ガ、文明國ノ砂糖消費量ハ一人當
リ幾ラダトカ、砂糖ノ消費量ハ文明ニ正比例スルト云フヤ
ウナコトヲ言ツテ盛ンニ宣傳シテ居ツタガ、ソレガ段々農
村ニモ入ツテ居ツタ。ソコへ切符制ニナツタノデ、何時デ
モ買ヘルナラ、何時デモ買フト云フ頭デ消費ノ少カツタモ
ノガ、切符ニナレバ取ツテ置カナケレバ損ダト云フコトデ
消費シナイ者マデモ消費スルヤウニナツタ。併シ理窟抜キ
ニ砂糖ハモウ少シ欲シイネ。

三井委員 私ハ餘裕ガアルナラ特殊用途ヘ流ス必要ガアリハ
シナイカト思フ。私ノ過去ノ經驗ニ依ルト、非常ニ興奮シ
タリ疲勞シタ時ニハ砂糖ガナクテハ息ガ付ケナカツタ。ソ
レデ吾々ノ時代ニハ戰地デモ氷砂糖ヲ持タセテ居ツタ。サ

シテモ欲シクナルモノデ、ソレガ念ニ少クナツタモノデス
カラ非常ニ足りナイヤウナ氣ガスルノデスガ、一時代前ハ
サウ砂糖ヲ使ハナイデ生活シタモノデゴザイマス。「スポー
ツ」ナンテモノハ二三十年コノ方ノコトデ、ソノ前ハモツ
ト少イ。而モアツテモ黒砂糖式ノ安イオ砂糖デゴザイマシ
タ。今砂糖ガ身體ニ善イトカ申スノハ白糖ノ問題デ、昔
ハ黒砂糖ナヤウナモノデ、ソノ分量モ少ク、甘味モ今ノヤ
ウニ強ク要求セズ、砂糖ガ少シアレバ満足シテ居ツタノデ
ゴザイマスガ、段々ト非常ナ甘サヲ要求スルヤウニナリ、
「スポーツ」ト云フヤウナ文化的方面ニハオ砂糖ガ多ク要求
サレ、農村デモ段々砂糖ガ多ク消費サレ、非常ニ澤山使フ
所モアリマスガ、割合ニ使ハナイ所モアルノデ、一體ニハ
申セナイカト思ヒマスガ、一體白糖ニシナイデ持ツテ來
ルト云フコトハ絕對ニ出来ナイモノデセウカ。

竹内拓務省殖産局長 出来ナイコトモナイガ、今デハ臺灣ア
タリデモ九割五分マデハ白イノデス。沖縄デハ黒砂糖ヲ使
ツテ居リマスガ、アレハ昔ハ向フデザラメ程度ノ黄色ノモ
ノニシテ東京ニ持ツテ來テ白クシテ居ツタガ、今デハ一貫
作業デ白糖ヲ作ルヤウニナリマシタ。ソレカラ先程申シ

ウシテ疲勞シタ時ニコロフ管メタモノデ、氷砂糖ノナイ時
ニハ唯砂糖ヲ水ニ入レテ飲ムト云フヤウニシテ非常ニ落伍
者ヲ減ジタ。カウ云フ實驗カラ申シテ、サウ云フ方面ニモ
餘程増配ヲ要スルデハナイカト思フ。

森下委員 昔胡麻トカ胡麻油ヲ攝ツテ居ツタ時ハ糖分ハ要ラ
ナカツタト年寄リハ言フガ、ソレハ事實ラシイ。衆議院ノ
西村サンモサウ云フ話ヲシテ居ツタガ……

竹内委員 今村上サンノ御話ノ中ニ私ノ申シタコトガ出マシ
タガ、私ノ言葉ガ足りナカツタノデ附加ヘテ置キタイト思
ヒマス。實際糖分ハ瞬間ニ直グ葡萄糖ニナツテ血ニ混ツテ
イキナリ燃エテ力ニ變ルト云フヤウニ、非常ニ早ク力ガ出
マスカラ、サウ云フ場合ニハ瞬間的ニ效クノデゴザイマス
併シソレダカラト云ツテ朝カラ晩マデ食ベル食事ノ中ニ入
ツテ居ル砂糖ガソノヤウニ效イテ行クカト云フトサウデハ
ナイ。又一方ニ筋肉ヲ疲ラセル働キガアルノデ、今一匙必
要ダト云フ時ニ行ツタ砂糖ハ非常ナ力デアリマスガ、餘計
ニ行ツテハイケマセヌ。ダカラ適度ト云フコトハコノ上ナ
シ必要ナコトデゴザイマス。ソレガ果シテ適度ニ行ツテ居
ルカドウカ。少クトモ都會ノ子供デハ過ギテ居ルト云フコ

トガハツキリ言ヘルト思ヒマス。併シ都會ノ子供ニ過ギルカラ農村ニモナイ方宜イ、勞働スル者ニモナイ方宜イト云フ譯デハアリマセヌ。

原委員 私ハコノ問題ニ付テ何モ存ジマセヌガ、自分ノ家庭カラ考ヘテ見ルト、今マデオ彼岸ガ来ルトオ萩ヲ作ツテ居ツタト云フノガ、今デハサウ云フコトハ一切出来マセヌ。コレハオ醫者サンノ側カラ言ヘバ結構ナコトカモ知レナイガ、サウ云フ家庭ノ樂シミガナクナツタト云フコトハ可ナリ大キナ問題デハナイカ。又近頃ハ電車ニ乗ツテモ道ヲ歩イテモ、男モ女モ皆腹ガベコノデ、「ズボン」ナドダブダブデ皺ガ寄ツテ居ル人多ク、人相ガ段々貧弱ニナツテ、肺病ヤミノ一步手前ト云フヤウナ人多イ。コレハ砂糖ノ足ラヌセイカ、酒ノ足ラヌセイカ。ソノ兩方デ、モウ一ツ米ノ足ラヌセイモアラウト思フガ、ドウモオ醫者ガ實驗臺ノ上デヤルヤウニ人間ガ働タモノデモナシ、結局モウ少シ嘗メルモノヲ嘗メサセテ戴カナイト工合ガ悪イ。

文種委員 今竹内サンノ仰シヤツタ速效肥料ノ砂糖ノ効果ト云フコトヲ知ラナイ人多イ。私ハ日露戰役ニ二年從軍シテ居ツタガ、御下賜品ノ甘味ト云フ氷砂糖ガ實ニ寶物デ

コレト羊羹ダケハ、他ノ携帶口糧ハ皆棄テテモ絶対ニ離サナカツタモノデ、コレヲ用ヒルト疲勞ノ回復ヲ自覺スル位大キナ效メガアリマス。併シソレダカラト云ツテ年中砂糖ヲ食ベテ宜イカドウカト云フト、ソレハ誤リデ、近頃ノ青年男女ガ、先程仰シヤツタ砂糖消費量ハ文明ノ程度ニ正比例スルト云フヤウナ砂糖消費社ノ宣傳ニ乗ツテ、俺ハ文明人ダト云フノデ、「コーヒー」ノ中ニ砂糖ヲベラ棒ニ入レテ飲ムト云フ傾向ガ農村ノ子弟ニモアル。コレハ喜ブベキ現象デハナイ。ダカラ砂糖ヲ家庭ヘ流スベキカ、業務用ニ流スベキカト云フコトニ付テハ、大キナ點カラ考ヘテ、科學者或ハ厚生省方面ニ於テ研究シテ砂糖ノ生活上ニ於ケル價値ト云フモノニ付テ正シイ認識ヲ與ヘル必要ガアリハシナイカ。一面ニ於テ私ノ村デハ老人達ハ砂糖消費ヲ痛罵シテ、砂糖ヲ嘗メル奴ハ甘イ奴ダト言ツテ、石塘ヒスルトカ危險ナ仕事ヲスル時ニハ朝鹽ヲ食ベル。鹽ヲ食ベテ行カヌカラ足ガ付クノダト云フヤウナコトヲ言フガ、兎ニ角コノ物資ノ足りナイ時デスカラ御符ダカラト云フノデ餘計ナモノマデ買込ムト云フヤウナ習慣ハ廢メサセテ、思ヒ／＼ノ物ヲ取り得ルヤウナ便宜ナ方法ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマ

竹内委員

米ノ主成分ハ澱粉デスカラ、米ヲ食ベテ居レバ血ニ混ジル時ニハ結局葡萄糖ニナリマスノデ……砂糖ガ悪イト云フノハ、白砂糖ハ身體ノ爲ニ宜クナイト云フノデ、糖分ガナケレバ人間ハ生キテ居レマセヌ。

西川委員

先程ノ三百六十目ト云フノハ業務用方面カラ來ルモノモ……

竹内委員

嘗入レタ平均デス。

西川委員

サウスルト百目近ダカラ、業務用ガ家庭ノ倍位アツタノデセウ。今ノ〇・六斤ハ家庭ニ入ルダケデ、一方業務用モウソト減ツテ居ルカラ、綜合スルト現在ノ攝取量ハ一人當リガ非常ニ減ツテ來テ居ル譯デスネ。

糖販委員

私ノ調デハ、專變前東京デ上流ノ家庭ガ一月一人平均一斤位、中流デ〇・七斤カラ〇・八斤、農村デハ一年ニ六七斤、農村ノ下流階級ハ一年ニ二三斤位ト云フ割合デス。ソレガコノ頃デハドン／＼配給サレテ居ルノデスカラネ。竹内先生ノ言ハレルヤウニ糖分ヲ排斥スルノデハナイガ、白砂糖デハ身體ニ害ガアルカラ黒糖デ戴ケナイモノデセウカ。砂糖ノ消費ハ一國ノ文明ヲ計ル尺度ダト云フヤウナコトヲ言フテ居ツタ「アメリカ」デサハ最近白砂糖排斥ガ

竹内委員

昭和十二年頃子供ガ餘リオ菓子ヲ食ベルノデ、ドノ位食ベテ居ルカト調べテ見タトコロガ、一人平均一ヶ月三百六十目デシタ。ソレガ愈ニタダノ六十目ニ減ツタト云フノデ實ニ大變ニ減ツタヤウニ各家庭ガ考ヘテ居リマス。ソレデ先程御話ヲ伺ツテピツクリシタノハ、二三割減

糖販委員

デドウシテサウ各家庭デ減ツタカ。尤モ以前ハ農村ニハ全然行カナイデ、皆都會ニ流レタト云フコトモアルカモ知レマセヌガ、平均化サレタ結果デセウネ。

森下委員

私ノ家デハ砂糖ノ關係カラ「コーヒー」ヤ紅茶ヲオ客ニ出スノラ慶メテ、麴ガ規正ニナツテ居ナイノデ、甘酒ヲ作ツテ出シタトコロガ非常ニ喜バレタ。併シ甘酒ヲガブガブ飲ンデ居ルト腹ガ案外フクレマセヌ。

大橋委員

一ツ學者ノ方面ニ糖分攝取ト勞働ト云フヤウナ問題ニ付テ御研究ヲ願ヒタイ。現在田舎デハ糖分ガ人間ノ生活ニ必要ダト云フコトガ糖分即チ砂糖トイフコトニナツテ居ル。糖分ガ凡ユル農産物ノ中ニ含マレテ居ルト云フ認識ガナイノデス。ソコデソノ認識ヲ改メサメルヤウニスルコトガ必要デアリマス。

盛ニ行ハレテ居ルノヲ見レバ、如何ニ害ガアルカガ判リ
マス、ダカラ成ベク黒砂糖ヲ配給シテ戴キタイ。ソレカラ
農村ニ於ケル結核ノ増加ト云フコトニ付テハ、一ツニハ住
宅ソノ他生活状態モ考ヘナケレバナラヌ問題ダガ、一ツニ
ハ白砂糖ノ消費ガ殖エタト云フコトガ相當關係ガアリハシ
ナイカト思フ。農村デハ砂糖ナシデモ蜂蜜デヤレバ、蜂蜜

ト思フ。例ヘバ一錢貫ツテ駄菓子ヲ買ウテ來ルト云フノガ
町並ノ習慣ニナツテ居ル。ソレデ過食ニ陥ルノデハナイカ
ダカラ私ハ業務用ハ殖ヤサヌ方ガ宜イト思フ。餘裕ガアル
ナラ家庭へ廻シテ、菓子屋カラ供給ヲ受ケナクテモ家庭デ
ヤレルヤウニスルノガ宜イト云フノデス。

ナラ榮養ハアルシ申分ナイ。私モ農村デ大キクナツタ者デ
スガ、私ノ子供ノ時分ニハ砂糖ヲ使フコトハ極メテ稀レデ
オ彼岸ノ牡丹餅ニ使フ位デ、アトハ團子位デシタガ、砂糖
ガ段々餘分ニナツタモノデ次第ニ餡ヲ作ツタリ何カスルヤ
ウニナツテ來マシタ。コノ砂糖ノ増加ガ體位ノ低下ニ相當
影響ガアルト考ヘマス。ダカラ白砂糖ハ今後モ成ベク増加
シナイヤウニシテ貰ヒタイ。ソレカラ子供ノオハツハ馬鈴
薯カリ芋デヤレバ宜イデセウ。

大植委員 神原サンノ御話ノ中ニ砂糖ト結核ト云フ御話ガア
リマシタガ、私ハサウ云フ方面ノ學問ヲシタ譯デハナイ
ガ、御説ノ通りニ非常ニ大キナ關係ガアルト思フ。コレハ
學者ノ方面ニ於テ理論付ケラレル時ガ近クアラウト思フ
ガ、農村ノ結核ト砂糖トイフ問題ハ國家トシテ權威アル學
者ニ託セラレテ研究サセル必要ガアルノデハナイカ。ソレ
ト以前ニ砂糖屋サンガ大分宣傳シタ時代ガアルガ、ソレヲ
宣傳ト氣ガ付カナイデ、婦人雜誌ナドノ中ニハ、輕イ風邪
ナラ砂糖湯ヲ一パイ吞メバ治ル、變ナ寶藥ヨリ效クトイフ
ヤウナ記事ガ最近マデチヨイ／＼載ツテ居リマシタ。ア、
云フコトヲ何時マデモ覺エテ居ツテ、私ノ村ナドデモ風邪
ヲ引イタ時ニハ生姜ヲ入レタ砂糖湯ヲ吞メバ治ルト云フヤ
ウニ考ヘテ居ルガ、サウ云フ風ナ間違ツタ考ヘ方ヲ改メサ
セル必要ガアルト思フ。

西川委員 併シ多少砂糖ガナイト毎日ノオハツニハナラナイ
ダラウ。

竹内委員 ソレガヤツバリ年代デスネ。モウ砂糖デ育テラレ
テ居ルモノデスカラ……。

西川委員 私ハ業務用ノ方カラ流レテ來ルモノニ弊害ガ多イ

東郷小委員長 マダ色々御話モアラウカト存ジマスガ、時間
ガ參リマシタノデ、今日ハコノ程度デ閉會シタイト思ヒマ

ス。ドウモ有難ウゴザイマシタ。

正午散會



代
印
書

調查委員會第七委員會速記錄 (十三)

(第四、五回第一小委員會)

大政翼贊會

第七委員會第四回第一小委員會

場所 本部第一會議室第三號室

日時 昭和十六年十月十一日午前九時五十分開會

出席調査委員

委員長 島田俊雄	小委員長 酒井忠正	三善信房	金井正夫	末松借一郎
保坂幸治	西川貞一	沖島錄三	東郷實	山本榮吉
黒田英雄	岡田喜久治	豊田收	小林絹治	春名成章
長野綱良	三井清一郎	八條隆正		

農林省 (總務課長代理) 海軍省 小柏主計中佐 帝國農會 宮川三千藏

事務局 側

石渡事務總長 熊谷總務局長 吉武幹事 安田幹事 八谷主任書記外

酒井小委員長 ソレデハコレヨリ開會致シマス。本日ノ會ハ 御報告ヲ聽イテ戴キタイト考ヘテ開イタ次第アリマス。御手許ニ差上ゲマシタ書類デアリマス。第七調査委員會 念ノ爲ニ一應御諒解ヲ得タイト思ヒマス。之ヨリ視察ニ出ノ中ニ認メテアリマスケレドモ、實際ハコノ前トノ旅行計 向カレタ諸君ノ御報告ヲ煩シタイト存ジマス。最初ニ鹿兒島、佐賀地方ヲ視察サレタ三善君ニ御願ヒ致シマス。晝後ニ開キマシタ小委員會同様第一小委員會トシテ開キマシテ、他ノ第七調査委員ノ方々ニ御出デヲ戴イテ皆サンノ 三善委員 私ハ佐賀縣、鹿兒島縣ノ二縣ヲ、調査ニ參リマシ

タ、ソノ食糧増産ノ優良町村ト申シマスノハ、佐賀縣ノ福
富村、三田川村、鹿兒島縣ノ西志布志村、高尾野町、コノ
四ヶ町村ニツイテ調査ヲ致シタノデアリマス。詳細ニ亙リ
マシテハ報告書ニツイテ御覽ヲ願ヒタイト存ジマス。ソコ
デコ、ニハ大體ニ於テ御報告ヲ申上ゲタイト思フノデアリ
マス。

先ヅ調査ノ順序ト致シマシテハ、縣廳ニ參リマシテ縣營
局、實業會ノ縣支部、縣農會、産業組合、ソノ他農業關係ノ
各團體ノ代表者ノ御寄リヲ願ヒマシテ、農業經營及農業ノ
指導、農作物ノ栽培、増産施設等ニツキマシテ懇談的ニ意
見ノ交換ヲナシマシタノデ、全縣下ノ食糧増産ニ對スル處
ノ心構ヲ知ル事ガ出來タノデアリマス。次ニハ町村ニツキ
マシテ農業ノ施設、栽培、農作物ノ作況等ニツキマシテ實地
ノ調査ヲナシマシテ、ソノ町村ノ大部分ノ面積ニ亙リマシ
テ作物ノ狀況ヲ見マシタ。コノ間町村ノ當局、農會或ハ産
業組合、實業會ノ町村支部ノ關係者等モ御同行下サイマシ
タノデ、食糧増産ニ對スル處ノ施設ヲ實地ニツイテ御聽キ
スルコトガ出來マシテ、増産ノ實情ヲ調査スルコトガ出來
タノデアリマス。次ニハ實行組合、農業關係團體ノ役員

テ居リマス。殊ニ昨年ハ病虫害ヲ蒙ツタル縣デアリマスノ
デ、本年ハコレ等ノ災害ヲ防除セムガ爲ニ凡ユル施設ヲナ
シ、全力ヲ盡シマシタ結果、天候ハ必ズシモ順調デハナカ
ツタノデアリマスケレドモガ、平年ニ比シマシテ、佐賀縣
ハ平年ハ米ハ百四十三萬石デアアルニ拘ラズ本年ハ百五十三
萬石トイフ増收ニナツテ居ルノデアリマス。鹿兒島縣モ平
年百三十萬石ニ對シマシテ本年ノ豫想ハ百四十萬石トイフ
増收ニナツテ居ルノデアリマシテ、兩縣共ニ非常ナル増産
ヲ示シテ居リマス事ハ全クコノ災害防除施設ニ全力ヲ注ガ
レタ結果デアルト思フノデアリマス。佐賀縣ニツキマシテ
特ニ縣ノ方デ努力セラレタ點ヲ一、二申上ゲマスレバ肥料
ノ不足トイフコトガ懸ヘラレテ居リマスノデ、先程申上ゲ
マシタヤウニ、佐賀縣ハ所謂多收穫ノ縣デアリマスノデ、
コノ肥料不足ヲ何トカ克服シナケレバナラヌトイフノデ、
所謂佐賀縣ノ平坦部ニハソノ溝ノ泥土上ゲトイフコトヲ以
テ肥料不足ヲ補ツテ參ツタノデアリマス。平坦部ノ増收ト
イフモノハコレ等ノ泥土上ゲノゴミノ肥料ニ依ツテ相當ニ
效果ガ上ガツタモノト思ハレル點ガアリマス。鹿兒島縣ニ
ツイテ申上ゲマスレバ米モ相當ニ増産ニナツテ居リマスケ

篤農家、或ハ推進員、共勵員等ノ懇談會ヲ開キマシテ、ソ
コデ意見ノ交換ヲナシマシテ地方ノ希望ヲ知ルコトニ努
メタノデアリマス。更ニソノ地方ニ於キマシテハ一般農業者
ヲ加ヘマシテ、私ノソノ町村ヲ實地視察致シマシタコトニ
基キマシテ私ノ考ヲ申上ゲテ、或ハ一般的ノコトニツキマ
シテ講演ヲナシマシテ地方ノ方ヲ激勵致シテ參リマシタ。
夜ハ又部落ノ常會ニ出席致シマシテ、常會ノ模様ヲ見學シ
或ハ懇談シ、最後ニ私ガ講演ヲ致シマシタ、斯様ノ順序デ
コノ調査ヲ終ツタヤウナ次第デアリマス。

ソコデ先ヅ佐賀縣及鹿兒島縣ノ増産狀況ニツイテ大體ノ
コトヲ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、佐賀縣、鹿兒島縣共
ニ農業本位ノ縣デアリマシテ、佐賀縣ハ特ニ米ノ多收穫ノ
縣トシテ知ラレテ居ル處デアリマス、コノ兩縣共ニ計畫生
産ノ下ニ國ノ趣旨ニ從ヒマシテ、或ハ自給肥料ノ問題、或
ハ資材ノ共同使用、或ハ共同作業、共同炊事、托兒所ノ設
置、耕種ノ改良、病虫害ノ防除施設等ニツキマシテハソレ
ゾレ督勵致シテ居リマスルガ、未ダコレガ十分ニ徹底シテ
實現シテ居ルトイフコトハ申サレナイト思フ點ガアルノデ
アリマス、併シナガラ兩縣共ニ一昨年カラノ大旱害ヲ受ケ

レドモガ、最モ注目サレルノハ甘藷ノ増産デアリマス。コ
ノ甘藷ノ増産ニツキマシテハ、本年ハ早期栽培ヲ獎勵致シ
マシタ結果、早期栽培ガ徹底致シマシテ、平年一億五千萬
貫ニ拘ラズ、本年ハ實ニ二億萬貫ヲ生産致シテ居リマシテ
テ鹿兒島縣ガ努力セラレタカトイフコトヲ實證スルモノデ
アルト考ヘルノデアリマス。尙ホ同縣ハ麥ノ裏作ガ三千町
歩、休閑地三千町歩、合計六千町歩ノ麥ノ増反ヲ致シマシ
タ結果、麥モ相當ノ増收ヲ致シテ居ルノデアリマス。尙同
縣ハ更ニ麥ノ栽培ニ對シテ、一萬町歩ヲ栽培スル處ノ餘力
ガアルトイフコトヲ申シテ居リマスノデ、鹿兒島縣ノ裏作
ノ前途トイフモノハ、誠ニ望ミ多イモノデアルト思フノデ
アリマス。

次ニ今回視察致シマシタ處ノ食糧増産ノ優良町村ニツイ
テ總括的ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス。先ヅ第一ハ食糧増
産ノ優良町村ト指定サレルニ至ツタノハドウイフ理由デア
ルカトイフコトニツキマシテ、ソノ原因ヲ確カメテ見マス
ト、勿論各町村毎ニ特殊ノ事情ガアリマスノデ一律ニコレ
ヲ論ズルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、大體ニ於テ町村ノ

指導者ガ人格アリ、徳望アリ、而モ眞面目ニソノ指導ノ任ニ當ツテ居ルトイフコトガ、町村ヲシテ食糧増産ノ優良町村ナラシメタ唯一ノ原因ダト思ハレルノデアリマス。更ニ又農事實行組合ノ組織ガ適正デアリ、ソノ中心人物ガ自カラ組合員ニ範ヲ示ストイフ態度ヲ取ツテ居リマスコトハソノ町村ノ優良町村トナツタソノ原因ノ第二點デアルト思ヒマス。殊ニ技術者ノ指導ガ徹底シテ居リマスコトハ食糧増産ニツイテ最モ効果ノアリタルコトデアルト思ヒマシテコレ等ノ點ハソノ町村ヲシテ食糧増産ノ優良町村ナラシメタ最モ重要ナル原因ノ點デアルト思ハレル次第デアリマス。

次ニハ肥料並ニ資材ノ不足ヲ如何ニシテ克服致シタカトイフ事ニツイテ申上テ見マスレバ、肥料及資材ニ關シマシテハ從來ノヤウニ肥料ガ不足ダ、資材ガ不足ダトイフヤウナ小言ヲ聽カナカッタコトハ、ソレハヨク地方ノ人ガ時局ヲ認識シテ如何ニ要求ヲシテモコレ以上ハ供給ヲ受ケルコトガ出來ヌヂヤナイカトイフヤウナコトヲ諒解シタ結果デアリナイカト思ハレル點ガアルノデアリマス、コノ肥料不足ノ爲ニ堆肥及綠肥、草刈り、灰ノ貯藏等自給肥料ノ増産ニ依リマシテ肥料ノ不足ヲ補フテ居リマス。尙配給ノ機構ニ

ツイテ申上ゲマスコレハ二本建デアリマス。所謂産業組合ト商業組合トノ二本建ニ依ツテ、配給ヲサレテ居リマスガ、鹿兒島縣ハ町村ニ參リマスト産業組合ガ一元的ニ配給致シテ居リマスコトハ、コレハ他縣ニ比ベマシテ餘程配給ニ對シテ合理的ニヤツテ居ルコトデアルト思ハレルノデアリマス。肥料ノ配合ニツイテ申上ゲマス、産業組合又ハ實行組合デ共同配合ガ行ハレテ居リマシテ、餘程ソノ配合肥料ノ普及ガ徹底シテ居リマス。ソノ他ノ資材ニツキマシテノ共同利用、或ハ共同管理トイフコトハ若干行ハレテ居リマスコレドモガ、ソノ事實ハ餘程少ナイヤウニ見受ケタノデアリマス。

次ニ勞力不足ヲ如何ナル方法ニ依ツテ克服シテ來タカトイフコトニツイテ申上ゲマスレバ、第一共同作業、共同炊事、共同托兒所等ガ農繁期ニ行ハレマシテ、殊ニ學生ノ勤勞奉仕或ハ勞力ノ移動班等モ設ケラレマシタノデ、コレ等ニ依ツテ勞力不足ヲ緩和シテ參ツタヤウニ思ハレマス、機械力、畜力等ノ利用ガ十分行ハレマシテ、特ニ兩縣共ニ婦人ノ活動ガ目覺シイモノガアリマシテ、從來男子ニヨツテナサレテ居タ方面迄モ女子ガヤツテ居ルトイフコトハ誠ニ

頼モシク思ハレタ次第デアリマス。

次ニハ部落團體、農業團體ノ活動ハドシナモノデアルカトイフコトニツイテ申上ゲマス、町村農會、町村ノ産業組合等ハ實質的ニ統合ハ行ハレテ居リマセヌ。併シナガラ兩者共ニ緊密ナル聯繫ヲ保チマシテ、肥料ノ配給、農産物ノ供出等ニハ遺憾ノナイヤウニ活動ヲ致シテ居リマス。實行組合ハ總テ法人化シテ居リマシテ、上級團體へ加入致シテ居リマス。而シテ食糧増産ノ中心トナツテ共同作業、共同炊事等ノ實行ヲナシテ居リマスガ、組合員ガ餘リ多イ時ニハソノ實行ガ困難デアリマシテ、實際上ノ生産ニツイテノ活動ハ隣保班ニ依ツテ行ハレテ居ルヤウナ狀況デアリマスノデ、實行組合ノ組織ニツキマシテハ相當注意ヲ要スル點ガアルト思ハレルノデアリマス。

次ニハ農地問題ノ改善デアリマス。小作料ノ點ニツキマシテハ別段ノ變化ヲ認メマセヌ、サウシテ小作爭議、小作地ノ返還トイフコトハ殆ドナイノデアリマス。コレ等ハ地方時局ヲヨク認識シテ、御互ニ相剋摩擦ヲ起サナイヤウニ注意致シテ居ル點ガ現レテ居ルノデハナカラウカト思ハレルノデアリマス。土地ノ交換分合、コレハ非常ニ地方デ

モ要望ハ致シテ居リマス。併シナガラ言フノハ易クシテソノ實行ハナカク、困難デアリマシテ、耕地整理等ガ行ハレテ行キマス場合ニハ相當ニ土地ノ交換分合トイフモノハヤリ易イカト思ヒマスコレドモ、ソノ他ノ場合ニ於テハ交換分合トイフモノハナカク、行ハレナイヤウニ思ハレルノデアリマシテ、コレ等ノ町村ニ於テモサウ多クハ交換分合等ハ行ハレテ居リマセヌ、土地ノ共同管理等ハマダ行ハレテナイヤウデアリマス。

次ニハ今回ノ米價措置ト食糧増産トノ關係ニツイテ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、米價措置ハ自小作者、地主トイハズ總テ好感ヲ持ツテ居リマス。尙農民ノ増産ニ對スル處ノ熱意ヲ刺戟スル處ガ非常ニ多イノデアリマス。但シ稻作作付前ニ發表ガアツタト致シマシタナラバ増産上相當ノ効果ガアツタコト、思フノデアリマスガ、本年ノ増産ニハコレガサシタル效果ハ與ヘテナイト思フノデアリマス。米價引上ゲニ依リ供出米モ増加致スコト、思ヒマス。コレ等ハ代用食等ニ依リマシテ供出米ヲ相當多ク出スノデハナカラウカト思フノデアリマス。他ノ農産物ノ引上ゲニ對シマシテハ多少ノ希望ガナイデモアリマセヌコレドモガ、米ガ上

ガフタカラ一般ノ農作物ニツイテモ上ゲナケレバナラナイ
トイフ聲ハ殆ド聽カナカツタヤウデアリマス。

次ニ農家ノ消費規正ト農産物供出ノ状態デアリマス。農
村ハ代用食ニ依リマシテ自己ノ消費ヲ規正ヲシテ米麥ノ供
出運動ニ協力スルノ態度ヲ取ツテ居リマスノデ、今後ノ供
出ニツキマシテモ相當量ノ供出ハナシ得ラレルモノト考ヘ
ラレマス。

次ニ縣下ノ食糧増産關係ト助成金ノ使途、コノ助成金ハ
實行組合ヲ單位トシテ交付サレテ居リマスノデ、人件費、或
ハ會議費、助成費、共同事業費等ニ計畫的ニ使ハレテ居リ
マス。コレハ最も地方ノ増産ニハ效果ガアツタコト、思ハ
レルノデアリマス。助成金、補助金ハ町村ニ交付サレルコ
トガ非常ニ遅クアリマシテ、年度ヲ經過後ニ交付サレルモ
ノモ非常ニ多イノデアリマシテ、地方ニ於テハ非常ニ迷惑
ヲ感ジテ居ル次第デアリマス。

次ギニ農村ノ時局認識程度ト精神作興トイフ點デアリマ
ス。時局ノ重大ナルコトハ十分認識シテ居リマス。而シテ
支那事變ニ對シテハ樂觀的態度ヲ持ツテ居ルヤウデアリマ
シテ、歐洲戰爭ノ推移ハ共ニ最近我方國ニ重大ナル戦局ガ

リマス。次ニコノ村ハ共同苗代ニ於テ健全苗ノ育成ニ努メ
テ居リマス。苗代ノ一反當リノ面積ヲ擴張シテ苗ノ丈夫ナ
モノヲ作ラナケレバナラナイ。コレ等ハ増産ニ相當效果ガ
アツタコト、思フノデアリマス。尙市町村ノ指導者ハ人格
アリ、徳望アリ、村民ノ信頼ガアリマシテソノ實行力ガア
リマスノデ、ソノ指導ガ徹底致シテ居リマス。斯ウイフ點
ハコノ村ヲ増産ノ優良町村ナラシメタ處ノ唯一ノ原因デア
ルト思ハレルノデアリマス。

次ニ佐賀縣ノ三田川村デアリマス。本村ハ耕地面積ガ非
常ニ廣イノデアリマシテ、而モノノ廣イ面積ヲ荒廢シナク
參リマシタノハ農業機械、或ハ器具ガ非常ニ普及サレテ居
リマス。或ハ農具等モ相當普及サレテ居リマスノデ、畜力
使用ト相俟ツテコノ耕地面積ノ廣イ處ヲ努力不足ノ折ニ拘
ラズコレヲ克服致シタ點ハ増産上唯一ノ效果ガアツタコト
ト思ヒマス。尙コノ村ハ特ニ堆肥ノ徹底的獎勵ヲヤリマシ
テ一戸當リ三百貫ヲ作ラナケレバイケナイトイフヤウナ殆
ド命令的ニヤツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、自給肥料
ノ増産ニ力ヲ入レ又技術者ノ指導ソノヨロシキヲ得タコト
ガコノ村ノ増産ニ特ニ效果ガアツタコト、思ハレマス。

起リハセヌカト思ツテ居ルモノモアルヤウデアリマスガ、
コノコトニツキマシテハ餘リ多ク觸レマセヌ。唯ソノ前途
ガ如何ニナルノデアラウカトイフコトニツキマシテハ相當
心配ヲ持ツテ居ルヤウデアリマス、工業地附近ノ町村ニ對
シマシテハ工業ノ勃興ト共ニソノ方面ニ出テ行クモノモア
リマスガ、純農村ニ於キマシテハ離村スルトイフ傾向ハ大
體ナイヤウニ見受ケテ參リマシタ。コレハ大體ノ町村ニ對
シテ總括的ニ申上ゲタノデアリマスガ、各町村ニ於ケル處
ノ増産上特殊ナル點ヲ一、二申上ゲテ見タイト思ヒマス。

佐賀縣ノ福富村デアリマス、コノ村ハ全村干拓地デアリ
マシテ、明治年間ニナリマシテ、九百四十町歩ノ干拓ヲナシ
テ居リマシテ、現ニ百五十町歩ノ干拓事業ヲナシテ居ルノ
デアリマス、ソノ土質ハ沖積粘土デアリマシテ、深耕農法ニ
適シ灌溉サヘ十分デアリマシタナラバ増産ハ可能デアリマ
ス。本年ハ偶々コノ地方ニ於キマシテハ雨ガ多イノガ却テ
植付ガ順調ニ參ツタノデアリマシテ、ソノ結果増産ガ得ラ
レタモノト思ハレマス、實行組合ハ部落ガ散在シテ居リマ
スノデ二十戸、三十戸ノ小部落ガ一團トナツテ組織シテ居
リマスノデ、統制ガ容易デアリマシテ指導ガ徹底致シテ居

次ニ鹿兒島縣ノ西志布志村デアリマス。本村ニツイテ特
ニ申上ゲタイコトハ、村長ガ二十年以上勤続シテ居リマシ
テ、又青年學校ノ校長ガ十數年以上モ勤続致シテ居リマス
共ニ人格アリ、徳望アリ、村民ノ信頼ノニナツテ居リマ
スノデ、自カラ範ヲ示ストイフヤウナ態度ヲ取ツテ居リマ
スコトハ全村民ヲシテ又信頼セシメルニ至ツタ所以デア
ルト思ヒマス。而モコノ村ハ進農會トイフモノヲ組織シテ、
ズツト以前カラ篤農家ヲ網羅シテ農事ノ研究及技術ノ交換
等ヲヤリマシテ、毎年二回總會ヲ開キマシテコレ等ノ研究
ヲナシテ居リマス。尙實行組合ガ各々指導地ヲ設ケテ居リ
マス。サウシテ一般ノ指導ヲナシテ居リマスコトハ、特ニ
實行組合ノ活動ガ目覺マシキモノアリト考ヘラレル點デア
リマス。尙青年學校ハ中心人物ノ養成ニ努メテ居リマスノ
デ、青年中三十二名ノ男子ヲ一ケ年ヲ通ジテ七週間交替ニ
テ宿直セシメテ共同炊事、共同作業ヲナシテ全村ノ模範指
導員トモナルヤウニ耕作地ヲ作ツテ居リマスノデ、精神訓
練ト相俟ツテ農村ノ中堅人物ガコ、デ養成セラレテ居リマ
ス。又尙女子ニツイテモ宿泊訓練ヲナシテ居リマスノデ、
農作物、養蠶等ノ實地指導ヲコ、デヤツテ居リマス。ソノ

成績ニ顯著ナルモノガアルヤウニ考ヘラレマス。新機ニ
青年學校ガ中心トナリ、殆ドソノ村ノ農事ノ研究、農事ノ
指導トイフモノハ青年學校自身ガヤツテ居ルヤウナモノデ
アツテ、通常、學校トカ模範地トカイフモノハ大抵一般ノ作
物ヨリ餘リ秀レタモノトハ見エナイノデアリマスガ、コノ
學校ニ行キマスモウ一見シテ努力ノ跡ガ見ラレマス。或
ハ學校ニ入ルトソノ兩側ノ花壇ノアル處ニ大抵甘藷ヲ作ツ
テ、ソノ甘藷ガ殆ド花壇以上ニ綺麗ニ出來テ居リマス。或
ハ陸稻、水稻等モ一般農家ニ於テ見ラレナイヤウナ立派ナ
出來バエデアリマスカラ、全クコレナラバ一般ヲ指導スル
コトガ出來ルダラウトイフヤウナ感ジガ直チニ浮ンデ參リ
マス。斯ウイフ風ニ青年學校デ三ヶ年間研究ヲシテ愈々成
績ガヨカツタトイフ場合ニハ先程申上ゲマシタ進農會ノ方
ニ移シテ、ソレヲ全村ニ栽培サセルコトノ可否ヲ問ヒマシ
テ、進農會ニ於テヨイトイフコトニナリマスレバ、全村ニ
ソノ種子ガ普及サレ、ソノ農法ガ決定サレルトイフコトニ
ナリマスノデ全クコノ青年學校ガ中心トナツテソノ地方ノ
指導ニ當ツテ居ルヤウナ感ヲ致スノデアリマス。而モコノ
學校ヲ出マシタ處ノ所謂中堅人物ト申スベキモノハ卒業後

三分ノ二ハ地方ニ留ツテ實際農業ヲヤツテ居リマスノデ、
コレ等ノ中堅人物ガ各實行組合ニ配置シテアリマスノデ、
コノ村ノ實績ガ特ニ上ガツタモノデアルト思ハレルノデア
リマス。

次ニハ鹿兒島縣ノ高尾野町デアリマスガ、コノ町ハ耕地
面積ガ全國ノ平均ト同ジ面積デアリマシテ全國ノ縮圖ミタ
イデアリマス。而モ畑地、水田モ全國平均トイフヤウナ處
デアリマス。昨年ト一昨年ハ非常ナ大旱害ヲ受ケタ處デア
リマス、然ルニ本年ハ雨ガ多カツタ爲ニ同地方ニハ非常ニ
幸ヒニナリマシテ、植付ガ順調ニ行ハレ、而モ十四年、十
五年ニ大旱害ヲ受ケテ居リマスカラ、地方ノ人ガ發奮努力
致シマシテ増産ニ努メマシタ結果非常ニ増産ニナツテ居ル
ト思ハレルノデアリマス。尙コノ村デ特ニ申上ゲタイノハ
肥料ヲコノ村ノ地質ニ應ジテ合理的ニ配給シテ一元的ニ配
給スルトイフコトハ特ニ肥料ノ點ニ注意ヲ致シテ居リマス
コトハ増産上效果ガアツタコト、思ハレマス。尙健全苗ノ
育成等ニツキマシテモ相當ノ注意ヲ拂ツテ居リマス。
次ニハ地方ヨリノ希望ノ事項ニツイテ申上ゲマス。
肥料ノ一元的配給、單肥配給トイフ點デアリマス。鹿兒

島縣ハ先程申上ゲマシタヤウニ町村ハ一元的配給ヲ致シテ
居リマス、私ハコノ肥料ノ配給トイフコトニツキマシテハ
農村ノ何處ヘ行ツテモコノ一元的配給トイフコトハ聽クノ
デアリマス。コレハコノ位容易ナコトハナイト思ヒマス。
ヤラナイデハ出來ナイ。農林省ガ本當ニヤラウト思フナラ
バコレハ容易ニ行ハレルト思フ。私ハ産業組合ニ全部ヤラ
セテ、或ハ商業組合ニヤツテシマフトイフノデアリマセ
ヌ。コレハ産業組合ト商業組合ガ縣ニ依ツテ配給組合ヲ作
ルトイフコトニナツテ參リマシテ、仕事ハ産業組合ニ委セ
テ所謂今日一般ニ行ハレテ居リマス處ノ眠リ口錢ヲ商業組
合ニヤレバ兎ニ角一元的配給ハ縣デ容易ニ出來ルト思ヒマ
ス。鹿兒島ハコノ點ニハ努力セラレマシテ恐ラク本年ノ秋
カ、來年ノ春位ニハ縣ニ於テ一元的配給ヲナストイフ意氣
込ミヲ持ツテ居ラレマス。コレハモウソノ指導宜シキヲ得
レバ一元的配給ハ容易ナコトデアリマス。コノ六百萬戸ノ
農民ノ聲ヲ唯ソノ儘聽イテ一元的配給ガ出來ナイトイフコ
トハ、コレハ指導ノ上ニ非常ニ私共ハ物足ラヌ感ジガ致ス
ノデアリマシテ、是非共コレハ地方ノ要望ヲ充タシテ戴キ
タイト思フノデアリマス。資材配給モ一元的ニ配給シテ戴

キタイトイフコトデアリマス。又飼料ノ如キモ産業組合、
商業組合ガヤツテ居リマスガ、鹿兒島縣ニツイテ申上ゲマ
スレバ、三分ノ二ハ商業組合ガヤツテ居リ、三分ノ一ガ産
業組合デヤツテ居ル。而モ非常ニ廣イ面積ニ互リマシテ町
村ニ於テ商業組合ノ配給所ガ僅カ一ヶ所、足袋一足デモ、
タオールツデモ二里モ三里モ行カナケレバ買フコトガ出來
ナイトイフヤウナコトデアリマシテ地方ハソノ點非常ニ苦
痛ヲ感ジテ居リマス。若シコレガ産業組合ニ於テ取扱フト
イフコトニナリマスレバ、各部落ニ産業組合ヲ通シテ配給
致シテ參リマスノデ、コレ等ノ苦痛ヲ免レルコトガ出來ル
ト思ヒマス。コレハ農村ニツイテ特ニ要望ヲ致シテ居ル點
デアリマスノデ注意ヲ致サナケレバナラヌ點デアルト思ヒ
マス。

次ニ農村ノ勞働力ノ確保デアリマス。農村ノ勞働力ガ最
近非常ニ流出致シテ居リマスガ、コノ最小限度ノ勞働力ヲ
確保シナケレバナラナイ。コノ確保ニツキマシテハ大體今
ノヤウニ放任シテ置ケバ或ハ職業指導所、或ハ各工場等カ
ラ相當誘致ニ參リマスノデ常ニ外ニ流レテシマヒマス。從
ツテコレハ少クとも町村長ニ責任ヲ持タシテ最小限度ノ勞

働力確保ノ爲ニハ町村長ガソノ村ノ最小限度ノ労働力ヲ何程ト決メテ、ソレ以上ニ互ル場合ニハ町村長ノ證明ガナケレバ自由ニ出來ナイトイフヤウナ位ニシナケレバ最小限度ノ労働力ヲ確保スルコトハ出來ヌデヤナイカト考ヘラレルノデアリマス。

ソレカラ次ニ助成金デアリマスガ、コノ助成金ガ誠ニ少額デアリマシテ、ソノ一例ヲ申上ゲマス、小麦ノ統制助成金ガ一村一圓、畜力助成金ガ一村二圓、肥料ノ空吠ガ二圓、小麦ノ病虫害豫防費ガ二圓八十錢、増産出荷助成金ガ二圓七十錢、コノヤウナ一圓ヤ二圓ノ金ヲ町村全體ニ與ヘテモ分ケラレナイ、コシナ少額ノ金ヲヤツテモ地方ノ技術員トイフモノハ、十分ナ技術ノ指導ハ出來ナイノデアリマス。斯ウイフコトハ地方ニ於テ非常ニ小言ヲ言ツテ居リマスカラ、コノ補助金、助成金ニツキマシテハ思ヒ切ツテ豫算ノ上ニ考慮セラレマシテ一纏メニシテ地方ニ助成スルトイフヤウナ態度ヲ御取リ下サルコトガ適當デヤナイカト思フノデアリマス。

ソレカラ補助金、助成金ノ交付ノ期日ヲモツト早メルトイフコトデアリマス。町村農會ニツイテ調べ見マス、

麥、押裸麥、ウドンノ價格ト原料價格トノ差ニツイテ考ヘマスレバ、押小麦ノ如キハ一俵ニ對シテ二圓十六錢高イ。裸麥ノ如キモ二圓九十六錢高イ。ウドンノ如キモ一圓六十錢高イ。斯ウイフヤウナコトデアリマシテ、コレハ加工賃ヲ加ヘテ、差引計算シテ所謂純益ガコレダケアルトイフヤウナコトニナリマスノデ、一石當リノ純益ニ致シマスト五圓乃至七圓ニナリマスノデ、麥ノ値段ト加工品ノ値段トガ開キガ餘リニアルノデ、コノ麥加工品ノ價格ニツキマシテハ相當是正ヲシテ載キタイトイフ要望ガアツタノデアリマス。

ソノ他色々ノ要望ガアリマシタガ、大體以上方觀察ノ主ナルモノデアリマス。

次ニ私方觀察ニ依リマシテ感じタコトヲ一、二點申上ゲテ見タイト思ヒマス。

コレハ時局ニ對シテ地方民ハ實際ヲ知りタイトイフヤウナ考ヲ持ツテ居リマスノデ、例ヘバ米ガ不足スルトイヘバソノ不足ノ原因、肥料ガ不足スルトイヘバソノ不足ノ原因トイフモノヲヨク説イテ、地方民ガ夫ナラバドウシテモ増産シナケレバナラヌ。又ソレナラバ肥料モ節約シナケレバ

十五年ノ補助ガ十六年ノ四月ニナツテ一件、十六年ノ五月ニナツテ二十三件、十六年ノ六月ニ八件、年度ヲ經過スルノミナラズ年度ヲ經過シテモ交付スルトイフヤウナ状態デアリマシテ、地方ハ豫算ヲ細ンデ居リマシテモ、ソノ補助金額ガ來ナイトイフコトニナリマス、非常ニ支出ノ上ニモ迷惑ヲ致シマスノデ、交付期日ヲモツト早メテ載キタイトイフコトハ地方ノ最モ要望セラレタ事柄デアリマス。

次ニ農業倉庫ノ増設、補助金ノ増額デアリマス。コレハ現在一坪八拾圓デアリマスガ、實際三百圓以上建築ニカ、ツテ居リマスノデ、ソノ倉庫ノ助成金ヲモツト増額シテ載キタイ。又實際倉庫ハ建ツテ居リマセヌ、コレハ地方ニ農業倉庫ノ増設ノ必要ガアルト思ヒマス。

尙麥類ノ町村内ノ需給ノ緩和、麥種ノ購入、交換ヲシテ載キタイ、コレハ町村農會ガ斡旋シテ載キマセヌト種ノ交換モ購入モナカク、容易ナコトデナイトイフコトニナリマス、耕種ノ改善トイフコトニツキマシテハ困難ヲ伴ヒマスノデ、コノ點ハモウ少シ緩和ヲシテ載キタイトイフコトデアリマス。

尙麥ノ價格ト麥製品ノ價格ノ點デアリマス。例ヘバ押小

ナラヌトイフヤウナ風ニ國民ニ理解セシメテ心カラナル協力ヲ求メルコトガ第一デナケレバナラヌトイフコトヲ痛感致シテ參ツタノデアリマス。

次ニ農村ニツキマシテハ何トイツテモ中心人物ノ養成ガ第一デナケレバナラヌ。指導者宜シキヲ得ルト否トハ先程申上ゲマスヤウニ非常ニ違ツテ參リマスノデ、コノ際中心人物ノ養成ニハ全力ヲ注ガナケレバナラヌト思フノデアリマス。

次ニ町村農會ノ技術員ノ點デアリマスガ、技術員トシテ配置ハ致シテ居リマスレドモ、技術能力トイフ點ニ不十分ナ人が多イノデアリマス。却テ篤農家、精農家ノ方ガ技術ガ秀テ居リマスカラ、技術員養成ノ問題ハコノ際相當注意ヲシナケレバナラヌ點デアルト思ヒマス。尙共勵員ノ人選デアリマスガ、私ガ參リマシタ處デハ實行組合長ガ共勵員ニナツテ居ル處ガアリマス。或ハ農會ノ代表者ガ全部共勵員ニナツテ居ル農會總代ガ共勵員ニナツテ居ル處ガアリマスガ、コレハ自カラ率先シテ耕作デモシテ範ヲ一般ニ垂レルトイフヤウナ人ヲ共勵員ニシナケレバ、唯自カラ耕作モシナイ、又餘リ農業ノコトニツイテハヨク知ラナイヤウナ

人ヲ共勵員トナシテモ實際指導トイフコトハ出來ナイノデアリマスカラ、コノ共勵員ノ人選トイフコトハ嚴選ヲスルコトガ必要カト思フテ參ツタノデアリマス。

尙次ニハ實行組合ノ實地指導所ヲ設ケルコト、實行組合ガ實際作物ヲ作ツテ自カラ指導シテ行クトイフコトヲシナケレバ、唯口先バカリノ指導デハソノ實效ガ擧ガラナイト思ヒマスノデ、實行組合デハ實地指導地ヲ設ケテ、ソレニ技術員ガ指導シテ行ツテ、ソノ實際ヲ見テ増産ノ指導ヲナストイフコトハ最モ效果ガアルコトデアラウト思ヒマス。

次ニハ低位農家ノ引上デアリマス。コレハ最近唱ヘラレテ居ル問題デアリマスガ、農家ノ收穫ヲ増スニハ村ノ平均收量ヲ増サナケレバ、一、二ノモノガ増産致シマシテモ全成績ヲ擧ゲルコトハ出來ナイノデアリマスガ、低位農家ノ引上トイフコトハ大切デアルト思ヒマス。コレハ全面的ニヤツテモノノ效果ハナイノデアツテ、郡ニハ少クトモ低位農家ヲ引上ゲル所ノ模範村ヲ作ツテ、ソレニ主力ヲ注イデ低位農家デアル原因ヲ確メテ、ソレ等ノモノヲ一般ノ水準迄引上ゲテ行クトイフコトデアリマスレバ、下ノ部落ニ行クバ斯ウ全面的ニヨクナツタトイフ事ガ一般ニ知ラレマス

トニツキマシテ、農村ニ十分理解ヲ持タシメタイト思ヒマス。ソレハ一例ヲ申シマスト、コレハ私ガ視察シタ縣デハアリマセヌガ、海岸地デアツテ魚ガ獲レ、サウシテ甘藷ガ非常ニ種レル、ソレデ大抵甘藷ト魚ヲ食ツテ居リマス。コレハ動物蛋白質ヲ魚ニ依ツテ補ヒ、澱分ソノ他ノモノヲ甘藷ニ依ツテ攝ツテ居リマスノデ、不味イヤウデアリマスガコレハ榮養食トシテ百パーセントダト思ヒマス。コレガ又地方ノ健康ヲ維持シテ行ク點デハナカラウカト思ヒマスノデ、甘藷ト動物蛋白質所謂蠶トヲ共ニ食ベテ行ツタナラバ榮養食ニナルトイフコトヲ理解セシメマシタナラバ地方ノ代用食トイフコトモ大分進ンデ來ルト思フノデアリマス。尙ソノ爲ニ消費規正モ自然ニ行ハレルモノト思ハレルノデアリマス。

次ニハ農作物ヲ食糧ノ作物ニ轉換スル場合ソノ理由ヲ明カニシナケレバナラヌト思ヒマス。桑ヲコグノデモ、唯桑ヲコイデ甘藷ヲ作レ或ハ陸稻ヲ作レトイツテモイカヌト思ヒマス。私ノ行ツタ處デモ日米關係、所謂國際情勢ガ緊迫シテ居ルカラモウ蠶ハ要ラナイヂヤナイカ、夫レデ桑ヲコガセルノデアラウ、將來ノ見透ハドウカトイフ事ニツキマ

レバ相當效果ガアル事デハナイカト思フノデアリマス。

次ニ今回ノ視察ニ依ツテ特ニ感ジマシタノハ有畜農業ノコトデアリマス。畜力ヲ利用シテ居リマス處ハ、荒地地モ空閑地モナイノデアリマスケレドモ、人力ダケで行ツテ居リマス處ハ如何ニモ勞力不足ノ點ニツキマシテ非常ニ難儀ヲシテ居ル様デアリマスガ故ニ、有畜農業ノ徹底トイフ事ハコノ際特ニ致サナケレバナラヌコトデアルト思ヒマス。

次ニ農會法ニ基ク處ノ各統制命令、コレハ最近農林省ガ指導サレルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、必ズ實行サレルコト、思ヒマス。計畫經濟ヲナサシメ、或ハ肥料、資材勞力ソノ他共同施設等ハコレハドウシテモ農會法ニ基イテ所謂統制命令ヲ出シテ行カナケレバ容易ニ地方ノ實效ハ擧ガラヌデハナイカト思ヒマスノデ、コノ點ハ特ニ斯様ナコトヲシテ戴キタイト思フノデアリマス。

尙地方ニハ代用食トイツテ居リマスケレ共榮養食ニツイテノ理解ガナイノデアリマス。御承知ノ通り動物蛋白質ガ相當榮養上必要デアルニモ拘ラズコレ等ノ點ニツキマシテノ注意ガ足りナイヤウデアリマス。代用食トイヘバ不味イモノトイフ風ニ考ヘラレマスガ故ニ、私ハ榮養食トイフコ

シテ非常ニ地方デハ心配ヲ致シテ居リマス。ソコデコレハ決シテ桑園ヲ轉換スルノハ將來ニ對シテ増産シナクテモヨイトイフ考デハナクシテ、差當リ食糧ヲ作ラナケレバナラヌノデ轉換サセルノデアルトイフ國ノ方針デアリマスガ故ニ、コレヲ一ツ轉換ノ場合ニハ十分コノ地方ニ諒解セシメルトイフコトガ必要ダト思ヒマス。コレ等ノ點ニツキマシテ、地方ハチツトモ知りマセヌ。ソノ點ヲ十分地方ニ諒解サセル必要ガアルト思ヒマス。

尙私ガ今回地方ヲ視察致シマシタ中ニ先程申上ゲマシタヤウニ或ハ青年學校トカ、或ハ町村長トカイフヤウナ食糧増産ニ功勞ノアツタ人ニツキマシテコレハ表彰サレルガヨイト思ヒマス。コノ表彰ニ依リマシテ、精神的ニモ亦相當效果ガアルコトデアルト思ヒマスガ故ニ、コレ等ノ優良ナル町村トカ、或ハ功勞者トイフモノノ表彰スルトイフ方法ヲ採ラレルコトハ増産上最モ效果ノアルコトデアルト思ヒマス。

以上私ノ視察致シマシタ大體ノ御報告ヲ兼ネテ私ノ意見ヲ申上ゲテ報告ヲ終リタイト思ヒマス。

酒井委員長 ソレデハソノ次ニ北海道ノ第一班トシテ同地ヲ

御視察ニナリマシタ長野君ニ一ツ御報告ヲ願ヒマス。

長野委員 弘ハ九月ノ六日ニコチヲ立チマシテ北海道へ渡リマシテ、石狩、十勝、釧路、根室、天鹽、膽振等ヲ經マシテ其ノ間ニ北海道廳、札幌農事試驗場初メ三ツノ支廳、四ツノ農事試驗場支場、十箇市町村ノ調査ヲ致シマシテ、二十二日ニ歸京致シマシタノデアリマス。

元來北海道ハ内地ト異リマシテ、三町歩乃至十五町歩ノ大農組織デアリマスカラシテ、一人當リ大體水田ナラバ一町歩、内地ハ五反百姓デスガ、畑ナラバ三、四町歩ト云フ割合デ耕作ヲ致シテ居ルノデアリマス。而モソレヲ四月カラ十月迄六箇月間ニ結末ヲ付ケルノデアリマスカラ、並大抵ノ働キデハナイト云フコトガ分リマス。サウ云フ風デアリマスカラシテ農業ハ粗放デス。所ニ依ツテハ掠奪農業ヲ致シテ居リマス。農業ノ種類ハ大體穀類、蔬菜、肥料、肥料ヲ主トシタモノ、ソレカラ混同農業、是ハ菽物ニ畜産ヲ混ゼタ農業、ソレカラ主畜農業、是ハ牛馬ヲ主トシタ農業、ソレニ園藝農業、此ノ四ツニ分ケルコトガ出來ルノデアリマス。サウシテ其ノ生産ハ皆計畫生産ニナツテ居リマシテ、燕麦デアルトカ、小麦デアルトカ、裸麥デアルトカ、大麥

デアリマス。豆類ト玉蜀黍ハ不作デアリマス。水稻ハ十勝、北見、天鹽等ハ穂ガ出タ儘花ガ開イテ居リマセヌ。中央部旭川平野、十勝平野等ニ於テモサウ云フ姿ヲ見マシタガ、北海道廳ハ九月七日以後ノ天候ガ適順ヲ得レバ八分作ハ穫レル然カラザレバ六分作デアラウト云フコトデ、政府ニハ七分五厘ノ作トシテ二百十二萬餘石穫レルト報告シテ居リマシタ。處ガソレガ天候ガ段々ト悪クナリマシテ、九月二十日ノ晩ニハ蝦夷富士ニ雪ガ降りマシテ、段々ト氣候ガ低下ヲ致シマシタノデ、第一回ノ米穀豫想表ニ依リマスルト、百七十三萬九千九百餘石トナツテ居リマシテ、平年作ノ六分デアアル。北海道ニハ尙未開墾水田ガ二十三萬町歩アルト豫定サレテ居ルノデアリマスガ、北海道ノ農業ハ人爲的ニハ如何トモシ難イ。是ハマア全然天候ニ左右サレルノデアリマスルカラシテ、米作ニ依存スルト云フコトハ大ナル誤リデアラウト考ヘルノデアリマス。日照時間ガ非常ニ少イノデアリマス。日照時間ガ少ナケレバ少ナイ程此ノ牧草ト云フモノハ、年中ミズノトシテ居ルノデアリマスルカラシテ、氣候風土ノ上ヨリ天惠豐カナル牧畜ノ地デアルト考ヘマス。尤モ牛馬百萬頭、綿羊三十萬頭ノ計畫ハアルコトハ

一五

デアルトカ、菜種デアルトカ、馬鈴薯、玉蜀黍等ハ出荷供出ノ數量ヲ割當テ、居ルノデアリマス。一年間ナンボ出セト云フ數量ヲ割當テ、居ル。ソレカラビート、亞麻、麥酒用大麥、コップ、イブキ、ヨモギ(伊吹蓬)等ハ作付反別ヲ割當テ、居リマス。ソレカラ、クロバードデアルトカ云フヤウナ、禾本類ノ牧草ハ裁取目標ノ數量ヲ割當テ、居ルノデアリマス。本年ハ既ニ、ソレガ終リマシテ、明十七年度ノ計畫ヲ立ツテ、ソレヲ本年ノ八月ニ道廳カラ各支廳ヘ割當テ、居リマス。支廳ハ之ヲ市町村ニ割當テ、市町村ハ農會、實行組合、産組等ト熟議ヲ致シマシテ之ヲ各戸ニ割當テ、各戸ハ又其ノ引受書ヲ町村ニ出シマス。町村ハ其ノ引受書ヲ編メテ之ヲ支廳ノ方ニ出シ、支廳デ集計ヲシテ道廳ノ方ニ提出ヲシテ、其處デ初メテ明年度ノ生産計畫ハ完了スルト云フ順序ニ相成ツテ居ルノデアリマス。

其ノ割當作物ニ付テ一律デ困ルト云フヤウナ聲モアリマスルケレドモガ、大體ニ於テ成績ハ上々デアリマス。段々進ムニ隨ヒマシテ適作適處主義ガ徹底サレマシテ成功スルモノト考ヘマス。本年ノ作柄ハ麥作、馬鈴薯ハ豐作デアリマス。ビートハ普通作デアリマス。ソレカラ亞麻モ普通作デアリマスルケレドモガ、ナカノ其ノ半分ニモ達シテ居ナイト思ヒマス。北海道ノ農業ヲ達觀致シテ見マスルト、危險ナ米作ニ依存シ過ギテ居ルトカ、或ハ適當ノ牧畜ガ進ンデ居ナイトカ、農業ノ組織ガ誤ツテ居ルトカ云フコトガ如實ニ分ルノデアリマスルカラシテ、北海道農業ハ茲ニ再檢討ヲシナケレバイケヌノデハナイカト私考ヘマス。同時ニ冷害ニ強キ品種ノ改良、農業保險ヲ強化シテ稻熱病ヲモ保險ニ加ヘ、冷害ヲモ保險ニ加ヘル制度ガ必要デハナイカト考ヘマス。

努力ハ不足ヲ致シテ居リマス。ソコデ其ノ不足ノ努力ヲ緩和スル爲ニ播種收穫ノ時ニハ手間替ノ共同作業ヲヤツテ居ルノデアリマス。ソレカラ又學生、生徒、國民學校ノ兒童等ヲモ奉仕作業ガ行ハレテ居リマシテ、是ハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル。茲ニ特ニ注意スベキコトハ商工業ノ有閑勞力ヲ動員致シテ居リマシテ、之ヲ實行組合ガ監督ヲ致シテサウシテ農業ノ手助ケヲ致シテ居ルコトデアリマス。是ハ僅カノ收穫ノ經費ヲ出シマシテヤツテ居リマスルカラ、仕事ニ依ツテハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス。是ハ内地等ニ應用シマシテ、都會ノ人ヲ農村ニ出シテ收穫等ノ

時分ニ加勢セシメル方法ヲ執ツタナラバ非常ニヨイノヂヤ
ナイカト私ハ考ヘマス。

肥料ハ十勝、釧路、根室、或ハ北見等ハ火山灰ノ土地デ
アリマスカラ、是ハ磷酸肥料ヲ用ヒナケレバ作物ハ出来ナ
イノデアリマス。磷酸肥料ノ化學的作用ニ付テハ今日専門
家モ十分ニ分ラナイヤウデアリマスルガ、兎ニ角此ノ火山
灰地帯ハ作物ヲ急ニ肥ラカスト云フ地方ハナイ。ソレデア
ルカラシテドウシテモ過磷酸ガナケレバイケナイ。是ハ嘗
ヘテ申シマスト云フト、自動車ガ止ツテ發足ヲスル時分ニ
ハ多量ノ油ヲ要スル。ソレト同ジ理痛デアル。最初磷酸肥
料ヲ施サナケレバドウシテモ肥リ得ナイノデアリマス。特
ニ北海道ノ如キ僅カナ期間ノ間ニ速成ヲヤラセルノデアリ
マスルカラシテ、ドウシテモ磷酸肥料ヲ施サナケレバイケ
ナイ。是ハ北海道バカリデハナイダラウト思ヒマス。東北
ノ方モ同様デアルト思フノデアリマス。日本トシテハ随分
此ノ點ニハ困リマセウケレドモガ、是ハ一ツ農林省ニ於テ
特別ノ考慮ヲスル必要ガアルノデナカラウカト私ハ考ヘマ
ス。

ソレカラ農業團體ハ實行組合ガ七千アリマシテ、何レモ

最後ニ北海道ノ拓植移民ハ大體ニ於テ堅實味ガナイト、
十分ニ腰ガ坐ツテ居リマセヌ。悪ケレバ他ニ移ル。安ケレバ
故郷ニ歸ル。カウ云フ調子デアリマシテ、到ル處離村者ガ
可成リニ出テ居ルノデアリマス。ソレデハ定住シテ居ル者
ハドウカト申シマスレバ、本當ニアスコニ行ツテ腰ヲ据エ
テ百年ノ計ヲ立テ、住ムト云フヤウナ人ハ其ノ土地々々ニ
應ジタ百姓ヲ考ヘテ、相當ナ成功ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス。今其ノ實例ヲ二ツバカリ御紹介申上ゲマス。十勝ノ大
正村、遠藤太三郎、是ハ家族ガ六人デアアル。働ク者ハ男ガ
一人、女ガ三人、働カザル子供ガ二人デアリマス。家畜ハ
乳牛ガ四頭、種牛ガ一頭、仔牛ガ二頭デアリマス。牝馬ガ
二頭デアリマス。豚ガ二頭、合計十一頭、耕地ハ自作畑ガ
十六町三反デアリマス。昭和十二年カラ十五年ノ四箇年間
ノ收支計算ヲ申上ゲマスルト、農産物ノ一箇年ノ收入ガ四
千百五十九圓、畜産ノ收入ガ二千五百五十三圓、合計六千
七百十二圓、之ニ對スル一箇年ノ經費ガ、農産ガ千七百九
十圓、畜産ガ千六百九十五圓、合計三千四百八十圓デアリ
マスカラ、差引三千二百三十二圓ノ一箇年ニ貯蓄ヲ致シテ
居ル。

三善サンノ御報告ノ通りニ法人化サレテ居リマス。サウシ
テ實行組合ノ役員ト農會ノ役員トガ大概兼職ヲ致シテ居リ
マシテ、市町村ノ農會ハ實行組合ノ聯合會ト云フ氣運デヤ
ツテ居ルノデアリマスルカラシテ、其ノ點ハ可成リ良ク參
ツテ居リマス。

次ニハ農地ノ問題デアリマスルガ、北海道ノ田畑小作料
ハ大體田畑等ニ物納デアツタノデアリマスルケレドモガ、
畑ハ道廳ノ斡旋ニ依リマシテ大體金納ニ變ツテ居リマス。
ソレカラ水田ノ方ハ物納デアリマスルガ、是ハ農地委員會
ノ働キニ依ツテ大體二割五分見當ノ減額ト相成リツ、アリ
マス。小作ト自作ノ關係ヲ申シテ見マスルト云フト、田ハ
五八パーセント小作デアリマス。畑ハ四三パーセント小作
デアリマシテ農地ノ交換分合等ハアリマセヌ。

大政翼賛會ニ付キマシテハ、内地ト同様下部ノ組織ヲ成
ルベク粗ニ致シテ、集合、集會ノ少イヤウニシテ實ヒタイ
ト云フ希望ガ何處ニモアルノデアリマス。北海道内ノ認識
ハ斯クノ如キ事態デアアルカラ我慢スルト云フ時局認識デ、
是ハ十分デナイト考ヘマスルカラ、時々講師ヲ送ツテ一ツ
啓蒙ノ要ガアルト考ヘマス。

北見國興部村ノ小林平太郎、是ハ混同農業ヲヤツテ居ル
ノデアリマス。家族ガ十一人、男ガ二人、女ガ五人、小學
校兒童ガ三人デアリマス。ソレカラ滿洲委託研究生ガ一人、
家畜ガ牡馬ガ二頭、仔馬ガ一頭、種牛ガ一頭、牝牛ガ七頭
豚ガ三頭、種羊ガ二頭、兎ガ二十一頭、雞ガ八十羽、蜜蜂
ガ三群、耕地ハ十三町八反歩畑バカリデス。其ノ中食糧作
物ガ二町二反歩、飼料作物ガ八町一反歩、販賣作物ガ三町
六反歩、年收八千五百圓、其ノ内譯ヲ申シマスルト、生計
費ガ千二百圓、經營費ガ二千三百圓、臨時費ガ建築、ソレ
カラ農具等ノ買入デ二千圓支出サレテ居リマスカラ、差引
三千圓ノ利益トナツテ居リマス。其ノ他詳シイコトハ只今
御手許ニ報告ヲ差上ゲテ置キマシタカラ、ソレヲ御覽願ヒ
タイト思ヒマス。是デ私ノ報告ハ終リマス。

酒井委員長 次ニ同ジク北海道ノ第二班ノ御報告ヲ山本サン
カラ願ヒマス。

山本委員 私ハ北海道ノ大體中部、即チ空知、上川、ソレカ
ラ雨龍、三郡下ノ優良町村ヲ調査シテ參ツタノデアリマス
北海道農業ノ内容ニ付テハ只今長野君ヨリ御報告ガアリマ
シタガ、大體ソノ通りデアリマス。私カラ蛇足ヲ加ヘル必

要ハアリマセヌ。長野君ノ御報告ヲ其ノ儘引用致シマシテ
私ノ報告ニ代ヘマス。ドウゾ左様御諒承願ヒタイト思ヒマ
ス。唯私ガ調査致シマシタ各町村ヲ通ジテ感ジマシタコト
ト、農民ノ異口同音ニ要望セラレル一、二ノ點ヲ極メテ簡
單ニ御報告申上ゲテ下情上通ノ資ニ供シタイト存ジマス。

私ノ調査シマシタ町村ハ北海道中ニ於ケル最優良町村栗
澤村、岩見澤町、妹背牛村、永山村、ソノ中デモ栗澤村ト
云フノハ北海道一ノ優良町村デアリマシテ、コレハ北海
道農業ニ全國カラ調査ニ來タ場合ニ北海道産デ、マア行ツ
テ栗澤村ヲ見テ居ラツシヤイ、何モ彼モ直グニ分リマス
言ハレテ居リマス。ソコデモウスツカリ村ノ關係者ハ副レ
テ居リマシテ、調査ガ來ルトスツカリ説明ノ材料ヲ、村政
ノ内容、ソレカラ今日迄ノ優良町村ニナラシメタ事情等ニ
付テノパンフレット、サウ云フモノヲスツカリ拵ヘテ置キ
マシテ、ソレニ基イテ説明サレルノデアリマスガ、ソノ説
明ヲ聽イテ見マス、別ニコレト言ツテ取立テ、申上ゲル
ベキコトハゴザイマセヌガ、唯私ガ非常ニ面白ク感ジタノ
ヲ申上ゲヨウト思ヒマス。町村、殊ニ農村ヲ優良ナラシメ
ルハ否カノ分岐點ハ町村ニ政等ヲ根絶スルコト、ソレヲ真

間滞在ノ餘裕ガナイノデ私ハ恐縮致シマシテ、ドウモナン
トモ豫定ガアリマスノデ、實ハサウ云フ餘裕モゴザイマセ
ヌ。切メテホソノ抽象的デヨイカラ今後ニ於ケル町村指導
ノ物指ニナルエキスダケデヨイカラ話シテ呉レト申上ゲタ
處ガ、ソノ本田氏ガ曰ク、先程申上ゲタヤウニ町村ヲ立派
ナ町村ニ仕立テ、行ク第一ノ要諦ハ對立抗爭ヲ絶滅スル
コトダ、コレハモウ村ノ指導者ガ如何ナル犠牲ヲ拂ツテモ
對立抗爭ヲ絶滅スルト云フコトガ第一條件デアル。ソレカ
ラ第二ノ要諦ハ町村會初メ如何ナル會合デモ多數決ヲヤラ
ヌト云フコト、總テ話合ヒデヤル。最後ノ形式ハ町村制ニ則
ツテ滿場一致ト云フ多數決デ決ツテ行クケレドモ、實際ハ
總テ話合ヒデ決メテ行ク、私ノ村デハ如何ナル重要ナ村會
ヲモ一時間以上掛ツタコトハアリマセヌ。サウ云フ風ニ仕
向ケテ行クノデス。コレガ第二ノ要諦デアリマス。第三ハ
指導ノ立場ニ立ッ人ガ口先ダケデア、セイカウセイト言ウ
テモ一般大衆ハ動カヌ。私共ハ一ツノ問題ヲ決メテ行クニ
モ一週間モ十日モ役場ニ泊ツテ本當ニ文字通り寢食ヲ忘レ
テ、サウシテア、シヨウカウシヨウト云フコトヲヤツテ來
ル状態デアル。サウ云フヤウニ指導者ノ立場ニ立ッ人ハ本

向ニ振舞シテ説明サレテ居ルノデアリマス。町村ガ優良ニ
ナルカナラザルカノ岐レ目ハソノ町村内ニ於テ對立抗爭ヲ
スルカシナイカコレデ分レルノダト、栗澤村ノ如キハ村ガ
獨立シテ居ナイ。御承知ノ通り北海道ハ乙ト甲ト分レテ居
リマスガ、任命町村カラ選任町村ニ變ツテ行クノデアリマ
スガ、ソノ初メカラ今日迄私ノ村デハ政黨的ナ、派閥的ナ
抗爭ハ一切村内ニ閉出シラ喰ハシテ入レテ居リマセヌ。而
シテ村長ハ前村長ガ六期、現在ノ村長ガ四期、繼續二人デ
十期村長ヲヤツタ。サウ云フ事實ヲ聽カサレテ、ソノ村ノ
産業組合長デ本田ト云フ人デアリマスガ、コレハ北海道ニ
於ケル有名ナ産業組合ニ於ケル元老デアリマスガ、ソノ本
田氏ガ私ニ説明シテ言フニハ、栗澤村ガ優良ニナツタコト
ヲ聽キタケレバアナタハ何日此處ニ御泊リデスカ。イヤ實
ハ何日ト云フ程ノ餘裕ハナイノデスガ、マア今晚一晩位ハ
ユツタリ話ガ聽ケルノデス。ソレデヤ駄目デス。マア切メ
テ一週間御泊リニナルナラバ其ノ間ニ私ノ村ガ今日迄叩キ
上ゲタ詳シイ話ヲ申上ゲマセウ。サウスレバ一々御分リニ
ナリマスカラ、ソレヲ御持子歸リニナツテ將來指導ノ物指
ニナサツタラ如何デアリマセウ。斯ウ云フ話デ、實ハ一週

當ニ寢食ヲ忘レテ村ヲ如何ニシテ優良ナラシメルカト云フ
コトノ努力ヲ拂フ外ニ途ハナイノダト云フコトヲ言ハレル
ソレガ第三デアリマス。ソレカラ第四ハ國民教育ト村ノ指
導者トガ常ニ一致結束シテ子供ノ中カラサウ云フ氣持ヲ持
ツテ行カナケレバイケナイカラ、學校ノ先生ハ學校ダケ、
役場ハ役場ダケト云フヤウナ一般的ナ町村行政デハ駄目ナ
ノダ。本當ニ陣然一體トナツテヤツテ行クト、次々ト若イ
者ガサウ云フ心持ニナツテ行クカラ段々良クナツテモ惡ク
ナリツコハナイノダト、ソレカラ第五番目ニハ農民デナイ
者ガ農村ヲ指導スル事ガイケナイ。自分ハ商賣ヲシテ居テ
ソレデ百姓ノ指導ヲスルト言ツタツテ、ソレハ本當ノコト
ガ出來ルモノデヤナイノダ。得テシテサウ云フ者ガ農村ヲ
振廻シテ對立抗爭ノ原因ヲ作ルノダ。ダカラ體驗ヲ有ツタ
者ガ、農村ヲ指導スルト云フコトノ建前デ行カナイトイケ
ナイ。カウ云フヤウナ大體話ヲサレテ、栗澤村ガ今日ノヤ
ウニ、私共ハ自分デ優良ト思ツテ居ラヌケレドモ道廳デハ
常ニ私共ノ村ニ行ツテ見テ來イト言フノデ人ガ毎日ノヤウ
ニ來テ居リマスガ、マアコレダケ申上ゲルト大抵御分リデ
セウトカウ云フコトデアリマシタ。コレハ北海道ニ限リマ

セヌ。我が全國ノ最近ニ於ケル町村自治行政ヲ大觀致シマ
スト、取ツテ以テ範トスルニ足ル點ガ大變多イと思フノデ
アリマシテ、本會ニ於ケル覽覽運動ヲスルニ當ツテモコレ
等ノ點ヲ餘程玩味セラレテ參考ニサレルコトガ必要デハナ
イカト痛感致シマシタ。

ソレカラ尙特ニ御報告申上ゲタイと思ヒマス點ハ、私ノ
參リマシタ町村デ異口同音ニ申サレマスガ、農村ノ勞力問
題ト云フコトデアリマシテ、最近ニ於ケル北海道ノ勞力問
題ハ先程モ長野君カラ御報告ガアリマシタヤウニコレハ一
北海道ダケチヤナイと思ヒマスガ、農村ノ勞力力ガナント
言ツテモ他ノ筋肉勞働ノ方ニ移動致シマシテ非常ニ不足ヲ
來シテ居リマス。此ノ儘デハ一面一杯ニ耕作シテ居ル。稍々
大農耕作ニ近イ北海道デハ到底農耕地ヲ維持スルコトハ困
難ダ。夫婦掛向ヒテ大體三町歩ト云フノガ大體北海道ノ基
準農耕デアリマシテ、夫婦二人キリデ三町歩作ツタ。ソレ
ハ水田ヲ主トシタ農業デサウナツテ居ル。況ヤ畑作ヲ中心
ニシタ農業デハソレ以上ノ耕作地ヲ持ツト云フコトハ當然
デアリマス。到底内地ノ面積トハ比較ニナラヌ。勿論北海
道ハ一毛作デアリマスカラ、田畑共ニ一年一回デアリマス

働カデス。ソレガ日曜若シタハ自分ノ非番ノ場合ニハ進
デ町内會カラ百姓ニ出テ來テ、サウシテ田ノ草ヲ取り田植
ヲ手傳フ。播種ヲ手傳フト云フヤウナコトデ、コノ市街地
勞働力ノ利用ガ隣組部落會ヲ通ジテ、實ニウマクヤツテ居
ル。ソノ間ニ一點ノ非難ヲ述ベルヤウナ人モナシニヤツテ
居ル。コレハ指導者ノ指導ノ仕方モヨクツタシ組織モウマ
ク行ツテ居ルノデセウガ、今日北海道ノヤウナ乾地農業ノ
地帯デハ御承知ノ通り七色ノ飯ヲ食ツテ居ルノデアリマシ
テ私ガ行ツタ所モ三色飯デアリマシテ、色シナ物ヲ入レテ
食ツテ居ル。サウ云フ所カラ來タ、即チ切實ニ感ジタ所カ
ラ勤勞奉仕ト云フノガモウ一種ノ國家觀念トナツテ、國家
意識ニナツテ、カウスルコトガ國家ノ食糧問題ニ寄與スル
ノダト云フヤウナ所進行ツテ市街地勞働力ガ農業勤勞奉仕
ヲ欣ンデスルト云フ狀況ニナツテ來タト私ハ思フ。コレハ
餘程今後考ヘルベキコトデアツテ、コレガウマク行クト私
ハ今日農繁期ニ於ケル農村ノ勞力問題ハモウ何等ノ不安ガ
ナイ。日本ノ農村ノ勞働力ニハモウ何等ノ不安ガナイ。カ
ウ云フ感ジヲ得タノデアリマス。コノ點ハ一ツ特ニ力ヲ入
レテ御報告申上ゲタイ。

カラ、内地ノ二毛作、或ハ三毛地ニ比ベマストサウ大變廣
イ耕地面積トハ言ヘナイノデアリマスガ、併シ面積ガ廣イ
ダケニ勞働力ガ必要ニナツテ來マスカラ北海道ノ勞力問題
ハ特ニ重要ダと思フノデアリマス。ソコデ現在ヤツテ居ル
コトヲ見マシテ私ガ取ツテ以テ範トスルニ足ルト思ヒマス
ノハカウ云フコトナンデス。農民ノ勞働力ハ減ルバカリデ
ドウニモ仕方ガナイノデ、ソコデ各優良町村デ眼ヲ付ケタ
ノハ、稍々市街地ガカツタ所ノ農民以外ノ勞働力ニ眼ヲ付
ケテ、其處ヘ例ノ隣組部落會ヲ利用シテ、殆ド最近ハ半強
制的ニタンポニ引ツ張り出シテ必ラズ一家一人出ルト云フ
コトニシテ始メタ。マダタンポノ中ニ足ヲ入レタコトノナ
イヤウナ御婦人方ガ初メハブツ／＼言ヒナガラ入ツタサウ
デアリマスガ、昭和十四年、十五年トヤツテ今年ニナツテ
見タラ、モウドウシテモ百姓ノ方ニ食糧ヲ作ツテ貰フヤウ
ナ途ガナイノダト、コレハ百姓ノ爲ニヤルノヂヤナイノダ
ト、私共ノ食物ニヤルノダト云フコトガ段々認識サレテ來
タ爲ニモウ欣ンデモンベヲ拵ヘテ田ノ草取ニ迄入ル。殊ニ
鐵道従業員ナドハ、御承知ノ通り北海道ノ農村デハ鐵道從
業員ガ其ノ部落ニ於ケル停車場ノアル所ニ行ケバ大ナル勞

ソノ次ニ勞力問題デ感ジマシタ事ハ學校生徒、兒童ノ勤
勞奉仕デアリマス。コレガ實ニ空知郡デアリマシタガ――
コレハ道廳一體ニナツテ居ルコトデアリマスカラ一空知郡
ダケデハアリマセヌ。北海道全體ノコトデアリマスガ、モウ
來年度ノ勤勞奉仕ヲ本年度ニ計畫立テマシテ來年ノ種ヲ播
ク時分ニハドコソコノ町村ニハドコノ學生ヲ何十人ヤルト
カ、ドコソコノ村ニハ農繁期ニ何百人ノ生徒ヲ送ルト云フ
計畫ヲスツカリ立テ、居リマシテ、ソレノ計畫ヲ學校長、
受持訓導等トスツカリ協議ヲ遂ゲテ、大體國民學校ノ五年
生以上、中學校、女學校、農業學校、專門學校、大學ハ勿論
有ラユル學生、生徒兒童ヲ總動員致シマシテ大體四十日ヲ
目標ニシテ勤勞奉仕ヲサシテ居ル。コノ勤勞奉仕ガ最初ノ
年ハカウ云フ面白イ話ガアル。學校長ノ所ニ父兄ガヤツテ
來マシテ、怪シカラヌヂヤナイカ、私ハ百姓ヲサセル爲ニ
商業學校ヘ入レタノヂヤアリマセヌ、算盤ハジク手デ田ノ
草取ラセテ私ノ子供ハ家ヘ歸ツテ來テ二日寝マシタ、ア、
云フコトヲサセテ置クノデハ學校ニ入レテ置クコトガ出來
マセヌト云フ苦情ガ相當アツタ。校長先生ハ困ツテシマツ
テ國家觀念カラ諄々ト説イタガナカ／＼ウマク行カナイ。

ソコで最後ニ考ヘタノガ、學籍簿ヲ校長室ヘ置イテヲイテ、父兄ガ文句ニ來ルトソノ學籍簿ヲ渡シテ、ソレデハ學校ノ教育ノ趣旨ト云フコトヨリモ今日ノ國家觀念カラ私ノ所ニ入レテ置ク譯ニ行カナイノデスカラト、カウ言フト、今度ハ父兄ガ困ツテシマツテ、サウ云フ意味デヤナイノデスト校長先生カラ離レテ教頭ノ所ヘ行ツテナントカ校長先生ニ謝ツテ下サイ、ドウカ學校ヘ置イテヲイテ下サイト云フヤウナコトデ、モウ今日學生、生徒ノ勤勞奉仕ニ付テ殆ド非難ハナクナツタ。コレハ非難ガナイノガ當リ前ナンデアリマスガ、何モドイツノ青年ガ大箇月間ノ自由勞働ヲシテ居ルカラソノ眞似ヲシロト言フノデヤナイケレドモ、兎ニ角一ツノ國家觀念ヲ通ジテ大地ニ足ヲ踏ミ付ケテコレカラノ青年ヲ仕立テ上ゲナケレバナラヌト云フコトハ分リ切ツテ居ルノデスカラ、如何ナル職業ニ従事スル者モ兎ニ角勤勞奉仕ヲスルト、而モソノ勤勞奉仕ガオザナリナ遊ビ的ナコトデナシニ、ソレガ直チニ食糧増産ノ方ヘ仕向ケテ行ク。如何ニ農業ト云フモノガ大事ナモノデアルカト云フ觀念ヲ植エ付ケルト同時ニ、又一般ノ農民ニ對シテモ、國家ガコレ迄百姓ニ對シテ關心ヲ有ツテ呉レルノカト、兩々相俟ツ

テ食糧増産ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ルト思フノデアリマシテ、コノ學生、生徒ノ勤勞奉仕ニ付テハ全國的ニ一ツ統一ノアル體制ヲ整ヘテ行クコトガ、必要デアルト存ジマス。ナゼサウ云フヤウニ申スカト言フト、サウ云フ風ニヤツテ居ル北海道ノ父兄ノ聲ヲ聽クト、勤勞奉仕ハ至極贊成ダトモウ段々好クナツテ來タ。大賛成デアリマス。ケレドモ私ノ子供ハ中學校ダケデ終ルノデヤアリマセヌカラ、北海道ダケ四十日モ五十日モ勤勞奉仕ヲシテソレダケ學校ノ時間ガ潰レテ行ク。處ガ他ノ都會地デハ一週間カ十日位シカヤラス。サウ云フ場合ニ高等學校ノ試験ヲ受ケルト云フヤウナコトニナツタ時ニ、學力低下デ追ツ拂ハレルト云フヤウナコトガ懸念サレマス。ダカラカウ云フコトハ一ツ全國的ニ統一シテ、ドコノ學生、生徒モ四十日ナラ四十日、五十日ナラ五十日ト云フ勤勞奉仕ヲスルト云フコトニ統一シテ實ヒタイ。コレハ無理モナイ意見ダト思ヒマス。學生生徒ノ勤勞奉仕ヲ通ジテノ國民精神昂揚ト言フカ、食糧増産ニ寄與サセルト言フカ、サウ云フ目的ヲ以テ今後ヤル場合ニコレハ餘程考慮スベキ問題ダト痛感シテ歸ツテ参リマシタ。

ソレカラモウ一ツ特ニ御報告申上ゲタイト思ヒマスルコトハ、カウ云フ聲ニ聽クノデアリマス。コレハ速記ヲ止メテ載キタイト思ヒマス。(速記中止)
モウ一ツ御報告申上ゲテ置キタイコトハ、農産物ヲ統制シテ配給會社ヲ拵ヘル。コレハ色々ノ點ニ付テ色々ナモノガ出來テ居リマスガソレガ農村ノ農民カラ買上ゲル價格ト消費者ノ口ニ入ル價格ト値段ガ餘リニ開キ過ギルノデ、コノ點ニ付テハ非常ニ不平等アル。例ヘバ事實ヲ申上ゲルト馬鈴薯デス。馬鈴薯ハ御承知ノヤウニ今年ハ北海道ハ大豐作デアリマシテ、反當リ大概四、五十倍獲ツテ居リマス。其處ヘ今度芋類統制會社ガ出來テ、庭先相場ガ一圓八十錢ソレカラ譯渡ノ價格ガ二圓四十何錢、消費者ノ口ニ入ル價格ガ四圓何錢、サウスルト買ツテ食フ方ノ値段ハ倍棒ナ價格ニナリマシテ、從來ヨリ五、六十錢高イノデス。農民ノ賣ル方ハドウカト云フト、六、七十錢從來ノ相場ヨリモ安クナツテシマツタ。ソコデ非常ナ不平等ヲ懷イテ居ルノデス今迄ト同ジ値段デ買ツテ、サウシテソレヲ安ク消費者ニ分ケテ呉レルト云フナラ結構ダケレドモ、百姓ダケ叩イテ、サウシテ一般ノ食フ方ハ高イモノヲ買フテ食ハナケレバナ

ラヌ。統制會社デヤナクテ手數取會社デヤナイカ、ソノナ範棒ナ會社ハ、眞ツ平ダト云フヤウナ不平等非常ニ多イノデ、コレハ計算ヲシテ行クトカウ云フ風ニナルノデスガ、コレハ餘程注意スベキデヤナイカト思フノデアリマス。ソレカラソノ問題ハ馬鈴薯ダケデヤナクテ木炭ノ問題モ同様デ、木炭ノ生産費ト消費價格トノ間ニ相當帳面上ノ經費ト云フモノガ殖エテシマフ爲ニ相當高クナル。其處ニ生産者ト消費者ノ間ニ餘リニ開キガアルト云フコトハ、生産加工ノ上ニ重大ナ影響ヲ及スト云フコトヲ一ツ御考ヲ載キタイノデアリマス。
ソレカラ最後ニ私が觀察致シマシタ中デ特ニ農民ノ聲トシテ御報告申上ゲテ置カナケレバナリマセヌコトハ、カウ云フ聲デアリマス。殊ニコレハ東北、北海道、關東以北ノ農村ニ特ニ重要ナ問題ダト思ヒマスガ、有ラユル國家事業ニハ國家ガ相當大ナ保證、若シクハ獎勵金ヲ出シテ居ルサウシテソノ事業ノ最低限度ノ危險ヲ負擔シテ呉レルト、然ルニ農業ニ關スル限り自然ト云フ不可抗力ヲ相手ニシナガラ食糧問題ノ解決ニ努力シテ居ルノニ、天災若シクハ稻熱病ノ不可抗力ノ病害等ニ依ツテ本年ノ如キ大凶作ガ來テ

モヤウノ、租税ヲ免除スル位ノ程度ノコトデ何等コレニ對スル國家保證ガナイト云フノハ一體何事ダト、第一線ニ於テ働クノモ農業ノ第一線ニ立ツテ働クノモ同ジコトヂヤナイカ、コレニ對シテ國家ガ最低限度ノ生活ヲ保證シテ呉レナケレバ困ルト云フ聲ガ相當ニ強イ。コレハ戰時デアラウト農業ノ事業危険ニ對スル國家保證ヲ確立シロト云フコトデス。即チ農業保險ノ擴大デアリマス。私ハソレニ對シテ今日日本ノ國策ガ農工商工從ノ最高國策ニ向ヒツ、アルノダカラ、適時ソレ等ノ問題ハ解決サレルト思フ。殊ニ農業保險ノコレヲ國營化シテ所謂損害補償保險ニ迄コレヲ持ツテ行クト云フコトハソノ必要性ハ何人モ認メテ居ルノダカラ、ソノ農業保險制度ノ確立ニ依ル農業危險ノ國家保證制度ガ確立セラレルト思フカラマア一ツ我慢シテヤツテ行ツテ實ヒタイト云フコトデ、慰撫シテハ參リマシタケレドモサウ云フ聲ハ相當ニ強イノデアリマシテ、ソノ結果ガ延イテ以テ離村者ノ増大トナリマシテ、私ノ見タ優良町村ヂサヘモ六百町歩ノ不耕作地ガ出來ルト云フノデ非常ナ恐慌ヲ來シマシタ。ソレヲマア有ラユル角度カラ部落會、町内會ヲ總動員シテヤリマシタ結果ソレガ三十町歩ニ減ツタ。ソ

ノ三十町歩ヲ、モウ一ツ不耕作地ニシテヤナラヌト云フノデ、コレヲ今度共同經營ニシテ漸ク植付ケシテヤツタ。此處デ面白イ話ガアルノデスガ、共同經營ヲヤツテ居ル。幸ヒ私ノ見タ所デハ大體本年度ニ於キマシテモ九月一杯霜ガ降りマセヌデシタカラ七分作位ニ米ハ穫レル。地主ノ方ハホソノ御禮程度デ濟ムノダサウデアリマス。ソコデ市街地ニ於ケル勤勞率仕ヲシタ諸君ニ切メテ二升デモ三升デモ純綿ノ白米ヲ供給シテ有難カツタト、御蔭デ國家ノ爲ニ不耕作地ガ出來ナイデ全部植付ガ出來マシタ。一ツ味ハツテ見テ下サイ。病人デモ出來タラオ粥ニデモ煮テ呉レト御禮ヲヤリタイノダケレドモ、今日ノ米穀管理ノ國家ノ建前カラ行クトサウ云フコトガ出來ルモノデゴザイマセウカ、ドウシタモノデゴザイマセウカトソノ點デ頭痛鉢巻デアル。コノ位ハ大目ニ見テヤラナケレバ世ノ中ハ持チツ持タレツナシタカラ、頻リニ村長苦ニ病ンデ居タノデスガ、サウ云フヤウナ譯デ漸ク離村者ヲ防止シ不耕作地ニ努力ヲ拂ツテ居ル涙グマシイ實情ヲ見ルト、全ク農業ニ對スル不可抗力ノ危險ヲ國家ガ何等カノ制度デコレヲ保證スルト云フ建前ニ最高國策ヲ立テ、行カナイト、私ハ今日農村ガ惠マレテ居

ルトカ、懷口工合ガヨイト云フヤウナ上ズツタ考デ農村ヲ考ヘルト云フコトハ非常ニ間違ツタコトデアルト思フ。コレハ面白イ實例デアリマスガ、北海道ノ相當有力ナ百姓デアリマスガ、屯田兵デアリマシテ、長イコト北海道ニ居ツタガ北海道デドウシテモヨク先へ一步モ出ラレナイト云フノデ折角持ツテ居ツタ五町歩程ノタンボヲ人ニ入レテ流浪生活ニ飛出シタ。コレハ大阪ノ人ナノデスガ、九州ニ渡リ、臺灣ニ渡リ有ラユル所ヲヤツテ結局ウマク行カナイデ五十六歳トカデ北海道ヘ歸ツテ來テソノ五町歩ヲ取返シテ又百姓ヲ始メタ。五年間ニ私方統計取ツテ見ルト、丁度私ノ自作農デ年ニ百圓宛喰込ミマシタ。丁度五年目デ五百圓喰込ミマシタ。コノ收支計算ハ私ノ農業家計簿ヲ見レバ一目瞭然デス。コレヲ土臺ニシテ考ヘテ下サイ。コレヲ考ヘタラ百姓ガ儲ルトカドウトカ云フコトハ、農産物ガ右カラ左ニ金ニナルカラ今迄ヨリモ比較的金廻リガヨイト云フコトハ官ヘルケレドモ、總體的ニ農民ノ家計簿ヲ見ルト先ニ出ラレナイ。現ニ北海道邊リデ信用組合カラ借金ヲシテ居ナイ者ハアリマスमित、カウ云フコトヲ官ハレタ。コレ等ノ點カラ考ヘテ見テモ農村ノ離村防止ト官フカ、農民ヲ

大地ニ足ヲ踏ミ付ケサシテ、一ツシツカリヤルト云フノニハ農業國家保證制度ト官フカ、危險保證ノ制度ヲ立テ、農民ノ最低限度ノ生活ヲ保證スルト云フコトハ一ツ國策樹立方私ハ必要ヂヤナイカト思フ。コレハ各優良町村デ聽イタ聲デアリマスノデ特ニ御報告申上ゲタ次第デアリマス。時間ガアリマセヌカラソレ以上申上ゲマセヌ。最後ニモウ一點ダケ申上ゲマスガ、ソレハ自作農ノ問題デスガ、コレハ北海道ニ於キマシテハ不在地主ガ多イノデアリマス。北海道開發當時カラ今日迄ノ間ニ相當大ナ農作地ガ資本家系統ノ手ニ入ツテ居リマス。ソレガ今日開發サレテ農耕地ニナツテ居リマスルケレドモ、小作料取ル時ダケヤツテ來テアトハ全然其處ニ居ラナイノデアリマスカラ、土地ノ所有者ト小作人トノ間ニ何等ノ繋リガナイノデアリマス。ソノ爲ニコレヲ開放サセテ自作農ニシヨウトシテモナカク、其處ニ困難ガ伴ツテウマク行カナイ。町村ノ理事者ノヤリ方ニ依ツテハ多少地主モ目ガ覺メテ開放サレタ所モアツテ、相當自作農ニナツテ行ツタ所モアリマスルケレドモ、マダ先程總體的ニ長野君ガ説明サレタヤウニ殆ド半分以上モ小作地デアルト云フ始末デアリマスカラ、私

ハ北海道農業ニ限ラナイ。コレハ全國的ノ問題ダガ、コノ農民ニ有機的ニ農耕地ト結び付ケルト云フ方策ニ付テハ、コレハコノ際特ニ注意ヲ拂ツテ行カナイト農村ノ離村防止ハ困難ダト思フ。九州若シクハ四國、關西地方ノ天惠ニ恵マレタ所ハ、コレハ農業デモ相當收益モ擧ゲラレマセウ。又天災モ少イカラ從ツテ多少ノ災難ガアツテモ切抜ケルコトガ出來ル。處方關東以北ノ東北、北海道ニ掛ケマシテハ、コレハ私共ノ關東地方デサヘモ五年ニ一過災害ガ來ルト五年間ノ儲ケハベシヤンコト言フノデス。カウ云フ所カラ考ヘルトドウシテモ本當ニ農民ヲ救済スル策トシテハ、農耕地ヲ農民ニ與ヘルト云フコト、危險ヲ國家ガ保障スルト云フ制度ノ確立ガ今日特ニ必要デハナイカ、カウ云フ風ニ痛感セラレルノデアリマス。コレデ大體私ノ抽象的ナ御報告ヲ終ルノデアリマスガ私ハ一ツ北海道ノ農民ニ代ツテ御願ヒ申上ゲタイコトハ、先程長野君ノ御報告ニナリマシタアノ地方ノ收穫皆無、私ノ見タ所ガ大體六分作乃至七分作、ソコデ農林當局ノ發表ニ依ルト百七十萬石、私ハ甚ダ残念ナガラ、農林當局ノ發表ヲ信用シナイノデアリマセメガ私ノ見テ來タ所デハ百四十萬石ヲ出ナイヒヨットスルト百

二十萬石——四分作程度ニシカ行カナイノヂヤナイカト私ハ見テ參ツタノデアリマス。コレハ各農事試驗場デ試作シタ稻ヲ調査シテ、優良町村モスツカリ成熟シ切ツタ稻ヲ見テソノ中ニアル概ノ數ヲスツカリ勘定シテ、コレデコノ概ガアルノデアリ推シテ知ルベシ、計算シテ見ルト、北海道廳ノ報告ガドウナツテ居ルカ知リマセメガ、百七十萬石ハオロカ百四十萬石位シカナイ。惡クスルト百二十萬石位シカナイ。カウ見テ居ル。サウスルト北海道ノ農業問題ノ如キハ以テ他山ノ石トスルニ足ルノデアリマシテ、所謂作物規正ノ問題デス。稻タンボンダカラ稻ダケ作ラナケレバナラスト云フコトデ行クト北海道農業ハヒヨットスルト潰レルカモ知レナイ。今タンボンナツテ居ル所デモ灌溉用水ヲ引イテヤツテ居ルノデスカラ、水サヘ掛ケナケレバ全部畑ニナル。サウ云フヤウナ水田ニ不向キナヤウナタンボンダノ如ク知ニシテ、サウシテ馬鈴薯ナリ大豆ナリソノ他ノ作物ヲ作ツテ行クトニシテ、何ヲ苦ンデ作物規正アタリテ道廳邊リガヤカマシク言ツテ、タンボン畑ニシチヤイケナイト、カウ云フコトデ行ツテ居ルノデス。コレハ一種ノ拘子定規デアリマセウ。大分コレニ付テノ非難ハ多イ。私ノ

見タ所デハ主トシテ水稻作付ノ所モ見テ居リマスカラ尙サウ云フ感ガ深イ。半分カ三分ノ一ヲ畑ニシタイ。サウスルト却ツテ農業經營ガ圓滑ニ行クノダト云フ論ヲ立テ、モ道廳ガ承知シナイ。ソレハタンボンハ田圃デナケレバイカヌ。稻ハ作ラナケレバナラスト云フコトデドウシテモ言フコトヲ聽イテ與レナイ。サウシテ行クト毎年危險ヲ持ツテ行カナケレバナラナイト云フコトモ考ヘテ行カナイト北海道ノ食糧問題ト云フモノハ自給自足出來ナクナツテシマフ。作付規正ノ問題ニ付テモ相當實際ニ即シタコトヲ考ヘテ指導シテ行キマセメト、唯主タル食糧品ノ米ヲ確保シタイ、麥ヲ確保シタイ、大麥ヲ確保シタイト云フコトダケデ、作付規正ヲ餘リニ事實ニ即シナイコトヲヤツテ行クト云フトサウ云フヤウナ病害、冷害ソノ他ノ災害ニ依ツテ勞シテ效ノナイ結果ヲ來シテシマフト云フコトモ特ニ考ヘナケレバナラス。コレ等ノ點ヲ特ニ一ツ御憂慮ヲ願ハナケレバナラスト存ジテ、北海道ノ農民ノ聲ヲ聽イテコレハ成ル程尤モナ話ダト思ウテ御報告申上ゲタ次第デアリマス。コレデ私ノ報告ハ終リマスガ、アトハ各町村ノ色々希望ヤ何ヤラ二、三アリマシタノデ、報告書ノ中ニ極ク簡單ニ北村君ニ掛ヘ

テ貫ツテ書イテ置キマシタカラ、ドウゾソレヲ御參考ニ御覽下サレバ大體ノ所ハ分ルダラウト思ヒマス。以上デ私ノ報告ハ終リマス。

酒井小委員長 次ニ東北地方ニ付テ岡田君ニ御報告願ヒマス岡田委員 時間ガ迫ツタヤウデアリマスカラ私ハ極ク振攝ンデ概略ダケ申上ゲルコトニ止メタイト思ヒマス。

私ハ山形、秋田ノ兩縣ニ參ツタ譯デアリマス。コノ兩縣ハ御承知ノ通り先般井野農林大臣ガ特ニ東北地方ヲ巡視セラレマシテ、殊ニ山形、秋田ノ兩地ニ付テハラヂオナドデ盛ニ放送サレマシテ、第一作況ハ非常ニ好イト云フコトヲ申サレマシタ。第二ニ又米作ニ對スル異常ナ努力ガ拂ハレテ居ツテ感服ニ堪ヘナイト云フコトデ廣ク天下ニ紹介サレマシテ、如何ニモソノ通りデアリマシテ、殊ニ私ガ參ツタノハ九月ノ八日カラデアリマスカラ、恰モ殘暑ガ照リ續キマシテ大變ニ稻ノ作柄ガ申分ナイ光景ヲ示シタ時デアツタノデアリマス。殊ニ東北ハ早植エデアリマスカラ、實リノ秋ト云フ如何ニモ、葉晴ラシイ感ジノスル時デアリマシタ。ソノ後ノ天候ガ大變ニ不順ニナリマシタ爲ニ第一回ノ

發表ナドヲ見マスと思ツタ程デナイヤウデアリマシタガ、併シ山形モ大體平年作ト云フヤウナ統計ガ現レテ居リマシタ。秋田ニ至ツテハ平年作ヲ突破致シテ居リマシテ、本年ハ幾ラデアリマシタカ相當ノ增收ガ豫想ノ上ニモ現レテ居ル位デアリマス。サウ云フ譯デアリマシテ、東北、北海道ガ一番問題ノアル所デアルニ拘ラズコノ兩地ハ非常ニ作況ガ第一宜シイノデス。ソコデ見テ參リマス云フト、役々聽イテ見マス云フト、成ル程作況ガ私共ガ見テモ聽イテモヨイバカリデアリマセズ、稲作ニ對スル兩縣ノ努力振リト云フモノハ實ニ驚クニ足ルモノガアリマス。元來サウ云フ所デアリマセウ。山形ハ特ニ米ノ王國ト言ツテ自カラ稱シテ居ル位、世間デモ山形縣ノ米作ニ付テハ最モ進歩シタ先進地トシテ見テ居ル譯デアリマス。東北ノ地ニアリナガラ殊ニ山形縣ニ至ツテハ今申ス通りデアリマシテ、ナンセ山形縣ハ殆ド米作本位ノ縣ト申シマセウカ、一毛作シカ大體キカナイ土地デアリマシテ、而シテ大體田ガ非常ニ多イノデアリマスカラ米ニ依存スル外ハナイ。茲ニ於テカ米作ニ對スル苦心ハ必死ノモノガアルノデアリマス。恐ラク全國的ニ見マシテモ、山形位米作ニ付テ苦心ト努力ト工夫ノ

拂ハレテ居ル所ハナイト申シテ、宜シイノダラウト思ヒマス。

ソノ中特ニ注目スベキモノハ、細カナコトヲ申ス時間ガアリマセスカラモウ概略ノ結論ダケ申上ゲマスガ、有ラユル努力ヲ要スルニ拂ツタト見テ宜シイガ、顯著ニ現實ニ成功ヲ收メタ點ハ分肥問題、要スルニ硫安ノ肥料ヲ主トシテ二回ニ分ケテ掛ケル。要スルニコノ分肥問題ト云フモノヲ鮮カニ篤農家ソノ他ヲ動員シマシテ解決シタ。非常ニ高度ノ技術ヲ應用サレテ分肥問題ヲ實施サレタ。之ハ實ニエライモノデアリマス。殆ド全縣下大半ノ所ハコレヲ普及サレマシタ。コレニ依ツテ第一肥料ノ節約ト云フモノガ少クトモ一割カラ、ヨク行ツタ所ハ二割、一、二割ノ硫安ノ節約ヲ明ニコノ分肥ニ依ツテ成功シタ。第二ニハ又言フ迄モナク分肥ニ依ツテ稻ノ多收穫ヲ勿論見タノデアリマス。從ツテ非常ニ米産ノ狀態ガ論ヨリ證據現實ニコレガ宜シキヲ見タ。第三ニハ又稻熱病ノ防止ト云フコトニ非常ニコノ分肥問題ハ大事ナノデアリマシテ、寧ロコノ分肥問題ノ研究ハ肥料ノ節約ト云フコト、同時ニ稻熱病ノ防止ト云フコトカラ現レタヤウデアリマス。コノ稻熱病ト云フモノ、防止ガ

分肥ニ依ツテ相當程度解決サレテ居リマス。本年度ハ山形モ秋田モ大變ニコノ稻熱病ノ狀況ガ宜シキヲ得タノデス。昨年ハ兩縣共非常ニ惱マサレマシタガ、本年ハ早期カラ有ラユル努力ヲ拂ヒマシテ早期發見、噴霧器ノ動員トカ、ソノ他一切ノ手順ニ依ツテ全力ヲ擧ゲテ努力致シマシタ爲ニソノ效果ヲ擧ゲタノデアリマスガ、更ニ根本ニ立返ツテ見マスルト分肥問題ガ非常ニ根本的ニ助ケタト云フヤウナ關係カラ今年ハ非常ニ稻熱病ト云フモノハ少ク看取スルノデアリマス。山形縣ハモウ言フニ足ラナイ狀態デアリマス。秋田縣ハ早期ニ於テ非常ニ發病シマシテ總面積ニ於テ一萬二千町歩ト云フヤウナ計數ヲ現シテ居リマスガ、併シコレモ何レモ早ク絶滅スルコトガ出來マシテ、最後ノ被害狀況ハ是亦本年ハ全ク宜シイ。詰リカウ云フ偉力ヲ奏シテ居ルノデアリマシテ、コレニ對スル苦心トカ色々ナ話ヲ申スコトハ隨分感服ニ堪ヘナイコトバカリアリマスガ、マア結果ダケ申上ゲテ置キマス。

物ニ困ルト云フヤウナ四圍ノ事情ガアリマシテ、兎ニ角コレガ習慣トシテ、傳統トシテ、隨分多年コレヲ獎勵致シマシタガ跡作付ハ不可能ニ終ツテ居ツタ狀態デアリマスガ、ドウシテモ增收ニ於テハコレモ解決シナケレバナイト云フノ山形縣ガ全力ヲ擧ゲテコレニ向ツテ獎勵致シマシテ、縣民ガヨクコレニ又協力致シマシテ、サウシテ從來ハ跡作付デスカラ僅カノ反別シカヤツテ居リマセヌモノヲ、本年ハ兎ニ角山形縣全體デ三千何百町歩ト云フモノニ亘リマシテ跡作付ヲ完成致シマシタ。大體半分近イモノヲ、從ツテ所ニ依ツテハモウ七分通り、或ハ私ノ見テ參ツタ所デハ九分通りデアリマスガ、サウ云フ狀態ニナツテ居リマス。而シテソノ結果ガ又何レモ大變宜シイ。私ノ見テ參ツタ所ナドデハ一村ダケデ一千町歩ヤツテ十萬石ノ米ノ增收ヲ圖ルコトガ出來タノデアリマス。而モ既ニ實リノ時ニ入ツテ居リマシテ立派ニコレガ結實シタト云フヤウナ有機デアリマシテ、大變ニ現實ノ上ニ於テ皆ノ確信ヲ齎ラスコトガ出來マシテ、如何ニモコノヤウナヤリ方デ以テヤルナラバ跡作付可能ナリト云フヤウナ十分ナ確信ヲ農民ガ得タヤウデアリマス。コレモ驚クベキ劃期的成功デアリマス。

第二ノ増産計畫ニ伴ツタ非常ナ苦心成功ハ、苗代ノ跡作

付ノ成功ト云フコトデアリマス。跡作付ト云フコトハ傳統的ニ東北ハ出來ナイノデスガ、強イテコレヲヤルト次ノ作

ソレカラ第三ニハ紫雲英ノ栽培、若シクハ青刈大麥ノ栽培デアリマス。只今申上ゲタ通り東北ハ殆ド跡作ノキカナイ所デアル。随分コレニ惱ンデ居リマシテ、從來コレニ向ツテ所謂麥ノ跡作ヲ非常ニ獎勵致シマシテ、農林省ノ計畫ニ依レバ、六萬町歩ト云フモノガ跡作可能デアルト云フヤウナコトデ農林省ガ獎勵ヲシタノデアリマスガ、到底實際ニ於テ麥ノ跡作ト云フモノハ普及致シマセヌデシタ。ソコデ依然トシテ麥ノ跡作ニ付テハ別問題トシテ色々ナ問題ガアリマスガ、或程度迄ハ勿論コレハ普及可能デアリマセウ。試驗等ニ全力ヲ擧ゲテ尙跡作ニ付テハヤツテ居リマスルシ多少ノ實績ヲ示シテ居リマスルガ、併シ畢竟スルニコノ麥ノ跡作付ト云フコトハ實際ニ於テ東北ノ農業事情カラ申シマスルト云フト餘程ノコレハ無理ガアツテ、非常ナ障礙ガアツテ困難デス。茲ニ於テ山形縣ガ考ヘタモノハ詰リ紫雲英ノ跡作デアリマス。而モ紫雲英ソノモノガ雪ガ多イト云フ關係デ、金肥ガ非常ニ掛ルト云フ關係カラ紫雲英ガ皆腐ツテシマフ。コレチャ駄目ダト云フノ多年繰返シ、失敗ニ終ツテ居ツタヤウナ状態デアリマス。ソレニ對シマシテ段々研究シテ見マスト云フト、紫雲英ガ若シ雪ノ爲ニ腐

ルコトガアツテモ早ク分ケサヘスルナラバ十二月ニ於テ發育成長シタモノデ十分ナ肥効力ヲ有ツモノデアツテ、丁度今日ノ金肥ニ換算シテ見マスト云フト少クトモ大豆ノ豆粕一枚分ニ相當スベキ窒素肥料分ト云フモノヲ年内ニ發育シタマケノ紫雲英デ以テ取レルモノデアアル。コレヲ金ニ換算シテ見マスト云フト、マア四圓五十錢カラ五圓位ノ金肥ニ相當スベキ肥効分ガ十分取レルノダ。而モ種代ハ一升五合トシテ一圓二、三十錢ノ種代サヘ拂フナラバ努力ハ殆ド大シタコトナイノデアリマスカラ、兎ニ角四圓乃至五圓ノ金肥ニ相當スベキモノヲ得ラレルノデアアル。コノ肥料不足ノ今日ニ於テコノ有機質ノ貴重ナル肥料ガコレニ依ツテ得ラレルト云フコトハ、ソレ自體ニ於テ肥料不足ヲ補フト云フ意味ニ於テ效果的ナモノデアアル。此處ニ着眼致シマシテ斷然勵行スベキダト云フ決心ヲ致シマシテ、昨年山形縣下ニ於テ約三、四町歩普及スルコトガ出來タノデアリマスガ、昨年立派ナ成績ヲ收メタト云フコトカラ今年ハ擴大普及致シマシテ一萬二、三千町歩ニコレヲ普及サシタノデアリマスルガ、當時コレヲ非常ニ努力シマシタガ種ガ少イノデソノ程度ニ終ツタノデアリマスガ、今年度ハ早クカラ種ヲ用

意致シマシテ三萬五千町歩、若シクハ種サヘ出來ルナラバ五萬町歩ニ普及スルコト可能ナリト云フ確信シテ居ルヤウデアリマス。コレ等モ驚クベキ確信ト申シマセウカ、一大改良發展デアリマシテ、増産獎勵上、肥料節約上實ニ驚クベキコトデアルト申シテヨカラウト思ヒマス。コレ等三ツノ點ヲ私ガ擧ゲマシタガ、結果的ニ見レバ非常ニ成功的名ノデアルト申シテヨカラウト思ヒマス。ソコデ多少ノ時間ヲ割キマシテモウ少シ細カナ部分ヲ申上ゲマスレバ、私ノ見テ參ツタ所デハ山形縣デハ沖郷村ト本橋村ト兩村デアリマスガ、二箇村共實ニ立派ナモノデアリマス。丁度コレハ流石ニ優良村トカ模範村トカ云フ場所柄ヲ指定セラレタノデアリマセウガ、ソレニ當ツテ見テ參リマシテ、兩村ノ稻作ニ對スル苦心、努力乃至成績顯著ナルノニハ私トシテハ驚ク外ハナイト云フ有様デアリマス。沖郷村ハ丁度米澤ノ附近ノ赤湯ノ溫泉場ノアル所デアリマス。コノ村モ要スルニ根本ハ村ノ當局ト云フモノガ村長ト言ハズ、農會長、産業組合長ト言ハズ一元一體化シテ居リマシテ、全ク協力一致ノ状態ト云フモノガ勿論ソノ根本ヲナシテ居リマセウ。併シ考ヘテ見マスルト特ニ注意スベキ

モノハ、コノ村ハ元來非常ニ水害ニ悩マサレタ村デアリマスガ、今カラ二十五年前ニ斷然用水ポンプヲ据エ付ケマシテ、サウシテ水利ノ根本改革ヲヤツタノデアリマス。當時既ニ三十二萬圓ニ達スル大規模ナル水利計畫ヲ致シタノデアリマス。コレガ原因ヲナシテ居リマス。當時二石位シカ種レナカッタト云フ所ガ今日ハ優ニ四石位種レル。非常ニ土地ノ肥沃ナ所デアリマス。一村平均ノ生産目標ガ本年ハ三石六斗デアリマシタガ、兎ニ角驚クベシアノ東北ニ於テ平均收量三石六斗ト云フコトヲ増産目標ニ立テ、ヤル。今年ノ作柄ハソレニハ達シマセヌ。達シマセヌガ昨年ヨリ一段トヨクテ少クトモ三石二、三斗ノ平均收量、カウ云フ状態デス。デスカラ少シク地ノ利ヲ得タ栽培ノ宜シイ所ハ四石以上ノ收穫ヲ得テ居ル。コレガ根本ヲ洗ツテ見ルト今ノ水利改良ト云フコトニ因ルヤウデス。地ノ利、人ノ和ヲ得テ居リマス。カウ云フ惠マレタ根本事情ニ人爲ノ力ガ加ハツテ居リマス爲ニコンナ立派ナ村ニナツタノデアリマセウガ、サウ云フ村デアリマスカラ今度ノ増産獎勵ニ對スル各般ノヤリ方カラ見マシテモ、一カラ十迄善イ事デ爲サマルナシト言ヒマスガ、大抵ノコトヲヤツテ居リマス。デアレ

バコソサウ云フヤウナ實績ヲ擧ゲタト見テモヨカラウト思ヒマス。

例へば早期健苗ト云フコトヲ申シテ居リマス。ドウシテモ強イ苗ヲ作ラナケレバナラヌ。苗代ヲ擴張シナケレバナラヌ。又非常ナ薄播ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ問題ヲ初メ、時期モ昨年ニ比ベテ五、六日皆繰上ゲテ植付若シクハ播付ガ行ハレテ居リマスルガ、サウ云フヤウナ勵行的事項ニシマシテモ、若シコレヲヤラナイ者ガアルナラバ肥料ソノ他ノ資材ノ配給ヲ差止メルト云フ申合セヲシテ誓ノ一札ヲ皆取ツテ居リマス。誓ノ一札ヲ取リマシテ所謂低農家克服ト云フ問題ニ邁進シテ居リマス。コレハコノ村ダケデナク秋田縣ノ各村ニ於テモ皆サウデアリマス。コレ等が大變物ヲ言ツテ居ルヤウデアリマシテ、デアリマスカラ獎勵事項ト云フモノハヨク行ハレテ居ル。結局低農家克服ト云フ問題ガ成功シテ居リマス。總テ優良ナ農家ト云フモノハ皆今日迄増産ソノ他ノ獎勵事項ハ實踐勵行シテ居ルヤウデアリマシテ、殘サレタ問題ハ矢張り低農家ニアルノデアリマス。從ツテ今年特ニ政府トシマシテ、又我々トシマシテ、低農家克服ヲ主張シタト云フコトハ非常ニ増産上大ナ

ル結果ヲ來シテ居ルノデアリマシテ、正ニ目標、狙ヒ所ガヨカツタト云フコトヲ到ル處デ痛感致シタノデアリマス。サウ云フ譯デアリマスカラ本年迄ニ於キマシテ低農家克服ニ有ラユル手段ヲ行ツテ居リマス。ソレニ感奮サセラレマシタカ、兎ニ角低農家ト云フノガ一齊ニ奮起致シマシテ有ラユル獎勵事項ト云フモノヲ實踐勵行スルト云フヤウナ態度ニナツタ。コレガ要スルニ一村ヲ擧ゲテノ増産獎勵ニ成功シタ所以チヤナイカト思ヒマス。勿論兩縣ニシマシテモ非常ニ惡天候ト闘ツテ居リマス。ダカラシテ結果ニ於テ平年作トカ、昨年同様、若シクハソレ以上多少ヨイト云フヤウナ、大シタ成績デハナイト言ヘバソレ迄デアツテ、サウデハナク惡天候ト云フコトヲ前提トシテ考ヘテ見ルト、ドウシテ異常ナ非凡ナ人爲ノ力ガ加ハツテ居ルト言フ外ハナイ。今年ノヤリ方ト云フモノハ人爲ノ力ノ勝利ト云フコトガ痛感サレマシタ。言葉ヲ換ヘテ言ヒマス、農業技術ノ向上ト言ヒマスカ、要スルニ部落動員トカ、技術者動員ト申シマスカ、様々ナ獎勵事項、實施事項ト云フモノガ正ニ大體ニ於テ成功シタノデアリマシテ、ソノヤリ方ガ物ヲ言ツテ今申シタ通り惡天候ト闘ヒナガラ非常ニ成功ヲ來シタト

云々コトヲ痛感致シタノデアリマス。

ソノ外コノ村デ、例へば畑作ガ僅カ四百町歩デアリマスガ、四百町歩ノ畑作ヲ今年ハ三百二十町歩位ニ少ク致シマシタ。サウシテコレヲ主要作物ニ轉換シタト云フヤウナコトモヤツテ居リマス。コレヲ更ニヤルナラバ二百町歩デ宜シイ。要スルニ桑畑ヲ整理スルコトナノデアリマス。米澤ノ近邊デアリマスカラ養蠶ガ盛デ、桑園整理ト云フコトニ向ツテ非常ナ努力ヲ以テドン、整理シテ行キマス。コレヲ村長ソノ他當局ノ話スコトヲ聽キマス、ドウシテモ桑畑ヲ日本ハドン、整理スベキモノダ。ソレニハ本年度迄ノ如キモ四百町歩ヲ二百町歩ニシテモヨイト云フ自分達ハ確信ト目標ヲ有ツテ居リマス。漸ク八十町歩程解決シタノデスガ、更ニ五年計畫ノ下ニ完全ニ二百町歩ニ減反シテシマフ。サウシテ以前ニヤツタダケノ養蠶ハ出來ルモノデアラ。或ハ從來ノ農作物ヲ種リツ、新農作物ヲ種ルコトガ出來ル。カウ云フヤウナ非常ニ意氣込ミヲ聽カサレマシタガ、ソレヲ聽キマストコノ村ナラバ出來サウナコト、ヤリサウナコト、又サウアラネバナラヌト云フコトヲ非常ニ痛感シタヤウナ譯デアリマス。

馬ノ問題ガ丁度出マシタガ、全クソノ通りデアリマシテ

コノ儘チ行ツタナラバ全ク馬ハ總テ牛ニ轉換スルト、カウ云フ状態デアラウト思ヒマス。現ニ本橋村ノ如キモ今迄ハ馬バカリデアツタ状態デアリマスルガ、モウ既ニコノ一、二年ノ間ニ牛ニ轉換致シマシテ、今日牛ガモウ二百五十頭ニモナツテシマツタト、而シテ馬ノ方ハ從ツテ非常ニ減ツテシマヒマシテ、モウ四分ノ一、五分ノ一程ニナツテシマヒマシタ。只今出マシタ詰リ献金ト申シマセウカ、兎ニ角今ノヤウナ状態デ馬ノ徵發値段ト云フモノガアノヤウナ状態デアツタノデハ、本當ニ徵發サレタ場合ニハ少クトモ二百圓、三百圓ノ缺損ヲ生ジルト云フコトハ免レナイ。ソレモヨイガ馬ヲ飼ツテ居ツタノデハ到底農事ガ出來ナイ。安定ガ付カナイト云フヤウナ様々ナ事情カラ私ノ見タ村、秋田縣ノ村ニ於テハ特ニサウデアリマス。コノ問題ハ特ニ注意スベキ問題デアリマシテ、今日ノヤウナヤリ方、方針ヲ以テシテハ由々シイ問題ヲ生ズルコト明カデアリマス。ドウシテモコレニ對シテハ政府ニ於テ相當ノ考ヲ付ケネバナラヌト云フコトヲ感ジタ次第デアリマス。

ソレカラ又コノ村デハ婦人ノ牛馬講習會ヲ開キマシテコ

レガ非常ニ成功シタト云フノデアリマス。如何ニモサウデアリマシテ、今迄女ガ牛ヲ使ヒ馬ヲ使フト云フコトハ必ズシモ得意デハナカッタガ、斷然講習會デ以テミツチリ銀ヘ上ゲタト云フヤウナ關係カラ今日デハ殆ド婦人ガ多イ。總テ指導ハシマシテ牛馬ヲ農耕ノ爲ニ使フト云フヤウナヤリ方デアリマス。努力ノ問題モ大分アルノデアリマシテ、コレハ秘密カモ知レマセヌカラ數字ハ除イテ置キマスガ、少クトモ二、三百人近イ労働力ガ減ジタニ拘ラズ、段々結論申シマスト云フトコノ位減リマシタガチツトモ差支ナイト思ヒマス。言フ迄モナク今日ハ努力ノ問題デ色々ナコトヲヤツテ居リマス。ヨイト云フコトヲアノ地方デハ申シテ居リマスガ、要スルニ部落内ニ於テオ互ニ援ケ合フト云フ習慣ガアリマスカラ、コノヨイト云フコトヲ活用致シマシテコレニ依ツテ總テ努力ノ動員ヲシタト云フヤウナコトガ大變成功致シマシテ、從來ハ各方面カラ農繁期ニハ多數ノ労働者ガ參ツタノデアリマスガ、今回ハ一人モ來ナイデ總テ手ツ取早ク行ハレマシタ。例ヘバ植付モ早播モ五、六日繰上ゲテシマツタ。稻ノ植付ナドニ對スル日數ナドモ非常ニ減ジラシマツタ。組織的、效果的ナ努力動員ニ依リマシテ

ガ、本郷村、コレハ庄内ノ酒田ノ近邊ノ村デアリマスガ、コレ亦覺クベト村デアリマス。只今申シマシタ跡作付ノ問題ト言ヒ、或ハ苗代ノ擴張ト申セ實ニ立派ナモノデアリマス。又コノ地方ハ全ク水田ガ多イノデアリマシテ、一戸平均二町五反モアリマス。平均耕作二町五反ト言ヘバ驚クベキ水田ヲ多クヤル地方デアリマシテ、僅カニ畑ト云フモノハ六十三町歩シカナイノデアリマスカラ、全ク畑ト云フモノハナイ村デアツテ水田バカリト申シテモヨイヤウナ村デアリマス。ソレデスカラ水田ニハ異常ナル工夫、努力ガ拂ハレテ居リマシテ、ソノ水田ガゴレ亦平均收穫目標ガ幾ラデアリマシタカ、コノ村ハ平均收穫トシマシテハ三石程デアリマスカ兎ニ角サウ云フ矢張り恐ルベキ實績ヲ示シテ居ル位デアリマス。コノ村デ特ニ様々ナ成功的話ガアリマスガ、時後ヲ有ツテ居リマスノハ種籾ノ研究デス。ドウシテモ稻ハ健苗ヲ作ル以外ニ方法ハナイ。コレガ根本ダト種籾ノ選擇ニ付テハ非常ナ苦心ヲセネバナラヌト云フノデ、種籾ニ傷ヲ付ケチヤイカヌ。種籾ニ傷ヲ付ケルト云フコトガ様々ナ稻ニ對スル障害ヲ生ズル原因ニナル。其處迄研究ヲ進メマシテ種籾ノ品評會ヲヤル。或ハ苗代ニ對シマシテ

調整ガ付イテ居ルノデアツテ、コレガ非常ニ確信ヲ得タヤウデアリマス。成ル程カウ云フヤリ方、カウ云フ方法ヲ以テ努力ノ調整動員ヲスルナラバ努力ノ不足ト云フモノハ日本ノ農村ニ於テハマダ〳不安ガナイ。コノ問題ハ特ニ秋田縣ノ旭村ニ於テ徹底的ニヤツテ居リマシテ、模範的デアリマシテ、旭村ノ例ヲ見マスト全クサウデアリマシテ、東北方面ニ於テハ好イ按配ニ、只今申シマシタヤウニ努力調整ノ問題ニカヲ入レマシテ、何レモ練々トシテコノ問題ニ付テハ餘裕ガアリト云フコトヲ、口ヲ捕ヘテ申シテ居リマス。コレハヤレバヤレルコトデアツテ、今度コレヲ普及シタイト云フノデ十五箇村ヲ努力指定町村ニシテ、ソノ外百三十箇村ト云フモノヲコレニ準ズベキモノトシテ、郡農會ガ指定シテヤツテ居リマスガ、非常ニ努力調整ノ問題デハ成功シテ居リマス。ソコデ秋田縣デハ今度出來マス農會ノ統制命令ニ基ク所ノ努力調整問題ヲ徹底的ニ全縣一齊ニヤラナクレバナラヌト云フ用意ヲ以テ、コノ秋作カラシテ掛ラウト云フコトヲ話シテ居ツタ位デアリマス。先ヅ時間ガアリマセヌカラソノ程度ニ致シテ置キマス。ソレカラ更ニ山形縣ニ付テ、チヨット紹介シテ置キマス

ハ風除ケヲヤル。風ニ依ツテ餘リ傷マナイヤウニ、マア温床苗代ノ一ツノ方針ヲ採ツタ關係モアリマセウガ、カウ云フヤウナ關係デ種籾ニ特別ニ非常ナ苦心研究ヲ拂ツテ居ルト云フヤウナコトモアリマス。ソレカラ色々イモチノ絶滅ニ關スル苦心モ様々アリマシテ、最近ハ全クイモチガナイ昔ハ相當ニ惱マサレテ居タ所デアリマスガ、今年ノ如キハ殆ドナイ。要スルニ種籾ノ研究、分施ノ研究、一ツノ手、二ツノ手チヤイケナイ。有ラユル綜合的ナ手段ニ依ツテ防止スベキモノデアルカラ、從ツテ一面ニ於テ或ハ堆肥ヲ澤山ヤル。堆肥ノ獎勵ト云フコトニ依ツテ、非常ニコレモ獎勵シテ居リマス。コノ際國チ考ヘネバナラヌコトハ、堆肥溜ヲ全國一齊ニ、普及シタイト云フコトヲヤツテ居リマスガ、コンクリートガナイ、資材ガナイト云フコトデ非常ニ惱マサレテ居ル狀態デアリマシテ、ドウシテモコンクリートノ配給、少クトモ堆肥舍等ノ建設ニ對シマシテ十分ナコンクリートノ配給ガナクレバイカヌ。去年ノ如キハ要求量ノ一割位ニシカ達シナカッタト云フ事デアリマス。幸ニ今年ハ農林省モ大變ニ配給量ガ殖エルコトニナリマシテ、少クトモ五割殖エルト云フコトヲ言ウテ居ルヤウデアリマス

カラ、今年ハ餘程コレハ緩和スルデアラウト思ハレマスガ
ドウカシテコノ緩和シタ資材ニ依リマシテカウ云ツタヤウ
ナ適當ナ方面ニコレヲ振向ケナケレバナラナイト云フコト
ヲ感ジル次第デアリマス。

併セテコノ村ノ下情上通ノ一ツノ問題ヲ、更ニ申上ゲタ
イ。矢張りドウシテモ自給肥料ノ増産ト云フコトヨリナイ
ノデアリマスガ、コレニ對シテハ國有林ノ開放ヲシテ實ヒ
タイ。幸ヒ一里半程ノ所ニ立派ナ適地ト云フモノガアルノ
デアルガ、コレヲ多年請願シテ居ルガ容レラレナイ。澤山
國有林中ニ開牧適地ガアルカラ、ドウカシテ國ガカウ云フ
點ニ付テモ一段ノ心配ヲシテ實ヒタイ。サウ云フコトヲ頻
リニ申シテ居リマスガ、如何ニモコレハ尤モナコトデアリ
マシテ、是非共サウアラシメナケレバナラヌト云フコトヲ
感ジテ參ツタ次第デアリマス。山形ノ中デ特ニ庄内ニハ藤
島ト云フ町ガアリマシテ、試験分場ガアリマスガ、其處ノ
佐藤ト云フ場長ガ有名ナ分場問題ノ研究者デアリ、ソノ他
農事百般ノ研究者デアリマスガ私ガ參ツタ時ニ不在デアリ
マシタガ、コノ分場ニ於テ様々ナ米作ニ關スル話ヲ聽イテ
參ツタノデアリマシテ、ソノ中只今話ガ出マシタガ、講義

於テモ國家國立試験場長ガ頻リニコノコトヲ行フヤウニ申
シテ居リマシテ、イモチ防止、ソノ他病虫害防除ト云フコ
トヲ主眼ニシテドウシテモコノ噴霧器ノ必要ト云フコトヲ
話シテ居ツタノデアリマス。

コノ點ハコノ程度ニシマシテ、秋田縣ハ只今申シタ通り
山形縣ト強ヒテ比較シテ申スノモ無用デアリマスカラ申シ
マセヌガ、山形ニ於テ申上ゲタ通り最モ顯著ナル各種ノ政
策ガ行ハレタト云フコトカラ見マスレバ秋田縣ハ總テヤツ
テ居ルヤウデアリマシタガ、ソレ程顯著ナ話ハアリマセヌ
デ、大同小異類似ノ狀況デアルト申シマセウカ、サウ云フ
有様デアリマシテ、幸ヒ今年ハ秋田縣ハ比較的ニ天候ガ最
悪デナカツタト申シマセウカ、表東北ノヤウナ工合デナカ
ヅタコトハ固ヨリ、割合ニ雨ノ關係、照ノ關係ト云フモノガ
ソレ程氣候ガ悪クナカツタヤウデアリマスカラ、從ツテ初
メカラ稻ノ生育ニ都合ガ好イトハ申シマセヌガ、悪クハナ
カツタヤウデアリマス。サウ云フ狀況デアリマシタ爲ニ當
初カラ稻ノ工合ト云フモノガ大變ニヨカツタヤウデアリマ
ス。引續イテ天候ガソレ程悪クナカツタト云フコト、併
セテ又段々申上ゲタヤウナコレモ必死ノ懸命ナ努力ヲ以テ

肥料ノ配給ヲ東北、北海道ニハ相當普及シナケレバナラヌ
コレハ尤モナコトデアリマシテ、ドウシテモ燐肥肥料ニ付
テハ特別ナ増産方法ヲ考ヘナケレバナラヌ。全國的ニ極メ
テ困難ナ状態ニ入ツタノデアリマスカラナカ／＼容易デハ
アリマセヌガ、併シ特ニ東北ニ對シマシテハドウシテモ燐
酸肥料ノ増配ト云フコトハ必要ダト云フコトヲ試驗場ニ於
テハ絕對的ニ、コレヲ主張サレテ居ツタヤウナ譯デアリマ
ス。更ニモウ一ツ聽クベキ話ハ噴霧器ノ問題デアリマシタ
ガ、イモチノ防止ヲ初メドウシテモ今日噴霧器ノ普及獎勵
ト云フコトヲ圖ラナケレバナラナイ。ソノ中デモ特ニ噴霧
器ハ大型デナケレバナラナイト、切メテ孔ヲ多クスル。多
孔式噴霧器ガ非常ニヨイ。多孔式噴霧器デアルナラバ、兎
ニ角八ツ位ノ孔ガアルコトニ依ツテ一反歩ヲシマスルノニ
一時間位デ済ム。而モ從來ノ小型ノ噴霧器デアルナラバ殆
ド一反歩ニ三時間ヲ要スル。而モコレヲ更ニ動力噴霧器ヲ
以テスルナラバ一反歩ヲ僅カニ十五分デ済ムノデアル。イ
モチノ如キハドウシテモ理想ヲ言フナラバ動力噴霧器ニ變
ヘナケレバナラヌ。カウ云フ點ニ於テ國ガ根本的ニ獎勵ヲ
圖ツテ行クト云フコトガ非常ニ必要ダト、コレハ秋田縣ニ

百般ノ稻作獎勵ニ關スル努力ヲシタ結果デアリマセウカ、
御承知ノ通り作柄ハ大變宜シクアリマシテ、昨年以上ノ大
増收デアリマシテ、正ニ今年作ヲ突破シ理想目標ニモ近イ
ト云フコトヲ私ガ行ツタ時モ申シテ居リマシテ、斯クノ如
キ良成績ヲ擧ゲテ居リマス。ソレダケニ色々ナコトニ於テ
見ルベキ様々ナコトガアリマスガ、特ニ先程モ申シマシタ
ガ、努力ノ動員、調整ト云フコトニ付テハ縣ノ處置モ大變
ニ面白イノデアツテ、非常ニ私ハ成功シテ居ルヤウニ見受
ケタノデアリマス。

秋田縣ニ於テハ旭村ト云フ村ト内小友村ト云フ二箇村ヲ
見タノデアリマスガ、コソ二箇村ハ山形縣デ見マシタ二箇
村ノヤウナナント申シマセウカ、徹底的ニ感心ニ堪ヘナイ
程ノ優良村ト申シマセウカ。立派ナ村トノミ申サレナイヤ
ウニ思ヒマスルガ、併シナガラ首ヲ迄モナク見ルベキ様々
ナ事績ガアルノデアリマシテ、何レモ好カツタノデアリマ
ス。從ツテ平均收穫トカ、平均收量トカ云フコトカラ申シ
マスレバ何レモ二石二、三斗ヲ標準トシテ收穫シテ居ルヤ
ウナ程度ノモノデアリマシテ、必ズシモ非常ニ異常ナ成績
ノアル村デハナイノデアリマス。併シコノ地帯ニ於テコレ

ダケノ成績ヲ舉ゲテ居ルト云フコトガ又色々ナ意味ニ於テ
 人爲ノ力ガ加ツテ居リマシテ、感服スベキ色々ナ獎勵事項
 ヲヤツテ居リマス。何處モ同じ東北デアリマスカラ、早植
 トカ、早播トカ、薄播トカ、或ハ低農家ノ克服トカ、共同
 作業トカ、或ハ又イモチノ防除、病虫害ノ驅除、又肥料ノ
 配合、秋田縣ハ肥料ノ分施ト云フ問題ニハ手ヲ付ケテ居ラ
 スノデアリマシテ、ドウシテモ來年ハ山形縣ノ例ニ倣フテ
 コレヲ解決シナケレバナラヌト云フコトヲ頻リニ申シテ居
 リマス。サウ云フ譯デアリマシテハマダサウ云フ點ニハ手
 ヲ付ケテ居リマセヌガ、ソノ他ノ點ニ付テハ、別ケテ育刈
 ノ問題ガ非常ニ成功シテ居ルヤウデアリマス。矢張り二毛
 作ニ苦シンダ結果、ドウカシテ跡作ヲ以テ二毛作ニ代ヘナ
 ケレバナラヌノデアルガ、次ノ時期ノ植付ガ弱ク育ツテイ
 モチニ罹ルトカ相當困難デアル。ダカラ切メテ育刈デ以テ
 稻ヲ刈取ツテシマフ。カウ云フコトガ必要ダト云フノデ青
 刈問題ヲ獎勵シタヤウデアリマスガ、コレガ相當ニ普及致
 シマシテ、而モソノ結果ガ大變ニ宜シイヤウデアリマス。
 デアリマスカラ來年ハ一ツコノ青刈問題ヲ一層獎勵スルコ
 トニ依ツテ少クモ縣ノ半分近ク迄コレヲ普及スルコトガ

出來ルノダト云フ確信ヲ得マシタト云フコトヲ縣ノ當局ハ
 申シテ居リマシタ。驚クベキ勢ヒヲ以テ秋田ニモ山形ニモ
 コノ青刈ト云フコトガ普及出來ルノダト云フ考ヲ有ツテ參
 ツタノデアリマス。
 今ノ旭村ヲ見タ中デ特ニ下情上通ノ事項ヲ申上ゲマス
 云フト、一番困ツタ問題ハ農具ノ配給問題デアリマス。コ
 レガ非常ニ困ツテ居ルヤウデアリマシテ、農具ノ配給ヲ申
 請シマシタ處ガ、規格違ヒノ物迄モ配給サレテシマツテ非
 常ニ困ツタ。一ツ見テ下サイト官フト産業組合ノ倉庫ヲ見
 セラレマシタ。如何ニモ多數ノ山ヲナスヤウナ農具ガ其
 處ニ積ミ上ゲラレテ居ル。コレガ言フ迄モナク逾期配給ヲ
 失ヒ、又ハ規格ガ違ツテ居ツテ到底使フコトガ出來ナイ。
 カウ云フ問題デアリマス。ソコデ秋田縣ノ縣廳ニ於テコノ
 問題ヲ色々聽キマシタガ、サウ云フ問題ガアツテ困ツテ居
 ル。關係會社ト目下引取り方ヲ交渉中デアアルガ困ツタ問題
 ダト言ツテ居リマシタ。コレハ色々手違ヒガアツタノデ
 アリマセウ。資材ノ不足ソノ他ノ事情カラ何レニシテモ手
 違ヒガアツタノデセウガ、カウ云フ狀態デハ困ツタコトデ
 アリマシテ、ドウシテモ農器具ノ問題ハ少クトモ今申シタ

ヤウナ規格違ヒト云フヤウナコトノナイヤウニ農林省ニ於
 テ特ニ改善ヲ要スベキ問題デアラウト思ヒマス。或ハ又肥
 料ノ配給問題ニ付テ段々ノ話モアリマシタ。コノ肥料ノ配
 給問題ハ私ノ見テ參ツタ兩縣ハコレヲ立派ニ解決致シテ居
 リマス。山形縣ハ大體産業組合七分、商業組合三分ト云フヤ
 ウナ割合デアアルヤウデアリマスガ、併シ村々ニ當ツテ見マ
 スト云フトコレガ實際ハ共同配給所ト云フモノヲ設ケマシ
 テ、事實ニ於テハ産業組合デ以テ一元化シタ配給ヲヤツテ
 居ルノデアリマス。從ツテ殆ドコレニ付テハ、支障モ苦情
 モ餘リナイト云フヤウナ程度ニ迄至ツテ居ルヤウデアリマ
 ス。秋田縣ハ山形縣程迄ハ徹底シテ居ラヌヤウデアリマス
 ガ、コレモ類似ノ狀態ニ矢張り置カレテ居リマシテ、漸次
 實際ニ於テハ一元化的ニ産業組合中心ニ實務ヲ預ツテ來テ
 居ルト云フ風ガ普及シテ來テ居ルヤウデアリマス。今日ハ
 全ク兩縣ニ關スル限リハ一元化サシテ實ツテ少シモ差支ナ
 イト思ヒマス。事實ニ於テモ一元化ヤツテ居ル位デアリマ
 スガ、コレヲ更ニ制度的ニ、組織的ニ何カ適當ナ方法デ一
 元化ヲ斷行シテ實ヒタイト云フヤウナコトデアリマシテ、
 肥料ノ配給ニ付テハ現實ニ於テ、矢張り苦情ハアリマセヌ

デ、唯強ヒテ言ヘバサウ云フ風ニ一層一元化ヲ強化シテ實
 ヒタイト云フ程度デアリマス。又配給ノ時期ニ至ツテハ何
 ノ不自由モナイト云フ結構ナ狀態ニナツテ來タト云フ概ナ
 コトデアリマシタ。デ肥料ニ付テ下情上通ヲ申シマスレバ、
 單肥配給ノ問題デスガ、コレハ全國的ノ問題デアリマシテ
 二、三年來ノ問題デアリマスガ、私共始終農林當局ト懇談
 シテ居リマスガ、ドウモ斷ニ落チナイ。單肥配給ヲ非常ニ
 懸望シテ居リマスカラ、何かコレハ段々研究ヲ進メマシテ
 地方ノ要領ヲ或程度迄容レルヤウニ單肥配給ヲ考慮シナケ
 レバナラヌト云フコトヲ痛切ニ感ジテ參ツタ次第デアリマ
 ス。
 ソノ他ノ資材ノ配給ニ付テハ、リヤカーガ是非欲シイト
 カ、或ハ自轉車ノタイヤガナクテ困ルトカ、チューブガナ
 クテ困ルトカ、又ハ商人運シノヤウナモノハナント申シマ
 シテモ聞ガアル。聞ナシデハ絕對ニ手ニ入レルコトガ出來
 ナイ。ドウシテモカウ云フ譯デ農業資材ノ配給ニ付キマシ
 テハナントカコレヲ一ツ一元化シテ實ハナケレバナラヌ。
 又關係者ノ官フ所ヲ以テシマスナラバ、矢張り産業組合一
 元化ト云フヤウナコトデナケレバ聞ノ絶減ト云フコトハ出

來ナイデアヨマセウ。量ヲモウ少シ欲シイ。併セテ配給ラ
 モウ少シ普遍化シナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ
 様ナ苦情ガアリマシタガ、時間ガアリマセヌカラ細カナコ
 トハ申上ゲマセヌ。更ニ同ジヤウナ問題テ尙深刻ナ問題ハ
 飼料ノ不足デス。コレハ非常ニ痛切ナ問題ノヤウデアリマ
 ス。殊ニ秋田縣ニ於テハ缺ナント云フモノハナイ。缺ガナ
 イト云フコトガ非常ナ困ツタコトデアルヤウデアリマシテ
 コノ分デアツテハ到底コレハ牛ヲ飼フニモ馬ヲ飼フニモ困
 ツタモノデアツテドウニモナリマセヌト、コレハ様々ナ問
 題ガ逐次解決サレテ來タガ一番殘サレタ問題デアツテ、依
 然トシテ悩ンデ居ル問題ハ缺ノ問題ダト、カウ云フ譯デア
 リマシテ、ドウモコノ點ハ大イニ考ヘナケレバナラヌ。飼

料ノ配給ニ付テハ困ル。ナントカシテ一ツ工夫努力ヲシテ
 行カネバナラヌト云フコトヲ深ク考ヘテ參ツタヤウナ譯デ
 アリマス。
 時間ガ許シマセヌヤウデスカラ甚ダ中途半端ニナツテシ
 マヒマシタシ、取急イダ雜駁ナ話ニナリマシタガ、時間ノ
 都合モアリマセウカラコノ程度デ一應打切ラシテ載キタイ
 ト思ヒマス。
 酒井委員長 ソレデハ今日ハコノ程度ニ致シマシテ、更ニ十
 六日ノ木曜日午前九時半ヨリコノ報告會ヲ續ケタイト思ヒ
 マス。今日ハコレデ散會致シマス。
 (午後零時四十分散會)

第七委員會第五回第一小委員會

場所 本部第一會議室第一號室

日時 昭和十六年十月十六日(木曜日)午前九時四十分開會

出席調査委員

- | | | | | |
|----------|------|------|-------|-------|
| 委員長 島田俊雄 | 三善信房 | 金井正夫 | 原 敢二郎 | 保坂幸治 |
| 沖島鎌三 | 小野武夫 | 小林絹治 | 川崎末五郎 | 中澤辨治郎 |
| 横尾三郎 | 東郷 實 | 伊藤保平 | 豊田 牧 | 三井清一郎 |
| 八條隆正 | | | | |

事務局 例

吉武幹事 八谷主任書記外

島田委員長 マダ委員ノ方ノ御集マリガ少イヤウデアリマス
 ケレドモ、時間ガ大分經過致シマスカラ委員會ヲ始メルコ
 トニ致シマス。本日ハ第一小委員會ノ委員長酒井伯ガ御身
 内ニ御不幸ガアリマシテ出席セラレマセヌカラ、便宜私ガ
 議事ノ整理ヲスルコトニ致シマス。
 ソレデハ前同ノ繼續、優良町村ノ調査ノ報告ヲ續イテ御
 願ヒシマス。香川縣及ビ徳島縣ニ御出張願ヒマシタ金井正

夫君ニ報告ヲシテ載キタイト思ヒマス。
 金井委員 私ハ第五班トシテ香川、徳島兩縣ヲ擔當致シマシ
 タノデアリマスガ、香川縣ハ綾歌郡ノ岡田村、大川郡ノ相
 生村、徳島縣ハ板野郡ノ松茂村、勝浦郡ノ小松島町、那賀
 郡ノ羽ノ浦町、コノ五箇町村ヲ調査シテ參ツタノデアリマ
 ス。
 ソコデ調査ノ方法トシマシテハ、兩縣先ヅ縣廳、縣農會

實業會支部ヲ訪問シマシテ、縣ノ事情、食糧増産計畫、ソノ他農業經營等ニ付テ説明ヲ求メマシテ、又本會ノ支部ニ付テハ、縣ノ實業運動ノ方法等モ聽イテ參ツタ次第デアリマス。各町村ニ於テハ午前中役場ニ於キマシテ縣ノ農産課ノ技師、縣農會ノ技師、村長外村役場吏員等、町村農會技師員等ノ參集ヲ求メマシテ、ソノ村ニ於ケル食糧増産計畫、ソノ他町村ノ組織機構ニ付テ具體的ニ説明ヲ求メマシテ、午後八同所ニ於テ村常會ヲ開イテ村民各位ノ意見ヲ聽クコトニ致シタ次第デアリマス。併シ德島縣ハ三町村ニナリマシタ關係カラシテ村常會ヲ開ク時間ガナクテ、村常會ハ香川縣ダケデ止メタ譯デアリマス。

兩縣ノ概要ヲ簡單ニ申上ゲマス、香川縣ハ總人口七十四萬八千、戶數ガ十五萬二千戸ニナツテ居リ、中農家ガ八萬五千二百二十五戸ニナツテ居リマス。總面積ハ非常ニ狹イ所デ四國ノ全體ノ十分ノ一ニシカ過ギナイ。全國カラ申シマシテモ第四十五位ニ居ルト云フヤウナ小縣デアリマシテ、從ツテ耕地面積モ非常ニ狹イノデアリマス。田ガ三萬九千三百五十九町、畑ガ一萬二千三百三十六町デ、合計五萬一千六百九十六町デ、農家一戸當リ約六反ニナツ

テ、人口ガ密デアリマスル割合ニ耕地面積ガ少イノ増反ノ見込ミハアリマセヌ。本縣ハ特ニ水ガ少イノデ川ト云フモノニハ水ガアリマセヌデ、普通ハ川ト言ツタラバ水ガアルト云フノガ常識デアリマスルケレ共、香川縣ニ行ツテ見ルト云フト水ガナイト云フノガ川ノ常識ニナツテ居ルト云フサウデアリマス。ソノ爲ニ灌溉ニハ一入ノ苦心ヲ要シ、溜池ノ設備ニハ莫大ナ費用ヲ掛ケテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス。農産物ト致シテハ、米ガ例年ノ基準數量ガ九十五萬五千七百七十石、十六年度ノ増産數量ガ五萬一千五百三十石、合計本年ノ増産目標ハ一百萬六千石ニナツテ居リマス。先般ノ農林省ノ發表ニ依リマスルト云フト、米收穫高第一回豫想ハ八十八萬三千三百九十萬石デ、前年度ニ比シテ一萬三千石ノ減少ノヤウデアリマスルガ、私ナドガ行ツテ調査致シテ居ル時分ニハ、本年ノ増産目標ニハ達シナイカモ知レナイケレドモ大體平年ノ基準數量ニハ達スルデアラウト云フヤウナ樂觀的ナール。又非常ニ成績ガ好カツタノデアリマス。右産額ニ對シテ約七十萬石ヲ消費致シテ居リマスカラシテ、結局二十萬石ダケハ香川縣カラ他ヘ移出シテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス。次ハ麥ノ産額デアリ

マスガ、コレハ七十九萬六千二百四十二石デ、米ニ次デ多額ノ産額デアリマス。甘藷ノ産額モ八百五十一萬三千何某ト云フ風ニナツテ居リマス。家畜トシテハ牛ガ一番デ、ソノ次ニハ鶏、コレモ多數ニ上ツテ、從ツテ養鶏戶數ト云フモノモ三萬五千九百三十五戸ニナツテ居ルト云フヤウナ状態デ、ソノ外副業ト致シマシハ筵、叭ノ製造ガ盛デアリマス。德島縣ハ總人口七十二萬八千七百四十八名デ、戶數ガ十四萬五千八百三十五戸ノ中農家ガ八萬一千二百十三戸ニナツテ居リマス。面積ハ香川縣ニ比シテ廣ク、四國デ第三位ニ位シテ居リマス爲ニ、耕地面積ト致シテハ田ガ二萬八千二百八十四町、畑ガ二萬一千七百十六町、計五萬三千町ニナツテ、農家一戸當リ六反五畝、香川縣ニ比ベマス、多少農家一戸當リノ反數ガ多クナツテ居リマス。畑ハ比較的ニ多クアリマスガ、主トシテ藍、桑ノ栽培地デアリマス爲ニ改田ヲナス餘地ガアリマスシ、又香川縣トハ反對ニ増産ノ見込ミモアルヤウデアリマス。香川縣ハ先程申シマシタヤウニ水ガ少イニ比ベマシテ、德島縣ハ水ガ非常ニ多ク却ツテ水害ノ危險ガアルヤウナ譯デ、此處デハ河修工事等ニ非常ニ力ヲ入レナケレバ田畑ヲ荒廢セラル、惧レガアルヤ

ウデアリマス。那賀郡ノ如キハ折角工事ヲ致シテ居リマスガ中止ノ形ニナツテ居リマスノデ、地元デハソレガ完成ヲ非常ニ要望シテ居ル次第デアリマス。次ニ德島縣ハ農産物ト致シテ、米產ノ基準數量ハ五十五萬三千石デアリマスガコレニ對シテ消費額ガ約六十五萬石ニナツテ居リマス爲ニ約十萬石ノ不足ヲ致シテ居リマス。ソレデ縣ニ於テハ昨年五箇年計畫ヲシテドウシテモ自給自足ヲヤラナケレバナラナイト云フヤウナ方針ヲ立テ、昭和二十年迄ニ自給自足ノ方針ヲ立テテ、ソノ計畫ヲ着々進メテ居ルヤウデアリマス。本年ノ増産數量ハ三萬三千八百石、計五十八萬六千八百石ガ本年度ノ増産數量ニナツテ居リマス。先般ノ農林省發表ノ米收穫高ガ第一回ノ豫想ニ依リマスルト五十五萬六百五十七石デ、前年度ニ比シテハ、一萬五千六百五十七石ノ増加ヲ見テ居リマス。我々ガ調査ニ行ツタ時分ニハ、コレヨリモツト増産スルデアラウト非常ニ元氣ゾイテ、又土地トシテモ喜ンデ大體普通ノ基準數量ノ五十五萬三千石ニ達スルノヂヤナイカト云フ風ニ見テ居ツタノデアリマス。次ニ麥産額ハ四十九萬六千二百八十七石デ、裸麥ガ一番多ク、コレニ小麥ガ次デ、大麥ハ極少量デアリマス。甘藷

馬鈴薯、蕎麥ガソレニ次デ居リマス。家畜ハ牛、養鶏ガ盛
デアリマスルガ、併シコレモ香川縣ニ比シマスルト云フト
徴々タルモノデアリマス。次ニ調査ニ參リマシタ各町村ノ
戸數、耕地面積、主要農産物及ビ増産目標等ニ付テモ具體
的ニ述ベタイノデアリマスガ、時間ノ關係上コレハ省略ヲ
致シテ報告書ニ譲ルコトニ致シタイト存ジマス。

ソレカラ食糧増産ニ關スル組織機構デアリマスルガ、コ
レニ付テハ縣、郡、市町村ニ、各指導部ヲ設置シテ居リマ
シテ縣ノ指導部ハ組織、運営方法、指導方法ヲ定メテ知事
部長、關係課長、縣農會會長、縣農會幹事、農業技術員、篤農
家等ガ各々ソノ役割ヲ受持ツテ、以上デ連絡提携シテ縣下
全農會ニ増産目標、計畫並ニ耕種改良事項ヲ周知徹底セシ
ムルヤウニ圖ツテ居リマス。郡ノ指導部ハ大體縣ト同ジヤ
ウナ組織機構デアリマシテ、縣ノ指導部ト密接ナ連絡ノ下
ニ行事日程ニ依ツテ町村ヲ對象トシテ指導ヲ行ツテ居リマ
ス。次ニ町村指導デアリマスルガ、調査シマシタ各町村ニ
付キマシテ一々コレヲ具體的ニ述ベマスルコトハコレ亦煩
ニ堪ヘナイシ時間モアリマセヌノデ、先ヅソノ中松茂村ノ
組織機構ダケヲ説明シテ、他ハ書面ノ報告ニ譲ツテ省略ヲ

致スコトニ致シマス。

德島縣板野郡松茂村ニ於テハ全村ヲ報國農場トシマシ
テ、本部ヲ村役場ニ置イテ、コレニ企畫部、指導部、宣傳
部ノ三機關ヲ設ケテ、村長、助役、村農會技師、村勸業主
任、農業主任、收入役、各學校長、青年學校職員、穀物檢
査員、農會顧問等ヲシテ部長、副部长、主任等ノ役割ニ就カシ
メテソレ々ノ職務ヲ行ハシメテ居リマス。即チ企畫部デ
ハ増産計畫、改良計畫、指導ノ調整、各部連絡統制、努力
調整、講習、講演會ヲ開イテ居リマス、指導部ハ精神的及
ビ技術的方面ノ増産、指導者助ヲナシ、計畫、調査並獎勵、
資材ノ配給、部落團體ノ指導方面ニ力ヲ注イデ居リマス。
宣傳部ハ通報並ニ宣傳各種團體間ノ連絡、記録調査ヲ爲ス
事ニ致シテ居ルヤウデアリマス。左様ニシテ本部ヲ第一農
場カラ第三農場ノ三ツニ分チマシテ、ソノ下ニ第一班カラ
第十班迄ノ指導班ヲ置イテ、ソノ指導ノ下ニ更ニ二十七ノ
實行班、即チ農事組合ニコレヲ結ビ付ケテ、コノ農事組合
ヲシテ各農家全部ニ洩レナク改良事項ノ周知徹底、並ニ増
收ノ目標達成ニ非常ニ努メテ居リマス。以上述ベマシタ外
ノ町村ノ機構ハ省略致シマスガ、大體各町村ノ組織機構モ

大同小異デアリマシテ、實ニコノ機關ノ組織ハ行届イテ、
町村常會、部落會、隣組ト云フ縦ノ組織ガ完備ヲ致シテ、
命令一下各農家全部ニ上意下達ガ出來ルヤウナ仕組ニナツ
テ、實ニ頼母シク見受ケラレタノデアリマス。

今度ハ努力、資材及ビ肥料問題デアリマスガ、ナント申
シマシテモ、今日地方農村ニ於テ不自由、不足ヲ來シテ居ル
モノハ努力、資材及ビ肥料デアリマスルガ、然ラバドウシ
テコレヲ克服シテ居ルカト見マスルニ、實ニ並大抵ナラザ
ル農民ノ努力ニ依ツテ、大體克服サレテ居ル次第デアリマ
ス。即チ努力ノ調整ノ點ニ付テ言ヒマス、先ヅ農繁期ニ
於ケル各種ノ農業作業ノ共同作業ニ依ツテ努力ガ補ハレテ
居ル。コレガ部落單位ニ行ハレテ居ル。病虫害ノ共同驅除
カラ田植、除草、施肥、收穫、調製ニ至ル迄爲サレテ居リ
マス。殊ニ羽ノ浦町ナドニ於テハ婦人ノ農業動員ヲスル意
味デ婦人常會ト云フモノヲ設ケテ、婦人ノ技術向上ヲ圖ツ
テ、男子ノ留守ヲ守ラシムルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居
リマス。共同作業ノ勞賃ノ計算ハ男方一圓五十錢、女ガ一
圓十錢、牛ガ三圓七十五錢、耕地占有者ノ方デハ反當リノ
實費ヲ支拂ツテヤツテ居ルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居ル

四五

ヤウデアリマス。次ニハ勤勞奉仕班ヲ編成シマシテ、コレ
亦田畑ノ耕作カラ各種ノ農業作業ガ爲サレテ居ルヤウナ課
デ、麥播、米麥ノ刈取、收穫及ビ脱穀、調整等ト云フヤウ
ナコトヲヤツテ居リマス。殊ニ青年學校、國民學校ノ生徒
ガ教員ノ引率ノ下ニ病虫害ノ驅除、誘蛾燈ノ點火、草刈、除
草迄シテ非常ナ功績ヲ擧ゲテ居リマス。ソノ次ニハ集團移
動ノ施設デアリマスガ、コレハ從來香川縣デハ岡山縣等ノ
地方ノ他府縣ニ迄移動班ヲ出シテ、事變前ハ隣ノ德島縣ニ
ハ約二千名——現在二百名ノ移動班ヲ出シテ居ル次第デア
リマシテ、又德島縣ハ約十年前カラ縣農會ノ獎勵ニ依ツテ
コレヲ實行シテ來テ居リマス。現在デハ百三十三箇町村ノ
中、八十箇町村迄ガコレヲヤツテ居ルト云フヤウナ状態デ
非常ニ盛デアリマス。大體、普通一班五名乃至六名トシテ
德島縣ノヤウニ南部ト北部トノ田植時期ノ異ツテ居ル所ニ
於テハ南部ノ田植ヲ濟マシテ、サウシテ又今度ハ北部ノ方
ニ移動班ヲ出スト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマスノデ、
非常ニ効果ヲ擧ゲテ居ルヤウデアリマス。普通公定貨銀ハ
德島縣デハ二圓二十錢カラ二圓七十錢ト云フ風ニナツテ居
リマスケレドモ、コノ移動班ノ賃銀ダケハ特別ナ許可ヲ得

四五

男女共ニ一律三圃ト云フ風ニナツテ居リマス。コノ移動班ハ縣農會ノ幹旋デ移動班員ニハ各自農家ノ證明書ヲ持參セシメマシテ、夫カラ田植ヲ應援サレル移動班ノ方々へ、又ハ田植移動班ノ應援ヲ受ケル農家へモソレ々色々ノ注意事項ノ印刷物ヲ配付シテ、習慣ノ喰違ヒヤ、或ハ言葉ノ使ヒ方デ多少氣マヅイ思ヒヲスルノガ普通デアリマスルケレドモ、縣農會モコレ等ニ付テ非常ナ細心ノ注意ヲ拂ツテ居リマスル爲ニサウ云フヤウナ喰ヒ違ヒモナクシテ立派ニ行ハレテ居ルト云フノデ、今後モ益々コノ移動班ヲ盛ニ致シタイト云フヤウナコトモ申シテ居タノデアリマス。コレハ人間ノ移動班デスガソノ外ニ牛ノ移動班ヲ組織シテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス。今度ハ共同炊事及ビ托兒所設置デアリマシテ、之ハ農繁期ニ於テノ婦人勞力ノ生産化ヲ圖ラムガ爲デアリマス。之亦多大ノ勞力調整ニ役立つテ居リマス。ドウシテ共同炊事ヲシテ居ルカト申シマス、コレハ相生ノ例デアリマスガ、コレハ大體隣組ヲ單位ト致シマシテ、マア一斗五升カラ普通五斗位ノ御飯ヲ炊キ得ル釜ヲ用ヒ、サウシテ又オ五ガ持合セ物、例へバ米トカ、味噌トカ、醬油トカ、魚、野菜、薪炭等個人々々ノ持寄ツタ物有

テ色々ノ機械ガ不十分ナ所ヲ緩和致シテ居ルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス。肥料對策ト致シマシテハ、先ヅ自給肥料ノ増産ニ努メテ居リマシテ、綠肥作物即チ紫雲英、青刈大豆ト云フヤウナモノ、栽培ヲ獎勵致シ、青年團體ハ堤防、原野等ノ野草ヲ一齊ニ刈取り、麥藁等ノ利用、堆肥増産ノ獎勵ニ努メテ居リマス。ソレカラ厩肥ノ完全處理ノ獎勵モヤツテ居リマスガ、殊ニ松茂村ナドニ於テハ詰込器ヲ設ケテ、コレハ村ノ費用デ千圓ヲ出シテ、サウシテ各戸一個ヅ、ヲ渡シテ置イテヤラセルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマスノデ、非常ニ厩肥ガ完全ニ處理セラレテ居ルト云フ風ナ譯デアリマス。農場又ハ家庭ノ殘滓物ノ利用、ソレカラ草木灰ノ蒐集、主トシテコノ草木灰ノ蒐集ハ婦人會ヤ國民學校ノ生徒等ニサセテ居リマシテ、コレ亦効果的デアリマス。次ニ人糞尿ノ利用獎勵ト貯藏槽ノ設備ニ努力ヲ致シテ居リマスガ、之ハ特ニ德島縣ノ松茂村ト羽ノ浦町ニ於テハ遠ク阪神地方カラ船デ運ンデ來テ居リマス。松茂村ハ百萬貫ヲ入レル目標デ現在九箇所ノ貯藏槽ヲ設ケテ、收容數量ガ三十萬貫ニナツテ、更ニ本年ハ六萬貫ノ貯藏槽ヲ設置シテ居ルト云フ譯ナ譯デ、コレハ非常ニ盛デアリマス

合セノ物ヲ持ツテ行ツテ、ソレヲ會計ノ人ガ前ノ家カラ持ツテ來タヤツハ幾ラダ、オ前ノ所カラ持ツテ來タ魚ハ幾ラダト云フヤウナ風ニ大體計算ヲシテヤツテ、コレモ非常ニ圓滿ニ行ハレテ居ルヤウデアリマス。子供ナド大體ソレガ煮エルト云フト自分ノ家ヘ運ンデ行ク、自分ノ家デハ間ジ物バカリ食ベテ居タノガ、今度ハ共同炊事ニナツタ爲ニ色々ノ物ガ食ベラレルト云フノデ喜ンデ、單ニ勞力不足バカリデナク農村ノ榮養保持ノ上カラモ共同炊事ガヨイト云フコトヲ言ツテ居リマス。共同托兒所モ亦勞力統後奉仕ニ代ルモノデ、共同炊事ト相俟ツテ好成绩ヲ舉ゲテ居ルノデアリマスガ、併シコノ共同作業、共同炊事及ビ共同托兒ハ個々ニ獨立シテハ左程ノ效果ガアリマセヌガ、矢張りコノ三ツガ相關聯シテ爲サシメルト云フコトガ一層効果的デアリマス。

ソノ他肥料ノ知識ノ一般ノ普及方法ヲ執ル爲ニ、ソレカラ色々村費ヲ以テ獎勵ヲスルト云フヤウナ方法デ、ソレカラ貯藏槽、或ハ共同配合等ニ付テ努メテ居リマス。大體以上申シマシタヤウニ窮スレバ通ズデ、種々ノ苦心努力ヲ傾注シテ現在ノ不足ガチデアリマスル勞力、資材及ビ肥料ヲ克服シテ事變前ト殆ド變ラナイト云フヤウナ效果ヲ舉ゲテ居ルト云フノガ地方ノ實情デアリマス。自然ニ支配セラレル不良條件ハドウスルコトモ出來ナイガ、少クトモ人爲ヲ以テスルコトノ出來ルモノハナンデモコレヲ克服スルト云フ風ナ非常ナ勇敢ナ大決心ヲ以テ農民ガ働イテ居ル譯デアリマス。

ソノ他食糧増産ノ目標達成ノ手段トシテ色々アリマスガ地力ノ増進トカ、低位收穫地ノ改良向上、多收穫品種ノ普及及苗代ノ改良、病虫害防除等ノ一齊勵行等ガ徹底的ニ行ハレテ居リマス。殊ニ病虫害防除ノ如キハ各村デ藥劑ノ無償配給ヲナシテソレガ普及ニ努メテ居リマス。香川縣ノ如キハ誘蛾燈ノ元祖ト言ハレル所デ、十年前カラ行ハレテ、今日ニ於テハ殆ド全縣ニ普及サレテ居リマス。現在約三萬九千町歩ノ水田ニ誘蛾燈ガ三十六萬餘年二回點火セラレテ居

ルト云フヤウナ譯デ、ソノ點火時期ナドモ全縣下實ニ壯觀ヲ極ムルト云フ風ダサウデアリマス。誘蛾燈ノ宣傳ヲ盛ニ縣廳ナドモヤツテ居ッタヤウデ、自分ナドガ初メテヤツタ爲ニ今ハ殆ド全国的ニ誘蛾燈ガ行ハレルヤウニナツタト云フコトヲ申シテ居タノデアリマス。ソレカラソノ外ニ又産増目標ノ標柱ヲ建設致シテ居リマシテ、松茂村ナドデハ長サ一丈角五寸ノ柱ニ目標數量ヲ反當リ増産數量ヲ記載シタ白イ柱ヲ各實行組合——松茂村デハ二十七箇所アリマスノデ、二十七箇所ニ建設致シテ居リマス。ソノ標柱ニハ、畜へ農家ノ底力、増産目標一萬四千二百三十四斗、反當リ增收一斗二升二合、サウ云フ風ニ書イテ、サウシテ通ル人又畑ニ往キ歸リノ農民ガソレヲ見テ自カラヲ刺戟サセルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス。又各農家ノ門柱ニモソレレ、増産目標ノ貼札ヲ貼ツテ居リマシテ、コレハ香川縣ノ各農家ノ門柱ニ貼ラレテ居ルモノデアリマスガ、米ノ増産、農家總動員、縣ノ目標百萬六千七百八石、一合ノ増産モ御國ニ御奉公、サウシテ我家ノ目標ト云フヤウナコトヲ栽培面積ガ幾ラ、收穫目標ガ幾ラト言ウテコレヲ門ノ所ニ貼ツテ、サウシテ毎日農民ガ畑ニ往キ歸リニソレヲ見

テ、サウシテ隣近所ニハ一體ドノ位ノ收穫ヲ目標トシテ貼ラレテ居ルカ、コレモ見タリシテ、非常ニ自分ヲ鞭打ツテ努力ヲ拂フト共ニ、又競争的ニナツテ非常ニ効果的デアルト云フコトヲ申シテ居リマシタ。松茂村ニ於テハコノ外ニ増産ノ達成祈願祭ヲ四月ノ十七日郷社春日神社ノ御前ニ於テ縣、郡ノ指導班員列席ノ下ニ獎勵員、各農場ノ代表、指導班員、實行班長、ソノ他各農家一戸一人ゾ、ノ出席ヲ求メテ壯嚴ナル祈願祭ヲ行ツテ各農家ニハ豐作物豐稔祈願祭ノ守札ヲ配付シ、又コレヲ門柱ニ貼ツテ居ルト云フ風ナ方法ヲ執ツテ居リマス。

以上ニ依ツテ見マスルニ、ドウシテ優良町村ニナツテ居ルカト申シマスルニ、先般モ御報告ガアリマシタヤウニ、大體村長トカ村ノ指導者ノ人格、徳望ニ支配セラル、モノガ多イヤウニ見受ケラレタノデアリマス。從ツテ村長ノ任期モ三期、五期、六期、長イ者ニ至ツテハ二十年三十年ト云フ間繼續ヲ致シテ居リマス爲ニ村民ハ慈父ノ如クコレニ從フト云フヤウナ風ニナツテ居リマス。ソノ爲ニ非常ナ村ノ發展ヲ來シテ居ルヤウニ見受ケラレタノデアリマス。又村ノ相當ナ裕福ナ人々ガコノ時局ヲ認識シテ大抵コノ増産

致シテ居ルノデアリマス。村常會ナドヲ見マスルト云フト實ニ立派ナモノデ、コノ開會ノ順序ト致シマシテモ、一々宮城ヲ遙拜シ、神社禮拜——二拜二拍手一拜ヲ致シテ、ソレカラ國歌合唱、靖國神社ノ英靈ニ對スル感謝並ビニ皇軍將兵ノ武運長久ノ祈願獻壽、勅諭奉讀ソレカラ常會ノ宣誓ヲ三唱シテ、カウ云フヤウナ儀式ガ濟マナイト肅事ニ移ラナイ。而モソノ禮堂ナドニ入りマスと云フト、コノ場所ニ於テハ村ノ發展ノコトノミヲ語ルト云フヤウナ標語ノ貼札ヲ掲ゲテ居ツテ、出來ルダケ無駄ナ論等ヲ避ケルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス。隣組又然リデ、私ハコノ田舎ニ參ツテ田舎ノ隣組ガ非常ニ組織的デアルト見マシテ、寧ろ都市ノ方ニ於ケル隣組ノ餘リニフシダラナ、餘リドウモ發展シテ居ナイノヲ遺憾ニ感じタ譯デアリマスガ、成ル程田舎ハ先祖代々其處ニ住居致シテ居リマスシ、或ハ職業的ニ於テモ貴賤貧富ノ差ガナイカラコノ立派ナ隣組トシテ發展ヲ致シテ居ルノダラウト思ヒマスガ、私ハ都市ニ於テモコレト同ジヤウナ意味ニ於テドウシテモ矢張りコノ隣組ヲ發展サセルヤウナ方法ヲ執ラナケレバ駄目ヂヤナイカト云フト痛感致シ

計畫ニ對シテハ犧牲ヲ拂ツテ居ルト云フヤウナ人モアリマシテ、松茂村ナドハ村長モ相當ナ資産家デ、自分ノ資財ヲ惜氣ナク使ツテ居リマスガ、ソノ親戚モ二千萬圓以上ノ富豪ガアツテ、共同作業場ヲ作ルトカ、サウ云フヤウナ場合ニハ自分ノ山カラ材木ヲ切出サシテ只デヤルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ、ソノ共同作業場ハマダ建築中デアリマシタガ、我々現場ヘ行ツテ見タガ、非常ニ立派ナモノガ建築サレツ、アルヤウナ譯デアリマス。農家ノ時局認識ハ非常ニ徹底致シテ居リマシテ、地主、小作人ノ協調モ十分ニ取レテ居リマス。御承知ノ通り香川縣ナドノ如キハ小作等請ヂ有名ナ縣デアリマシタガ、今日ニ於テハソノ跡ヲ絶ツテサウ云フヤウナ小作等請ナドハ一ツモアリマセヌ。香川縣ノ相生村ノ如キハ早寄村トシテ有名ナ村デアリマスガ、コレガ對策トシテハドウシテモ多數ノ溜池ヲ作ラナケレバナラナイノデ莫大ナル費用ヲコレニ要シテ居リマスガ、工事費十二萬圓ノ溜池ノ經費ヲ全部地主ガ負擔シタト云フヤウナコトモシテ居リマス。或ハ良米、又ハ納入良好ナモノニ對シテハ獎勵金ヲ交付シテ、コレハ地主カラ交付ヲシテソノ他金ノ立替ナドモシテ小作人トノ協調ヲ致シテ増産ニ邁進

四九

タ課デアリマス。コノ隣組が強化セラレタナラバ從ツテ配給モ圓滿ニナリ、又闇ヲ防止スルコトガ出來、防空ノ徹底ヲ期スルコトガ出來ルノデヤナイカ、要ハ私ハコノ隣組ノ強化發展ト云フコトガ、專變收拾ノ上ニ於テ効果ヲ齎スノデヤナイカト云フコトヲ、痛感致シテ參ツタ次第デアリマス。

以上申シマシタヤウニ非常ニ農村ノ方ニ於テハ時局ヲ認識シテ血ミドロノ働ヲ爲シテ居ル。我々ハ少クモコノ農民ノ努力ニ對シテハ感謝ノ意ヲ拂ハナケレバナラヌト考ヘマス。先般モ實行組合長、或ハ篤農家ヲ國家ヲシテ表彰セシムルヤウナ方法ヲ執ツタラヨクハナイカト云フヤウナ御意見モアリマシタガ、私ハ寧ロモツト進ンデ農民全體ニ對シテ何か感謝ノ意ヲ表スルヤウナ方法ヲ執ルト云フヤウナコトヲシタ方ガヨクハナイカト思ヒマス。今度ノ米價ノ引上ゲ、或ハサウ云フヤウナ多少ノ事柄デモ非常ニ農村ヲ喜バシテ居リマス。ダカラシテ今實業會アタリデハ今度ノ新嘗祭ニ於テ新穀感謝祭ヲヤルト旨ツテ居リマスガ、ドウ云フ風ナ具體的方法デ御ヤリニナルカ分リマセヌガ、少クモコレハ新穀感謝祭ニ於テモモツト具體的ニ農村全般ニ對

ハ農會技術員ガヤツテ居リマスケレドモ、コレニハ藥物、毒物モ包含セラレテ居リマスノデ、實際カラ官フツ藥劑師ト云フ資格ヲ有ツテ居ル人デナケレバ出來ナイノデアリマスカラシテ、矢張り農會或ハ農會ノ技術員ヲシテコレハ公然ト使用スルヤウニ法ノ改正ヲ望ムト、ソレカラ農業藥劑ノ國家管理ヲ要望致シテ居リマス。コレハ羽ノ浦町ノ要望デアリマスガ、昨年浮腫子ガ非常ニ發生シタ爲ニ本年モ浮腫子ガ非常ニ發生スルダラウト云フ豫想ノ下ニ除虫菊ノ配給ヲ澤山受ケテ居リマスガ、處ガ今年ハナンノ被害ガナイ爲ニコレヲ持腐ラシテ居ル。處ガ町村ニ於テハソノ貯蔵方法ガナイ爲ニ非常ニ困ツテ居リマスノデ、寧ロコレヲ藥劑ノ國家管理ニシテ置イテ、サウシテ要求ノアル時ニハイツ何時デモ、配給ヲシテ行クト云フヤウナ方法ヲシテ貰ヒタイ。ソレカラ香川縣邊リデハ特ニ米ノ産額ガ非常ニ多イノデアリマシテ、コノ度ノ政府ノ米ノ買上價格ノ引上ゲ、獎勵金交付ハ非常ニ効果的デアリマスノデ、麥モ一ツ之ト同ジ様ニシテ貰ヒタイ。殊ニ麥ノ栽培費ハ米ノ栽培費ヨリモ莫大ナ費用ヲ掛ケテ生産費ヲ償フ事ガ出來ナイ様ナ状態ニナリマスルカラシテハ政府ニ於テ少クモ買上價格ノ引上

シテ感謝ノ意ヲ表スルヤウナ方法ヲ執ルコトモ亦良イ方法デハナイカト思ツテ私ハ特ニ實業會ニ對シテ提案ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

次ニ各町村カラノ要望事項デアリマスガ、コレモ多岐多様ニ亘ツテ非常ニ多クアリマスガコレモ大體報告書ニ讓ルコトニ致シマシテ、ソノ主ナモノダケヲ申上ゲタイト存ジマス。先づ第一肥料取締法規ヲ改正シテ戴キタイ。現在ノ法規上肥料ト申シマス、植物ノ榮養ニ供與スル質量トナツテ居リマスル爲ニ、ソノ取締ヲ受ケル燐素、燐酸、加里ノ三大要素ヲ含有シテ居リマスモノ、ミヲ取締ツテ居リマス爲ニ、コノ以外ノ肥料類似品ガ取締ラレテ居ラナイ。地方ニ行ツテ見マスルト云フト、肥料ト云フ名前ガ付イテ居レバナンドモヨイ。何程ノ値段デモヨイト云フヤウナ工合ニナツテ居リマスルノデ、ソレニ乘ジテ惡肥料商ガナンノ肥料モナイモノヲ肥料ト云フ名目ヲ付ケテ類似品ヲ販賣致シテ居リマスノデ、カウ云フヤウナ現在ノ肥料取締法ニ於テハ、コレガ取締ヲ受ケラレナイヤウニナツテ居ルカラシテ、コノ法規ヲ改正シテ取締ルヤウニシテ戴キタイ。ソレカラ農業藥劑師ノ設定デアリマスガ、現在農業藥劑ノ取扱

ゲラシテ、又ソノ生産獎勵金ヲ交付スルヤウナ方法ヲシテ戴キタイ。ソレカラ自作農ノ創設問題デアリマスガ、現在ノ農地價格統制令ニ依リマスルト云フト土地ノ價格ガ非常ニ安クナツテ居リマス爲ニ、地方ノ地主ハソレヲ賣ツテ、サウシテ自作農ヲヤラシタクテモ餘リ値段ガ安イ爲ニ賣レナイ。ダカラシテコノ農地價格統制令ヲ改正シテ土地ヲモウ少シ高ク賣リ得ルヤウナ方法ヲ執ツテ、自作農創設ヲ完全ニ出來ルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイ。ソノ外ハ小作料ノ適正要望デアリマス。ソレカラ増産獎勵金、コレモコノ間話ガアリマシタガ増産獎勵金、補助金ノ交付ガ縣廳ニ參リマシテカラソノ交付ガ非常ニ遲延致スノデ、今度ノ食糧増産補助金ノ三千萬圓ノ中農會技術員ノ内示ガアツタケレドモマダソノ金ガ支給サレテ來テ居ナイ。ソレデハドウシテ居ルカト云フト、七月カラ月給四十五圓、ソレカラ臨時手當ヲ支給シテ居リマスガ、皆農會ハ地方銀行カラコレヲ借りテ、サウシテソノ利子ヲ負擔シナケレバナラヌト云フヤウナ譯デ困ツテ居ルカラシテ、ナントカシテ早クコレヲ農林省トシテハ配給方法ヲトツテ戴キタイ。

ソレカラ勞力ヲ濫用セラル、時ニ、殊ニ之ハ農村ノ技術者ナドデスガ、國民職業輔導所ガ勝手ニヤツテ居ル。ソレデ國民職業輔導所ガ農會ト協力ヲシテ、地方ノ農村技術者ヲ濫用スル時ニハ特ニソレヲヤツテ貰ヒタイ。肥料ノ配給ノ一元化、コレハコノ間モアリマシタヤウニ地方デ到ル處ニ叫バレテ居リマス。ソレデ香川縣デハ水田ニ煙草ノ作付ガサレテ居リマスノデ、ソノ縣下煙草作付面積ガ二千六百五十町歩ノ中水田ニ六百五十町ノ栽培ヲセラレテ居リマスノデ、ソノ爲ニ水稻並ニ麥ニ減少ヲ來シテ居ルノデ、コレヲ甘藷作ノ間ニ栽培セシムルヤウナ方法ヲ執ツテ水田ニ於ケル煙草ノ作付ヲ止メサシテ戴キタイ。ソノ他地下足袋ノ不足ガアツテコレヲ一ツ緩和シテ貰ヒタイト云フヤウナ要求モアリマシテ、殊ニ地方ニ配給セラレタ品物ノ中ニハソノ地方ノ實情ニ適シナイモノガ澤山配給サレテ來テ困ツテ居ル。殊ニコレハ相生村デノ話デアリマスガ、子供ナドハ田舎デハ警草履ヲ履イテ居ル。殊ニ靴下ノ配給ヲ五百モ受ケテ四百モ剩ツテ居ル。ソレカラ夏用ノ半ズボンノ配給ヲ受ケテ居リマスガ、學生トシテハコノ半ズボンナドヲ着ル者ハ一人モ居ナイ。ソレデ持餘シテ居ルト云フヤウナ譯デア

リマスノデ、カウ云フヤウナモノヲ配給スル時ニハソノ地方々々ヲ見テソノ地方ノ入用ナ物ニ對シテ配給スルヤウナ方法ヲ執ツテ貰ヒタイ。ソレカラ肥料ノ配給ナドモ非常ニ急グ場合ニ縣ノ役所ニ參リマスルト、或ハ課長ガ居ナカツタトカ、或ハ部長ガ居ナカツタトカ、ソノ爲ニ判ヲ貰フコトガ出來ナイデ二、三日、或ハ三日延ビシテ困ツテ居ルノデアル。サウ云フヤウナドウモ官廳ノヤリ方ガ如何ニモ手温イ。又ソノ爲ニ農作物ノ時期ヲ失スルト云フヤウナコトモアルノデアルカラシテ、サウ云フヤウナコトノナイヤウニ一ツシテ貰ヒタイト云フヤウナコトガアリマシタ。ソノ他色々アリマスガ小サクナリマスノデ、モウ時間モ經ツテ居リマスルカラシテ私ノ報告ハ以上ヲ以テ終リタイト存ジマス。

島田委員長 次ニ中國方面ニ行カレタ小林サンカラ御報告ヲ願ヒマス。
小林委員 私ハ本部カラ八谷君ガ同行サレマシテ二人デ四ヶ町村ニ行ツテ參リマシタ。滋賀縣デ二ヶ所、岡山縣デ二ヶ所、コレハドチラモ偶然デスカ、或ハ縣農會ノ方デサウイフ選擇ヲ致シタモノデアルカ知レマセヌガ、ドチラノ縣モ

一方ノ村ハ非常ニ天然ノ惡イ所、一方ハ非常ニ恵マレタ所ヲ見テ參ツタノデアリマス。滋賀縣デハ湖水ノ西ノ方、コレハ非常ニ天然ノ惡イ所デアリ、湖水ノ東ノ方ノ部分ガ非常ニヨロシイノデアリマス。
先ヅ滋賀縣ノ湖水ノ西ノ方ノ高島郡水尾村トイフ所ニ參リマシタ。茲ニハ極ク大體ニツイテ御報告ヲ申上ゲルコトニ致シタイと思ヒマス。
コノ村ハ小サイ村デ戸數二百戸足ラズ、土地ガ百七十町歩位デアリマス。コノ村ハ信用組合ガ非常ニ活動シテ居ル特徴トシマシテハ、技術員ガ良イヤウデアリマス。此處ノ技術員ハ半ズボンノヤウナモノヲハイテ、百姓ノヤウナ風ヲシテ居リマシテ、外ノ地方デ見マシタ技術員ノ轍子トハ大分違ツテ居リマス。コノ技術員ハ斯ウイス村デアルニモ拘ラズ長ク勤続シテ居リマス爲ニ田ヤ畑ノ癖ヲスツカリ知ツテ居ルノデアリマス。コノ田ハドウ、ドノ畑ハドウトイフヤウニ大體自分ノ知識ナリ經驗ヲ以テ農家ヲ指導シテ居ル。最近ニ至ツテ漸ク田圃ガ揃ツタと思ヒマス、斯ウイフコトヲ申シテ居リマシタ。大體申セバコノ村ハ先刻申ス通り條件ノ惡イ所デアル、排水ノ便ガ惡ク砂礫地ノ多イ所デ

アリマス。色々アルノデスガ、一ツノ田畑ニツイテ産業計畫ヲ立テ、ソレヲ一軒々々ノ農家ノ門ニ貼出シテ、技術員ガ巡ツテ指導シテ居ルトイフ實情デアリマス。デ、低位收穫ノ農家トイフモノガ相當アツタサウデス。ソレハ色々原因ガアリマスケレドモ、勞力ガ足りナイトカ、糞デ金ガ要ツタトカ、殊ニ農民ノ實收ガ足りナイトカ、色々原因ガアリマスガ、サウイフ低位收穫ノ農家ニ對シテ指導員ガ非常ニ力ヲ入レテ、今デハ田圃ガ揃ツタ、ツマリ低位收穫デナク、皆ガ似寄ツタ收穫ヲスルヤウニナツタトイフコトデアリマシタ。
サウイフ指導ヲシテ居リマスカラ、例ヘバ肥料ヲヤルニツイテモ、肥料ヲ先ニ渡シテ置クト、肥料ヲ施シタ處ヘ雨が降ツタリスルト肥料ガ雨ニ流サレテシマツテ效果ガ少イソコデ肥料ヲ施ス一日カ二日前ニ配給ヲスル。或ハ綠肥ノ作り方トカ細カク話サレタガ、之ヲ要スルニ非常ニ努力ヲシテ居ル。コノ天然ノ惡イ村デ村民ガ一致シテ非常ニヨクヤツテ居ル。又地主階級ト申スモノモナカ、有畜農業等ニツイテ率先シテ小作ヲシテ居ルヤウナ者ヲ指導シテ居ルソノセイデアリマスガ、地主感謝祭トイフモノヲ毎年ヤル

サウデアリマス。コレハ米五合ヅ、持寄ツテ飯ヲ炊イテ地主ヲ招ビ御馳走ヲシテ感謝スルトイフコトデアリマシタ。

要スルニ村内非常ニ仲良クヤツテ居ル。技術員ガ優秀デアル。村長ハ何カ外ニ差支ガアツテ會ヒマセヌデシタガ、サウイフ工合デコレハ優秀村ト見ラレタノデアリマス。

ソレカラ肥料ニツイテハモウ不足ハアリマセヌ。今迄實ハ入レ過ギテ居ツタノデスケレドモト云フコトデアリマシタ。多少ノ不足ハアリマスガ、大體優秀村ト見テ差支ナイト思ヒマス。

次ニ滋賀縣ノ湖水ノ東ノ方、コレハ條件ノ良イ方ノ八幡村デアリマスガ、水尾村ニ比ベルト五六倍大キイ。面積八方里、十三部落、戸數千二百、田ガ六百八町歩、林野ガ七十六町歩、地勢ガ平坦デ中農ガ多イ。土地ガ肥沃デ生産ニ適シ水利ガヨロシイ。配水工事モ明年中ニハ全部完成スル副業ハ畜産ガ主デ養鶏ヤ豚ナドヤツテ居リマス。農事實行組合トイフモノガ非常ニ活動シテ居リマス。此處ノ農事指導員トイフモノハ縣デモ最モ優秀ナ人、農學校ノ校長ナドニ頼ンデ居ル。サウイフ人ガ辭職シテ歸ツテ來テコノ村ノ指導ニ當ツテ居ル。コノ技術員ノ外ニ專任者ガ三人、兼任

技術ノコトハ私ハヨク分リマセヌカラソノ程度ニ致シテ置キマス。

ソレカラ托兒所ヲ作ツテ居ル。忙シイ時ニオ寺ヲ托兒所トシテ子供ヲ預ツテ居ルトイフヤウナコトヲヤツテ居リマス。

マアコノ村ハ交通モ便利デアリマスシ、今申シタヤウニ鐵道ノ従業員ナドガ多イ。又京都ソノ他ノ都會ガ近イモノデスカラ、會社、商店、銀行等ニ勤メテ居ル者ガ多ク、從ツテ收入モ相當多イノデ、謂ハバ農村トハ思レヌヤウニ非常ニ恵マレタ村デアリマス。

ソレカラ最初申シマシタヤウニ土地ガ他地方ヨリモ纏ツテ居ル。平坦デアツテ交通ノ便利ガ良イ所デス。村内ガ飛ビ／＼ニ部落ガアツタリスルノト違ツテ非常ニ纏リガヨイヤウニ見受ケラレマシタ。村長ノ話デハ、コノ村ニハ十三部落ニ對シテ寺ガ二十六ヶ所アル。一ツノ部落ニオ寺ガ平均ニツアル譯デス。本願寺ガ二十三、天台宗ガ一ツ、禪宗ニツ、ソコデコノ宗教的ノ影響ガ相當ニアルンデヤナイカトイフ話デアリマシタ。併シ、コレハ後ニ御報告致シマスアレドモ、岡山縣ノ六條院町トイフ所デハ村内ニオ寺ガ二

者ガ五人、合計技術員ガ九人居ル。コノ農事實行組合トイフモノガ或ハ共進會ヲ催シ、或ハ色々獎勵金ヲ出シテ、ソレ／＼ノ作物ニツイテ優秀ナ作物ヲ作ルヤウニ獎勵ヲスルトイフヤウナ譯デ、農家ノ成績ヲ高メテ居ルヤウニ觀察サレタノデアリマス。

特種ヲ村長ニ聞イテ見マシタ。ドウデスカ、コノ村ニ於テ特ニアナタガ良イト思ハレル點ヲ遠慮ナク言ツテ實ヒタイト申シマス、ソレハ人情ガ純デス。ソレカラ女ガ非常ニヨク働キマス。コレハ男ガ鐵道ヤナンカニ勤メテ居リマスカラ、留守宅ノ婦人ガ活動スル。或部落等デハ全部婦人ガ野良ニ出テ働イテ居リマシタ。從ツテ今年ハ之デ米ガ出來マスト申シテ居リマシタ。部落ノ女ガ申合セたら必ズ實行スル。コノ村デハ一本ノ神モ置カストイフ事ヲ申合セルト、ソノ部落ノ田ヘ行ツテ見ルト田圃ニ一本モ神ガナイ、實ニ婦人會ガ活動スルトイフ事ヲ村長ハ申シテ居リマシタ。

ソレカラコノ實行組合デ共同耕作トイフコトヲヤツテ居リマス。尙來年ハ排水モスツカリ完成シマスケレドモ、從來ノ稻種デアルト病氣ニ罹リ易イモノガアルカラ、今年カラ特ニ注意シテヤツテ居ルトイフ技術員ノ話モアリマシタ

ツシカナイ。一ツ大キナオ寺ガアツテ、ソノ末寺カ何カ一ツアル限リデアル。ソノ大キサハ八幡村ヨリモ大キキ人口モ多イ所デアル。ソレカラ神社ハ一ツシカナイ。ソレハ二三十年前ニ非常ナ町内ノ反對ヲ押切ツテ、村民ノ負擔ヲ輕減スルトイフコトヲ考ヘテ整理統合ヲ斷行シタサウデアリマスガ、コノオ寺ガ一ツ、オ宮ガ一ツデアルトイフコトガ村内ノ非常ニヨイ原因ダトイフコトヲ町長ガ言ツテ居リマシタカラ、之ノ判斷ハ私ハ致シマセヌ。コノ八幡村ニハ役場ノ講堂ノ壁ニハ表彰狀ガ何十枚モ掛カツテ居リマシタガ元々コノ村ハ良イ村デ、村内モウマク行ツテ居ル。指導員モサウイフ風ニ良イ人ガ居ルノデ經濟更生村デモアリマス天然ト人力ト相俟ツテ優秀ナ成績ヲ擧ゲテ居ルモノト認メルノデアリマス。

ソレカラ次ニ岡山縣ノ方ニ參リマシタ。ソノ一ツハズツト北ノ方ノ山奥ノ川上郡富家村、一ツハ南ノ方ノ鐵道ニ沿ツタ六條院町デアリマス。北ノ方ノ富家村ハ小サイ村デ戸數四百二十、人口二千三百、耕地面積ハ田ガ八十七町歩、畑ガ百六十三町歩位デアリマス。山ト谷ガ多ク平地ガ少イ。土質モ悪ク、日照時間

ガ少イカラ生産數モ少イ、天然ノ惡イ所デアリマス。

此處ノ村長ハ縣會議員デアリマス。最初實業會岡山縣支部デ聞イテ參リマシタ所デハ、ソノ人ハ普通ノ縣會議員ノヤウナ人デナイ、非常ニ農村指導ニ適シタ人柄デアルトイフコトデアリマシタガ、會ツテ見マスト、成程サウイフ人柄ノヤウニ見受ケラレマシタ。

時後トシテドシナコト申シマスト、マアサウイフ村長ガアル爲ニ村内ノ人ガ皆協力シ合ツテ居ル。田ヲ一段モ作ラナイ人デモ矢張り一町歩作ツテ居ルト同ジ様ニ助合ツテ居ルトイフ事デアリマシタ。消費節約ナンカモ昨年ハ一人一合八勺、今年ハ一人二合ヅ、ヲ勵行シタ。サウシテ供出米ハ御用米トイフ板札ヲ倉ニ立テ、御用米何石何斗、何ノ某トイフ風ニ張出シテヤツテ居ル。コレハコノ村ガ初メナダサウデアリマス。ソレデ大體米ノ飯ハ食ハヌ。麥飯ヲ多ク食ツテ居ルトイフコトデアリマス。

トコロデ、コノ村ノ困ルコトハ、村長ノ言ツテ居ツタ所ニ依リマスト、最近結核患者ガ非常ニ多イ。併シコレハコノ村ダケデハナイト思ヒマス。他デモ聞ク所ニ依ルト、近頃地方ニハ結核患者ガ多イノデアリマス。コノ村デモ若イ

タ所ダサウデアリマシテ、大正七年ニ養民會トイフモノガ出來テ居ル。コノ養民會トイフモノハ精神的ニモコノ村ノ人達ヲ指導シテ居ル。ソノ組織ヲ大部ニ分ケテソレノ項目ヲ定メテ實行シテ居ル。サウシテ村ノ活動ニツイテハ政治ニツイテハ難、經濟ニツイテハ難、婦人問題ニツイテハ難、米ニツイテハ難、小麥ニツイテハ難トイフ風ニソノ途ニ塔能ナエキスバートガ分擔シテ夫々ノ部落ノ指導ヲヤツテ居ルトイフコトデアリマシタ。

最後ニ岡山縣ノ南ノ方ノ六條院町ヲ見タノデアリマス。コレハ岡山縣カラ汽車デ四五十分、交通頗ル便利、人口五千二百、戸數千二百、一里四方、耕地四百町、町長ハ矢張り縣會議員デアリマスガ、親ノ代カラ徳望家デ縣會議員トシテ町長ヲシテ居ルトイフコトデアリマシタ。學校ハ町内ニ一ツ、宗教ハサツキ申シタヤウニ大少ニツノオ寺ト一ツノオ宮ガアル。コレハ非常ニ町民ノ負擔ガ輕減シテヨイトイフコトヲ町長ハ言ツテ居マシタ。ソレト共ニ町内融和ノ大ナル原因ニナツテ居ルトイフコトデアリマシタ。

農繁期ニハ五日間共同炊事ヲヤツテ居ル。コノ共同炊事ハ外ノ二ヶ村デモ聞イテ見タノデスケレドモ、部落ガ飛ビ

飛ガ勢勢仕ニ出テ、三人モ四人モ一週ニ發病シテ歸ツテ來タ。ソレデ避病院ニ收容シタケレドモ醫者ガ來ナイデ非常ニ困ツタトイフコトヲ言ツテ居リマシタ。

ソレカラ榮養ガ缺乏シテ居ル。魚ハ五十日目位ニシカ來ナイ。コノ間鮭ガ少シ來タサウデスガ、ソレモ皆ニ行渡ラヌ、極ク少シシカ來ナイ。ソレデ村長ノ言フニハ、何トカ鮭ノ粉デモ廻シテ呉レルコトガ出來マイカトイフコトデアリマシタ。ソレカラ榮養ガアリマセヌカラセメテ牛糞、人糞トイフヤウナモノヲ油デイタメテ食ヒタイトイフノデ胡麻ヲ作ツタ。サウシテ幾ラカ胡麻ヲ取リマスト、規則デ以テ二升以上ノ胡麻ヲ漬シテハイカストイフコトニナツテ居リマスカラ、折角胡麻ヲ作ツテモ、食ベヌ迄モ漬セバ違反デ警察ニ引張ラレル。コレハ百姓ガ可哀相デアリマス。コノ點ニツイテハ後ニ參リマシタ六條院町ノ町長モ之ト同ジコトヲ言ツテ居リマシタ。コレハ惡政ダトイフコトヲ申シテ居リマシタガ、誠ニ同情ニ堪ヘナイト思ツテ參リマシタ。

コノ村ハサウイフ風ニ天然ガ惡イニモ拘ラズ非常ニ涙ダマシイ努力ヲシテ來テ居ル。ソレハ今申ス通り村長ガ非常ニ勤勉デアアル。モウ一ツハコノ地方ハ床次サンガ指導サレ

飛ビニナツテ居ル所デハ不適當デス。ヤル氣ハアリマセヌトイフコトヲ言ツテ居リマシタ。此處バ羅ツタ所デアリマスカラ、適當ト見エテ現ニヤツテ居タサウデアリマス。五日間ヤツテ、毎日百二十三人ノ人ガ會食ヲシタ。コレハ主トシテ學校ノ女ノ先生方ガ中心ニナツテ世話シタサウデアリマス。從來田ノ忙シイ後デハ二三日休養ヲシナケレバナラナカツタノデスガ、今度ハ共同炊事ヲヤツテ非常ニ樂デマツタセイカ、チツトモ農家ハ休養ヲシナカツタ。ソレデ共同炊事ハ非常ニ效果ガアリマストイフコトヲ言ツテ居リマシタ。

ソレカラ肥料デアリマスガ、此處デモ矢張り今迄肥料ヲ餘リ使ヒ過ギタ傾向ガアリマス。現在配給サレルダケデ十分デス。併シナガラ私ノ町デハ堆肥ヲ作ラヌ者ニハ肥料ノ配給ヲセヌコトニシテ居ル。オ前ノ所ハ堆肥ヲドレダケ拵ヘタトイフコトヲ聞イテ肥料ヲ配給スル。ダカラ肥料ヲ配給シテ費ヲト思ヘバ自分ノ所デ堆肥ヲ作ラナケレバナラヌ百五十貫カラ二百貫ノ堆肥ヲ作ツテ居ル家ガアリマスカラ見セヨウトイフコトデアリマシタガ、見ズニ來マシタ。

ソレデモ此處モ矢張り指導員ガヨイ。學校長モ矢張り永

年コノ學校ニ勤メテ居ル人デ、今申ス通り學校ノ女先生達ガ共同飲事ヲ中心ニナツテヤツテ居ル位デスカラ、學校ト役場ト一體ニナツテヤツテ居ル。私共參リマシタノデ、村民ノ挺身隊ト申シマスカ、サウイフヤウナ人ヲ五百人バカリ寄セマシテ、一席話ヲシテ吳レトイフコトデアリマシタカラ一席講演ヲシテ參リマシタ。

私ノ視マシタノハ以上四ヶ町村デアリマスガ、之等ノ町村ガ優良デアルトイフ原因ヲ考ヘテ見マス、大體村ガ編ツテ居ル。ソレカラ農村ノ指導員ガ長ク勤続シテ居ツテ何レモ優秀ナ人達デアル。ソレニ村ガ編ツテ居ルモノデスカラ村民ハ皆緊張シ合ツテオ互ニ助け合ツテ居ル。ダカラ、バラ／＼ノ村或ハ地勢上部落ガ飛ビ／＼ニナツテ居ツテ、土地ノ人モナカ／＼願ヲ合サストイフヤウナ所ト違ツテ、イヂト云ヘバ皆寄ツテ來テ話ガ出來ルヤウナ點ガ原因ノ一ツダラウト思ツタノデアリマス。

コノ滋賀縣ノ水尾村、八幡村、岡山縣ノ宮家村及ビ大條院町モ皆ソレノミナラズ從來カラ傳統的ニウマク行ツテ居ルトイフコトデスカラ、村民ノ附合トカ、助合ツテ行ク氣風トカ昔カラ存在シテ居ルモノト思フ。勿論ソレニ加ツテ

時局ヲ認識シ努力シ合ツテ居ルトイフコトモ見送スベカラザルコトト思ヒマス。

ソコデ、私共考ヘタリ、又夫々ノ縣デ希望サレマシタ所ハ、農村指導員ヲ何トカモツト優遇シテ賞ヒタイ。獨リ物實ノミナラズ、ソノ他ノ點ニ於テ十分優遇シテ長ク其處ニ居ラレユウナ制度ヲ國家デ講ジテ賞ヒタイトイフコトデアリマシタ。尤モノコトデアルト思ツテ聞イテ參ツタノデアリマス。

要スルニ、各町村ヲ通ジテ肥料ニツイテハ大體現在配給サレテ居ルダケデ十分デアル、アトハ自給肥料デ間ニ合ハシテ居ルトイフコトデアリマス。ソレカラ努力ノ方モ今ノ處ハ共同飲事トカ共同苗代トカイフコトヲヤツテ何トカヤツテ居リマス。ソレトイフコトデアリマスガ、併シソレト同時ニ農村カラ若イ人ガドン／＼軍需工場ニ出テ行ク、所謂人ガドン／＼減ル時ニハドウシタモノカ考ガ付カストイフコトヲ云ツテ居リマシタ。

私ノ感ジマシタ事デハ、先ヅ米ニツイテハ大體増産キヤト云ツテ相當程度進行ツテ居ルノデハナイカ。農民ニ對シテモツト土地ヲ渡ス、官有ノ林野ナドハ適當ナ指導監督ノ

ルマイト思ヒマスガ、之等ノ點ヲヨク考ヘ願ヒ、尙研

究ノ上ニ適當ナ對策ヲ立ツベキデアルト思ヒマス。
報告ハ極メテ杜撰デアリマスケレドモ、最後ニ一言シテ置キタイ。農村ガ斯ウイフ現状ニアリマスノデ、動モスレバ農村ヲ指導獎勵スルトイフ態度ヲ履キ違ヘテ農民ニ媚ビルヤウナ態度ヲ執ラヌトモ限ラヌ。ソレハ嚴ニ戒メナケレバナラヌ點デアリマシテ、政府ノ責任ノ地位ニアル者ハヨク考ニナラナケレバナラヌ。若シ農民ニ媚ビルヤウナコトヲ致シマシタラ將來思ハザル禍根ヲ殘スト思フノデアリマス。

島田委員長 尙、新潟、富山縣ニ御出張ヲ願ヒマシタ高橋委員ノ御報告ガアルノデアリマス。又群馬、埼玉兩縣ニ御出張ヲ願ヒマシタ橋本委員ノ御報告モアルノデアリマスガ、兩君共據ン所ナイ差支ノ爲ニ御出席アリマセヌノデ、尤モ報告ノ要領ハ何レモ手許ニ配付サレテ居ルコトト思ヒマス。本報告ノ爲ニスル委員會ハ既ニ二回開キマシテ相當時間ヲ費シテ相當程度報告ヲ得、又文書ノ配付モ願ツタ際デアリマス。御兩君ノ報告ハ他ノ機會ニ於テ適當ニ處置ヲスルコトニ致シマシテ、優良町村ノ調査ノ爲ニ出張

下ニ開放シテ、耕作上ニ之ヲ提供スル。或ハ又一方ニ於テハ、米ニツイテハ相當限度マデ行ツテ居ルノデスカラ、アトハ麥トハ諸トカイフヤウナモノ、殊ニ麥ナドハ肥料サヘアレバ出來ルニ決マツテ居ルノデスカラ、米ト殆ド同額ニモ近イヤウナ收穫ヲ得ルノハ左程困難デハナイ、肥料次第デアルカラ斯ウイフ方面ニ一ツ努力シタラヨイノデハナイカ斯ウ思フノデアリマス。
又一方ニ於テ、農村ノ現状ヲ見マス、各觀察サレタ諸君カラ御報告ノアリマシタヤウニ農村ハ非常ニ緊張シテ居ル、農民ハ涙グマシイ努力ヲ致シテ居ル。併シナガラ政府トシテ考ヘナケレバナラヌコトハ、サウイフ緊張トイフモノガ何時迄モ續クモノカドウカ。或ハ之ヲ續ケルニハドウスレバヨイカ。今緊張シテヤツテ居ルカラト云ツテ、ソノ緊張ガズツト續ク見込デアアルノカドウカ。コレハ政府者トシテハ十分考ヘナケレバナラヌ點デアラウカト私ハ考ヘマス。チヨット速記ハ止メテ下サイ。(速記中止)
ドウカ賞費會ニ於テモ餘程腰ヲ入レテオ考ヲ願ヒタイ。時局斯クノ如クデアルカラ緊張セヨトイフヤウナコトヲ講演シテ歩クダケデ賞費會ノ能事足レリトイフヤウナ考ハア

サレタ諸君ノ報告會ノ意味ノ會議ハ一應之ヲ以テ發落ニシ
タイト思ヒマス。從ツテコノ報告等ヲ基礎トシテ各分擔者
ニ於テ調査ヲ進メテ居ラレル方々ニ對シマシテハ、段々時
モ經過致シマスカラ、ソノ成案ヲ編メルコトニ御盡力ヲオ
願ヒスルヤウニ致シタイト思ヒマス。サウシテ、コレハ初
メニ申上ゲタヤウニ、第一、第二、第三小委員長ニ御會合
ヲ願ヒマシテ、打合せノ上一應ノ結論ヲ得ルコトニ進ミタ

イト存ジテ居リマス。
本日ノ會議ハコノ程度ヲ散會致シタイト思ヒマス。尚、
防空演習等ノ關係デコノ次ノ定例ノ委員會ハ休ムコトニ致
シマスカラ豫メ御了承願ヒタイト思ヒマス。大變御苦勞デ
ゴザイマシタ。

六〇

午前十一時二十分散會



代
贈
寫

調查委員會第七委員會速記錄(十四)

(第三回第二小委員會)

大
政
翼
贊
會

第七委員會第三回第二小委員會速記録

場所 本部五階六〇號室

日時 昭和十六年十月三十日(木曜日)午前十時十分開會

出席調査委員

小委員長	村上龍太郎	岡田喜久治	三井清一郎	北勝太郎	末松借一郎
	三善信房	榊原平八	保坂幸治	中澤辨治郎	長野綱良
	本 部	側			
	八谷壽記外				

村上小委員長 ソレデハコレカラ第二小委員會ヲ始メマス。
 本日ハ三ツノ材料ノ提出ガゴザイマシタガ、ソノ第一ハ、「主要食糧消費規正要綱(案)昭和十六年十月七日」デアリマ
 スガ、コレハ皆様ノ御審議ノ御参考ニモナレバト云フ風ノ
 考カラ、私ノ本當ノ私案トシテ差出シタ意味合ノモノデゴ
 ザイマス。コレ迄ダン、ト御意見ノ御開陳、各般ノ資料
 ノ御提出モゴザイマシタノデ、一應審議ヲ纏メテ行ク上ニ
 ハ、何ダカ方向ヅケテ置ク必要ガアル。ソノ方向ヲドウ云

フ風ニ持ツテ行クカ、イロ／＼ノ考ヘ方ガゴザイマセウガ
 一應コンナモノデモ考ヘタラドウデアラウカト云フ風ノ意
 味ヲ御覽ニ入レル課デアリマス。御相談ニ依リ、適當ニ修
 正變更、又ハ附加シテ載キタイト思フノデアリマス。ソレ
 カラ三井委員カラ食糧消費規正方策ト云フモノヲ書イテ出
 シテ載キマシタ。本日ハマダ書寫ニ刷ツテ御目ニ掛ケル餘
 裕ガアリマセヌガ、後デ朗讀ヲシテ、載キ御参考ニ供シタイ
 ト思ヒマス。尙モウ一ツハ「臨戰時確保スベキ國民食糧(副

食物ノ件」ト「臨戰時確保スベキ一ケ年分ノ食糧」ト「献立ノ例」、コレ等ノ材料ノ御提供ヲ願ヒマシタ。後ノ二ツハ神原サンカラ戴イタノデアリマスガ、一應朗讀ヲシテ御話ヲ伺ヒマセウカ。

三善委員 朗讀ヲ止メテ、御説明ヲ伺フタ方ガヨイデセウ。

神原委員 私本日ハ十二時カラ講演ガアリマスカラ、私ノ提出シタモノニツイテ御疑問ガアリマシタラ御答ヘ申シタイト思ヒマス。大體私ノ出シマシタモノヲ、大要ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、如何デセウカ。

村上小委員長 夫デハ先ニ神原先生ノ御話ヲ伺ヒマセウカ。

神原委員 委員長カラ食糧ノ必要量、食糧ノ規正ヲ調ベヨト云フ御命令ガアリマシタノデ、ソレニ依ツテコノ案ヲ作ツ

タノデアリマス。大體私ノ考トシテハ、總テ生活ノイロ／＼ナ問題ハ、國民ニ生活ノ必要性ヲ知ラセルト云フコトガ根本トシテ必要ナ問題デアルト考ヘテ居リマス。サウ云フ風ノ考ノ下ニコレヲ作ツタノデアリマスガ、コノ算出ノ根據ハココニ書イテアルノデスガ、チヨツト初メカラ讀ンデ見テ、コレニ依ツテイロ／＼御疑問ガアリマシタラ問ウテ戴キタイト思ヒマス。ソノ前ニモウ一ツ申上ゲテ置キタイノ

ハレンコトヲ望ム。

食糧算出ノ根據

A、大衆ノ家計ヲ以テ負擔シ得ル食費ノ範圍ニ於テ栄養量ハ蛋白質八〇瓦、二千四百カロリヲ標準トシ主食物ヨリ所要カロリノ約七割、副食物ヨリ約三割ヲ攝ルコトトシ且ツ又毎日樂シミ得ル食費ヲ目標トシテ一ケ年三百六十五日分即チ一千九十五種ノ献立ヲ作りコレニ盛ラレタル食品ヲ種類別ニ分ケツノ量ヲ集計シテ先ヅ中等ノ勞作ニ従事スル成人男子ノ一ケ年間實際食用ニ供サルベキ夫々ノ食品ト數量ヲ定メ、更ニ之ニ第一表廢棄消失量ヲ乘ジテ各食品ノ所要量ヲ決定シタ。

斯ウ云フ風ニシテ、一番下ノ所要量ヲ計算シタ譯デアリマス。ソレカラ御承知ノ通り日本ハ南北ニズツト延ビテ居リマス關係カラ、土地ニ依リイロ／＼生産サレル物ガ違ヒマス。時季モ違フケレドモ、種類ニ於テハ大差ハナイト見テ、尙又献立ヲ作ル時ノ材料ヲ得ル爲ニ、東京ヲ中央ニシテ作ツタ譯デアリマス。次ノ通りニシタノデアリマス。

尙食品ハ主トシテ各季節ニ東京ニ出廻ルモノヲ採ツタガ全國ノ主要食品ハ量ニ多少ノ差コソアレ殆ンド東京ニ集マ

ハ、私共地方ヲ廻リ、イロ／＼ナ人ニ接シマス、生活改善ニツイテモツト實會ガ具體案ヲ示シテクレト頻リニ言フ、サウ云フ關係カラコノ案ヲ作ツタノデアリマス。コレハ内地、朝鮮、臺灣等總テ全土ニ及ブカト委員長ニ伺ヒマシタラ、取敢ヘズ内地ダケト言ハレマシタノデ、内地ノ狀況ダケノ調査トシ、又、コノ調査ハ献立ヲ基礎ニシテ調査シタノデアリマスガ、一般新聞雜誌ナドデ發表サレマス獻立ハ、程度ガ少シ高過ギルモノデスカラ、大衆ノ利用ニドウモ適シナイ譯デ、食費ノ算出ヲドコニ置クカト云フコトニナリマス、コレハ完全ナ献立ヲ作ル必要ガアル、サウ云フ關係カラ、イロ／＼ノ献立ヲ作り、大衆ノ家計ヲ以テ負擔シ得ル食費ト致シマシタ。サウシテ栄養量ハ蛋白質八十五トシマシタ。大體讀ンデ見マス。

臨戰時確保スベキ國民食糧(副食物)ノ件

國家總力戰體勢強化ノ必要トシテ銃後國民ノ食糧確保ノ問題ハ極メテ重要ノコトニ屬ス。

今内地ノ實狀ニ就キ調査スルニ國民總テニ適量ノ食糧ヲ供給スルニハ副食物ニ在ツテハ最少左記ノ數量ヲ必要トス。當局ハコレヲ確保ト適切ナル配給ニ最善ノ努力ヲ拂

ルヲ以テ品種ニ於テモ大體全國向ノモノト見テ可ナリト信ズ。

(第一表)

食品廢棄消失量

一、肉魚介類	
鳥獸肉類	三〇パーセント
魚肉類	一六パーセント
甲殻貝類	一六パーセント
卵類	八パーセント
其ノ他ノ加工品	一パーセント
二、蔬菜類	
蔬菜海藻類	一〇パーセント
其ノ他ノ加工品	一パーセント
三、調味料	
砂糖其ノ他	一パーセント
B、次ニ昭和十五年國勢調査ノ結果ニ依ル内地人口七千三百一十一萬四千三百〇八人ヲ採リ尙コレニハ現ニ從軍中ノモノモ含ムヲ以テ内地現住人口ヲ假リニ七千三百萬人ト見做シ之ニ消費係數〇、七ヲ乘ジタル五千百十萬人ニ更	

ニ幾分ノ豫備ヲ見込ミ五千二百萬人ヲ以テ國內消費單位人口トシタ。

C、次ニAノ一ケ年ノ所要量ニBノ消費單位人口ヲ乗ジテ國內一ケ年分ノ食品保有量ヲ算出シタ。

D、コノ保有食品量ヲ以テ大體毎日略々第二表ノ如キ營養食ヲ攝取スルコトガ出來ル。

E、尙食品々種別ニ依ル各月別ノ所要量及一ケ年間各日別ノ獻立アルモ特ニ後者ハ浩瀚ナルト且目下單行本トシテ印刷中ニ付茲ニ添付ヲ省略シタ。

コノ第二表ノ獻立ハ、私ガ毎月家計ノ方面カライロノ生計費トカ、物價ノ騰落ヲ乘ジテ、食費ノ金高ヲ算出シマシテ、コノ金高ヲ基礎ニシテ私ノ助手ニ毎月ノ獻立ヲ作ラシテ行ツタノデアリマスガ、ソノ助手ノ名デ以テ今單行本トシテ印刷シテ居リマス。若シ入用デアリマスレバ、ソレヲ御覽ヲ願ヒタイ。コンナ風ニシテ第二表ノヤウナ數字ガ出テ來タノデアリマス。

【獻立ノ例】

其ノ一

朝

すいき味噌汁

味噌

食匙 二、四〇

其ノ二

朝

油

大匙 一、一〇

料理名 材料 容量 數量(瓦)

豆もやし味噌汁 味噌 食匙 二、四〇

めざし鱈 豆もやし 食匙 五〇

もやし浸し 豆腐五目寄せ揚 辛子 茶匙 一、〇三

めざし鱈 豆 食匙 一、〇

もやし浸し 人参 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

もやし浸し 卵 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

もやし浸し 卵 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

もやし浸し 卵 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

ニ幾分ノ豫備ヲ見込ミ五千二百萬人ヲ以テ國內消費單位人口トシタ。

C、次ニAノ一ケ年ノ所要量ニBノ消費單位人口ヲ乗ジテ國內一ケ年分ノ食品保有量ヲ算出シタ。

D、コノ保有食品量ヲ以テ大體毎日略々第二表ノ如キ營養食ヲ攝取スルコトガ出來ル。

E、尙食品々種別ニ依ル各月別ノ所要量及一ケ年間各日別ノ獻立アルモ特ニ後者ハ浩瀚ナルト且目下單行本トシテ印刷中ニ付茲ニ添付ヲ省略シタ。

コノ第二表ノ獻立ハ、私ガ毎月家計ノ方面カライロノ生計費トカ、物價ノ騰落ヲ乘ジテ、食費ノ金高ヲ算出シマシテ、コノ金高ヲ基礎ニシテ私ノ助手ニ毎月ノ獻立ヲ作ラシテ行ツタノデアリマスガ、ソノ助手ノ名デ以テ今單行本トシテ印刷シテ居リマス。若シ入用デアリマスレバ、ソレヲ御覽ヲ願ヒタイ。コンナ風ニシテ第二表ノヤウナ數字ガ出テ來タノデアリマス。

【獻立ノ例】

其ノ一

朝

すいき味噌汁

味噌

食匙 二、四〇

其ノ二

朝

油

大匙 一、一〇

料理名 材料 容量 數量(瓦)

豆もやし味噌汁 味噌 食匙 二、四〇

めざし鱈 豆もやし 食匙 五〇

もやし浸し 豆腐五目寄せ揚 辛子 茶匙 一、〇三

めざし鱈 豆 食匙 一、〇

もやし浸し 人参 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

もやし浸し 卵 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

もやし浸し 卵 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

もやし浸し 卵 食匙 一、一〇

めざし鱈 卵 食匙 一、一〇

三善委員 廢棄消費ノ意味ハ……。

榎原委員 詰り骨トカイロノナ使ハナイ無駄ナ部分デス。

ココノ所ハ數字ガ違ツテ來マス。消費量ハ變ヘルコトガ出來マセヌカラ、數字ヲ變ヘテ行ク。パーセントハ變ヘルコトガ出來ナイカラ數字ヲ變ヘテ行キマス。

三善委員 サウスルト廢棄數量ヲ變ヘレバヨイノデスネ。

八谷書記 ロスト云フ意味デスカ。

榎原委員 食殘シハ考ヘマセヌ。詰り骨トカ何トカ食ベラレナイ分デス。

三善委員 純消費量ガ現在内地ニ於テ供給シツアルモノデ

ソノ中ニ消費サレテ居ル量ト見ラレタ譯デアリマスカ。

榎原委員 コレハ献立ヲ基礎ニシテ置キマシテ、何ハ何瓦ト

シテ分ケテ、全體トシテ集ツタノガ、一日分ガ蛋白八十五

二千四百カロリーヲ全體ノ攝取量ト見テ居リマス。

三善委員 純消費量ノ合計ガ、丁度蛋白質ノ八十五ニ總人口

ヲ掛ケタモノニナルノデスカ。

榎原委員 サウデス、ソノ三割ガ副食物ノ量ニナル譯デス。

三善委員 コレダケナイト國民ノ榮養ハ足りナイト云フコト

ニナリマスカ。

岡田委員 今ノ二千四百カロリーハ、御話ノ通り大衆献立ヲ

基礎トシタト云フノデスガ、日本ノ國民健康保持ト云フ見地カラ、マア少クトモコノ程度ナラバ榮養素ガ攝レルト云フ考ヘ方デセウネ。

榎原委員 サウデス。榮養ノ必要量ハ大體普通労働デ三百八

十五二千四百カロリーガ標準デアリマスカラ、ソレヲ基礎

ニシテ作ツタ譯デス。

岡田委員 ソノ標準ハドコカラ來タノデスカ。

村上小委員長 ソレハ餘程綿密ナ研究デアリマシテ、從來榮

養ノ方面ヲ二千四百カロリートシテアルガ、之ヲ頭ニ置カ

ズ、三十五歳ノ男子デ普通ノ労働ニ従事スル者ヲ、厚生科

學研究所デシタカ、白紙ノ状態カラ出發シテ研究シタ結果

三十五歳ノ普通ノ労働ニ従事スル男子デ、コレハ頭腦ヲ使

フ人、ソレカラ過激ナ労働ヲスル人、ソレカラ農村ノ農業

労働ニ従事スル人ナド、皆所要カロリーガ違フノデアリマ

ス。ソレカラ子供ト大人トハ違ツテ、大人ハ生命ヲ保ツ上

ノ基礎ノカロリート活動ニ要スルカロリーガアレバヨイサ

ウデスガ、子供ハ更ニ生長カロリート云フモノガ要ルノデ

十七八歳ノ子供ハモツト食ハナケレバナラヌサウデス。農

村デハ二千四百デ足ラヌデ二千九百ト申シマシタガ、我々

ハ二千四百食ハナクテモヨイ。ソノナヲズツトヤツテ大

體求メテ來ルト、先ヅ二千四百ト云フ數字ガ偶然ニモ一致

シタサウデス。

岡田委員 ソレハ老若男女ヲ間ハズ平均シタモノデスカ。

榎原委員 ソレハ二十一位カラ六十位迄ノ間デスネ。

岡田委員 最近ノ實費會ノ國民食ナドモ、結局ソコノ所ニ大

體落ツイテ居ル譯デスカ。ソレカラ今ノ扱ヒ方ガ、總人口

ニ掛ケテシマフ、サウシテ全國ノ平均トシテ出シテヨイノ

カ、今ノオ話ダト、二十歳六十歳ノ平均ト云フト、現有人

口ノ状態ハ、必ズシモソレニ依ラヌダラウト思ヒマス。

榎原委員 消費係數ハ年齢大數ニ依ツテ分量ガアリマスカラ

ソレヲズツト現在ノ人口ノ年齢別ニ掛ケテ……大數別ニ掛

ケテ平均シテ行クト、結局成人男子必要量ノ〇・七ガ平均

ノ必要量トナリマス。

岡田委員 消費係數ノ意味シテ居ルノハ……。

榎原委員 國民ノ平均消費係數デス。

三善委員 消費係數ハ一々違フヤウデス。水産部門ハ〇・八

デス。

榎原委員 水産部門ハ内閣ノ家計調査ヲ使ツテ居リマス。内

閣家計調査デ使ツテ居ルノハ、消費單位ハ衣食住全體ヲ含

ンダ消費係數デ、食糧ノ消費係數ハ、アレトハ違フ譯デス

ガ、ソレヲ伺フニハ取ツテ居ルノデ、多クナツテ居ル譯デ

ス。

三善委員 サウスルト續イテオ尋ネシタイト思ヒマスガ、所

要量ト云フノハドウ云フコトヲ意味シマスカ。所要量カラ

廢棄量ヲ引イタモノガ純消費量トナリマスカ。

榎原委員 サウナリマス。

三善委員 所要量ト云フノハ生産量デスネ。現在ノ生産量デ

ハナイデスネ。

榎原委員 ソレダケヲ欲シイト云フノデス。

三善委員 ソレカラ廢棄量ヲ引ケバ純消費量デ、コレダケ食

ツテ行ケバヨイ、純消費量ハ二千四百ニ〇・三ヲ掛ケタモ

ノデ、ソレニ三百六十五日ヲ掛ケ、五千二百萬ヲ掛ケタモ

ノガ總カロリーニナル譯デスネ。

榎原委員 サウデス。

三善委員 サウスルトコレガナイトチヨツト基礎ガ分ラヌヤ

ウデスガ、私共斯ウ云フコトヲ考ヘタイト思フノデス。今

日本ニ實際斯ウ云フ風ノ食糧が必要トスレバ、鳥獸肉ガド
ウ云フ風ニナツテ居ルカ、魚肉ガ含有シテ居ルトコロノ所
謂蛋白質ガドノ位アルカ、鳥肉ノ含有シテ居ル蛋白質ガド
ノ位アルカ、現在ノ日本ノ實際生産サレテ居ルトコロノ鳥
肉及獸肉ノ他蔬菜類ヲ以テシテ足リルカ足リナイカ吟味
シタイ。ソレカラモウ一ツオ伺ヒシタイノハ、八十五ノ蛋
白質中、動物質ノ蛋白質ガ二十瓦ナイトイケナイト聞イテ
居リマスガ、現在ノ日本ノ動物蛋白質ハ約九乃至十瓦シカ補
給シテ居ナイ。ソノ點ハ蛋白質アレバ、動物質デモ植物
質デモヨイト云フノデスカ。

辦理委員 大體蛋白質ハ八十五必要ダガ、ソノ中ノ大體四十
瓦ハ主食品ノ米麥カラ攝レル譯デス。後ノ四十五ガ副食物
カラ大體攝ルコトニナリマス。殘餘ノ四十五ノ三分ノ一ハ
大體肉カラ攝ル必要ガアルト云フノガ、大體一致シタ學說
デス。四分ノ一ト言ヘバ十三瓦カラ十五瓦デス。

三善委員 二千四百カロリノ中デ主食食物カラ七割ト云フノ
ハ……。

辦理委員 七割ト云フノハ總カロリノ七割デス。七割ハ主
食カラ攝リ、三割ハ副食カラ攝ルノデス。

ル。他ノモノト交替ガ出來ナイモノデスカラ、蛋白質ダケ
ハ五十瓦ノ以下ヲ取ル譯ニ行カナイカラ、安全率ヲ掛ケテ
八十五トシテアルノデス。サウ云フ關係デスカラ、八十五
ノ蛋白質ノ中ニハ、相當安全率ヲ見テ居ルト言ヘル。二十
瓦トシテモ十五瓦トシテモ、コレダケノモノヲ得ラルレバ
心配ハナイノデ、私共ハ十三瓦四分ノ一ガ適切ト思ヒ、ソ
レヲズツト使ツテ居リマス。

三善委員 ドウモ素人カラ考ヘルトソレガ變デス。私共食糧
對策ヲ考ヘル場合ニ、二十瓦トシテ考ヘルノト十五瓦トシ
テ考ヘルハ非常ナ違ヒデ、ソレデ日本ノ漁獲高ヲドウセ
ネバナラヌ、或ハ日本ノ獸肉ヲドウ云フ風ニ持ツテ行カネ
バナラヌト云フ基礎ガ、チヨツトドコニ置イテヨイカト云
フコトヲ考ヘサセラレルノモノデス。

辦理委員 今申上ゲタヤウナ關係デアリマスカラ、委員會デ
二十瓦ニ置カウトスレバソレ出テ來ル。十五瓦デ置カウ
トスレバソレ出テ來ルガ、私ハ十五瓦ニ置イタ方ガ、大
衆ノ獻立ヲ作ル上ニ於テモソノ方ガ便宜デゴザイマスカラ
必要量ヲソコニ取ツテ行ツタ譯デス。ソレカラ生産量ガコ
レニ伴フカト云フ御尋ネデアリマシタガ、コレハ水産會ニ

三善委員 蛋白質ハ別デスカ。

辦理委員 蛋白質、脂肪、含水炭素ヲ三大營養素トシテ、コ
ノ全體ノ中ノ總カロリノ中ノ七割ハ主食食物カラ、三割ハ
副食カラ攝ルノデ、コレハカロリカラ行キマスカラ、今
ノ蛋白質トハ違ツテ行キマス。

三善委員 今日日本人ノヤツテ居リマスコロノ動物蛋白質
ハ、大體九・五カ十以下ト思ヒマスガ……。

辦理委員 ソノ點ハ内閣統計局デ以テ、昭和元年ト二年ニ掛
ケテ、大規模ノ家計調査ヲヤリマシタ。アノ時ニ二ヶ月程
加入者ノ家計簿ニ全部消費量ヲ掛ケマシテ、ソレニ依ツテ
營養ヲ逆算シテ居リマス。

三善委員 水産方面デハ二十瓦ノ動物蛋白質ガ要ルト云ツ
テ居リマス。

辦理委員 蛋白質ハ體重一疋ニ對シテ一瓦必要ダト云フノガ
世界ノ學者ノ通說デス。日本人ハ今日ノ平均デ行クト體重
ガ五十疋デスカラ五十瓦必要ダ。五十瓦必要ナノニ八十瓦
ト云フノハドウ云フ意味カト云フト、蛋白質、脂肪、含水
炭素ノ三大營養素ハ、脂肪ト含水炭素ハ同シ原素デスカラ
交替ガ出來ル譯デス。蛋白質ハ元素ガ五ツデ以テ違ツテ來

行キ、水産物ニ對スルイロクナコトヲ伺ツテ參リ、參將
印刷物ヲ貰ツテ參リマシタ。ソレハ大體斯ウ云フ所要量ノ
計算カラ行クト云フト、現在ノ水産物デ間ニ合フト云フコ
トニナツテ居リマスノデ、安心シテ斯ウ云フ數字ヲ出シタ
ノデアリマス。水産會ニ行ツテ聽イテ見マスト、コレハ水
産會デ調べタモノデハナク、學術振興會デ調べタモノダト
思ヒマスガ、大體水産額ノ一割二分カラ二割一分位ガ、國
民ノ食糧ニ供セラレルサウデス。後ノ七八割ト云フモノハ
海外輸出トカ肥料ニナツタリスルノデ、コレハ學術振興會
ノ發表デアリ、水産會デモ同ジ説明ヲシテクレマシタガ、
假令サウ行カナクテモ、大體現在ノ生産量デ間ニ合フト云
フコトデアリマシタ。

三善委員 ソレハ動物蛋白質ニ鳥獸肉ヲオ加ヘニナツテノ
御研究デスカ。

辦理委員 サウデゴザイマス。

北委員 馬鈴薯カラ相當動物質ノ、蛋白質ガ出來ルサウデス
ネ。

辦理委員 馬鈴薯カラモ取レマスガ、日本デハ大豆カラ取レ
マス。大豆ハ畑ノ肉ト云ハレル程ニ、動物蛋白質ニ近イモ

ノヲ持ツテ居ル。コノ點ハ機會ガアツタラ委員會デ申上ゲ
 タイト思ヒマスガ、委員會ノ問題ニシテ職キタイト思ヒマ
 ス。大體ナウ云フ譯デ、肉百瓦ニハ二十瓦ノ蛋白質ヲ含ミ
 マス。魚類ダト十八瓦デス。ソレカラ豆ニハ百瓦ニ四十五
 デ、日本ノ大衆向獻立ヲ作ツテ、來マス。大體肉ガ百瓦
 豆ガ百瓦、野菜四百瓦使ヒマス。制合樂ニ獻立ガ出來ル
 譯デス。詰リ肉類似ノ蛋白質ヲ豆カラ二倍取ツテ居ル。豆
 ノ不足ト云フコトハ日本人ノ健康ニ非常ニ大キナ影響ヲ起
 スノデ、コノ豆ハ先達ヲ委員會デ聽イテ見ルト、滿洲ナド
 ハ豆ガ餘ツテ燃料ニ使ツテ居ルト云フノデスガ、アノ大豆
 ヲ持ツテ來テ肉蛋白質ノ不足ヲ補フ。サウスレバ生産ガコ
 レヨリ幾分低下シテモ、ソレ程不安ヲ感ズルコトハナイ。
 肉蛋白質ノ中ニハ生長ニ必要ナアミノ酸ガアリマス。生長
 期ノ者ニハ肉ガ必要デスガ、成人ニナレバ肉ハ豆ニ替ヘテ
 モ十分デアル。豆ノ蛋白質ニ依ツテコノ點ハドテラニモナツ
 テ行クト思フノデス。

北委員 北海道ノ大豆ハ今年ハ皆無作ニ近イノデ、コレハ重
 大問題デスネ。滿洲カラモ思フヤウニ入ラナイト云フ話デ
 ス。

ス。ヤウシテコノ所要量ガ大體鳥獸肉魚類野菜ナドト云フ
 モノデナクテ、各品種ニ互ツテ千餘種ノ物ガ皆必要ダト云
 フコトヲ發表スルト云フコトハ、コレハドウカト云フ疑問
 ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス。コレハ御確信ハアルダラ
 ウケレドモ、イロ／＼又議論ガ出ルダラウト思ヒマス。ソ
 レデコノ調査ハ非常ニ難シイ、先程モオ話ノヤウニ、日本
 ノヤウニ北カラ南ニ長イ國デ、ソレニ獲レル物ニモ季節ガ
 アリ、生産スル物ニモ季節ガアリ、又ソノ地方々々ニ依ツ
 テ常食トシテ居ル物ガ自ラ差ガアリマス。斯ウ云フ生活狀
 態カラ眺メテ、一定ノ營養率ダケ掲ゲテ、コレダケハドウ
 シテモ生産シナケレバナラヌト云フコトハ、果シテ實行ガ
 出來ルヤ否ヤ、實會トシテハ總テ現實ニ實施ガ出來ルト
 云フコトヲ目標トシテ、ドン／＼進ンデ行カネバナラヌ。
 斯ウ考ヘレバ考ヘル程難シイ問題ニ感ジテ來ルノデスガ、
 私ハチヨツト長野ニ行ツテ感ジマシタノハ、事變前ハ普通
 一人年ニ米一石五斗、一年一石ト云フモノガ平均デスガ、
 長野ハ山國ダカラ五斗平均デアツタ。ソノ他ハ馬鈴薯、畑
 ノ物、蕎麥ハ信州ハ有名デスガサウ云フ難穀ヲ補ツテ來テ
 主食ト考ヘテ來タ米ハ半分シカ食ハナイガ、コレデ長野ノ

神原委員 入レ物ガナイノデ、吠ヲ送ラネバナランノデスガ
 内地デモモツト雜草ノ中トカ、鐵道沿線ニ豆ヲ作レバヨイ
 ノデスガ、役所ナドハヤカマシクテ、鐵道線路ノ附近ニハ
 豆ヲ作ツテハイカメナドト云フノデ困リマスガ、川トカ、
 土手トカ、鐵道沿線ナドニ豆ヲ作ツテ、貴重ナ食糧ヲ確保
 スルコトモ必要ト思フノデス。

三井委員 私ノハ意見ガ加ハルカ知レマセメガ、御研究ノ結
 果オ骨折ニナツタノデスガ、實會トシテ、魚類ハドウ云
 フモノヲ漁獲シナケレバナラヌトカ、鳥獸肉ハドウ位、或
 ハ野菜ハドウシナケレバナラヌト云フ、一ツノ基準ヲ示ス
 ヤウナコトニナツテ、私共寡聞ニシテ今迄斯ウ云フ調査ハ
 見受ケマセメカラ、コレヲ出スト云フト、非常ニ社會ノ注
 目ヲ惹ク問題デアラマセウ、又コレガ理想デアリ、堂々ノ
 議論ガ出來ルモノナラバヨイノデスガ、ソコガドウカト思
 フ、ト云フノハ、學者仲間ニモ肉食ヲ缺イデモ日本ノヤウ
 ナ氣候ノ所デハ、野菜ヲ十分補充ガ出來ルト云フ菜食論者
 モアリ、現ニ二本博士ナドサウデアリマスガ、隨分サウ云
 フ人ガアル。必ズシモコレダケ食ハセバ國民ノ營養ガ不
 足ダト云フ結論ニハナラナイデヤナイカト思フノデアリマ

人ノ健康狀態ハドウカト云フト、徴兵検査カラ見テモ非常
 ニ成績ハヨク、頭モ非常ニ鋭イ。斯ウ云フヤウニ長イ間ノ
 經驗カラ云ハレテ居リマスガ、私モソノ話ヲ聞イテ、成程
 ト感ジタノデアリマスガ、斯ウ云フ點カラ見マシテモ、地
 方々々ニ行ツテ調べルト、案外米ヲサウ食ハズニ他ノ物ヲ
 食ツテ居ル所ガ多イ。關ナドノ獲レル所ハ、ソレデ營養ヲ
 獲ツテ居ル所モアリマス。コレハ平均率カラ大體斯ウ云フ
 標準デ生産シナケレバナラヌ。漁獲シナケレバナラヌト云
 フ意味ノモノデアリマスノデ、理想案デアリマスカラ、根
 據サハ確リシテ居レバ差支ナイト思ヒマスガ、餘程難シイ
 デヤナイカト思フノデスガ如何デスカ。

神原委員 ソレハ全ク難シイ問題デスケレドモ、併シサウ云
 フ調べガナイカラ、コノ實會ガ出スコトガ必要デヤナイ
 カト思フノデアリマス。ソレカラ一ツハ種類ハ魚類ハ魚類
 一本デ行ク、魚介類ハ魚介類一本デ行クト云フヤウニシナ
 カツタノハ、食物ハ唯營養蛋白八十五二千四百カロリート
 云フダケデナク、コレハ樂シミノ一ツデスカラ、目先ヲ變
 ヘル必要ガアリマス。コノ種ノ獻立ヲ作ツテ行クニハサウ
 云フ種類ガ必要ダト思フノデアリマス。無論コノ委員會カ

ラ提出サレルノハ、魚類肉類ヲ一緒ニシテモヨロシイ、肉
蛋白ヲ攝取スベキモノト云フ一本デモヨロシイ。野菜類ガ
コノ位ト云ツテモヨイ譯デスガ、併シ餘リ抽象的ナモノガ
多過ギルノモドウカト思ヒマスガ、確リシタ獻立ノ基礎カ
ラコレハ出タノデアリマシテ、コノ獻立ヲ作ルノニ、毎日
ヤツテ、一年分ヲ作ルノニ三月ハ掛リマス。サウ云フ基礎
ノ上ニ立ツテ、他デ發表サレテ居ナイ數字ヲ出シタノデ、
コレヲ出スニツイテハ私ハ確信ヲ持ツテ居リマス。今日ノ
榮養學ノ粹ヲ集メタ研究デ、御質問ニ對シテハドコ迄モ御
答ヘスルダケノ材料ヲ持チ、確信ヲ持ツテ居リマス。マア
コノ委員會ヲ採用サレルカサレナイカハ、コレハ皆様ノ御
意見デヨロシイノデスケレドモ、私ハ委員長ノ御命令ニ依
ツテ、私ノ最善ト思フ案ヲ出シタ譯デス。ソノ點ハドチラ
ニオ使ヒ下サツテモヨロシイノデアリマス。ソレカラ尙委
員ノ方々ノ御意見ヲ斯ウ云フ方面カラ消費方面ヲ研究シテ
見ヨト云フ命令デモ載キマスレバ、私ハソノ基礎ヲイロイ
ロノ資料カラ出シテモ見テモヨロシイノデアリマス。

三井委員

只今オ話ノ通り日本ノ國民ガ榮養食ト云フコトニ
對シテ、非常ニ知識ガ足りナイヤウデゴザイマスカラ、矢

マズレバ、先ヅ日本ノ食糧問題ト云フコトヲ、ソレカラ制
出シテ、ドレ位増産セナケレバナラヌカト云フヤウナコト
モ、考ヘラレルノデハナイカ、大體ノ見當デヨロシウゴザ
イマスガ、ソレヲ唯ボンヤリトシテヤツテモ、ナカ／＼ド
コニ目標ヲ置イテヨイカ分ラヌコトニナルト思フノデ、先
程オ話ノ通り實際ハ違ツテ來ルト云フ、オ話モアリマシタ
ガ、私ハソレヲ非常ニ檢討シテ見マス、ソコニ矢張り國
民ノ體位ガ、非常ニ健康デアルト云フトコロノ、取ルベキ
一ツノ理由ガアル、斯ウ私ハ思フノデアリマス。唯何デモ
食ツタラ非常ニ健康ダト云フ譯デナクテ、自然的ニ合理化
サレテ居ラヌカト思フ。一例ヲ申上ゲマス、私ノ縣ノ地
方ハ海岸チ殆ド米ガ出來マセヌ、平素食ツテ居ルモノハ、
甘藷ト魚類デアリマスガ、甘藷ヲ食ヒ、鰯ヲ食ツテ居ル人
間ガ、今日デハ一番體位ガヨイ、海岸地方デ而モ甘藷ノ出
來ル所ハ、米ハ食ハナクテモ、體位ハ非常ニヨイ。コレハ
徴兵検査ノ成績ニ依ツテモ明カニサレテ居ルト思フ。サウ
云フ點カラ能ク檢討シテ見マス、矢張り植物質ノ蛋白質
ト、動物質ノ蛋白質ガ、適當ニ按排出來テ居ルノデハナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレル。私ハサウ云フコトヲ考ヘマ

張リソレハ明カニスル必要ガアルト思フ、唯代用食、代用
食ト申シマシテ詰ラナイモノ、ヤウニ考ヘテシマフノデス
ガ、代用食ノ中ニモ非常ニ榮養價値ノ多イモノモアル。カ
ロリーサヘ攝ツテ居レバ、ドンナ物ヲ食ツテモ健康ハ丈夫
ダ、斯ウ云フヤウナコトヲ、國民ニ徹底セシメル必要ガア
ル。コレハ私ハドウシテモ小學校ノ教育カラサウ云フ風ニ
ヤツテ、子供ノ頭ヲ造ツテ行カナケレバナラヌコトデナイ
カト思ツテ居リマス。然ルニ現在國民學校ノ先生ハ、サウ
云フコトニ對シテ知識モナイヤウデアリマス。私ハ少ク
モ榮養價ト云フコトニ付テハ、國民ニ徹底セシメタイ。コ
レハ大キナ見地カラ申シマシテ、動物質ノ蛋白質ガドレダ
ケ、植物質ノ蛋白質ガドレダケト云フコトデ、動物質ノ蛋
白質ハ我が國デハ魚介類ヲ主トシテ、ソレニ鳥獸肉ヲ補
テ行ク外ハナイ。ソノ他ノ蛋白質ハ主食物トシテ、米ノミ
ニ限ラヌ、米、麥、甘藷、馬鈴薯ノヤウナモノハ、コレハ
主食物トシテ考ヘテモヨイ。米ノミニ依存スルコトハ非常
ニ間違ヒデ、米モ麥モ甘藷モ馬鈴薯モ、主食物トシテ私ハ
考ヘテ宜イデヤナイカ、斯ウ思フノデス。ソレヲ主食物ト
シテ、ソノ他ノ野菜トカ何トカラ副食物トシテ考ヘテ行キ

ス時ニハ、ドウシテモ動物質ノ蛋白質ガ、隨分日本デハ足
ラヌノデナイカト思フ、コレヲ何かデ補ハナケレバナラヌ
ト云フコトヲ、實會デハツキリ國民ニ知ラセテ、イハユ
ル榮養食ト云フコトヲ徹底サセマスナラバ、ソレニ依ツテ
非常ニ私ハ食糧問題ノ解決ノ上ニ、一ツノ目標ガ立ツノデ
ハナイカト斯ウ思ヒマス。

三井委員 我々モ必要ト思ヒマスガ、實會ガ出セバ、ドコ
カラ突込ンデ來テモヨイト云フ案ヲ、出サナケレバナラヌ
ト思ヒマス。

辨原委員 コノ案ハドコカラ突込ンデ來テモ、納得スルヤウ
ニ説明ガ出來ル。

三井委員 チヨット常識デハ斯ノナ澤山ナモノヲ攝ラネバナ
ラヌト云フヨリ、繼メタラドウカト云フ常識論ガ起ル。斯
ウ云フモノヲ出シマス、學者間デモ榮養論者ガアル、或
ハ蛋白質デモ、動物質蛋白質主義者ガアル。

辨原委員 今オ話ノ長野縣ガ、米ガ五斗ダト申シマスガ、雜
穀類ハ長野縣デハ非常ニ種レマス。雜穀類ハ白米ナドヨリ
ズツト榮養的ニヨイノデスカラ、主食ハコレデ行ク。ソレ
カラ副食ノ方デ、全國デイロ／＼ノ食ベテ居ル物ヲ調べテ

見ルト、長野縣アタリハ昆虫食ヲスル。「イナゴ」キモリ
ソレカラ蛇モ食ベマス。昆虫ハ魚肉、獸肉類ト同ジク蛋白
質ガアリマス、從ツテ四圍ノ環境モアリマセウガ、全國ニ
於テ體格ノヨイ兵隊ヲ出スト云フヤウナコトハ、一ツハサ
ウ云フ方面カラ、適當ニ營養ヲ攝ツテ居ルト云フコトモ考
ヘラレマス。

三井委員 長野デ感ジマシタノハ、主食副食ト云フコトハ、
便宜上ノ言葉デ、我々ハ生キテ行ク上ニハ、主食モナケレ
バ副食モナイ、食ベル物ガ、ソノ人、ソノ人ニ要スル所ノ
既定ノ熱量ヲ補充シテ行ケバヨイノダ。斯ウ考ヘマスレバ
主食ハ必ズ米ヲ食ハナケレバナラヌト云フ觀念ヲ除イテ、
必ズ米ヲ食ハヌデモヨイ。私ハ斯ウ云フコトヲ主張シテヤ
ラシテ見テ居リマスガ、大變成績ガ好イノデス。非常ニ副
食物ガ多イ、残飯ガ多イ、残菜ガ多イ、斯ウ云フコトヲ防
グ爲ニ、先ヅ家庭デモサウデアリ、料理屋ニ行ツテモサウ
デアリマス。贈ニ出タ物、或ハ献立ヲ見テ、今日ハコレハ
御馳走ガ多イナアト云フト、飯デ加減ヲスル、飯ヲ三杯食
フ時ハ一杯半シカ食ハヌ、献立ヲ悉ク残サズニ食フ、残ス
ナラ残シテ手ヲツケナイデ置ク。ソレカラ廢棄量ヲ減ラス

爲ニハ、我々ハ何ヲスルカト言ヘバ、支那人ガ悉ク物ヲ棄
テナイデ、肉デモ野菜デモ食フ。コノ主義ヲ徹底セシメヤ
ウト云フノニハ、野菜ノ蒂デモ、皮デモ食フ、皮ト肉ノ間
ニ營養ガアルノヲ、厚ク皮ヲ取ツテ棄テル爲ニ、我々ノ調
査ニ依ルト三〇パーセントノ野菜、五〇パーセントノ魚肉
ノ價ヲ棄テテ居ル。コレハモウ細カイ魚ヲ焼ク時デモ、注
意シテ居ルノデスガ、鯛ヤ秋刀魚ナドハ、頭ヲウント焦シ
頭カラ骨ト共ニ食フ、サウ云フヤウニシテ行クト、非常ニ
營養ガアツテ、又廢棄量ガ非常ニ減リマスカラ、生産量ガ
少クテモ三〇パーセントナラ、三〇パーセント補充シテ行
ケルノダ、斯ウ云フ主張ヲシテ居ルノデスガ、隣組ノ常會
アタリデヤラシテ見ルト非常ニ好イ、例ヘバ牛蒡ダトカ、
人參トカ芋ナドノ皮ダトカ、端ヲ切ツタリシタモノヲ、精
麗ニ洗ツテ、玄米ヲ焚ク蒸釜デ蒸ス、サウスルト非常ニ旨
イ汁ガ出テ、煮タモノハ非常ニ軟カタナツテ皆ク食ヘル、
斯ウ云フヤウナコトハ實會アタリデ主張シテ行カナケレ
バナラヌト云フ考ヲ持ツテ居ル。誰ガ見テモ尤ダト云フモ
ノニシテ、實會アタリデ出シタイト云フ希望ヲ持ツテ居
リマス。

辦理委員

ソレハ是非誰ガ見テモ尤ダト云フヤウナモノヲ、
委員會デ出シテ議キタイト思フノデアリマスガ、今ノオ話
ノ主食物、副食物ノ區別ヲ、ナクセヨト云フヤウナコトハ
コレハ盛ンニサウ云フコトガ申サレマスガ、現在ノ大衆ノ
食物指導カラ行キマス、矢張り主食ト副食ト分ケテ行ツ
タ方が、納得サセヨイノデス。ソレカラ今オ話ノ玄米釜ニ
ナリマス、一個今日ハ五十個掛ルヤウデス。

三井委員

サウ云フヤウナ立派ナモノデナク、普通ノ釜ニ蓋
ダケツケタモノデス。

辦理委員

サウ云フモノガアレバ宜イノデスガ、普通賣ツテ
居ル玄米釜ハ、大衆ノ家庭ニ合ハナイノデス。大衆ニ對シ
テノ食物ヲ指導スル、斯ウ云フヤウナ根據ニ立ツテ居ルノ
デ、斯ウ云フヤウナ案ガ出テ來ルノデス。

中澤委員

チヨット質問申上ゲマスガ、ココニ「臨戰時確保
スベキ一年分ノ食糧」ト云フ表ノ中ニ「純消費量、廢棄
消費量、所要量」ト書イテアリマスガ、コレハ最初ノ食品
廢棄消費量、コノ基準デ算出シタ數量デスガ。

辦理委員

ソレハ前ノ説明ノ所ヲ見ルト分リマス。
中澤委員 サウスルトコレハ森所ニ運バレタ調理場ニ於ケル

廢棄率デスカ。

辦理委員

サウデス。
中澤委員 サウスルト臨戰時ニ確保スベキ一年分ノ食糧ト云
フノハ、コレヨリズツト多クナラナケレバナラヌコトニナ
ル。例ヘバ假ニ米ニツイテ推定致シマス、精米所ニ於ケ
ル相當ノ減耗ガ生ズル、ソレカラ精米屋カラ家庭ニ移ル迄
ニ、或ル程度ノ減耗ヲ生ズル、精米ノ前ノ過程トシテ問屋
トカ、ソノ他市場ヘ集ツタモノガ、精米所ヘ來ル毎ニ、運
輸過程ニ於テ相當ナ減耗ガ起ル。ソレカラ又廻ツテ農家ガ
取入レテ調整スル場合ニ減耗ガ起ルノデ、確信スベキ數量
ハ、コレヨリ相當多イ數デナケレバナラヌ結果ニナリマス
ガ、ソノ方ノ推定ノ數字ガアルデセウカ。

辦理委員

サウ云フヤウナコトニツイテ、畑カラソコ迄來ル
ノニ、ドレダケノ減耗ガアルカト云フコトニツイテ、ソノ
調査ノ數字ハ私持ツテ居リマセヌ。

中澤委員

若シ確保スベキ食糧ノ量ト云フコトニナレバ、ソ
コ迄行カヌトイカヌト思フ。米ダケデナク全體ノ食糧ニ於
テ、魚ナシカ減耗ト云フコトガ殊ニ多イ、ソレカラ野菜ナ
シカモ、非常ニ中途ニ於テ減耗スルノデス。

三井委員 魚ハ腐ツタリ何かシテ、減耗ガ五〇パーセントダト言ツテ居リマス。

新原委員 魚類ハ多イ時ト少イ時トアリマシテ、ソノ消費量ノ減耗ハ、海軍ナドデ調理ニ使フ場合ノモノデス。外ニ適當ノ數字ガアリマセヌカラ、ソレヲ使ツタ譯デス。

中澤委員 今ノハモウ一遍オ手數デモ御計算ヲ願ヒタイ、參考ニナルト思ヒマス。

北委員 乳製品ハ落チテ居リマセヌカ。

新原委員 乳製品ハ入レテ居リマセヌ。

中澤委員 今一ツ氣付イタコトハ、原生産物ト再生産物ト兩方ガ一緒ニナツ居ルノデスガ、コレハ分ケテ考ヘナクテハイケンイト思フノデス。

新原委員 コレハ献立ヲ基礎ニシテ、毎日樂シミ得ル食事ヲ目標ニシテ、榮養ヲ充實シテ行ク、ソノ目標ノ献立ヲ基礎ニシテ置キマシタカラ、サウ云フ數字ガ出テ居ル譯デス。

中澤委員 再生産物ハ何デ出来テ居ルトカ、原産物ヲ捉ヘテ

新原委員 ソレマデヤリマスノハ、助手ヲ賃賃會デ付ケテデモ職カナクテハ出来マセヌ。一年ノ献立ヲ作ルノニ、私ノ

助手ガ三月掛リマシタ。イロ／＼ノ物價ノ調査、値段表ヲ持ツテ來テヤリマシタ。詰リ特殊ノ食費ヲ負擔シ得ルト云フモノデ、餘リ高イモノハ使ヘナイコトニナリマスカラ、サウ云フ風ニシテ行ツタノデス。

中澤委員 賃賃會トシテハ大切ナコトデスカラ、助手ヲ付ケテモヨイデヤナイカ。

新原委員 要スルニコレハ、色々御研究ナサル基礎ニナツテ行キマスレバ結構ダト思ヒマス。

村上小委員 尙コレヲオ作りニナル場合ニ、新原サンガイロ／＼細カイ計算ヲスル點ガアルガ、何分ニモ手足ガナイノデ、細カイ計算ヲシ兼ネル點モアル、ソノ點ハドウシヤウカト思フト、御相談ガアリマタシガ、役所ト違ツテ手足ヲ持タヌノデアルカラ、ソノ點ハ已ムヲ得ナイモノトシテオ願ヒシマス。斯ウ云フ風ニナツテ居リマス。

新原委員 私ハ日本生活協會ニ勤メテ居リマスガ、私ノ協會デモ助手ガナイノデ、内ノ娘ヲ使ツテバチ／＼計算シテ居ルノデスカラ、今オ話ニナツテ居ルヤウニ、モツト基礎的ノ方面カラ計算スルニハ、幾分サウ云フ風ヲ助手デモ付ケテ置キマセヌト、出来兼ネルコト、思ヒマス。

岡田委員 如何デセウ、大變參考ニナリマシタガ、コノ説明

デ大變能ク分リマシタカラ、一應コノ程度ニ打切ツテ、オ急ギノヤウデアリマスカラ、次ニスルコトニ致シタラ……

村上小委員 新原サン、有難ウゴザイマシタ。オ急ギノヤウデスカラ……尙今日オ出ニナツテ居ラヌ委員ノ方デ、御質問ガアリマシタラ、次ニオ願ヒスルコトニ致シマス。

尙コレハ生産量ト給付ケル場合ニ、家庭デ食糧ガコレダケ要ルト云フノデスカラ、生産カラ家庭ニ運ブ間ニ、虫害トカ鼠ノ害トカ、ソレカラ荷役、途中ノコボレナドノ減耗量ト云フノヲ見テ、ソレヲ附加ヘテ生産量ハ斯ウナルデセウガ、ソノ計算ガナカ／＼難カシイト思ヒマス。魚類ナドハ一時ニ澤山獲レマス場合ニハ、腐ルコトモアリマセウシ……

三善委員 魚類ハ全部食糧ニ供セラレル譯デナイ。餌ナリ或ハ肥料ニモシテ行キマス。他ニ消費セラレル部分ガ非常ニ多イノデス。

村上小委員 次ニ御審議ノ御参考ニト思ツテ、オ目ニ掛ケマシタ案デゴザイマスガ、今日三井サンカラ載キマシタ「消費規正方策」コレハマダタイプニ打ツコトガ出来マセヌノ

デ、タイプニ打チマシテカラ差上ゲルコトニシマスガ、大體主要食糧消費規正要綱ト似タヤウナモノデ、而モ詳シクナツテ居リマス。ソレデ朗讀シテ載キマシテ、オ聴取リテ願フト、規正要綱ノ説明ミタイナ恰好デ、偶然デアリマスガ、相呼應シタヤウニナリマスノデ、一應朗讀致シマスカラ、オ聴取リテ願ヒマス。

【朗讀】

食糧消費規正方策

一、概要

刻下緊急ノ要務ハ、外米依存ヲ重要支柱トスル現在ノ食糧政策ヲ排シ、一億國民ノ食生活ヲ安定セシムルニ足ル自給自足ノ食糧經濟體制ヲ確立シ、以テ敵性國家群ノ食糧封鎖謀略ヲ粉碎スルニアル。

コレガ爲ニハ、先ヅ以テ國民必需食糧ノ最小限度ヲ確保スル方策ガ講ゼラレネバナラス。先般本年度第二四半期以後ノ物資動員計畫ガ改訂セラレ、軍需ノ急速ナル整備充足ト國民生活必需品ノ最小限度確保トガ二大重點ト

サレルニ至ツタガ、コレハ政府ノ意圖モ亦爰ニ在ルコトヲ示スモノト思フ。

而シテ、自給自足ノ範圍内ニ於テ食糧ヲ確保スルニハ生産増加、配給合理化ト共ニ特ニ消費ノ規正ヲ徹底セネバナラス。蓋シ生産増加ハ、水田裏作ノ擴張、桑園ノ混作、耕種ノ轉換等ニヨル麥類芋類ノ増産ニソノ主要方策ガ見出サレルガ、四圍ノ客觀的情勢ハ之レ等ノ實現必ズシモ容易ナラズ、問題ノ解決ハ消費規正ニ負フトコロ甚ダ大ナルモノアルヲ想ハシメルガ故デアル。

コ、ニ言フ消費規正トハ、單ナル消費ノ抑制デハナイ求メ得ル食糧ノ買ト量トヲ完全ニ活用シ、生理的所要ヲ必要ノ最少限度ノ食糧ヲ以テ賄ヒ、簡素ナガラ安定セル健康的ナル生活ヲ築キ上ゲテ行クコトヲ意味スル。

シタガツテ今後ノ國民生活ニ於テハ、食糧供給ノ事情ニ即應シテ、從來ノ食習慣即チ米食本位ノ食生活ヲ出來ルダケ改メ、主食副食ノ觀念ヲ排シ、與ヘラレタル全部ヲ通ジテ營養ノ必需量ヲ攝ルコトヲ旨トシ、獻立調理ニ科學的知識ト工夫トヲ須ヒ保健食ノ組立ヲ無駄排除ニヨリ食糧ソレ自體ノ最大效力ヲ發揮スルヤウニ努メネバ

ナラス。

爰ニ特ニ留意スベキハ、求メ得タル食糧物資ノ無駄排除デアル。從來ノ統計ニヨレバ、野菜類ハ三〇%、魚類ハヨリ以上廢棄サレテキルモノ、如クデアルガ、支那食ノ如ク凡テノ部分ヲ利用シテ剩スナキニ至ラシメネバナラス。

又食糧配給手數ヲ輕減シ、配給上ノ不公平ヲ無カラシメ、買出シ、炊事上ノ手數ヲ省キ、廣ク各階層ニ保健食獻立ヲ均給セシムル措置トシテ、或ハ隣組單位乃至ハ組合編成等ニヨル共同獻立材料配給、共同炊事ノ普及、或ハ日用食品及品目ニワタル配給切符制度等ノ施行ヲ必要トスル。

更ニ又浮動購買力ヲ吸收シテ無用ノ食糧買溜、糶上ゲ開取引ヲ規正スルコト、主婦ノ再教育ニヨリ正シキ消費規正能力ヲ涵養セシムルコト、食品規格ヲ制定シテ商品ソレ自體ノ浪費的部分ヲ排除スルコト等モ必要ナル措置ト言ハネバナラス。

之レヲ要スルニ、現下食糧消費規正ノ方途ハ多々アルベキモ合理的節約、分配ノ公平、購買力ノ吸收ノ三項ニ

要約スルヲ得ベシト思料サレル。

以上ノ諸方策ヲ個別ニ細説スレバ次ノ如クデアル。

二、消費規正方策

一、食糧消費ノ節約

食糧ノ卸小賣過程ニ於ケル廢棄量ハ相當大ナルモノガアル。試ミニ昭和十二年度ニ於テ東京市産業局及東京府市場協會ノ調査ニ就テミルニ、魚介廢棄率五〇%、野菜廢棄率三〇%、果實廢棄率七%、ニ達シテキル。又家庭ニ於ケル食糧廢棄量モ少クナイ、昭和十二年度ニ於ケル東京市清掃課調査ニ依レバ一日一月平均〇。七六斤ニ達シテキル。

コノホカ米麥ノ淘洗ニヨリ一、五%ノ損失ヲ毎日繰返シ、野菜ノ加熱、漬物等ノ調理過程ニ於テ無機質ノ二〇%以上、ビタミンCノ大半ヲ損失シテキル。

如何ナル供給量ノ確保ニ努力シテモ、カ、ル浪費(無駄)ヲ繰返スカギリ、折角ノ努力モ報ヒラレトコロガ少ク、若シ供給量ガ保健ノ最低必要量デアル場合ハタチマチ營養不良ニ陥ルデアラウ。

故ニコレ等ノ無駄ヲ無クシ、原料營養價值ヲ損セズ、

又從來食用ヲ忌避シタ生鮮食料ノ廢棄部分ノ食用化ヲ圖リ、又殘飯殘菜ヲ出サヌヤウニ國民ヲ教育スル必要ガアル。

カ、ル教育ガ徹底シ、ソノ實行ガ促進サレ、バ、生鮮食糧等ハ從來ノ二倍ノ利用價值ヲ生ムニ至リ節約ノ實ハ大ニ舉ガルノデアル。

其他食糧節約上留意スベキハ食物ノ營養學的合理化デアル。毎日ノ食物獻立ガ營養學的ニ當ラ得ズ、部分的ナ營養缺陷ガアル場合ハ、營養失調症ヲ惹起シ、營ニ健康ヲ害スルノミナラズ、國民ノ死亡率ヲ高メ、不消化等ニヨル食物浪費モ少クナイノデアル。

農山村ノ食事ニハ一般ニ若干ノ營養缺陷ガアルガ(動物性食品、脂肪、ビタミンBノ不足等)コレヲ改善シタ、メニ主食物ノ攝取量ガ輕減シ、醫療費モ低減シタトイフ實驗ガ各方面カラ報告サレテキル事實ハ、獻立ノ合理化ニヨリ節約ノ實ヲ擧ゲ得ルモノナルコトヲ證シテキル。

故ニ今後ハ、各地各階層ノ日常食物ノ營養缺陷ヲ精査シ、コレガ合理化ノ指導ヲ徹底スル必要ガアル。

三、消費ノ組織化

(一) 前提措置

次ニ食糧消費規正上考慮ヲ要スル問題ハ消費ノ組織化デアル。而シテ本件ノ實行ニハ、先ヅソノ前提トシテ國民最低生活限度確保ノ措置(榮養ニ關スル生産部門ト消費部門トノ表裏一體ノ計畫ヲ樹立シ、生産ハ實ヨリモ量ニ重點ヲオキ、例ヘバ從來ノ品質本位ノ米作等ニ執着スル事ナク、安全多收穫品種ヲ栽培シ、又國民食糧ノ對象ヲ從來ノ如ク米麥ニ重點ヲ置クコトナク蔬菜、魚介、油脂、調味料等ノ全般ニワタツテコレヲ重視シ、ソノ適當ナル配給比率ヲ確保スルニアル)ヲ講ジ、更ニ配給機構ノ整備殊ニ端末配給機構ノ組織ヲ整備シ、米、木炭等ノ切符制ニヨル配給品ノ過、不足ヲ下部組織間ニオイテ融通シ、無駄排除、徹底的消費規正ノ實行ヲ可能ナラシメ魚介類、野菜類ノ如キ配給上特ニ技術ヲ要スルモノニ就テハ配給所(或ハ指定商配給所)ニオイテ配給又ハ分配スルノ仕組ミヲスルコトガ必要デアル。

(二) 共同炊事又ハ共同献立配給制度ノ普及

生活必需物資ノ不足シテキル今日、コレヲ國民大衆ニ

均霑セシムルニハ、先ヅ配給機構ノ整備就中消費者ノ組織化ガ急務デアル。コレニヨツテ奢侈的消費面(例ヘバ料理屋等)ヘノ物資ノ流入、即チソノ偏在ヲ矯正シテ行カネバナラヌ。殊ニ最近ニ於ケル都市ノ野菜不足、魚肉不足等ハ何等カノ緊急施設ヲ急務トシテキル。即チ消費者ノ組織化、配給機構ノ合理化ガ表裏一體トナツテ始メテ國民大衆ニ必需品ガ、假令少ナクとも、公平ニ分配セラレルコト、ナルデアラウ。生鮮魚介類、青果物ノ配給ノ合理化(酒類配給ノ合理化)等若々コノ方面ハ整備サレ、生産地カラ市場マデノ出荷ハ漸ク軌道ニ乗ツタガ、殘ル問題ハ消費者ノ下部組織ヲ如何ニスルカデアリ、之ガ適正ナ組織ヲ持タヌ現在ノ状態ヲコノマ、ニ放任スレバ、結局生活必需物資ノ偏在ハ免カレナイ。コ、ニ於テ兎モ角モ消費者ノ下部組織編成ガ急務デアル。

地域、人口、都鄙、村落等ニヨツテ、コノ組織ニハ種々ノ考究ヲ要スルガ、消費人口(需要者)、地域等ヲ配ミ合セ、成ルベク家事労働ヲ節約シ得ルヤウナ單位ヲ決定シ、之ヲ基準トシテ共同配給所ヲ設置スル必要ガアル。先ヅ村落ニハ村落單位ノ配給所又ハ數部落單位ノ配給所

ノ設置方考ヘラレル。ソノ中心ハ産業組合、商業組合、單位消費者ノ下部組織ノ中、ソノ何レニテモヨイ。トニ角從來魚介類ノ如キハ主トシテ水揚地ノ婦女ノ努力ヲ配給サレテキタモノヲ、配給機構ノ變更ニヨリ、新タニ魚介ヲ求ムルタメ、農村ニ努力ヲ更ニ加重スルガ如キ組織ハ避クベキデアル。都市ニ於テハ、町會單位、警察派出所單位、隣組ノ聯合單位デモヨイ、トニ角百戸内外ヲ一單位トシテ消費者ノ下部組織構成ノ必要ガアル。

次ニ農村婦人ノ家事労働ヲ生産方面ニ振り向ケルト共ニ、粗食多量ニナリ勝チノ農村家庭ノ炊事ヲ榮養的ニ向上セシメ、體位ノ低下ヲ阻止シ、ソノ向上ヲハカルタメ實行シ易イ部落ヨリ共同炊事ノ普及ヲハカリ、漸時都市集合體ニ對シテモ、コノ施設ヲ及ボスベキデアル。(長野縣、石川縣ノ如キハ實施ノ結果方頗ルヨイ)又現ニ小商工集團ニハ、榮養食配給ノ設備ノ如キガ發達整備シテキルトコロモアルガ、コレ等ノ施設ヲ普及スルコトモ必要デアル。

次ニ共同献立配給ノ仕組ミデアアルガ、農村ヤ、小商工業地域デハ、榮養食配給、共同自炊ノ方法ニヨリ、努力

ノ節約合理化ガ行ハレルトイフ利益ガ多大デアアルガ、雖多ナ階級ヲ含ム都市ノ普通住宅地區デハ、ソコマデ進ムニハ容易ナラヌ事デアル。ソコデコレ等ノ地域ニハ、食料ノ材料ノミヲ、科學的ニ研究サレタ榮養献立ニヨリ、共同的ニ購入分配スル制度ヲ施行スル。コノ制度ハ最近ノ魚不足、野菜不足等ニ鑑ミテ、一層有效ナ方法トナル。共同配給ニハ、調味ノ變化ト自由材料ノ追加使用ガアル程度出來ル以外、少量ノ材料モ自由ニ使ヒ得ルコト、内容ヲ豐富ニシテ比較的材料ノ節約ヲ計リ得ルコト、材料ノ出廻リ狀況ニ應ジテ最モ適切ナル献立組合セガ可能ナルコト、最少ノ材料ヲ最大ノ榮養ト保健ヲ期シ得ルコト、配給機構ガ著シク簡易化シ、ソノ方面ノ努力ノ節約ヲナシ得ルコト等幾多ノ利點ガアル。從ツテ缺陷ノアル點ヲ改善サヘスレバ、消費規正ノ徹底ヲ期スルニハ極メテ效果多キモノト考ヘル。

(四) 消費指導ノ徹底

臨戦生活下ニオケル消費ノ不合理ノ排除、高度ノ消費規正、榮養知識ノ普及ニヨル國民保健ノ向上等ノタメニハ、消費方法ノ徹底的指導ガ肝要デアル。コノ際、上部

下部ヲ通ジ、先ヅ消費指導機關ノ整備ヲハカラネバナラヌ。ソノ一例ヲ表示スレバ左ノ如クデアル。

大政翼賛會(生活指導部) 府縣支部、市町村支部、
部ノ町會、部落會、隣組
政府 厚生省……府縣、市町村……町會、部落會……
隣組

更ニ隣組内ニ於テ、常會ニ生活研究部ノ設置モ一應考究ノ要ガアル。コノ案ハ羽仁説子女士ノ主張デアルガ、善用スレバ價値ノアルヨイ機關トナルデアラウ。トニ角先ヅ隣組ノ中ニオイテ有無相通ジル事ニ依リ、從來單獨ニ購入サレテキタ時ニ陥リ易カッタ不合理ナル消費ノ調整乃至過不足ノ是正等ヲ計ルコトハ、消費規正、隣保相助ノ要風涵養ニモナルモノト考ヘル。臨戰生活ノ生キタ機關トシテ活用スルナラ生活研究部ノ設置モヨイコトデアル。シカシ現在ノ主婦ノ程度デハ弊害モ生ジ易イカラ設置スルトスレバ、可成研究ヲ重ネテソノ長所ノ善用ヲ忘レテハナラナイ。

コレ等ノ機關ヲ通ジ、食糧並ニ衣類全般ニ亘ル具體的ナ消費指導事項ヲ國民各層ニ呈示シ、實質的ナ消費指導ヲナシ、國民ノ覺悟ヲ促ス事ガ必要デアル。

ヲ期スルタメ、現在隣組又ハ部落單位ノ配給方法ヲ行フテキル。

(四) 共同施設カ

(五) 各種方法混用カ

コレ等ノ各項ニツキ緊急考究シ、適切ナル配給方策ヲ講ズベキデアル。

六、馬鈴薯、甘藷ヘノ消費轉換

生産確保ノ比較的困難ナル米、麥等ヲ、増産ノ比較的容易ナル馬鈴薯及ビ甘藷ニ置換ヘルヤウニ消費轉換ヲ圖ルコトガ急務デアル。

馬鈴薯百三十貫、甘藷百八貫ハ、白米一石ノ榮養ニ相當スルトモイハレテキル。馬鈴薯、甘藷共ニ比較的天候ニ左右サレルコトガ少ク可ナリ作物ノ安定ヲ期シ得ル作物デアル。而モ勞力肥料等ノ不足勝ナル現況ニ於イテモ反當リ三百貫程度ノ收穫ハ容易デアル。殊ニ馬鈴薯ハ、水田二毛作トシテ作付面積ノ擴張ノ餘地ガ多イ。又畑作トシテモ炭水化物給源トシテ好作物デアル。反當收量三百貫ハ、前述ノ割合ノ如ク、白米約二石五斗ニ相當スルノデアル。故ニ二十萬町歩ノ水田裏作馬鈴薯ヲ實施スレ

戰時生活ノ消費指導ハ、要スルニ自己ノ使用ニ任セラレタ衣食糧ヲ如何ニスレバ自家及ビ國民全體ノ利益ニ合致スルカラ周知セシムルニアル。從ツテ一切ノ食糧品ノ消費即チ一般料理法食糧調理法ノ合理化ガ重要目標トナル。又各食糧品ニツキ、無駄ナ場合ヲ具體的ニ指摘シ、且ツコレヲ排除スル方法ヲ示シテ主婦ノ再教育ニ努メネバナラヌ。コレハ結局ノトコロ國民生活ノ科學化ノ問題ニ歸スルコト、ナル。

五、配給方法ノ合理化

消費ノ合理化ノタメノ配給方法トシテ、戰時配給統制ノ主流ハ切符制ニ存スル。之ニハ先ヅ切符制ノ適用ト共同施設(共同自炊、共同獻立配給、下部組織配給所ノ設置等)トノ利害又ハ並用等ニツキ、消費規正ノ見地ヨリ充分考究スベキ必要ガアル。

(一) 綜合切符制(例ヘバ獨逸ノ採用シテキル點數主義制)カ

(二) 單位切符制(個別切符制、集合切符制)カ

(三) 一家族單位カ、隣組單位カ

タオル、手拭、地下足袋等ハ全戸ニ亘ラナイガ、公平

バ、米約五百萬石ノ増産ノ價値ニ等シイコトニナル。結局最後ノ戰時食糧確保ハ、コ、ニアルコトニ着眼シ、極力消費轉換ニ努ムベキデアル。コレニハ先ヅ實質的ナ消費ノ指導ニ努メ、コノ趣旨ヲ國民各層ニ徹底セシムベク簡易料理本ノ編纂、講習會ノ開催、ラヂオノ放送等アラユル生活指導機關ヲ動員シテ行フベキデアル。

七、食品規格ノ確定

消費節約ヲ主ナル目的トスル食品規格ノ確定ハ、現下ニオイテ絶對的ニ必要デアル。規格ガ規定サレテキナイタメニ不經濟ナ食糧ガ生産サレテキル事實モアル。又榮養ノ充足トイフ見地カラ見レバ、浪費的乃至不合理ナコトガ少クナイ。殊ニ食糧生産者方面ノ無駄排除ハ徹底的ニ勵行セシメネバナラヌ。コレハ一方ニ於テ食糧ノ國家管理ノ強化ニヨツテモ又是正スベキデアル。例ヘバ販賣米ハ大體七分搗ノ實行、コレニ外米ノ混合ニヨツテ略々節約ノ目的ヲ達シテキルガ、農家ニアツテハ法定精米ノ趣旨ヲ没却シ、經濟的ニ榮養的ニ不利ナル白米食ヲナシテキルモノモ相當アル。パンヤ麵類ノ如キモノハ、コレニ少量ノ大豆粉又ハ魚粉ヲ混入スレバ、小麦蛋白ノ榮養

的素質ノ改善ガ行ハレ、價値ノ高イ蛋白質トシテ完全ニ利用サレ、魚介、肉、卵ノ不足ヲ或程度マデ補ヒ得ルニ拘ラズ、小麥粉ノミヲ以テ製造スルパン、麵類ガ依然トシテ販賣サレテキルガ如キ又重量本位ノ食味不良、廢棄部分多キ葱ヤ、茄子、胡瓜ノ加熟蔬菜ガ横行シテヲル等例示スルニ堪ヘナイ程多イ。カ、ル不合理ヲ一掃スルニモ、食品規格ノ制定ヲ廣範圍ニ亘ツテ實行スル必要ガアル。

八、購買力ノ吸收ニヨル消費規正

通貨ハ膨脹ノ一路ヲ辿ツテキル。現ニ九月ノ日銀兌換率ノ最高發行高ハ四十六億一千九百餘萬圓ニ達シ、昨年末ノ四十七億七千七百餘萬圓ノ戰時經濟下最高ノ發行高ニ近い數字ヲ示シテキル。ソノタメ通貨ト物資殊ニ民需物資トノ不均衡ハ増々増大シツ、アル。消費規正方策トシテモ、凡ユル手段ヲ講ジテノ通貨ノ收縮、購買力ノ吸收ガ必要デアル。通貨面ノ對策ヲ閉却シテハ、如何ニ努力シテモ消費ノ規正ハ容易デナイ。國民所得ハ如何ナル方面カラ得ラレテモ、一度家計ニ入レバ購買力ノ源トナル。消費ノ規正ヲ策スルニハ、家計ニ入りタル收入ヲ、貯蓄、租稅等凡ユル方法デ吸收シテ、消費方面ニ殘ル額

ヲ減少セシメネバナラヌ。シカルニ事實ハ反對デアリ、通貨ノ膨脹、預金ノ鈍化トイフ緊迫セル經濟實相ハ、更ニ浮動購買力ノ激増ヲ來シテキル。

先ヅ(一)貯蓄獎勵策ノ強化、(二)貯蓄ノ安全性強化、(三)ニ殊ニ大衆的貯蓄ノ強化、(四)増稅等ニ重點ヲ置キ購買力ノ吸收ヲ策スベキデアル。ソレニハ

- (一)公債ノ民衆化(小額公債ノ發行普及)
- (二)國民貯蓄組合等ノ機構ノ整備擴充
- (三)長期貯蓄ノ徹底
- (四)貯蓄ノ強制化
- (五)購買力ノ吸收方策トシテノ増稅

九、消費規正罰則ノ強化

目下ノ國家非常緊急ニ際シテハ、戰時經營ノ運営ハ、單ニ國民ノ協力ヲ促スノミデハ不充分デアル。更ニ違反者ニ對シテハ或ル程度ノ刑罰ヲ強化シ、當該者ハ勿論、國民全體ニ反省ヲ促スコトガ絕對的ニ必要デアルト考ヘル。元來消費規正ノ根本精神ハ、全國民ガ一人殘ラズ、生活必需品ノ公正ニシテ、必要ナル配給ヲ保證サレルコ

トニアル。コレガタメニハ消費統制ノ正當ナル實施及ビ遵奉ガ絕對ニ必要デアツテ、違反者嚴罰主義ノ採用ハ眞ニ止ムヲ得ナイコト、思ハレル。

十、結言

國民ノ食糧ニ對スル時局的認識ノ普及徹底ヲ計リ、我が國食糧事情ニ鑑ミ、適切ナル消費規正ヲ斷行スルコトハ刻下ノ急務デアル。今ヤ單ナル議論ニ時日ヲ徒消スル秋デハナイ。

實踐第一ヲ旨トシテ一踏邁進スベキデアル。

三井委員長 チヨット申上ゲテ置キマスガ、委員長カラ、消費規正ノ一般ニツイテ意見ヲ出セト云フコトデアリマシタノデ、實ハ念イデ研究シテ居リマシタガ、財政經濟ノ方面カラ地方へ出ナケレバナラヌト云フノデ、暫ク留守ニシマシテ、大變遷レテ居リマシテ、却ツテ委員長ガ要綱ヲ作リニナツタノヲ見ルト、ソノ要綱ハ本當ニ要ヲ得タモノデ、私ノハ後ノ祭ニナツテシマツタノデス。併シ今讀ンデ裁イタモノハ、私一個ノ意見バカリデナク、食糧協會ノ理事者等ノ意見モ聽イテ作成シタ次第デアリマスカラ、サウ御承知ヲ願ヒマス。若干經濟方面ノコトガ入ツテ居リマス。ソ

レハ長野、石川等へ廻ツテ地方ノ意見ヲ聽キマシタ結果入レマシタ。

村上小委員長 サウスルト次ハ、主要食糧消費規正要綱(案)

之ハコノ小委員會ノ消費規正問題ニツイテノ審議ヲ進メル上ノ便宜ト思フノデ、參考ニ印刷致シマシテオ目ニ掛ケタ次第デアリマス。コノ中ニハイロ／＼從來才出シ願ヒマシタ深い研究ニ基ク貴イ資料モゴザイマスシ、又皆豫ノ御意見等モ伺ヒマシテ、ソレ等ヲ考ヘ合ハシタノデゴザイマスガ、何分ニモイロ／＼ノ資料ヲ讀ミコナス餘裕ガゴザイマセヌノデ、手落ちニナツテ居ル點モアラウカト思ヒマス。又御意見ノ聽キ違ヒモアラウカト思ヒマスガ、ソノ點ハドウカオ許シテ願ヒタイト思ヒマス。時間ノ關係上直ク御説明申上ゲマセウ。

ソレデ要スルニ方策ハ五項目ニ分レテ居リマス。ソレカラ私非常ニ躊躇致シマスノハ、最後ノ項目ノ名前ノ付ケ方デ、斯ウ云フ名前ヲ付ケタガ、外交方面カラモアリ、又大政實會トシテ、斯ウ云フヤウナ名前ヲ付ケルコトガ、イロ／＼社會ノ影響モ考ヘナケレバナラヌカラ、必シモノノ文字ハ適當デナイカト思ヒマスガ、各位ガ御讀ミニナルニ

ハ、端的ニ書イテ置ク方宜シカラウト云フノデ、サウ云フ文字ヲ使フテ居リマス。外部ニ發表スル場合ニハ、如何ナル文字ヲ使フカ、餘程慎重ニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、皆標ノ御意見ニ依ツテ、分リ易ク書イタノデアリマスカラ、サウ云フ意味デオ讀ミヲ願ヒマス。

五ツニ分レテ居ルト申シマスノハ、第一點ハ主要食糧ノ用途ヲ重點主義ニ持ツテ行ク、置キ換ヘラレルモノハ、他ノモノヲ以テ置キ換ヘルト云フ風ニシテ、用途制限ノ問題デアリマス。第二ハ配給ノ消費規正ニ關スル機構ノ問題。

第三點ハ現在ヤツテ居ル配給制ニ至ラヌ所ガアリハシナイカ、或ハコレヲモウ少シ附加ヘベキ點ガアリハシナイカ。ト云フ風ナ是正擴充ノ問題。第四點ハ消費ニ關スル民衆教育ノ問題。第五點ガ空襲時ニ於ケル對策ト云フ風ニ、大體ノ項目ヲ分ケテ考ヘテ見マシタ。

第一點ハ、主要食糧ノ用途制限デ、コ、ニ言フ主要食糧ト云フノハ、米穀、麥類、干麵類、食パン、一部ノ雜穀、一部ノ甘藷、馬鈴薯デ、コレハ外ノ用途ニ振向ケラレル工業原料ナドガアリマスガ、大體大雜把ニナツテ居リマス、コレガ適當デアルカドウカ、ソノ點ニツイテモ、イロ／＼

御意見モゴザイマスコト、思ツテ居リマス。一應サウ云フコトニ考ヘテ、コノ要綱案ヲ作り上ゲテ見マシタ。第一ノ主要食糧ノ用途制限ハ、一ツハ酒米ニナツテ居ルモノハ、飯米ノ方ヘ向ケタラドウデアラウカ、併シソレニ依ツテ減

ツテ來ル酒ヲ、芋ヤ甘藷ノ合成酒デ置キ換ヘテハドウダラウカ、造石高ヲ減ラサンデ、原料ノ方デ一ツ米ヲ節約シテ考慮シテ賣ツタラドウカ、ソレニ依ツテ何石出ルカト云フコトハ、ドウモ手許ニ於テハ計算シ兼ネルノデ「〇〇萬石」トシテ置キマシタ。ソレカラモウ一ツハ醬油ニ向ケラレル

小麥ヲ、自家用ノモノハ別トシマシテ、營業用醬油ノ小麥原料ヲ一ツ節約スル、ソノ代リアミノ酸醬油ヲ使フヤウニシタラドウダラウカ、コレハ既ニ實行サレテ居ル部分ガアツタヤウニ考ヘラレテ居リマス。鈴木博士ニ伺ヒマス、コレデ十分ニヤレルト云フ譯デス。コレハマア設備及設備

ニ要スル資材ナドハ、ドノ位得ラレルカト云フコトハ、私ニ十分分リマセヌ。工場ヲ直スノニドレ位金ガ要ルカ、ドノ位資材ガ要ルカト云フコトモ、チヨット分リ兼ネマスカラ、コレモ數量ハ計算ガ出來マセヌガ、一應ノ着想トシテ斯ウ云フコトヲ實行ニ移シテ、逐次設備ヲ完成シテ行ツタ

ラドウカ、ト云フ位ノ意味デアリマス。

ソレカラモウ一ツハ小麥粉ニナル小麥ノ節約、甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍及ソノ粉、又ハ澱粉ヲ、小麥粉製品中ニ一割以上ノ混入ヲ強制スルコト。ト云フノデ、コレハ一割トシタノハ、學問的ノコトハ分リマセヌガ、コノ位ハ行ケルダラウト云フノデ、致シタノデアリマス。コノ一割ガ學術上ドウ云フ標準ニナルカ、専門技術的ニドウ云フ結果ニナルカ、又コレヲヤリマスニハ、資材ハドレ位要ルカ、經費ハドレ位カト云フヤウナコトハ、チヨット計算致シ兼ネマスガ、斯ウ云フコトヲ一ツ考ヘテ見ル必要ガアリハシナイカ。斯ウ云フノデ主要食糧ノ重點消費主義、サウシテ足ラヌ部分ヲ他ノ代用物資デ填補シテ行クト云フ風ニ持ツテ行ツテ主要食糧ノ用途ヲ國民ノ最モ要スル方ニ方向ヅケルト云フ考ヘ方デアリマス。

ソレカラ第二點デアリマスガ、コレハ機構ノ整備デアリマス。從來考ヘマスノニ、上ノ機構ニツイテハ、相當イロイロノコトガ考ヘラレテ居ルヤウデアリマスガ、國民生活ノ方カラ見マス、寧ろ大事ナノハ下ノ組織ガ一般國民生活ニ接シテ居ルノデ、ソコニ重點ヲ持ツ必要ガアルノデ

ナイカ、ソレトマツチシマシテ、上ノ方ヘ段々考ヘテ見ル必要ガアラウ。ソレカラ多元的ナ配給組織ヲ、一元的ノ配給組織ニ置キ換ヘテ行クト云フ、簡明直截ナ配給組織、ソレカラ消費者ノ側カラ見テ、極ク無理ノナイ便利ナ方向ヘ持ツテ行ク、サウシテ上カラノ配給ト、消費者側ノ要望ト

結ビツケルト云フ風ナ考ヘ方ヲスル必要ガアルノデハナイカ。下部組織トシテハ共同炊事、コレハ主トシテ農村ニ行ハレルモノデアラウト云フノハ、大體食事ノ時間モ、食習慣モ嗜好モ農村ハ似テ居リマスカラ、共同炊事デモ行キ得ル。尤モコレハ年中共同炊事デ行クカ、農繁期ニ於テノミ

行クカ、一律ニハ言ヘナイト思フ、都會地ニ於テハ都會人ハ各地方ノ人ガ集ツテ居リマスシ、又仕事モイロ／＼違フ食事ノ時間モ違フ、辛イ物ヲ好キナ人モアレバ、甘イ物ヲ好キナ人モアル。又家庭ニ依ツテイロ／＼料理ノ仕方モ違フ、家庭經濟ノ開キガ多イノデアリマスカラ、共同炊事ト云フコトハ、コレハ實行ガ無理デアル。寧ろ副食物ノ共同

配給、コレハ原料ノ配給ヲ眼目トシテ行ク、ソレト同時ニ榮養料理ノ指導ヲ、農村都市方面ニ徹底セシメテ行ク。コレガ配給機構ノ整備デアリマス。

第三ハ「主要食糧ノ制當配給制ノ是正擴充」現行制當配給制ノ是正「二重配給ニナツテ居ルノデ、配給ニ無駄ガ起ツテ居ル點ヲ、何トカ是正シナクチャナラヌ。異動ノ申告ガ不十分デ、非常ニ無駄ガ起ルカラ、コレヲ一ツ勵行シタイ。配給量ノ嚴正ヲ期シタイ、コレニツイテハ隣組或ハ町會等ニ、落チテ居ルノガ非常ニ多イト思ヒマス。ソレ等ノ活動ニ待ツベキモノガアル。米ノ外食券制度ニ、再檢討ヲ加ヘル必要ガアルノデハナカラウカ、現在ノ三食外食券ト一二食外食券モ附加ヘマシテ、全面的ニ外食券制度ヲ實行スル必要ガアリハシナイカ、キマツテ食券ヲ外食券フ人ハソレダケ家庭ノ配給ハ減ル。ソノ代リ外食ヲ食券ヲ與ヘルト云フノデアリマス。第三ハ工場給食、學校給食、榮養食給食等ニツイテ、或ハソノ他ノ二重配給ヲ、外食券制度ノ擴充ヲ防止スル必要ガアリハシナイカ。制當制ニツイテハ、一律ニ制當ルデナシニ、モウ少シ細カク考ヘテ、適正化ヲ圖ル必要ガアリハシナイカ。地方的ノ不均衡ヲ避クル必要ガアリハシナイカ。非常ニ食糧トカロリーヲ多ク要スル人々ノ多イ地方ト、カロリーハ少クテ濟ム人々ノ居ル地方ト、イロ／＼アリマス。副食物ヲ十分攝リ得ルモノ、或

ハ攝リ得ザルモノ、イロ／＼ゴザイマセウガ、斯ウ云フ處ノモノヲ、不均衡ナカラシムルヤウニシテハドウデアラウカ。ソノ次ハ合宿、寄宿舎、ア、云フ所ハ基準制當以外ニ豫備米ノ特別配給ト云フコトヲ考ヘル必要ハ、アリハシナイカト云フノデアリマス。

次ハ制當配給制ノ擴充綜合化デアリマス。從來ノ米穀中心ノ主食觀念ヲ是正致シマシテ、消費慣習ヲ改善シテ、副食物ノ殘餘ヲナカラシメル如ク指導スル。コノ御意見ハコノ委員會ニ於テモ強クオ述べニナツテ居ラレル點デアリ且ツソノ必要性ハ、今三井サンノオ出シニナツタ點ニ於テ十分御説明ノアツタ點デス。サウシテ補助食糧ノ配給ヲ、米穀ノ配給ト有機的ニ結合サセテ、食糧供給ノ總體的調節ヲ合理的ニスルト云フヤウナ考デ、今ノ配給制度ヲヤツテ行ク必要ガアリハシナイカ。夫カラ主要食糧ノ最終消費者ニ對スル販賣ニ關シテハ、認可ノ擴充ヲ利用スル、即チ通帳制度トシ、米穀ニ對スル換算比率ヲ定メテ、コレニ依ツテ一個人當リ乃至一世帶當リ主要食糧消費總量ヲ調節スルコト。ソレカラ主要食糧綜合制當配給制ヲ圓滑ニスル爲ニ、關係配給團體ヲ以テ、配給協議會ヲ設置シテ、必要ニ應ジ

テ消費者代表ヲ參加サセルト云フ風ナコトデアリマス。

第四ハ、消費ニ關スル民衆教育ト云フコトデアリマスガコレハイロ／＼資料ヲオ出シテ願フテ、コレニ對スル資料ガ隨分ゴザイマシタガ、例ヘバ榮養トカ消費ノ知識ヲモウ少シ普及スル。消費ニ當ツテモ隨分無駄ガアルヤウナコトニ伺ツテ居リマス。只今三井サンノオ出シニナツタノニモゴザイマスガ、無駄ガアル、無駄ガナクトモト言フト官業ガ惡イノデスガ、同じ馬鈴薯ヲ食ベマシテモ、皮ヲ細切リニシテユヂタ場合ト、野菜トノ加熱ノ時間ニ依ツテ、非常ニグイタミナドガ失ハレ、隨分棄テ、居ル點ガ多イ。無駄排除ノ考ガ勿論コ、ニ入ツテ居ル點デアリマスガ、現在食ツテ居ル物デモ、十分攝取シ得ル榮養分ヲ棄テ、居ルト云フ點ガ、相當多イノデアリマス。コレヲ有効ニ使フコトガ最も大切ナコトデハナカラウカ、ト云フヤウナ點カラ、非常ニ消費ニ關スル民衆教育ヲヤツテ行ク必要ガアル。

第三ハ、空襲時ニ於ケル制當配給對策デ、コレハ空襲時ト云フ文字ヲ使フコトガ、ドウデアラウト云フコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマス。相當輸送系統ナリソノ外イロイロノコトガ、空襲ノナイ時トハ違フト云フコトヲ想像シ

テ、一ツノ備ヘヲナスベキ必要ガアルデハナカラウカ。ソレハドウ云フヤウナ點カラ行クカト云フト、配給ヲ出來ルダケ簡易化スル、ソレカラ避難者ニ對スル措置ヲドウスルカ、コノ二點ガ重點デハナカラウカ、從ツテソレニ對シテ特別ナ措置ヲ講ジテ置クト云フコトデアリマス。異動申告ナドハ、急速ニ運バヤウニ措置ヲ講ジテ置カナイト、イテナイコト、思ヒマス。又通帳ヤ切符ノナクナルト云フコトモアルデセウ。サウ云フ場合ニドウスルカ。火災ナドガ起キタ場合、イロ／＼ナ場合ニ切符ハナクナル、既ニ受ケタ配給品モナクナル、避難者ニ對シテ斯ウ云フ場合ニソレ等ヲドウスルカト云フコトモ、考ヘテ置カナケレバナラヌ。又異動ノ手續ガ普通ノ場合ト違ヒマシテ、詰リ手間取ツテハイケナイ、手續等モ出來ナイノデ、極力簡易化シマシテ應念米ノ活用ヲスルヤウニシナケレバナラヌ。避難者ニ對シテハ、公共炊事所ヲ置イテ、應念ノ配給ニ遺漏ナカラシムルト共ニ、隣組、職場單位ノ共同炊飯ヲ指導シテ、燃料ノ節約、各戸炊飯ニ依ル無駄ヲ省ク、コノ場合ニハ食事ノ時間ト云フヤウナコトモ言ツテ居ラレナイ、斯ウ云フ場合ノ避難者ノ問題モ考ヘテ置ク必要ガアル。大體サウ云フヤ

ウナ着想カラ案ヲ考ヘテ見タノデアリマス。尙消費規正ノ問題ト、國民榮養ノ問題、ソレカラ水産及畜産ノ資源ノ活用。大體コノ三ツニ分レマスガ、就中消費規正ノ問題ガ、最も早ク考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス。榮養問題ニツキマシテハ、コレハイロク、難カシイ問題ガ澤山含ンデ居ルヤウデアリマス。

ソレカラ又代用資源ノ問題ニツキマシテハ、今年ノ作柄カラ考ヘマシテ、水産、畜産ニ限ラズ、アラユル資源ヲ活用スル必要ガアルノデ、ソレニハ從來凶作時ニ於テ行ハレテ居ツタモノ、或ハ一般ニ知ラレナクテ、食糧ニ代用シ得ル植物類等ハ、一日モ早ク取極メテ、國民ニ知ラセル必要ガアルト云フノデ、委員ノオ出シ下サイマシタ食フコトノ出來ルイロク、ナ草類、ソノ他ノ物ニツイテノ食糧ヲ調査ヲ致シマシタノデ、コレヲ分リ易ク印刷シテ、オ配リシタイト云フノデ、事務局ノ方ヘオ願ヒシマシテ、整理ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス。從ヒマシテコ、ニ書キマシタ三ツノ問題ノ中ノ食糧消費規正ト云フ點ニ重點ヲ置イテ、一應御便宜ニ供シタヤウナ譯デアリマス。

北委員 第一ノ主要食糧ノ用途制限ノ具體的ノ案ト思ヒマス

村上小委員長 ソノ點ハ外ノ點ニモアリマス。アミノ酸ノ問題ナドハドウデスカ。

北委員 アミノ酸ハ簡單ニ出來ルサウデスカ。

三善委員 大體酒ヲドレダケ、制限シタイト云フ御希望デスカ。

村上小委員長 ソレハ要スルニ酒ノ造石高ヲ減スカ減サヌカト云フ問題ニナル。禁止シテシマツテモ全部行ケルノデスガ併シ今ノ合成酒デ置キ換ヘヨウト云フコトデ、合成酒デ幾ラ置キ換ヘラレルカ、計算ハ出來ナイ譯デス。

三善委員 私ハ合成酒萬能主義者デスガ、今四百萬石ヲ二百五十萬石ニ減シテ居ル、百五十萬石ノ減産デ、二百五十萬石ノ中ヲ合成酒ヲ政府ハヤラウト云フノデスガ、私ハソレハ殆ド合成酒デ、一部分ヲ殘シテ置ケバヨイデヤナイカト思ヒマス。今年ノ甘藷ノ生産ガ大體十二億何千萬貫ト首ツテ居リマス。假ニ政府ノ増石數量トシテ考ヘマシテモ、今マデノトコロ昨年マデノ數量ハ二億貫、今年ノ二億貫、コノ半分ノ一億貫ヲ清酒ニ持ツテ行クトシマスト、丁度百八十萬石ニ相當スル、増加シタ二億貫ヲ最小限度ニ見積リマシテ、二億貫ノ半分ヲ酒ニ置キ換ヘルコトニナリマスト、

ガ、コ、ニオ學ゲニナツテ居ル、穀物デナイケレドモ、牛乳ニアイスクリームガ使ハレテ居ル、コレヲ制限スル必要ガアル、隨分大キナ量ヲアイスクリームニ使用サレテ居ル乳幼児ガ非常ニ困ツテ居ルガ、早ク規正サルベキモノデナイカト考ヘマス。

村上小委員長 病人及ビ小兒ニナクチャナラヌ榮養食糧ハ、大人ハ速慮シテ貰ツタガヨイデヤナイカト思ヒマス。

岡田委員 感ジタ點ヲ申上ゲマス。小委員會デハ消費規正ハ今仰ツシヤツタ通り、第一ニナツテ居ツタガ、配給ソノモノニ關スルモノハ、總テ第一委員會ニ當リマス。コノ中デ考ヘテ見マスト、例ヘバ空襲時ニ於ケル制當配給等ハ、消費規正ト云フ點ニ關係ガナイデモアリマスマイガ、殆ド配給ノ特殊方法デアツテ、第一小委員會ノ方ニ煩シタ方ガ、便宜デハアリマセヌカ、或ハ第二ノ配給機構ノ方ハ、コレハ消費規正ニ餘程關係ガアリマスガ、コレハ同ジ意味ニ於テ第二ノ配給制度ノ方ニ關係ガアル、コレト極メテ聯關ノ深イモノデアルト云フ感ジガスル譯デス。制當配給制ノ擴充綜合化、殊ニ空襲時ノ問題ハ如何デスカ。ソノ點ハ外ノ點ニモアル譯デスカ。

百八十萬石ノ酒ヲ製造スルコトニナル、サウスルト丁度米百八十萬石ヲコ、デ節約ガ出來ルト云フコトニナリマスカラ、コレハウント強ク主張シテ、ソノ點ヲ明カニシテ、政府ニサウ云フコトヲ進言シテ、實現スルヤウニサシタイト思ヒマス。

ソレカラ序ニ申シマスガ、醬油用ノ小麥トシテアリマスカ、今日小麥デハ作ツテ居リマセヌカ、コレハ裸麥デ作ツテ居ルノデ、コレハ醬油用ノ麥類トシタ方ガヨイト思ヒマス。アミノ酸醬油ト云フノハ、コレハ容易ニ出來マス。今オ話ニナツタヤウニ、アミノ酸ハ現在ノ製造規格ニ於テ、ドレダケ出來ルカト云フト、コレハ殆ド全部出來ルノデアリマス。コレハアミノ酸醬油ノ製造ニ全部置キ換ヘル位強ク主張シタ方ガヨイト思ヒマス。

村上小委員長 營業用ハソレデヨイトシテ、農村デハ困ラナイノデスカ。

北委員 自家用ハチヨット理窟通りニ行キマセヌカラネ。

三善委員 ソレハ一ツオ考ヲ願ヒタイ、ソレカラ甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍、コレハ澱粉ノ中ニ約二割位入レテ居リマス。

岡田委員 農林省ハ一割ト發表サレテ居ルヤウデスカ。

本部派員 ソレハ全部農林省デ發表シタヤウデスネ。

三善委員 第二ハ非常ニ結構ダト思ヒマス。一元化シナケレ
バイカスト思フ、ソレモ農村ニ行クト非常ニ問題ニナリマ
ス。商業組合ト産業組合ガ非常ニ迷惑ナモノデス、コレハ
ヤツテシマハネバイカヌ、コレハ連ンデサウ云フコトデナ
ク、米ノ専賣、ソコマデ行ツタ方ガヨイヂヤナイカト思ヒ
マス。

北委員 實ハ石炭ガ一元化シタ爲ニ、思ハザル輸送上ノ困難
ガ起リマス。例ヘバ石炭ガ地元カラ出テ居ルニモ拘ラズ、
遠方ノ石炭ヲ買ヒニ行クト云フヤウナコトガ起ル。

三善委員 ソレカラ主要食糧ノ割當配給制ノ是正擴充ヲオヤ
リニナルノハヨイガ、何カ適當ナ文字ガアリマシタラ、消
費トカ何トカシタラ……是正トスルノハ變ダト思ヒマス。
第二ノ二重配給ヲ止メルコトハ好イコト、思ヒマス。ソレ
カラ(ロ)ノ數量ノ適正化ヲ圖ル、コレハチヨツト誤解スル
ヤウヂ、何カ修正シタイト思ヒマス。第四ノ消費ニ關スル
民衆教育ト合ハシテ、學校教育カラ徹底サシテ貰ヒタイ。
一番早イノハ學校ノ教育カラヤツタガ手ヲ取り早イ、子供
ニヤレバ直グ親ニ傳ハルノデ、學校ト連絡ヲ取ルト云フコ

トヲ、何カ書キ加ヘラレ、バ結構デス。

三井委員 ソレデハ民衆教育ヲ國民教育トスレバ宜イノデス、
ネ。

村上小委員長 第四ハ随分材料ガアツテ山積シテ居ル。文字
ハ短イガナカク、大事ナ點デス。

三善委員 第五ノ空襲時ノコトヲ考ヘマスト、御飯ヲ焚クト
カ何トカ出來ナイノデスカラ、パントカ何カヲ貯藏シテ置
ク必要ガアル。應急食糧貯藏ノ問題デス。

〔速記 中止〕

三井委員 三善サンノ酒ノ話デスガ、少シ極端デハナイデス
カ、餘リ極端ニ日本ノ古代カラノ清酒ノ製造ヲ止メテシマ
フト云フコトハ、ドウカト思ヒマス。私ハドウシテモ一部
ヤラセネバイカヌト思ヒマス。

三善委員 今ノ酒ハ腐リ易イノデス。本當ノ合成酒ハ腐リマ
セヌ、合成酒ノ良イノハヨイデスヨ。

村上小委員長 チヨツト御意見ヲ伺ヒタイノデスガ、空襲時
ハ分リ易イノダガ、實會トシテコノ文字ヲ出ス事ハドウ
カト思ヒマスガ、コノコトハ考ヘテ置カナケレバナラヌ。
超非常トデモヤリマスカ。

三井委員 コノ案ハ政府ヘ出スダケデ、發表シナイデセウ。

八善書記 發表スルヤウニナリマス。

三井委員 ソレデハ非常災害時ニ於ケルトヤリマスカ。ソレ
カラ第一ノ「三」ニ甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍ノ下ニ「大豆」ヲ入
レテハドウデスカ。

中澤委員 推ノ實、櫻ノ實、剛栗ナドハ館ノ中ニ入ツテ居リ
マス。コレモ入レテハドウデスカ。

八善書記 アマリ寂シイヤウデスネ。何々等トシテ置イタラ
ドウデセウカ。

中澤委員 相當深山使ツテ居リマスヨ。

三井委員 米ノ配給ハ中學以上ノ子供ガ五六人モ居ルトトテ
モ足ラナイ、老人ノ居ル所デ、我々ノヤウナ者ハ三分ノ一カ
四分ノ一シカ食ヒマセヌカラ餘リマス。コレラドウ調節ス
ルカ、今ノトコロハ實ハナイト云フト、後デ又ズツト減ラ
サレル困ルト云フノデ取ツテ置クヤウナコトニナリマス。

北委員 點數主義ニナレバヨイノデスネ。

三井委員 切符制ナドハ隣組或ハ町會デ融通仕合フ、融通性
ヲ持タシタラドウデスカ。

北委員 點數制度ナラヨイノデスネ。若イ子供ノ多イ所ハ、

點數ヲ多クシテ配給ヲ多クシテ行クノデス。

村上小委員長 私共ノ隣組デハ、隣組同士デ、融通仕合フノ
デス。

三井委員 ソレラ公ニヤレルヤウニ仕向ケタ方ガヨイノデス
ネ。

中澤委員 第二ノ共同配給ノ點數ガ、私ハ共同配給ハオ惣
菜ダケトカ、副食物ダケノ配給ト云フヨリモ、折角米ノ配
給ガ完備シテ居ルカラ、アレヲ擴充スルコトニ依ツテ、食
糧ノ綜合配給所ニスル考ヘ方ガヨイヂヤナイカ、味噌モ醬
油モ食鹽モ、食糧全部一ヶ所ニ配給スルト云フ風ニ改メテ
行ク方ガヨイヂヤナイカト思ヒマス。更ニ第三ノ割當量ニ
グイテ職業別、年齢別、性別ニ分レテ居ルノハ、結構ト思
ヒマスガ、同時ニ夏ト冬トハオ互ニ食ベル量ハ違フノデ、
コレハ季節別ニモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス。夏食ベ
ル米ノ量ハ非常ニ少クテ秋カラ冬ニ掛ケテハ非常ニ多クナ
リマス。ソレデ季節別ニモ考ヘル。ソレカラ地方別ニモ考
ヘナケレバナラヌト思ヒマス。ソレカラ先刻問題ニナツタ
空襲時デダガ、飲食業者、飯屋、パン屋ナド總テ非常時
ニハ共同炊事場ニナル。コレヲ如何ニ活用スルカ、ソレヲ

一ツ御考へ置キテ願ヒタイノデアリマス。

村上小委員長 現存設備ノ利用デスネ。

中澤委員 コレハ非常ニ澤山ナ設備ガアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ一番必要ナコトハ食物ノ買置ヲスルナト云フコトソレカラ配給サレタ物デ餘リガアレバ、コレヲ貯藏スル方法ヲ特別ニ指導スル必要ガアリマス。例ヘバ一番手取早イ貯藏方法ハ、切ツテ干ストカ、乾燥シテ粉ニスル、鹽漬ニスル、金ノ掛ラナイ一番ヨイ方法ハ、ソノ指導ヲ續ケテオヤリ下サルコトガ必要ダト思フノデス。ソレカラ今一ツハコレヲドコヘ持ツテ行ツタラ、ヨイカト考ヘテ居ルノデスガ、東京市邊デハ各配給所ニ完備シタ倉庫ガナイ。倉庫ガナイコトニ依ツテ非常ニ消費ノ減耗ガ起ル。完備シタ倉庫ヲ公共ノ力デ設置スル必要ガアルト思フ。ソコヘ一定ノ豫備米ニ該當スル一切ノ食糧ノ保安食ヲ貯藏スルト云フコトモ實會トシテ、言ツテヨイデヤナイカト思フノデアリマス。大體氣ヅイタトコロハソシナモノデアリマス。

村上小委員長 今ノ中澤サンノ御話デアリマスガ、最後ノ貯

藏ノ問題ハ、特別委員會ノ一番初メニ、貯藏ノ問題ガ特ニ出ナクテハナラヌト云フ意見ヲ申上ゲタノデアリマス。ソレ

デ貯藏ト云フコトヲ審議項目ニ入ツテ居リマシタガ、貯藏

ト配給ト云フコトハ關係ガ深イノデ、コレハ第一ノ方ニヤツテ貰フト云フノデ、貯藏問題ニ觸レテ居ラナイノデス。

特ニコノ委員會デモソノ文字ヲ入レタイト云フ希望ヲ申述

ベタノデスガ、今仰シヤツタヤウニ、減耗防止トカイロノ

ノ意味カラ申シテ貯藏問題ハ大キナ問題デ、配給ノ中ニ入

レヨウト云フノデ、第一委員會ノ方ニ入ツテ居リマス。ソ

レカラ今中澤サンノ仰シヤツタ季節別ト云フノハ、農繁期

トカ農閑期ト云フノデアリマスカ、サウ云フコトニナルト

九州ノ季節ト東北ノ季節ハ違ヒマセウ。

中澤委員 ソノ季節モアリマス。併シ夏トカ冬トカ、食物ヲ

多ク要シタリ、少ク要シタリシマスネ。コレニ手心ヲ加ヘ

タラドウカト思フノデス。

三善委員 サウナルトナカノ面倒デ困難ダト思ヒマスネ。

三井委員 政府ガ管理スル以上ハ糶子殘シテ置カネバイカン

ト思ヒマス。

〔速記 中止〕

村上小委員長 例ノ一千萬石買上ゲマシタ時モ、糶ガ一番ヨ

イト云フ事ハ、皆ソレヲ考ヘタンデスガ、如何ニセン買上

ゲル時ニ、糶ノ値段ガナカツタノデ、ソノ實行ガ出来ナカツ

タノデ。實際ハ水戸藩ナドハ糶主義デス。地方的ニハコ

レガアリマスケレドモ、全國トシテ買上ゲル糶ノ規格ト云

フモノガナカツタノデ、糶石幾ラト云フコトガ言ヘナイノ

デ、理窟ハ兎ニ角實行ガ出来ナカツタノデス。中澤サンノ

仰シヤル夏秋ノ關係ハ、綜合切符制ニナルト、多少融通ガ

出来ルヤウニ思ヒマス。

中澤委員 綜合切符制デ綜合配給所デナケレバイカヌト思フ

ノデス。

村上小委員長 今日ハモウ午後一時近クニナリマシタカラ、

コノ程度ニ致シタイト思ヒマス。

午後零時五十分散會



代
原
寫

調查委員會第七委員會速記錄 (第十五回)

(第四回第二小委員會)

大
政
翼
贊
會

第七委員會第四回第二小委員會

場所 本部第六十號會議室

日時 昭和十六年十一月六日(木曜日)午前十時十分開會、

出席調査委員

委員長 島田俊雄 小委員長 村上龍太郎 末松借一郎 小林絹治 伊藤保平
 中澤辨治郎 三井清一郎 豊田 牧 西川貞一 井阪豊光
 沖島録三

本部 側

八谷 主任書記 高地連絡書記外

村上小委員長 ソレデハ第二小委員會ヲ始メマス。前同ニハ
 皆豫メ御参考迄ニ作製シマシテオ目ニ掛ケタノデスガ、コ
 ノ主要食糧規正要綱案ニツキ、皆豫メ御意見ヲ伺ツテ居ル
 ト、保 サンカラ主要食糧品ニ牛乳ヲ入レタラドウカト云
 フ御意見モアリマシタガ、牛乳トカ卵トカノ營養食ニナリ
 マスト、主要食糧トシテハドウカトソノコトモ考ヘルノデ
 ス。尙案文ニツキマシテ、第一ノ一ノ「節減量ヲ甘諸糖蜜」
 トアル下ニ「等」ノ字ヲ入レテ「甘諸糖蜜等」トシタイト云フ

御意見ガゴザイマシタ。ソレカラ矢張り、第一ノ二ノ「醬
 油用小麥」ハ醬油用ニハ小麥ダケデナク他ノ物ヲ使ハレテ
 居ルカラ「醬油用麥類」トシタラドウカト云フ意見ガアリマ
 シタ。

八谷書記 米ノ節約ヲスル爲ニ、合成酒ヲ以テ補填セシメル、
 米ヲ節減ヲシタ爲ニ清酒ノ不足量ヲ、甘諸ソノ他ノ合成酒
 ヲ以テ行カセルト云フ意味ダラウト思ヒマスガ、ソレナラ
 更ニ節減シテ、清酒ノ石量ヲ合成酒ヲ以テシタラドウカト

云フ意見ガアリマス。

伊藤委員 コレハ十月七日トシテアリマスガ、更ニソノ後ノ御意見デスカ。

村上小委員長 コノ案ハ十日七日トシテアリマスガ、コノ發表以前ニ實ハ斯ウ云フ原案ヲ作ツテ居ツタノデアリマス。

伊藤委員 ソノ後ニ減ジラレタノハ、〇〇萬石ノ中ニ入ツテ居ルト云フ意思ヲ現シタノデスカ。

村上小委員長 コレハ物動ソノ他ノコトガ分リマセヌト云ヘナイコトデアリマスカラ、コノ委員會トシテハ何萬石ノ甘糖、馬鈴薯ヲソチラニ振向ケラレルノカ、計算致シ兼ネルノデ、〇〇萬石ト云フノハ出來得ル限り合成酒ヲ填補シテ行クト云フノデ、實際ノ時ハ〇〇萬石ハ具體的ニナル譯デス。

伊藤委員 サウ云フ案デシタラ御願ヒ致シタイノデスガ、合成酒トナツテ居ルケレドモ、米ヲ減ジラレタラ、糖ノ澱粉ガ得ラレタラ清酒ニ代用ガ出來マス。コレヲ皆ガ合成酒ト云フ風ニ指定サレマス、ソノ點窮窟ニナリヤシナイカ、大體合成酒ノ現在ノモノハ、當業者ノ方達ハ約十六度ノ酒精度ノモノニシテ約百萬石ヲ主張シテ居ラレマス。トコロ

ノ三十六萬石ノ焼酎ヲ昨年當業者ガ造ツタノデアリマスガ本年ハ雜原料ガ入手ガ當ニナリマセヌ。結局五十萬石ノ生産ハ、政府カラ頂戴シタ糖デハ、スツカリ出來ル勘定ニハナリマスケレドモ、ソノ以外ノ原料ガ入りマセヌカラ、恐ラク八十萬石ノ計畫ハ非常ナ狂ヒガ生ズルデハナイカト思ヒマス。一方焼酎ハ三十度ノモノガ政府ノ制當原料ハ四割、後六割ハ何トカ雜原料デヤツテ居ル。半分コレガ集ルトシテ、昨年ノ三割ノ十萬石ノ焼酎ノ生産ガ不能ニナリハシナイカト云フ見透シデス。三十度ノモノ十萬石デスカラ、合成酒ニ直シマス、二十萬石近イモノニナリマス。ソレカラ米五十萬石今年ハ原料カラ減ジマスカラ、ソレダケ糖デ五十萬石生産スレバヨイデヤナイカ、米五十萬石ヲ酒ニ直シマス、ト六十七萬五千石程ニナル。糖ノ方ハ十六年ニ出來上ツタ五十萬石ニ對スル制當デスカラ、假ニ入手ガ順當ニ入ツテ出來上ツテ六十萬石、米五十萬石ハ六十七萬石ニナリマスカラ、ココデ十七萬餘石ノ差ガアリマス。非常ナ減ニナリハシナイカト云フノデ、今各方面デ研究致シテ居リマスガ、コノ案ニアリマス糖蜜モ問題デ、コレガ出來マスカドウカ、輸入ハ困難デアリマス。サウ云フ事情デアリマ

ガ二月程前ニ類リニ百萬石ノ説ガアリマシテ、企畫院等モ大體ソレニ數字ノ根據ヲ置カレタカニ思ヒマス、我々ハソノ當時百萬石ハドウカト思ヒマスト申上ゲテ置イタノデアリマスガ、ソノ後ニ減ノ八十萬石ハ出來ハシナイカト云フノデ、コレヲ標準ニシテ昨年二十九萬六千石ノ合成酒ガ出來マシタ。後五十萬石ノ生産計畫ヲ樹テタラヨイ、五十萬石ニ對シテハ生糖デ三千二百萬貫要リマス。ソノ糖ノ配給計畫ヲ樹テマシタガ、ナカク實際ハサウ參リマセヌデ、ココ一二ヶ月全然生産ガ出來テ居リマセヌ。先程ドナタカオ話ノ通り、糖ノ配給ガ非常ニ困難デアリ、石炭ガ要リマスガ、コレガ騰デ參リマセヌ。九州ニハストツクガ山ノヤウニアリマスガ、關東ニハ入レマセヌカラ、關東ノ工場ハ今ダニ遊ンデ居ル。コレハ全ク違算ヲ生ジテ居ルト思フノデ、ソノ後ニ昨年ノ二十九萬六千石ノ生産ノ中ニ、政府ノ制當ガ二千四百萬石、トコロガ事實ハ燒酎ノ原料ニ、合成酒以外ニ昨年ハ三十六萬石程三十度ノモノヲ造ツテ居リマス。ソレヲ合セテ二十九萬六千石ノ中ニ二千四百萬石ノ制當ガアル。ソノ以外ニ雜原料トシテ、大分團栗等ヲ振集メ、二十九萬四千石ノ十六度ノ合成酒ト、サウシテ三十度

スカラ、清酒ガ減ジテ合成酒ノ方ト云フコトニナリマスガ、清酒ノ方モ糖ノ澱粉ガ頂戴出來マスレバ、在來ノ米ノ中ニマブシマシテ二割乃至三割ハ使ヘヨウト思ヒマス。工場ノ方ハ到底コノ以上ノ設備ハ難シイ、機械或ハ資材ニ制限ガアリマスカラ、現在ノモノヲフルニシテモ、今申シマシタ八十萬石ハ難シイ。燒酎ヲ減ジマスレバ出來マスケレドモ、燒酎モ下級労働者ノ爲ニハ獎勵シテヨイト云フ考ヘ方デアリマスカラ、代替補填ト云フコトニ大キナ狂ヒガ來年ハ生ズルヤウニ想像シテ居リマス。コノ節減量ヲ澱粉ヲ清酒ノ原料ニシ、尙甘糖、糖蜜ノ合成酒ヲ以テ代替補填セシムルト云フ廣イ御意見ト思ヒマスガ、私ハ三十八萬石ヲ節減シ、節減量ヲ澱粉ニシテ清酒トスルト云フ意味デスガ、甘糖、糖蜜等デ合成酒ト云フ意味デアツタラ、清酒ガ全然與ラマヤウニ思ヒマス。

村上小委員長 清酒ト合成酒ト二種ニナルノデスネ。

伊藤委員 尙事務局ノ方ニ、計數等ハ詳細ニ出シテ置キマス。十月七日カラ本年ハ五十萬石減セラレタノデス。

村上小委員長 〇〇萬石ハ削ツテ置キマセウ。澱粉ヲドレ位、アルコールニ糖ヲドレ位ト云フ計算ガ出來マセヌカラ、〇

○萬石トシテ、後デ入レレバヨイト思ツタンデスガ……文章ハ幹事ニ適當ニ直シテ載ク事ニシテ、一ツハ澱粉ヲ原料トスル清酒、一ツハ甘藷、糖蜜等デ造ル合成酒ト置替ヘルト云フ風ニシテ、○萬石ハ要ラナイヤウデス。ソノ次ニ醬油用小麦ヲ麥類トシタガヨイ、ソレカラアミノ酸醬油ヲ造ルコトハ困難デナイカラ、營業用ダケデナク、全面的ニ自家用醬油モアミノ酸デヤラセルヤウナ方針ヲ取ツタラヨクハナイカト云フノデスガ、ソコデ「醬油用麥類ニツイテハ之ヲ極力節減シ節減量ハアミノ酸醬油トスルコト」ト云フ御意見ガ一致シタコロデアリマシタ。

三八「甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍」ノ下ニ「大豆等」ヲ入レタガヨクハナイカト云フ御意見デアリマス。ソレカラ「一割以上」ト云フノハ、實ハ私ハハツキリ分ラナイノデスガ、下ノ位混ゼラレルモノカ、二割ニシタラドウカト云フ御意見デアリマス。「一割以上」以上トアリマスカラヨイデヤアリマセメカネ。

ソレカラ保坂委員ガ旅行ヲスルカラ、自分ノ考ダケヲ申上ゲテ置タト云ツテ、手紙ヲ寄越サレマシタ。第一ノ主要食糧ノ用途制限中、一二三ハ共ニ既ニ農林省カラ大部分發

テ居リマスガ、東京市ニ於テモマダ全面的ニハコノ案ハナイト云フ風ノ状態デアリマスカラ、コレヲ早ク普及サセル措置ヲ講ズルト云フ意味ニナツテ居リマス。コノ點ハ保坂サンノ御意見モマダ十分下部組織ガ全面的ニ行互ツテ居ナイト云フコトニツイテハ、案ニ於テハ相違ガナイヤウニ考ヘラレマス。ソレカラ先程來オ話ニナリマシタ魚、ソレカラ生鮮食料ノ配給ニツイテハ、消費者側ガ非常ニ困難シテ居ルカラ、何トカコノ委員會ニ於テモ考ヘテ置キタイト云フ御希望ガアリマシタガ、魚ノ問題ハ別途ノ問題トシテ進ミマセウ。ソレカラ第三ノ、主要食糧配給制ノ是正擴充ノ、是正擴充ト云フ文字ガドウデアラウカ、何カヨイ言葉ハナカラウカト云フノデ、研究ヲスルコトニナツテ居リマシタ。コレハ現行配給制ノ是正、二重配給ノ弊ヲ除去スルコト、異動申告ヲ勵行セシメ各戸ニ對スル配給量ノ嚴正ヲ期スルコト、ソレカラ二ガ、外食券制度ノ再検討、一、二外食者ニモ外食券ヲ交付シ云々ト云フコトデス。三八、工場給食、學校給食、營養給食ニ關スル二重配給ヲ外食券制度ノ擴充ニ依リ防止スルコトデ、コレハ格別ノ御意見モゴザイマセンデ、コレハ結構ダラウト云フコトデシ

四

表サレテ居ルカラ、コノ邊ハ一應事務局デ調査ヲシテ貰ヒタイト云フ御心附ノ手紙デアリマス。第二ノ點ハ、之ハ格別御意見ガナクテヨカラウト云フノデ、尙配給ノ關係モアルカラ、配給方面ト聯絡ヲ取ル必要ガアラウト云フ風ノコノ前オ話モアリマシタガ、保坂委員ノ手紙ヲチヨツト讀ンデ見マスト「第二主要食糧配給機構ノ整備ニツイテハ、他ノ委員會ニテ調査中又ハ答申ヲ了シタルモノモ有之、是等ト一應委員長御手許ニ於テ連絡方ヲ希望ス。猶現下ノ生鮮食料品ノ機構整備ニヨル消費者側ノ獲得困難状態及營業者ノ不統一状態等ハ大イニ委員會ニ於テ考究善處方ヲ要望スル所ナリ、下部組織ニ就テハ未ダ統制セラレタル消費組合的ナルモノナク現在ノ隣組ハ、百般ノ雜務ニ忙殺サレテ居ル實情ナルヲ以テ、之ニ物資ヲ流スニハ十分ノ用意ガ必要ト愚考ス、尤モ本日新聞ニ發表サレタル『消費經濟部』設置案ハ適當ト思考ス」コレハコレカラ整備シテ行カナクレバナラヌノデ、現在ノ儘デ進ンデ行ケルトハ考ヘテ居リマセメノデスガ、下部組織ノ共同炊事、共同配給ノ實例ハゴザイマス。共同炊事ハ農村ニ極ク普及シテ居リマス。共同配給モコノ前見學ナド致シマシタヤウニ、非常ナ效果ヲ舉ゲ

タ。ソレカラ第三ノ(ロ)ニツイテハ、例ヘバ非常ニ食事ヲ澤山攝ルヤウナ職業、ソレカラ少ク攝ルヤウナ職業、或ハ年齢、或ハ男女ノ別ニ依ツテ、モウ少シ合理的ニ配給量ヲ決メタラドウカ、或ハ時期別、或ハ労働ノ繁閑別、即チ農繁期ニハ米ガ非常ニ要リ、農閑期ニ於テハ割合少クテ濟ムト云フ區別モ、取入レタラドウカト云フ御意見モアリマシタ。ソレニツイテハ、成程ソノ通りデハアルガ、コレ等ヲ決メルノハ非常ニ複雑ニナツテ、實行困難ト思フノデ、致シ方ガナイガ簡單ナ方ガ實行ハシ易クハナイカト云フ風ノ御意見ガゴザイマシタ。コレデ一應ソノ通りニナツテ居リマス。唯地方的不均衡ト云フノハ、何トカ適當ナ文字ハナカラウカト云フ御意見ガゴザイマシタ。

三井委員 餘リ農村邊リニ農繁期トカ労働ニ依ツテ、米ノ配給量ヲ變ヘルコトハ、ヤラナイガヨイデヤナイカ、農村邊リハ食糧ハ自分デ調節ガ出來ル。足りナケレバ諸モ食フダラウシ、又特殊ノ物モ食フダラウ。農村ハ一體ソレデ生活シテ來タノデスカラ、ソレヲ餘リ文化的ナ都市ト同ジヤウニ配給スルト云フコトハ、却ツテ農村ノ爲デハナイ。實際廻ツテ見テサウ感ジマス。

五

村上小委員長 働キノ激シイ時ハ四度モ食フ、閑ニナレバ三度食フ。ソレデ辻褄ヲ直スト云フ自家調節ヲヤツテ居リマス。

豊田委員 値段が高クナルトナレバ、食ハヌデ他ノ物ヲ食ツテ賣ル時ヲ待ツテ居ル。

三井委員 信州ナド私ガ感じタノハ、時局前デハ一年ニ五斗以内、他ハ一石ガ普通デスガ、半分ハ蕎麥デモ何デモ食ツテ、アノ通り健康ダト云ツテ居リマスカラ、餘リ農村ハ細カク制當ナイ方ガヨイト思ヒマス。

村上小委員長 保坂サンノ手紙デハ(イ)ノ三、中飲食店等ノ營業者ヲモ包含セシムル要アリト云フノデ、營業者ニモ少シ豫備量ヲヤツテ置イタガヨイト云フ御意見デス。「從ツテ外食券ハ全面的ニ回数券制度ヲ採用シ外食券通帳制ノ二種ヲ綜合スベキモノトス」ト云フノデ、外食券制度ト豫備外食券制度、通帳制度ノ二種ヲ考ヘタラドウカト云フ風ノ御意見デアリマス。榮養食券ナドノコトモ、榮養食等ト云フノガアリマスカラ、一應斯ウシテ置キマセウカ。

小林委員 ドウモ營業用ヲ抑ヘルト云フ思想ガアルヂヤナイカト思ヒマスガ、鮮魚デモ野菜デモ、サウ云フ思想ガ役人

ノ頭ニアルノヂヤナイカト思フノデス。ソノ點ハドウデハウカ。儲ケテハイケナイ、魚屋ガ儲ケテハイケナイト云フノデス。魚屋デハ三井三菱ニナツタ者ハナイノニ、皆儲ケテイカヌト云フ思想ガ一ツ、ソレカラ營業用ト云フモノハ叩カウノト云フ思想ト云フモノガ、チヨクノ現レテ來テ居ルヤウニ思ヒマス。

三井委員 儲ケナクテリヤ魚屋ダツテ飲食店ダツテ食ツテ行ケナイ。ソナナ思想ガアツタラ間違ヒデス。企業ハソナナ考カラ起リマス。

小林委員 營業用ト家庭用ト、強ヒテ區別ヲツクレバ出來ナイコトハアルマイト思ヒマスケレドモ、アマリサウ云フ區別ヲスル氣持ガ強イノヂヤアリマセヌカ。飲食店デモ家ノナイヤウナガ行ツテ食フ者モ多イノデスカラネ。個體屋ナドデモサウデス。

島田委員 マルクスノ思想ノ中間搾取ヲ止メテ、生産者カラ消費者ヘト云フ誤ツタ考ガアルカライカヌ、ソレガ直ダ赤トカ何トカソウ云フノデハナイガ、中間搾取者ガナケレバ何デモイケナイ。物理學デモ化學デモメヂヤムガナケレナイケナイ。

小林委員 私ノ希望トシテハ、製會トシテハ、權威アル意見ヲ出シニナル建前カラ申シマシテ、餘リテキストブツクヲ作ルヤウニ細マノシタヤウナ字句ノ詮索マデシテ行カズニ、モット直チニ實行シ得ルヤウナ、サウシテ政府デ力強ク鞭撻指導シテ行クコトガ出來ルヤウナ大キナモノト致シテ置ク。或ハ二段構ヘニシテ置イテ、細カク入ツタモノヲ作ルコトモヨイデセウガ、差當リトシテハ直チニ實行ニ移セルヤウナモノヲ、拾ヒ上ゲテヤツタラドウカト思ヒマス。

三井委員 ソナナ意味デコノ要綱ハ極ク大體デスネ。村上小委員長 ソレカラ第三ノ二ノ「制當配給制ノ擴充綜合化」ニツイテハ、前回ニ於テハ、御意見ハアリマセヌデシタ。コレハ要スルニ、米穀中心主義ノ主食品觀念ヲ止メテ行クコトニ、イロノ意見ガアリ、日本人ノヤウニ米ヲ食フ主義ダト、含水炭素ヲ餘計攝ツテ、蛋白ヲ攝ルコトガ少イ。今迄オ菜ハ食ヒ殘シテ飯ヲ食フ習慣デスカラ、コレカラオ菜ヲ食フヤウニシテ榮養價ヲ保持スレバ、配給量ヲ殖ヤサナクテモ消費制限ガ出來ルト云フ點ヲイロノ計算シテ居ラレマシタ。ソレカラ斷片的ニ米ハ米、魚ハ魚トセズ

ニ、綜合的ニ考ヘタラドウカト云フコトデアリマス。(ロ)ハ、要スルニ綜合的ニ考ヘテ行ツタラドウカト云フコトデアリマシタ。(ハ)ハ消費者ノ聲ヲモウ少シ響カシテ來ルヤウニシタイト云フ意味デス。コレハ格別修正モナカツタト思ヒマス。

ソレカラ第四ノ消費ニ關スル民衆教育ノ項デアリマスガコレハ非常ニ簡單ニ書イテゴザイマスケレド、コノ點ガ非常ニ消費ノ問題トシテ大事ナ問題デアリマス。從來ノ消費ノ知識ノ興ヘ方ガ、ドウモ實際ニ合ハナイ。何ヲ何瓦ト云ツタトコロガ家庭デハソレガ間ニ合ハナイ。又獻立ニシタトコロガ、チヨット、家庭デ買ヘナイヤウナモノガアリマス。實際ニ即シタ消費知識ノ向上ヲ圖ルコトガ必要デアリマス。ソレニハ或ハ國民學校ノ教育、或ハ女學校ノ教育ト云フ方面、ソレカラ榮養學等ノ教ヘ方ニツイテモ、全面的ニ一ツ考ヘ直シテ、都市ハ都市、農村ハ農村デ行ケルヤウニ地方ニ即シタ普及方法ヲ講ズル必要ガアル。又ソレニツイテハサウ云フコトノ出來ル人ノ養成ヲヤル。サウシテソレヲ實際ニ移シテ行クト云フ必要ガアルヂヤナイカ。イロイロ皆御意見ガ澤山アツタ點デ、コレヲ要約シタトコロ

ハ簡單デアリマスガ、ココガ非常ニ大事デ、從ツテコレノ實行ノ案ハイロノ考ヘネバナリマセヌガ、細メテ見レバ斯ウ云フヤウデアリマス。

ソレカラ第五ノ「空襲時」ト云フノハ、コノ文字ハ委員會内デ話ヲスル時ハコレガ分り易イト云フ意味デ使ツテアリマスガ、實會トシテコノ文字ノ發表スルコトガヨイカドウカ、コレハ考慮ヲ要スルト云フノデ、コノ前ノ委員會デハ「非常災害時」ト云フ文字ニシテ發表シテ、意味ハ空襲ヲ受ケタ時ト解釋シタラドウカ、「非常災害時」ト云フ文字デ特別委員會デハ發表シヨウト云フコトニナリマシタ。大體ソレデヨカラウト云フノデ、唯實行方法トシテハ、貯藏出來ルダケ煮炊ラセズニ食ヘルヤウナ物ニ重點ヲ置ク必要ガアラウ。例ヘバ乾パンデアルトカ、梅干デアルトカ、瓦斯ヤ庖丁ヲ使ハズニ、水ガナクテモチヨツト食ヘルヤウナ物ニ重點ヲ置ク必要ガアルト云フ意見ガアリマシタ。ソレカラ尙ココニ書イテアル以外ニ、飲食屋ノ設備ヲ一ツ動員シテ、非常災害時ノ給食ノ設備ニ代ヘルコトモ必要デアリ又各家庭ノ餘リ物ヲ貯藏スルコトモ考ヘル必要ガアルト云フ御意見ガゴザイマシタ。斯ウ云フ時ニハ、トテモ制當配

リマスガ、第五ハ非常災害時ニ於テノ聯絡ヲ簡易敏速ニスル、手續ヲ簡單ニスルト云フ風ノコトデアリマシテ、コノ五ツニ一ツ纏メ上ゲテ行ツタラドウデアラウカト云フコトデアリマシタ。

コノ案ハ皆御審議ノ參考ニ資スル爲ニト云フノデ作リマシタノデスガ、尙ソノ前ニ三井委員ニ何か一ツ御研究ヲ願ヒマセウト云ツテ置キマシタノガ「食糧消費規正方策」デアリマス。先日モ朗讀致シマシタガ、モウ一度讀ンデ戴キマセウ。

〔保員朗讀〕

（本朗讀ノ「食糧消費規正方策 三井委員提出」ハ前回ニ全部掲載セリ、長文ナレバ再録ヲ省略ス）

三井委員 コレハ殆下委員長ノ出サレタ要綱ノ説明ノヤウデ内容ハ同ジデアリマスガ、一番終リノ、八、購買力ノ吸収ニヨル消費規正デ、通貨ノ膨脹ノコトヲ云ツタノハ、私ガ經濟的ニチヨツト考ヘタノデスガ、コレハ除イテ出シテ貰ヒタイ。少シココニハ引掛リガナイコトハナイ、矢張り家計ガ裕カダト、イロノ購買シテ、經濟ヲ本當ニ合理化スルコトガ出來ナイト云フコトヲ含ンデ居リマスケレドモ、

給制トカ或ハイロノ切符制ナドノ運用ハ困難デアル。ソコデ、斯ウ云フ場合ニ極力簡明直截ナ配給方法ニ移シ替ヘル。避難者等急遽ニ移動シマス場合モアリマスカラ、コノ場合ニハ特別ノ簡單ナ措置ヲ講ジテ置カナケレバナラヌト云フノデ、一、二、三、四ガ手續ヲ極力簡易化スル、聯絡ヲ敏速ニスル、切符トカ通帳ガ焼ケタリシタ時ニハ、隣組デ證明スレバ渡スト云フコトデ、避難者ニ對スル公共炊事用ノ措置モ出來ルダケ要ラヌヤウニ、簡單ニ出來ルモノデヤツテシマフト云フ措置ヲ講ジテ置ク必要ガアル。要約致シマスト五項目ニ分レマシテ、主要食糧ノ用途ヲ一ツ制限シテ、モウ少シ合理化スル。ソレカラ配給機構ノ下部組織ヲ充實シテ行キタイ。下カラ確リシタモノヲ作ツテ行カネバナラヌ。今迄ノ配給ハ上カラ來テ下ニ行クカラ、消費者ガ困ル場合ガアルガ、下部組織ヲ十分作り上ゲテ行ク。今迄ノ配給制度デ重複シテ居ルヤウナモノヲ是正シテ、不合理ノ點ヲ直シテ行ク。從來分散的ニ考ヘラレテ居ツタモノヲ綜合的ニスル。第四ガ一般ノ國民ノ營養知識ヲ向上致スコトデアリマシテ、國民學校或ハサウ云フ風ノ大衆的ノモノニ重點ヲ置イテ運ビタイ。コレハ普通ノ場合ノ項目デア

コレハ經濟委員ノ方ト混同スル傾キガアリマスカラ。

末松委員 コレヲ取消スノハ惜シイデスネ。

三井委員 機構ト一致シテ行ク間則ハ少シオ考ヘ下サイマシテ、ソレカラ結言モ必要ハナイト思ヒマス。説明ヲスレバコレハ除イテヨイト思ヒマス、何卒ソノ他モヨロシク願ヒシマス。大體前ノ消費規正要綱ノ説明ノヤウニナツテ居リマスカラ、コノ標題ヲ、規正要綱ノ説明トデモ直シテ戴ケバヨインデスネ。

村上小委員長 コノ外ニ保坂委員カラ本日日出サレタノニ斯ウ云フ御意見ガアリマス。至極面白イ御意見ノヤウニ思ヒマス。ソレハ「一般消費者ニ呼ビ掛ケルト同時ニ全國飲食業者調理人團體ニ、消費規正方法ニツキ協力セシムルノ要アリ、合理的ニ規正ヲナシ、コノ成績優秀ナリシ團體又ハ個人ニ對スル感謝表彰制度ノ採用等ヲ一考サレタシ」ト云フノデアリマス。コレハ從來餘リ委員會デ出ナカッタコトデ調理人ノ頭ヲ少シ向上サセルヤウニシタイト云フノデスガコレヲ説明ノ中ニ取入レマセウカ。

三井委員 ソレハヨイコトダ。私ノ方デ食糧協會ノ附屬學校デ食糧學校ト云フノガアリマス。ソレハ新宿ノ瓦斯タンク

ノ側ニアツテ、三百人ばかり生徒が入ッテ居リマス。夜ハ多イ時ハ四百人、今ハ二百五十人位ノ講習ヲヤツテ居リマスガ、一ヶ月以上六ヶ月、希望者ハ陸軍ノ將校ノオ嬢サン連ガ多イノデスガ、コレヲヤツテ見マス、教育ト云フ頭ダケデハイカヌ。實地的ニ現場デ調理ヲヤルト云フコトデナケレバイカヌノデ、コノ間モ私ガ行ツテ見ルト、慶應大學ノ患者食ヲ擔任シテ居ル人デ、非常ナ研究家デアリマスガ、野菜デモ人蔘デモ例ヲ示シテ、斯ウ云フ風ニシテヤルノダ、サウスルト榮養ガアルト云フ説明ヲシテ、非常ニ徹底シテ居リマス。一度御視察ヲ願ヒタイト思ヒマス。コノ間林博士ノ科學研究所ニ行キマシタガ、博士ノ云ハレルノニ、百人程大學ヲ出テ居ル者ヲ教育シテ、サウシテ府縣ノ榮養士ニヤツテ、サウシテ地方カラ材料ヲ集メテ協力シテ榮養問題ノ徹底ヲ圖ラウト云フノデアリマシタガ、大變ヨイコトト思ヒマシタ。

小林委員 私共ハ子供ノ時カラ一粒ノ零レ飯モ拾ツテ食フヤウニ教育サレテ居リマス。魚デモ汁デモ骨デモ残シテハイカヌト教育サレテ居リマスガ、東京デハ餛飩ナドノ汁ヲヨク殘シマスガ、關西デハ餛飩ノ汁ハ無料ナラモウ少シ汁ダ

ナラヌ。トコロガ女學校デハアマリ學理ニ走ツテ、卒業シタ者ハ家庭デ料理ヲシヨウトスルトノトヲ出シテ、一々目方ヲ掛ケテ、ナカ／＼料理ガ出來ナイ。斯ウ云フ教育デハイケナイ、女ハ主婦トシテ必要ナ教育ヲシナケレバナラヌト云フ議論ヲ、滔々トヤツテ居ラレタ。本當ダト思ヒマスネ。

島田委員長 ソノ例トシテ斯ウ云フコトガアリマス。私ノ親戚ニ同ジヤウナ年配ノ同ジヤウナ女學校ヲ出タ女デ、三人位ノ子供ノ母ニナツテ居ルノガ三人居リマスガ、コノ頃ビスケツトガナカ／＼得ラレナイノデ、子供ニオ目覺メノ菓子ヲヤルコトガ出來ナイノデ、何處デ聽イテ來タカ、家デビスケツトヲ造ラウチヤナイカト云フノデスガ、三人トモコレヲヤツテ見タラ、一人ノ女ハウマク出來ルガ、後ノ二人ハ出來ナイノデス。ウマク出來ル方ハ餛飩粉ト小麦粉トメリケン粉ニ卵ノ白味ヲ入レテヤレバ出來ルガ、他ノ二人ハ卵ヲ入レテ居ラナイノデス。併シドウセウマクハ出來ナクテモ、子供ノ朝起位ノ菓子ハ出來ル筈ダト思ヒマス。女中ヲ朝カラヤツテ菓子屋ノ前ニ行列サシテ置カナクテモ、學校ニ居ル時ニ少シ教育シテ置ケバ出來ル筈ト思ヒマス。

ケクレト云ツタト云フ落話モアリマスガ、ソノ通りニ汁ヲ殘ス入ハアリマセヌガ、汁ニ滋養ガアリマスカラ、イロイロナオ菜デモ何デモ汁ヲ殘サヌヤウニサセルコトモ必要デスネ。

島田委員長 教育ガソレニハ大切デス。ソレカラ師範教育トカ國民學校ノ教育ノ外ニ、指導者ノ養成ト云フコトヲ加ヘタイト思ヒマス。

村上小委員長 學校ノ先生ノ頭ノ入替デスネ。

島田委員長 私ガ見タ或雜誌ノ小説ニ、小學校デ上ノ級ノ生徒ガ、一週ニ何回ガ當番ヲ替ヘテ、共同デ學校デ食事ヲ替ヘルノデス。食食ノオ菜ヲ替ヘルノヲ、先生ガ指導シテ行ク。ソノ日ニハ、生徒ノ作ツタ物ヲ皆デ食ベルト云フノデス。ソレヲ見テ私ハ感シタノデスガ、ドウモ國民學校ノ女子カラ養成シテ行カナケレバ、今日ノ主婦ヲ教育シテモ駄目デスネ。マア駄目ダラウト思フネ。

三井委員 先達テ名古屋ノ座談會デ、中島ト云フ醫學博士デ女學校ノ校長ノ話デシタガ、ドウモ今日食糧問題ガヤカマシイガ、醫者デ女學校長ヲヤツタノハ初メテダガ、日本ノ女學校ハ嫁入ニ必要ナ教育ヲシテヤルノガ根本デナケレバ

今日餛飩粉ガナイカ知レナイガ、アツテモヤリマセンネ。

西川委員 併シ今日教育シヨウニモ教材トシテノ食品ノ配給ガアリマセン。メリケン粉、油等ガアリマセヌカラ、斯ウ云フ時局ニ適合シタ消費ノ合理化ヲ圖ルヤウニ榮養ノ指導ヲシヨウト思フテモ、コノ頃女學校ノ家事創案ノ先生ハ全然仕事ガアリマセヌ。

島田委員長 業務用トシテ配給シテ居ル筈デスガネ。

島田委員長 私ノ申上ゲタ小説ノ筋デハ、生徒ガイロ／＼ナ材料ヲ辨當ノ代リニ持ツテ來ルノデス。

西川委員 ココニ甘糖ノコトガアリマスガ、甘糖馬鈴薯ガ非常ニ食糧トシテ重要性ヲ持ツト思フノデス。私ハ先般愛媛縣ニ甘糖ヲ常食トシテ居ル者ノ話ヲ聞イタノデスガ、四五人バカリノ者ガ甘糖ヲ常食ニシテ、一年三百六十五日ソレヲ食ツテ居ルガ、ドウシテ食フカト云フト、生糖ノアル間ハ普通ニ蒸シテ食フ。晝ハ一日八百匁乃至一貫目食ベルサウデス。ココデハ榮養ノ割合カラ擧ゲテアリマスガ、コノ數字ノ三倍位ヲ食ツテ居リマス。コレハ恐ラクソレダケ澤山ノ物ヲ腹ニ入レテ、消化スル爲ニ榮養ノ大部分ノ物ヲ取ラレテ居ルト思ヒマス。勿論甘糖ダケ食ベルト云フ意味デ

ハナイノデスガ、甘藷ノ食糧化ヲ圖ル場合ニ於テ、寧ロ馬鈴薯、甘藷ヲソノ優食糧ニスルト同時ニ、或ハ澱粉等ノ加工物ヲ食糧ニシタガ消化エネルギーヲ取ラナイダケ榮養トシテハ有利チヤナイカト思ヒマス。ソレカラ實際問題トシテ今日非常ニ重大ナコトハ、東京邊デハ殆ド甘藷ハ家庭ニハ入ツテ居ラナイ。全部焼芋屋、蒸芋屋ニ取ラレテシマツテ居リマス。蒸芋トカ焼芋ノ公定價格ハ割合高クテ、百匁六錢ニ賣レテ居ルカラ家庭ニ入りマセヌ。トコロガ千葉縣デモ埼玉縣デモ栃木縣デモ、産地ニハ甘藷ハ山積シテ居リマス。コレハ皆腐敗スルノデス。荷サバキガ出来ナイ、積出シガ出来ナイカラ、捆取ルコトモ出来ナイ。ソレデ麥ノ作付方出来ナイノデ、今年ノ儘ニシテ置イタラ、甘藷ハ大減收ヲ來シマセウ。甘藷ハ非常ニ腐敗シヤスク、年々全國デ夥シイモノガ腐敗シテ居リマス。少クとも五千萬匁ハ下ラナイダラウト思ヒマス。コレハ貯藏シマシテモ、百匁目貯藏シテ三十匁目ハ腐敗スルノデ、サウ云フ點カラシテモ甘藷ノ加工——澱粉ニシテ食糧ニ當テルト云フコトモ考ヘラレルシ、乾シテ置クコトモ必要ダラウト思ヒマス。ソレカラ甘藷ヲ常食トシテ居ル地方ノ話デスガ、地位ハ非常ニ

ヨイ。普通ノ米食地方ヨリヨイノデス。ソレハ甘藷ノ御利益チヤナイラシイ。ソノ地方ガ海岸地方デ、魚肉ヲ餘計攝ルノデス。特ニ甘藷ヲ澤山攝ル者ハ糖分過多ニナツテ、鹽魚ヲ食ベナイトイケナイ。ソレダケチヤ健康ヲ保テナイノデ、甘藷ノ代用食糧ヲ増加スルニハ、同時ニカルシウム類ノ攝取量ヲ増加サセルト云フコトヲ、合セテ考ヘナクチャナラヌト云フコトヲ話シテ居リマシタ。

村上小委員長 ソノ點ガ非常ニ大事ナコトデス。米ト甘藷ト馬鈴薯ヲ置替ヘルト云フコトハ、簡單ニ行クヤウデ實ハ行カナイ。ソレカラ米ノ貯藏ニ耐エルカト、甘藷馬鈴薯ノ貯藏ニ耐エルカトハ非常ニ違フノデス。馬鈴薯ハ芽ヲ出シテ來ル、甘藷ハ腐ルノデ、甘藷ノ貯藏ヲドウ云フ風ニ合理化シテ行クカ、例ヘバ床ノ下ニ土藏見タイナノヲ掘ツテ諸ヲ糶ニ入レテ居リマスガアレデモ腐ル。二十年前カラ試驗所デイロノコトヲシテ居リマスガ、ソノ貯藏モ金ガ掛ツテハ實行性ガナイカラ、地下室見タイニシテヤツテモ、コレモナカノ困難デアリマス。馬鈴薯ハ芽ガ出ル。愛媛縣邊リノ甘藷ヲ常食ニシテ居ル所ハ、島國デ漁村デアツテ、米ハナクテ畑作バカリデ、乾燥地帯デスカラ、貯藏ハ割合ニ

樂デアリマス。氣候ノ變化モヨクテ、ア、云フ地方ハ甘藷ニハ好條件ニ恵マレテ居リマス。ソレカラ常食甘藷ハ割合糖分ノ少イ、纖維ノ少イ、チヨット焼芋ニハ不味イヤウナノデスガ、コレヲ全國的ノ問題ニスルト、輸送ノ部門ガ非常ニ働イテクレナイト實行性ガナイト思フノデス。ココデハコノ問題ニハ十分觸レテ居ナイト思ヒマス。コレハ矢張り貯藏ノ部門、ソレト輸送ノ問題モアリ、加工、化學乾燥ニナルトイロノ材料モ要リマス。切干大根ノヤウナ風ニスルト云フコトニナリマシテモ、甘藷ノ收穫期ニ於ケル氣象トノ關係等ヲ餘程考ヘネバナラヌトカ、加工、貯藏ナドニ關シテ重要ナ問題ニナルノデスガ、コレハ二ツ小委員會デ十分研究ヲ願ヒマス。

島國委員長 西川君ノ言ハレル通り、甘藷ヲ常食ニスル場合ニハ、魚ナドガ要ルト云フコトハ、非常ニ理窟ガアラウト思ヒマス。私ノ生地デハ今日諸ヲ作ツテ居ルケレドモ、私共ノ子供ノ時ニハ皆諸ヲ常食ニシテ居リマシタ。祭禮、法事、盆、正月ト云フ時デナケレバ、米ハ食ナイ、後ハ諸カ麥デシタ。ソレヲ貯藏シテ居ルケレドモ、ソレハ大概舊ノ五月、梅雨頃虫ガツク、サウシテサウ云フ所ハ漁村ダカラ

飼トカ飼トカ非常ニ鹽辛イ鹽漬ト云フモノガ食セラレテ居ツテ、ウマク出来テ居リマス。

村上小委員長 甘藷ヲ常食ニシテ居ル地方ノ人ハ、譯ハ分ラナイガ甲種合格ガ多インデスネ。

小林委員 米ヲ食ハシタラ尙ヨイヤウデスネ。

三井委員 コノ頃ノ外米ヲ食ハシタラ瘦セテシマヒマス。ドウデセウ、要綱ノ順序ソノ他ヲ整理シテ載イテ、結末ヲツケテ終リマセウカ。

中澤委員 私ハチヨット緊急ノ提案ガアルノデスガ、料理屋ノ料理ノ制限デス。家庭ニ魚肉ソノ他蛋白質ノ物ガ十分出廻ラナイ。之ハ色々ノ原因モアリマセウガ、ソノ中ノ一ツノ原因トシテ料理屋ニ相當豐富ナ物ガ出廻ツテ居ル。現ニオ招バレニ行クト、食ベケレナイ程、ダンノ量ハ少クナリツ、アリマスガ、相當ノ物ガ出テ居ル。生理的ニハ、アレ程食ベナクテモヨイ。ソコデ料理屋デモ必要ノ最大限度ニシマスカ、コレ以上ノ物ハ出サセナイヤウニ、例ヘバ一汁三菜位迄ニシテヨイデスカ。ソノ位ニ制限スルト同時ニ、價格モ一圓五十錢止リ位迄ニ制限スルコトガ必要デヤナイカト思ヒマス。ソレカラ今一ツハ、三井サンノ案ノ

中ニモアリマスガ、特別ニ取立テテ、白イ鰯、若シクハパンハ食ハセナイト云フ一ツノ提案ヲスルコトガ必要チヤナイカト考ヘルノデス。先程モ御話ガアリマシタガ、白イ鰯モリモカクモ同ジダガ、アソナ程度ノ物ヲ食ツテ居ツタノデハ、人間ハ満足ニ活動ガ出来ナイ。アソナ物ヲ子供ニ毎日一食以上食ハセレバ、子供ハ育ツテ行カスト思ヒマス。ソコデ鰯ヲ止メロト云フノデハナイガ、粉ノ中ニ必要成分ヲ盛ルカ、汁ノ中ニ必要成分ヲ入レタ物ヲ食ハセル、在來ノヤウナ白イ鰯ヤ白イパンハ食ベサセナイト云フコトヲ、緊急ニヤル必要ガアルデヤナイカト思ヒマス。ソレカラ今一ツハ、コレハ全然参考デスガ、最近他ノ委員會デ、私ハ四國ニ推議員ノ調査ニ參ツテ序ニ調べテ來タデスガ、我々ハ今迄鰯トカ鰯トカ安價ヲ榮養ガ豐富ダカラ盛ニ獎勵シテ來タノデスケレドモ、コノ生産ガ最近俄ニ減退スル虞ガアル、ト云フノハ、コレ等ハ値ガ安イ上ニ、小魚ヲ獲ルニハ第一油ガナクチャイケナイ。相當ノ漁船ガナクチャイケナイ、高イ餌ヲ使ツテ獲レテ來タモノハ非常ニ安イ。トコロガ大シタ漁船モ必要ガナクテ、小サナ船デ、油ハ全然使用シナクテ、使フ餌ガ非常ニ安イ鰯釣

レバ、コレハ數倍ニ賣レル。ソコデ四國ノ沿岸地方デハ最近鰯ヤ何カラ釣ル者ガナクテ、鰯バカリ釣ツテ居ル。ソコデ政府ノ緊急措置トシテ、鰯モ必要ダガ、鰯ヤナカ廉價ナ榮養ノ豐富ナ魚ヲ獲ルヤウニ、生産命令デモ下シテ、サウ云フ漁業ニ從事スル者ハ、國家ガ特別ノ手當ヲシテヤルト云フヤウナコトニデモシナイト、四億乃至五億獲レテ居ル鰯ガ今日非常ニ減退ヲ來スノデヤナイカ。コレハ國民ノ榮養上、偉イ缺陷ヲ起ス虞ガアルト思フノデス。鰯ノ生産命令ハコノ委員會デハナイカ知レマセヌガ、御參考ニ申上ゲマス。

東條委員 鰯ノ問題デスガ、ソレガ幾ラカ今ノニ反對ナ、アナタノ心配スルヤウナコトハナカラウト云フコトヲ、昨日聞イタノデス。ソレハ鰯ハ切ツテ賣ルコトガ非常ニ難シイラシイ。陸軍ノ少將ト申將デ、二人トモ魚屋ガ鰯ヲ買ツテクレト云フノデ、一ツガ六圓トカ四圓トカ言ツテ居リマシタガ、魚屋ガモテアマシテ買ツテクレト云フノデ、買ハナイト後ノ配給ガ來ナイカ知レナイカラ買ツタケレドモ、アソナ大キナ魚ヲ處分スルニハ何トカシナクレバナラヌト買ツテ居リマシタガ、若シ買手ガナイト云フコトニナルト、

鰯ト云フモノハ釣ラナクナルカ知レナイデスネ。

西川委員 今ノオ話ハ四國デ非常ニヤカマシイ問題デス。オ話ノ點ハ少シ違フ點モアリハシナイカト思フノデスガ、鰯トカ鰯ハ釣ルモノデナクテ鰯トカ巾着網デス。ソレカラ命令デ魚ガ獲レルカドウカ問題デスガ、コレハ非常ニ複雑ナ點ガアルト思フノデ、唯問題ハ先般生鮮魚介類ノ公定價格ヲ改訂シタ時ニ、奢侈的ノ價格ハ上ゲテ、大衆物ヲ下ゲタ。コレハ農林省ノ中デモ水産局ト食品局トノ間ニ對立的ノ意見ガアツテ、結局水産局ノ方ガ負ケタ、水産局デハ大衆的ノモノハ餘計生産シナクレバナラヌ、値段ハ高クテモ多イ方ガヨイト云フノデ、食品局デハ安クナクチャイケヌト云フノデ、コノ意見ガ通ツタ爲ニ、自然配給サレタ油ガ鰯トカ鰯トカ云フ方面ニ向ツテ行ク傾向ガ、確カニアリマ

ス。非常ニ大キナモノデハナイノデスガ、サウ云フ傾向ハアリマス。大體油ハ需要量ノ一割位シカナイ、ソノ少イ油ヲ、鰯網トカ鰯ノ巾着網トカデ、沖渡漁業ハ沖合デ獲ツタヤツラ船デ運搬シナクレバナラヌガ、鰯ハ帆デモヨケレバ格デモヨイカラ、コレガ問題ニナツテ來マス。ソノ價格ノ點ハ確カニ是正スル必要ガアリマス。高知縣邊リガ鰯、鰯ノ漁期デアルノニ、コレガ相當少イ。折角獲ツタモノモ、去年ヨリ著シク公定價格ガ安イノデ、コレデヤ困ルカラ何トカシテクレト云フノデス。香川縣愛媛縣側デモアリマスケレドモ、アノ方面ノ鰯ヤ鰯ノ生産量ガ餘リ多クナイノデ高知縣程ヤカマシクハアリマセヌ。

村上小委員長 本日ハコレデ委員會ヲ閉ヂマス。

〔午後零時散會〕



代
書

調查委員會第七委員會速記錄 (十六)

(第五回第二小委員會)

大政翼贊會

第七委員會第五回第二小委員會速記錄

場所 本部五階六十號室

日時 昭和十六年十一月十三日(木曜日)午前十時〇分開會

出席調査委員

小委員長代理 三井清一郎

委員長

島田俊雄

東郷

實

三善信房

小林絹治

竹内茂代

保坂幸治

本部

吉武幹事

八重樫幹事

八谷主任書記

高地連絡書記

石井書記

三井小委員長 ソレデハ今カラ始ノマス。御承知ノ通り前同
ニ於テ食糧消費規正要綱案ヲ大體皆サンノ御意見ヲ聽メテ
今更ニシテアルヤウニ、諸君ノ御盡力ニ依ツテ案ガ出來タ
ノデアリマス。一應之ヲ讀ンデ戴キマス。

〔朗 讀〕

主要食糧消費規正要綱(案)

第七委員會第二小委員會

現下内外ノ情勢ニ鑑ミ戰時體制下ニ於ケル食糧自給ノ強化
ヲ圖リ以テ戰線及銃後國民ノ食糧ニ不安ナカラシムルハ實ニ

喫緊ノ要務ニシテ、之ガ爲ニハ主要食糧ノ増産及國家管理ノ
強化ト相俟チ其ノ消費規正ヲ徹底セシムルノ要アリ、而シテ
消費規正ノ要點ハ主要食糧ヲ其ノ本來ノ用途ニ振向クルト共
ニ消費ニ關スル下部組織ヲ確立シ配給組織ノ整備ト有機的ニ
關聯セシメ、以テ配給制度ノ缺陷ヲ改善補正シ、他國國民大
衆ノ消費及榮養知識ノ普及向上ヲ圖ルニ在リ、尙非常災害時
ニ於ケル應援ノ措置ニ付テハ特別ノ考慮ヲ加フベキナリ
仍テ左記方策ニ依リ主要食糧ノ消費規正ヲ具體的ニ推進シ官
民協力以テ目的ノ達成ヲ期スルモノトス

第一、主要食糧ノ用途制限

- 一、酒造用米ヲ從來ヨリ更ニ節減シ、節減ニヨリ生ズル清酒ノ減産量ハ澱粉ヲ原料トスル清酒或ニ甘藷、糖蜜等ノ合成酒等ヲ以テ代替補填セシムルコト
- 二、醬油用麥類ハ之ヲ極力節減シ、醬油ノ不足量ハ「アミノ酸醬油」ヲ以テ代替補填セシムルコト
- 三、甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍、大豆等及ビ其ノ粉又ハ澱粉ヲ小麦粉製品中ニ混入セシムルコト

第二、主要食糧配給機構ノ整備

主要食糧ノ國家管理ノ進展ニ即應シ主要食糧配給ノ圓滑適正ヲ期シ綜合的消費規正ヲ圖ル爲メ中央、地方ニ於ケル配給機構ヲ整理統合シ可及的ニ一元的配給ノ實行ヲ期スルコト
尙之ニ伴ヒ消費者組織ヲ確立シ以テ右配給機關トノ有機的連繫ヲ緊密ナラシムルコト

- 消費者ノ下部組織ニ於テ共同炊事(主トシテ農村)及副食物ノ共同配給(主トシテ都會)ノ普及ヲ圖リ同時ニ榮養及料理指導ノ徹底ヲ圖ルコト
- 第三、主要食糧ノ割當配給制ノ是正擴充

ヲ通帳制トシ米穀ニ對スル換算比率ヲ定メ之ニ依リ一個人當リ乃至一世帯當リ主要食糧消費總量ヲ調節セシムルコト

(ハ)主要食糧綜合割當配給制ヲ圓滑ニ遂行スル爲メ關係配給團體ヲ以テ配給協議會ヲ設置シ消費者代表ヲ参加セシムル等ノ措置ヲ講ズルコト

第四、消費ニ關スル國民教育

消費者ノ榮養及消費知識ノ向上ヲ圖ル爲メ之ヲ指導者ノ養成及施設ヲ擴充スルコト

第五、非常災害時ニ於ケル割當配給對策

非常災害時ニ於テハ輸送系統ノ混亂、火災、避難等ノ爲メ割當配給制ノ繼續困難ナルニ至ル場合アルベキヲ以テ斯カル場合ニ於テハ配給ノ簡易敏捷化ヲ圖ルト共ニ避難者ニ對スル特別措置ヲ講ズルコト

一、原則トシテ通帳又ハ切符ニ依リ配給スルモ異動申告ニ對シテハ町會隣組限リニ於テ配給所ト直接連絡處理セシム得ル如クスルコト

二、通帳又ハ切符ノ滅失毀損セル場合ハ町會隣組ノ證明ニ依リ警察ヨリ配給スル切符ニ依リ配給ヲ受テ得ルモノトスル

一、現行割當配給制ノ是正

- (イ)二重配給ノ弊ヲ除去スルコト
- 1、異動申告ヲ勵行セシメ各戸ニ對スル配給量ノ修正ヲ期スルコト
- 2、特ニ米穀ノ外食券制度ニ再檢討ヲ加ヘ一日一回及ビ二回外食者ニモ外食券ヲ交付シ全面的な外食券制度ヲ實施スルコト
- 3、工場給食、學校給食、榮養食給食等ニ關スル二重配給ヲ外食券制度ノ擴充ニヨリ防止スルコト

(ロ)割當量ニ付テハ職業別、年齡別、性別ニ適正化ヲ圖ルト共ニ地方的割當ヲ合理化スルコト

- (ハ)合宿、寄宿會等集團生活者ノ方面ニ對シテハ基準割當量以外ニ豫備米ノ特別配給ヲ考慮スルコト
- 二、割當配給制ノ擴充綜合化

(イ)從來ノ米穀中心ノ主食觀念ヲ是正シ米穀以外ノ各種食糧ノ配給ヲ米穀ノソレト有機的ニ綜合セシメ國民食糧配給ノ總體的調節ヲ合理的ナラシムルコト

(ロ)主要食糧ノ消費者ニ對スル販賣ニ關シテハ現行米穀通帳制ヲ擴充適用スルコト、即チ主食品部門ハ之ヲ一括シ

コト

三、年齡別、職業別、性別ノ割當區分ヲ簡單ナラシメ職業ノ證明手續等ヲ簡易化シ應念米ノ活用ヲ圖ルコト

四、避難者ニ對スル公共炊事所ヲ設置シ應念ノ配給ニ遺漏ナカラシムルト共ニ隣組、職場單位等ノ共同炊飯ヲ行ハシムルコト 以上

備考

本要綱ノ主要食糧トハ米穀、麥類、干麴類、食パン、甘藷、馬鈴薯及一部ノ雜穀ヲ指稱ス

東海委員「備考」ノ一部ノ雜穀トイフノハドウイフコトデスカ。

八谷主任書記 雜穀ト云ツテモ色々用途ガアリマスノデ、主要食糧ニ用ヒラレル雜穀ヲ指シタノダラウト思ヒマス。

三井小委員長 「一部」ナドト云ハヌデモヨイデヤナイデスカ
島田委員長 穀トイフノハ麥トカ豆トカイフモノヲ云フノデ

ス甘藷、馬鈴薯ナドハ穀ノ中ニ入ラヌデスカ。
三善委員 「一部」トイフコトハ言ハヌデモヨイヤウナ氣ガシマスネ。

島田委員長「米穀、麥類、甘藷、馬鈴薯、雜穀及ビ干麴類、

食パン等ノ加工食品ヲ指稱ス。トイフヤウニシタラヨイデセウ。干鰯類、食パンハ加工品デスカラ、後へ持つテ來タ方ガヨイト思ヒマスネ。

三善委員 ソンナラヨイデセウ。

島田委員長 第一ノ三ニ「粉又ハ澱粉」トアツテ粉ト澱粉ト違フヤウニアルノデスカ、コレハ違ヘテ書カナイトイカナイ譯デスカ。

三善委員 粉ハ粉末ニシタモノソノ儘ノモノデアリ、澱粉ハソレヲ加工シタモノデス。

島田委員長 ソレデヤコレハコノ間カラ度々ヤツタノデスカラ大體コレデヨイデセウ。

三井小委員長 コノ前大分修正シタノデ大體ヨイト思ヒマスカ、唯コノ「備考」ヲ直スカドウカ。

島田委員長 「備考」ハ今新タニ直シタ通りデヨイヤウデスネ
三井小委員長 「米穀、麥類、甘藷、馬鈴薯、雜穀及ビ干鰯類食パン等ノ加工食品ヲ指稱ス」デスネ。

三善委員 第一ノ一「酒造用米ヲ從來ヨリ更ニ節減シ、節減ニヨツテ生ズル清酒ノ減産量ハ澱粉ヲ原料トスル清酒」トイフノハドウイフコトデスカ。

島田委員長 コレハコノ間離デシタカ、説明ガアツタネ。
八谷主任書記 伊藤サンデス。

高地運輸書記 澱粉ニ米ヲ混ゼテ造ルノデス。三分ノ一カ幾ラカ混ゼテ造ルト清酒ガ出來ルトイフコトデシタ。

島田委員長 合成酒デナシニ、醸造ノ時ニ澱粉ヲ使フ。
三善委員 ソレハ清酒ノ定義ニ嵌ラヌト思フノデス。

島田委員長 コノ前ノ話デハ、米ニ澱粉ヲ混ゼテヤルト清酒ガ出來ルトイフコトデシタ。サウイフモノハ清酒家ノ領分ダ、合成酒ニハ入ラヌトイフ説明ヲ聞イタノデス。

三善委員 清酒ノ定義ト合成酒ノ定義ハ別ニアツタト思フ。清酒ハ米ヲ原料トスルトイフヤウナ……

八谷主任書記 米ヲ主トシテ原料トスル。
島田委員長 澱粉ヲ三割トカ二割トカ入レテ造ル。サウスレバ矢張り米デ造ツタ清酒ト同ジヤウナモノガ出來ルトイフコトデシタ。

三善委員 同ジヤウナモノガ出來マセウガ、ソレハ清酒トハ言ハナイ。
島田委員長 米ノミヲ原料トスルモノデナケレバ清酒ト云ハヌトイフナラバ入ラヌコトニナル。

三善委員 「清酒」トセズニ「酒類」トヤレバヨイ。清酒、焼酎合成酒ミナチヤント定義ガ決マツテ居ルノデス。

島田委員長 法律的ニハサウカモ知レンナ。
小林委員 「酒類」デナク「酒」トシタラドウデスカ。

竹内委員 嚴密ニ申シマス、澱粉ヲ原料トスル酒ト甘藷ヲ原料トスル酒ト各々別デスネ。

島田委員長 ソレデ最初「合成酒」ガ入ツテ居ツタノデスカ、コノ間酒屋サンノ話ヲ聞イタラ別ダトイフノデ、議論ガ起ツタノデス。麴ニ澱粉ヲ三割トカ混ゼテ醸造スレバ普通醸造シタモノト同ジヤウナモノガ出來ル。ダカラ合成酒デハナイトイフ話デシタ。

三善委員 嚴密ニ云フト澱粉ヲ混ゼテヤルモノモアリ、諸ヲ粉ニシタモノヲ混ゼテヤルモノモアル。

島田委員長 ソレナラバ「粉又ハ澱粉」原料トスル「トスルカサウスルト」清酒「デハナイ」。「醸造酒」ガヨイカ知ラン。

三善委員 「醸造酒」ナラバ間違ヒナイ。
東郷委員 「粉」ヲ入レタ方ガヨイカ知ラヌガ、一體米ト澱粉ノ割合ハドシナモノデスカ。

島田委員長 澱粉ガ三割位トイフコトデシタ。

東郷委員 サウスルト「澱粉」原料トスル「トイフコトデハ、澱粉ガ主デナイノダカラワカシイデスネ。

三井小委員長 コノ間清酒トイフコトヲ主張サレタノハ米ノ配給ヲ受ケル爲デ、清酒デナケレバ、米ノ配給ヲ受ケラレナイ。トコロガ澱粉ヲ混ゼル人ハアト七割ノ米ヲ配給受ケナケレバ造レナイ、ソレデ清酒ト云フコトガ必要デヤナイカトイフヤウニ聞イテ居リマシタ。

島田委員長 コノ間聞イタ説明デハ、コレハ酒屋サンノ領分ダト云フノデス。澱粉ヲ入レテ造ル酒ハ酒屋ノ領分ダカラ之ヲ清酒ト認メナケレバナラヌ。ソレデ例ヘバ米ヲ十石配給ヲ受ケレバ、ソレヲ清酒ニスルトスレバ十何石ノ酒ニシカナラヌ。澱粉ヲ入レレバ十五石位出來ル。サウスルト此處ニ言フ代替補填ニナルトイフコトデシタ。

竹内委員 サウスルト澱粉ヲ混ズルトイフ意味デスネ。
東郷委員 米ガ七割、澱粉ガ三割位ナラバ「米ヲ主原料トスル」トカ「澱粉」原料トスル「トイフヤウナ意味ニシテ置カヌトソノ意味ガ分ラヌト思フ。

島田委員長 「粉又ハ澱粉」原料トスル「ソレガヨイデセウ。

三井小委員長 ソレガヨイデセウ。

三井委員 斯ウイフコトハ考ヘナイデヨロシイデスカ。粉及
ビ穀粉ハ食糧ノ爲ニ造ツテ居ル譯デスカ、ソノ食糧ヲ減シ
テコツチヘ運スト、米ヲ犠牲ニシタト同ジヤウナコトニナ
リヤセヌカトイフ氣持ガシマスガ、ソノ邊ハドシナモノデ
スカ。

三井小委員長 合成酒モ矢張り同ジコトニナリマスネ。

島田委員長 酒ノ爲ノ醸造米ヲ減ラスト造石高ガ減ル。ソレ
ヲ補フ爲ニ斯ウイフヤウナ補填ヲ講ズル。唯減ラシ放シデ
ナイトイフコトヲ書ク意味ナンデス。醤油ノ方モ矢張り同
ジ書キ方ガシテアル譯デス。酒ノ問題ハ禁酒運動トイフノ
ガアルガ、コレガ國民大衆ノ生活必需品デアルカナイカト
イフコトハ色々議論ガアル譯デス。禁酒論カラ云ヘバソ
ナモノハ要ラヌト云フノデス。トコロガ、支那人ガ阿片ヲ
飲ム慣習ノヤウニ、普通飲ンデキル者ニハ幾ラカヤラナイ
トイケナイ。ソノ者ニトツテハ必需品デス。酒ヲ飲マナケレ
バ死ヌトイフ譯デハナイガ、飲酒ガ或程度國民ノ間ニ行ハ
レテ居レバ、コレガ絕對ニ必要ダト簡單ニ片付ケル譯ニ
ハ行カナイ。ヤウスレバソレヲ減ラシ放シニスル譯ニ行カ

ナケレバ水ヲ割ツタリ、衛生上害ノアルモノヲ入レテ持ヘ

タリスルシ

三井委員 澱粉ヲ入レルト五割以上出來ル。ソレハ澱粉ハ純

粋ナモノダカラデス。粉デハサウハイカヌト思フ。

島田委員長 ソレナラバ「粉」ハ要ラナイ。

東海委員 「粉」ハ入レル必要ハナイデスカ。

島田委員長 「清酒ノ減産量ハ澱粉ヲ副原料トスル醸造酒並ニ

甘酒、糖蜜等ノ合成酒等ヲ以テ代替補填セシムルコト」新

ウイフコトニナル譯デスカ。

三井小委員長 ソレデヨイヤウデスカ。第一項ハ宜シウゴザ

イマスカ。ソレデハ第二。御意見アリマセヌカ。ソレデヤ

第三、「主要食糧ノ制當配給制ノ是正擴充」。

小林委員 制當ノ年齢別十一歳以上、アレヲモウ少シ殖ヤサ

ナイト困リマスネ。

竹内委員 今一番困ツテ居ルノハ發育盛リノ子供ノアル所デ

ス。斯ウイフモノヲ早ク出シテ案ヲ立テ、載キタイ。

島田委員長 私ノ知ツテ居ル或家デハ子供ガ多イノデトモ

足リナイ。外カラ分ケテ賣ツテ食ツテ居ル家ガアル。

小林委員 私ノ所ナンカ一週間ニ一週カ二週ハ井ヲ取ルトカ

ナイ。幾ラカハ減シテモ多少補充ノ途モ講ジテ置カテケレ

バナラヌ。潔癖ニ云フト、酒ハ害ガアルト云ツテシマヘバ
酒モ煙草モ止メテシマヘトイフコトニナル。ケレドモ、酒
モ煙草モ税法デモ國民的常識デモ認メテ居ルノデアルカラ
丸ツ切リナクスル譯ニハ行カナイ。少シ裕リヲ付ケテ考ヘ
ル必要ガアルンデヤナイカ。ソノ意味ナンダラウト思フ。

竹内委員 コレハ酒屋サンノ注文ナンデスカ。補充ノ爲ニハ

合成酒ダケデモヤツテ行ケルンデヤナイカト思ヒマスガ

……

八谷主任書記 酒屋サントイフヨリモ調査委員ノ意見デスカ。

島田委員長 モウ酒ハ飲マヌデモヨイ、サウイフ風ニ片付ケ

ルトオコラレヤシナイカ。ツマリ苦情ガ多イダラウ。ダカ

ラ米一石デハ酒一石シカ出來ナイガ、澱粉ヲ入レレバ一石

五斗出來ル。澱粉ヲ入レルコトヲ認メサヘスレバソナニ

減ラサナイデヨイ。何デモカンデモ禁酒論者ノ論法デ片付

ケルノハ困ルトイフ意見ダツタノデスカ。コレハ酒屋サンカ

ラ云フ議論ダケレドモ……

八谷主任書記 イヤ、酒屋バカリデナク需要者モ……

島田委員長 酒屋ハ買手ガナケレバ主張ハシナイ。持ヘサセ

個體ヲ取ラナケレバ足リマセヌ。

島田委員長 要スルニ食ハナケレバナラヌ者ニハ食ハス必要

ガアル。コレハ何處カニ入レルカ、小委員長ガ説明スル時

ハ説明シテ、ソレヲ頭ニ入レテ置イテヤツテ賣フ必要ガア

リマスネ。

三井委員 ソノ榮養食給食トイフノハドウイフコトデスカ。

島田委員長 コレハ何か斯ウイフモノガアルノデセウ。

八谷主任書記 細メテ配ルノデスカ。

島田委員長 榮養食ヲ食ハス食堂トカイフモノデセウ。

三井小委員長 サウデスカ。

三井委員 榮養食給食トイフノガアリマスカ。

八谷主任書記 コノ間見ニ行ツタ國民榮養研究所デハヤツテ

居リマスネ。

三井小委員長 コレハ村上サンガ農林省アタリカラ聞イテ書

カレタノデスカ。

竹内委員 一種ノ集團給食デスカ。

三井小委員長 コノ頃ハ病院デモ改良シテ榮養食給食ヲヤツ

テ居ル所ガアリマスネ。

島田委員長 ソレナラバ「工場給食、學校給食、榮養食給食

工場給食、學校給食、榮養食給食

等集團給食ニ關スル一トシテモヨイ。

小林委員 農林省ノ米穀事情ヲ聞イテ見テモ、コノ年度ハ昨年ヨリモヨイトイフコトデスガ、有リサヘスレバ食ハシタ方ガヨイ。食ハナケレバナラヌ者ニハ食ハストイフ頭デヤツテ感キタイ。

八谷主任書記 腹一杯食ハス。米バカリデナク外ノ物ヲ緩和シテ一杯食ハスヤウニデスネ。

島田委員 農林省ハ今年ハヨイ、一杯食ハストイフ説明デスガ、去年ヨリ今年ガヨイ譯ハナイ。常識判斷デモ食糧狀態ガヨイトハ言ヘナイ。

三井小委員 時局ニ入ル前ニハ、端境期ニ八百萬石アレバ圓滑ニ配給ガ出來タノデスガ、今日デハ一千萬石ナケレバ足りナイ。ソレガ今年ハ五百萬石デスカラ絶對ニ少イノデス。ソレハ農林省ハ國民ニ不安ヲ感ゼシメナイ爲ニ強調シテ居ル譯デス。

三善委員 2ト3ハ同じデアリマセヌカ。外食券制度ニ再檢討ヲ加ヘテ左ノヤウナコトヲシヨウトイフ意味デセウ。八谷主任書記 外食券制度ノ全面的擴充トイフコトヲ特ニ強調ヒタカツタノデ斯ウナツタノデス。

三井小委員 サウデス。町會デス。ヨク警察ナドモ調ベニ歩イテ居リマス。勵行セシメル意味デヤツテ居ルノデセウ。

竹内委員 書イテ出スノハコレデ結構デスガ、モウ少シ本當ニ徹底スルヤウニシナイトイケナイト思フノデス。

八谷主任書記 今行ツテ居ルノデス。今度モツト勵行シヨウトイフノデス。

竹内委員 コレハコレデ結構デスガ……

三井小委員 第四、「消費ニ關スル國民教育」コレハ簡單ナ文章ニナツテ居リマスガ、何か御意見ゴザイマスカ。

島田委員 コレハ簡單デスケレドモ、小委員長カラ報告サレル時ニハ特ニ強ク言ツテ感キタイ。コレハ非常ニ大切ナコトデスカラ……

三井小委員 ソレデハ第五「非常災害時ニ於ケル割當配給對策」

三善委員 三ノ「年齢別、職業別、性別ノ割當區分ヲ簡單ナラシメ」トイフノハ、サウイフ場合ハ年齢ナド間ハズニ幾ラデモヤルトイフ譯デセウカ。

島田委員 非常災害ノ時ハサウイフコトヲ言ツテモ出來ナイ。

島田委員 2ノ方ハ法律的問題、3ハ現在ニ對スル問題デスカラ分ケテモヨイト思フ。

三井小委員 1、2、3ハ説明ヲ簡易化スル氣持デ附ケタノデスガ、繼續シタ一ツノ文章デモヨイノデス。

島田委員 マア斯ウイフ風ニシテ置イテモ思イトイフコトハナイ。唯サツキオ話ノ「榮養食給食」ノ下ニ「集團給食」トイフ字ヲ入レルカドウカ、ソレハ當然問題デスネ。

三善委員 「榮養食給食等ノ集團給食ニ關スル」デスネ。

島田委員 サウスレバ外ノモノモ皆入ルコトニナル。

三井小委員 「榮養食給食」ノ「食」ノ字ハ要ラヌデヤナイデスカ。「榮養給食」デヨクハアリマセヌカ。

八谷主任書記 サウイフ特別ナ言葉ガアルンデヤナイカト思ヒマス。

島田委員 近頃サウイフ言葉ヲヨク使ツテ居ルデスネ。

竹内委員 (イ)ノ1ニ「異動申告ヲ勵行セシメ」トイフコトガアリマスガ、コレハ餘程強力ニヤツテ行カナイト……今デツテヤル積リデ居リマスケレドモ實行シテ居ナイ。異動シテモ届出ガナイコトガアルノデスガ、斯ウイフコトハ矢張り組織デヤツテ居ルノデスカ。

八谷主任書記 コノ間ノ説明デハ子供何人大人何人トイフ程度デナイト出來ナイトイフコトデシタ。

三善委員 實際サウデナイトウマク行カナインデヤナイカト思ヒマス「年齢別、職業別、性別ノ割當區分ヲ簡單ナラシメ」トイフト、手續ノ處理ナンカドウイフ風ニヤツテヨイカ、又職業證明ナンカドウイフ風ニヤツタラヨイカ分ラヌトイフコトニナル。從ツテ「職業ノ證明手續等ヲ簡易化シ」トイフヤウナコトモ書カスデヨイノデヤナイデセウカ

島田委員 ソレナラバ「年齢別、職業別、性別ノ割當區分ニ拘ラズ應念米ノ活用ヲ圖ルコト」トスルカ。

三善委員 サウシテ實フコトガヨイト思ヒマスネ。

三井小委員 ソノ方ガヨイヤウデスネ。

島田委員 サウスルト、四ノ所モ「避難者ニ對スル公共炊事所ヲ設置シ又ハ隣組、職場單位等ノ共同炊飯ヲ行ハシムルコト」トシタ方ガヨイデセウ。

三井小委員 「應念ノ配給ニ遺憾ナカラシムル共ニ」トイフ説明ハ要ラナイデスネ。ソレデヤ全體圖メテ御意見アリマセヌカ。ソレデハコノ要綱ハ小委員會可決トイフコトニ決シマス。

次ニ之ニ對スル説明書ヲ廻リマスカラコレヲ審議致シマス。

主要食糧消費規正要綱説明書

一、食品規格ノ確定

要綱第一ノ三ニ關聯シテ消費節約ヲ目的トスル食品規格ノ確定ガ實現セラルベキデアル。即チ規格ガ規定サレテキナイ爲ニ不經濟ナ食糧ガ生産サレテキル事實モアル。又榮養ノ充足トイフ見地カラ見レバ、浪費的乃至不合理ナコトガ少クナイ。殊ニ食糧生産者方面ノ無駄排除ハ徹底的ニ勵行セシメネバナラヌ。コレハ一方ニ於テ食糧ノ國家管理ノ強化ニヨツテモ又是正スベキデアル。例ヘバ販賣米ハ大體七分搗ノ實行、コレニ外米ノ混合ニヨツテ略々節約ノ目的ヲ達シテキルガ、農家ニアツテハ法定精米ノ趣旨ヲ没却シ、經濟的ニ榮養的ニ不利ナル白米食ヲナシテキルモノモ相當アル。パンヤ麵類ノ如キモノハ、コレニ少量ノ大豆粉又ハ魚粉ヲ混入スレバ、小麦蛋白ノ榮養的素質ノ改善ガ行ハレ價値ノ高イ蛋白質トシテ完全ニ利用サレ、魚介、肉、卵ノ不足ヲ或程度マデ補ヒ得ルニ拘ハラズ小麦粉ノミヲ以テ製造スルパン、麵類ガ依然トシテ販賣サレテキルガ如キ現状

地域、人口、都鄙、村落等ニヨツテ、コノ組織ニハ種々ノ考究ヲ要スルガ、消費人口(需要者)、地域等ヲ配ミ合セ成ルベク家事労働ヲ節約シ得ルヤウナ單位ヲ決定シ、之ヲ基準トシテ共同配給所ヲ設置スル必要ガアル。先ヅ村落ニハ村落單位ノ配給所又ハ數部落單位ノ配給所ノ設置ガ考ヘラレル。ソノ中心ハ産業組合、商業組合、單位消費者ノ下部組織ノ中ソノ何レニテモヨイ。トニ角從來魚介類ノ如キハ主トシテ水湯地ノ婦女ノ勞力デ配給サレテキタモノヲ、配給機構ノ變更ニヨリ、新タニ魚介ヲ求ムルタメ、農村ニ勞力ヲ更ニ加重スルガ如キ組織ハ避クベキデアル。都市ニ於テハ、町會單位、警察派出所單位、隣組ノ聯合單位デモヨイ、トニカク百戸内外ヲ一單位トシテ消費者ノ下部組織構成ノ必要ガアル。

次ニ農村婦人ノ家事労働ヲ生産方面ニ振り向ケルト共ニ粗食多量ニナリ勝チノ農村家庭ノ炊事ヲ榮養的ニ向上セシメ、體位ノ低下ヲ阻止シ、ソノ向上ヲハカルタメ、實行シ易イ部落ヨリ共同炊事ノ普及ヲハカリ、漸時都市集合體ニ對シテモ、コノ施設ヲ及ボスベキデアル(長野縣、石川縣ノ如キハ實施ノ結果ガ頗ルヨイ)。又現ニ小商工集團ニハ、

デアル。又重量本位ノ食味不良、廢棄部分多キ葱ヤ、茄子胡瓜等ノ過熟蔬菜ガ横行シテイル等、例示スルニ堪ヘナイ程多イ。カカル不合理ヲ一掃スルニモ、食品規格ノ制定ヲ廣範圍ニ亘ツテ實行スル必要ガアル。

二、配給機構ノ整備

生活必需物資ノ不足シテキル今日、コレヲ國民大衆ニ均霑セシムルニハ、先ヅ配給機構ノ整備就中消費者ノ組織化ガ急務デアル。コレニヨツテ奢侈的消費面(例ヘバ料理屋等)ヘノ物資ノ流入、即チソノ偏在ヲ矯正シテ行カネバナラヌ殊ニ最近ニ於ケル都市ノ野菜不足、魚肉不足等ハ何等カノ緊急施設ヲ急務トシテキル。即チ消費者ノ組織化、配給機構ノ合理化ガ表裏一體トナツテ始メテ國民大衆ニ必需品ガ假令少ナクとも公平ニ分配セラレルコト、ナルデアラウ。生鮮魚介類、青果物、酒類ノ配給ノ合理化等着々コノ方面ハ整備サレ、生産地カラ市場マデノ出荷ハ漸ク軌道ニ乗ツタガ、殘ル問題ハ消費者ノ下部組織ヲ如何ニスルカデアリ之ガ適正ナ組織ヲ持タヌ現在ノ狀態ヲコノマ、ニ放任スレバ、結局生活必需物資ノ偏在ハ免ガレナイ。コ、ニ於テ消費者ノ下部組織編成ガ急務デアル。

榮養食配給ノ設備ノ如キガ發達整備シテキルトコロモアルガ、コレ等ノ施設ヲ普及スルコトモ必要デアル。

都會ニ於ケル副食物ノ共同配給ハ雜多ナ階級ヲ含ミ均一食品配給ノ不適當ナ地區ニ對シテハ共同獻立配給ノ仕組ミ即チ、食料ノ材料ノミヲ、科學的ニ研究サレタ榮養獻立ニヨリ、共同的ニ購入分配スル制度ヲ施行スル。コノ方法ニヨルト調味ノ變化ト自由材料ノ追加使用ガアル程度出來ル以外、少量ノ材料モ自由ニ使ヒ得ルコト、内容ヲ豐富ニシテ比較的材料ノ節約ヲ計リ得ルコト、材料ノ出廻リ狀況ニ應ジテ最モ適切ナル獻立組合セガ可能ナルコト、最少ノ材料デ最大ノ榮養ト保健ヲ期シ得ルコト、配給機構ガ著シク簡易化シ、ソノ方面ノ勞力ノ節約ヲナシ得ルコト等幾多ノ利點ガアリ、消費規正ノ徹底ヲ期スルニハ極メテ效果多キモノト考ヘル。

三、割當配給制ノ是正

異動申告ヲ勵行シ嚴正ヲ期スル爲ニハ申告ニヨル改訂ヲ迅速ナラシムルヤウ、事務的處理ノ簡潔化、又ハ處理前ニ於ケル配給實際改訂ノ便法制定ノ必要アリト思料セラル。外食券制度ノ全面的強化ハ、外食券ナシニハ戶外ニ於テ

米飯ヲ食シ得ザル事トナリ、相當ノ窮屈化ヲ招ク結果トナルガ、何レモ克服シ得ザル如キ困難ナル場合ハ豫想サレズ之レヲ斷行セザレバ、米穀ノ消費規正ノ完備ハ到底望ミ得ラレズ、外食ノ窮屈化ノ如キハ家庭米入手不安ニ比ブレバ重大視スルノ要ナキト信ズル。

然シ現今ニ於テモ、配給量ノ個人的割當ハ不適正ニテ、過剩ト不足ト世帯ヲ生ミツ、アリ、發育兒童ヲ持ツ家庭ノ如キハ、外食券制度ノ全面的施行ニヨリ益々不足ヲ強化セラレル結果トナルヲ以テ、ソノ適正化ヲ圖ラネバナラナイ集團生活圏内ニ於テハ、單ニ配給ノ一時的遲延ノ爲メニモ、多量ノ代用食ヲ調達スルノ困難ニヨリ混亂ヲ招キタル實例夥カラズ、若干豫備米配給ガ望マシイノデアアル。

四、消費ニ關スル國民教育
食糧ノ卸小賣過程ニ於ケル廢棄量ハ相當大ナルモノガアル。試ミニ昭和十二年度ニ於テ東京市産業局及東京府市場協會ノ調査ニ就テミルニ、魚介廢棄率五〇%、野菜廢棄率三〇%、果實廢棄率七%ニ達シテキル。
又家庭ニ於ケル食糧廢棄量モ少クナイ、昭和十二年度ニ於ケル東京市消費課調査ニ依レバ一日一戸平均〇・七六疋

ニ達シテキル。
コノホカ米麥ノ淘洗ニヨリ一・〇五%ノ損失ヲ毎日繰返シ、野菜ノ加熱、漬物等ノ調理過程ニ於テ無機質ノ二〇%以上、ビタミンCノ大半ヲ損失シテキル。

如何ニ供給量ノ確保ニ努力シテモ、カ、ル浪費(無駄)ヲ繰返スカギリ、折角ノ努力モ報ヒラレルトコロガ少ク、若シ供給量ガ保健ノ最低必要量デアル場合ハ、タチマチ營養不良ニ陥ルデアラウ。

故ニコレ等ノ無駄ヲ無クシ、原料營養價値ヲ損セズ、又從來食用ヲ忌避シタ生鮮食糧ノ廢棄部分ノ食用化ヲ圖リ、又殘飯殘菜ヲ出サヌヤウニ國民ヲ教育スル必要ガアル。
カ、ル教育ガ徹底シ、ソノ實行ガ促進サレ、ベ、生鮮食糧等ハ從來ノ二倍ノ利用價値ヲ生ムニ至リ節約ノ實ハ大ニ舉ガルノデアアル。

其ノ他食糧節約上留意スベキハ食物ノ營養學的合理化デアアル。毎日ノ食物獻立ガ營養學的ニ當ヲ得ズ、部分的ナ營養缺陷ガアル場合ハ、營養失調症ヲ惹起シ、骨ニ健康ヲ害スルノミナラズ、國民ノ死亡率ヲ高メ、不消化等ニヨル食糧浪費モ少クナイノデアアル。

農山村ノ食事ニハ一般ニ若干ノ營養缺陷ガアルガ(動物性食品、脂肪、ビタミンBノ不足等)コレヲ改善シタ、メニ主食物ノ攝取量ガ軽減シ、醫療費モ低減シタトイフ實驗ガ各方面カラ報告サレテキル事實ハ、獻立ノ合理化ニヨリ節約ノ實ヲ舉ゲ得ルモノナルコトヲ證シテキル。

故ニ今後ハ、各地各階層ノ日常食物ノ營養缺陷ヲ精査シコレガ合理化ノ指導ヲ徹底スル必要ガアル。
コノ消費ニ關スル國民指導ハ一般消費者ニ之ヲ行フト共ニ全國飲食店營業者及ビ調理人ノ團體ヲシテ、消費規正ニ付協力セシムル方途ヲ講ズベキデアアル。

今日一般家庭ノ營養及消費知識ノ程度ヲ高メ、多年ノ弊風ヲ是正スルハ相當ノ努力ヲ要スルモノト認メラル、ヲ以テ、コレガ徹底ヲ期スル爲メニハ、師範教育並ニ國民學校教員ノ再教育ニヨリ國民學校ヲ初メ、各學校教育ニ於テ正シキ消費觀念ノ養成ヲ行フベキデアアル。

目下ノ國家非常緊急ニ際シテハ、戰時經營ノ運営ハ、單ニ國民ノ協力ヲ促スノミデハ不充分デアアル。更ニ違反者ニ對シテハ或ル程度ノ刑罰ヲ強化シ、當該者ハ勿論、國民全體ニ反省ヲ促スコトガ絕對的ニ必要デアルト考ヘル。尤來

消費規正ノ根本精神ハ、全國民ガ一人殘ラズ、生活必需品ノ公正ニシテ必要ナル配給ヲ保證サレルコトニアル。コレガタメニハ消費統制ノ正當ナル實施及ビ遵率ガ絕對ニ必要デアツテ、違反者嚴罰主義ノ採用ハ眞ニ止ムヲ得ナイコト、思ハレル。

五、非常災害時ノ對策
非常炊出所ニ關シテハ、飲食店ノ調理設備ヲ開放セシムルノモ適當デ、常時隣組又ハ町會等ニ於テ適當ナ飲食店ト連絡方法ニツキ打合セテ置クヤウ指導スベキデアアル。

島田委員長 前二三井委員ノ書カレタ「食糧消費規正方策」トイフノガアリマス。ソレハコレデアリマスガ、ソレカラ今御配付ニナツタ「主要食糧消費規正要綱說明書」トイフモノガ出來タノデスガ、コノ說明書ノ方ハ三井委員ノ案ノ初メニアル「概要」ガ按イテアルノデスケレドモ、矢張りサウイフ概要トイフカ總說的ノモノガコレニモアツタ方ガヨイト思ヒマスガドウデスカ。前二三井委員ノ出サレタモノト之トヲ組合セテ委員長ニ於テ適宜整理シテ出シテ實ツタラドウカト思ヒマスガ、如何デスカ。
三井委員 是非サウオ願ヒ教シマス。

三井小委員長 別ニモウ一通委員会ヲヤラヌデヨイデセウカ
三善委員 ヨイデセウ。委員長ト小委員長ニ御一任致シマス
小林委員 文章ヲ分り易ク納得行クヤウニ書イテ戴ケバヨイ
デセウ。

島田委員長 ソレデヤ小委員長ト委員長ニオ委セ願ヒマセウ
三井小委員長 ソレデヤ説明書ハ委員長ニオ委セ願フコトニ
致シマス。本日ハコレデ散會致シマス。

午前十一時二十五分散會



(代 冊 寫)

調查委員會第七委員會速記錄(十七)

(第七回總會)

大政翼贊會

第七委員會第七回總會速記録

場所 本部五階第五十五號室
日時 昭和十六年十一月二十七日(木曜日)午前十時十五分開會

出席調査委員

- 委員長 島田俊雄 酒井忠正 小林絹治 菊池良一 長野綱良
- 岡田喜久治 中澤辨治郎 村上龍太郎 三井清一郎 江橋英次郎
- 保坂幸治 三善信房

本部 例

- 安田幹事 吉武幹事 八谷書記外

島田委員長 御出席ノ通知ノアツタ方デマダオ見えニナラヌ 村上小委員長 ソレデハ第二小委員會ノ主要食糧消費規正ニ方モアリマスガ、大分時間モ経チマシタカラコレカラ委員 關スル審議ノ模様及ソノ結論ニツイテ御報告申上ゲマス。

會ヲ開會致シマス。本日ハ第二小委員會ニ調査ヲオ願ヒ致シマシタ主要食糧消費規正ノ問題ニツキマシテ小委員會ノ成案ガ出来マシタノデ、之ヲ御報告願ヒマシテ、サウシテコノ委員會ノ成案ニツイテ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス。

尙ソノ後ニ時間ガアレバ他ノ問題ニツイテオ路リヲ致シタイト思ヒマスガ、先ヅコノ主要食糧消費規正ノ件ニツキマシテ第二小委員會ノ委員長ヨリ御報告ヲオ願ヒ致シマス。

第二小委員會ニ於キマシテハ第二小委員會ガ設ケラレマシテ以來數回ニ亙リマシテ委員會ヲ開會致シマシテ審議ヲ重ネマシタガ、本問題ニツイテ各般ノ點ニツイテ委員ヨリ意見ノ御開陳ガゴザイマシタ。コノ問題以外ノ點ニツイテモ色々御意見ノ御開陳ガゴザイマシタシ、又各委員ノ方々ヨリ各種ノ資料ノ御提供モゴザイマシタ。尙厚生科學研究所、ソレカラ都市ニ於ケル共同配給所等モ見學或ハ視察ヲ

致シマシタ。

各委員ノ御意見等ニツキマシテハ速記録モゴザイマセウカラ、ソレニツイテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、大體後デ朗讀ヲ致シマス説明ノ中ニソノ御意見等ガ取入レラレテ居ル譯デアリマス。各々ノ御意見ノ御紹介等ハ長クナリマスノデ速記録デ御覽ヲ願ヒ、或ハ御質問等ニ應ジテ申述ベルコトニシテ省略ヲサセテ戴キマス。

尙各委員ヨリ御提供下サイマシタ資料ハ相當部厚ナモノニナリマスノデ、本日ハソノ資料ノ目錄ダケヲオ目ニ掛ケル次第デアリマス。尙ソノ資料ノ中ニハ既ニ皆サンノオ手許ヘ配付致サレタモノモアルト存ジマス。コノ機會ニ色々ナ資料ヲ御提供下サイマシタ委員ノ方々ニ感謝シ、殊ニ國民ノ榮養ニツイテ少クともドノ程度ノ榮養量ヲ攝取セシメルコトガ必要カトイフコトニツイテ精密ニ御計算ヲ下サイマシタ榊原委員ニハ非常ニ御手數ヲ掛ケマシタノデ特ニ感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス。

ソレデ只今オ手許ニ差上ゲマシタ印刷ハ資料ノ目錄ノ外ニ二部アリマスガ、ソノ一部ハ規正要綱デアリ、ソノ二ハ説明デアリマス。規正要綱ハ要スルニ消費規正ノ論點ヲ照

シ詰メタモノデアリマスシ、説明ハソノ要綱ニ合マツテ居ル意味ヲモウ少シ詳シク申述タモノデゴザイマス。就キマシテハ要綱ヲ朗讀ヲ願ヒ、且ツ説明ヲ御朗讀ヲ願ヒマシテ、コノ要綱ソレノニツイテノ説明ハ時間ノ都合上省キタイト存ジマス。ドウカコノ要旨ヲ朗讀致シマスカラ、ソレニツイテ御開取リヲ願ヒマシテ、尙御質問等モゴザイマスレバ御答ヲ申上ゲマス。斯様ニ致シタイト存ジマス。

ソレカラ私旅行等ノ關係上出席ヲ致シテ居ラナイ時モゴザイマシタガ、ソレ等ノ點ニツイテハ、私ノ説明ノ足ラザル點ハ他ノ委員ノ方々ヨリ補充ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマスカラ、ソノ點オ許シテ願ヒマス。終リニ熱心ニ御審議下サイマシタ委員ノ方々ニ厚ク御禮ヲ申上ゲマス。

〔八谷書記朗讀〕

主要食糧消費規正要綱

調査委員會第七委員會

現下内外ノ情勢ニ鑑ミ戰時體制下ニ於ケル食糧自給ノ強化

第二、主要食糧配給機構ノ整備

主要食糧ノ國家管理ノ進展ニ即應シ主要食糧配給ノ圓滑適正ヲ期シ綜合的消費規正ヲ圖ル爲メ中央、地方ニ於ケル配給機構ヲ整理統合シ可及的ニ一元配給ノ實行ヲ期スルコト尙之ニ伴ヒ消費者組織ヲ確立シ以テ右配給機構トノ有機的連繫ヲ緊密ナラシムルコト
消費者ノ下部組織ニ於テ共同炊事(主トシテ農村)及副食料ノ共同配給(主トシテ都會)ノ普及ヲ圖リ同時ニ榮養及料理指導ノ徹底ヲ圖ルコト

第三、主要食糧ノ割當配給制ノ是正擴充

一、現行割當配給制ノ是正

- (イ) 二重配給ノ弊ヲ除去スルコト
- 1、異動申告ヲ勵行セシメ各戸ニ對スル配給量ノ修正ヲ期スルコト
- 2、特ニ米穀ノ外食券制度ニ再檢討ヲ加ヘ一日一回及ビ二回外食者ニモ外食券ヲ交付シ全面的な外食券制度ヲ實施スルコト
- 3、工場給食、學校給食、榮養食給食等ノ集團給食ニ關スル二重配給ヲ外食券制度ノ擴充ニヨリ防止スルコト

第一、主要食糧ノ用途制限

- 一、酒造用米ヲ從來ヨリ更ニ節減シ、節減ニヨツテ生ズル清酒ノ減産量ハ澱粉ヲ副原料トスル釀造酒並ニ甘藷、糖蜜等ノ合成酒等ヲ以テ代替補填セシムルコト
- 二、醬油用麥類ハ之ヲ極力節減シ、醬油ノ不足量ハ「アミノ酸醬油」ヲ以テ代替補填セシムルコト
- 三、甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍、大豆等及ビ其ノ粉又ハ澱粉ヲ小麥粉製品中ニ混入セシムルコト

ヲ圖リ以テ戰後及戰後國民ノ食糧ニ不安ナカラシムルハ實ニ喫緊ノ要務ニシテ、之ガ爲メニハ主要食糧ノ増産及國家管理ノ強化ト相俟チ其ノ消費規正ヲ徹底セシムルノ要アリ、而シテ消費規正ノ要點ハ主要食糧ヲ其ノ本來ノ用途ニ振向クルト共ニ消費ニ關スル下部組織ヲ確立シ配給機構ノ整備ト有機的ニ關聯セシメ、以テ配給統制ノ缺陷ヲ改善補正シ、他國國民大衆ノ消費及榮養知識ノ普及向上ヲ圖ルニ在リ、尙非常災害時ニ於ケル臨機ノ措置ニ付テハ特別ノ考慮ヲ加フベキナリ
仍テ左記方策ニ依リ主要食糧ノ消費規正ヲ具體的ニ推進シ官民協力以テ目的ノ達成ヲ期スルモノトス

(ロ) 制當量ニ付テハ職業別、年齡別、性別ニ適正化ヲ圖ルト共ニ地方的制當ヲ合理化スルコト

(ハ) 合宿、寄宿舎等集團生活者ノ方面ニ對シテハ基準制當量以外ニ豫備米ノ特別配給ヲ考慮スルコト

二、制當配給ノ擴充綜合化

(イ) 從來ノ米穀中心ノ主食品觀念ヲ是正シ米穀以外ノ各種食糧ノ配給ヲ米穀ノソレト有機的ニ綜合セシメ國民食糧供給ノ總體的調節ヲ合理的ナラシムルコト

(ロ) 主要食糧ノ消費者ニ對スル販賣ニ關シテハ現行米穀通帳制ヲ擴充適用スルコト、即チ主食品部門ハ之ヲ一括シテ通帳制トシ米穀ニ對スル換算比率ヲ定メ之ニ依リ一人當リ乃至一世帶當リ主要食糧消費總量ヲ調節セシムルコト

(ハ) 主要食糧綜合制當配給制ヲ圓滑ニ遂行スル爲ニ關係配給團體ヲ以テ配給協議會ヲ設置シ消費者代表ヲ参加セシムル等ノ措置ヲ講ズルコト

第四、消費ニ關スル國民教育

消費者ノ榮養及消費知識ノ向上ヲ圖ル爲之方指導者ノ養成及施設ヲ擴充スルコト

期下緊急ノ要務ハ、外米依存ヲ重要支柱トスル現在ノ食糧政策ヲ脱却、一位國民ノ食生活ヲ安定セシムルニ足ル自給自足ノ食糧國策ヲ確立スルニアル。

コレガ爲ニハ、先づ以テ國民必需食糧ノ最小限度ヲ確保スル方策ヲ講ゼラレネバナラヌ。先般本年度第二四半期以後ノ物資動員計畫ガ改訂セラレ、軍需ノ急速ナル整備充足ト國民ノ生活必需品ノ最小限度確保トガ二大重點トサレニ至ツタガコレハ政府ノ意圖モ亦愛ニ在ルコトヲ示スモノト思フ。

而シテ、自給自足ノ範圍内ニ於テ食糧ヲ確保スルニハ、生産増加配給合理化ト共ニ特ニ消費ノ規正ヲ徹底セネバナラヌ。蓋シ生産増加ハ、米穀生産ニ力ヲ致スハ勿論、農地ノ開發改良、水田裏作ノ擴張、桑園ノ混作、耕種ノ轉換等ニヨル麥類芋類ノ増産ニツク主要方策ガ見出サレガ、現下農村ニ於テハ各種制約ノ爲之レガ實現必ズシモ容易ナラズ、從ツテ問題ノ解決ハ消費規正ニ負フトコロ甚ダ大ナルノデアル。

コ、ニ言フ消費規正トハ、單ナル消費ノ抑制デハナイ、求メ得ル食糧ノ實ト量トヲ完全ニ活用シ、生理的所要ヲ必要ノ最小限度ノ食糧ヲ以テ賄ヒ、簡素ナガラ安定セル健康的ナル生活ヲ築キ上ダテ行クコトヲ意味スル。

第五、非常災害時ニ於ケル制當配給對策

非常災害時ニ於テハ輸送系統ノ混亂、火災、避難等ノ爲メ制當配給制ノ繼續困難ナルニ至ル場合アルベキヲ以テ斯カル場合ニ於テハ配給ノ簡易敏捷化ヲ圖ルト共ニ避難者ニ對スル特別措置ヲ講ズルコト

一、原則トシテ通報又ハ切符ニ依リ配給スルモ異動申告ニ對シテハ町會隣組限リニ於テ配給所ト直接連絡處理セシム得ル如クスルコト

二、通報又ハ切符ノ滅失毀損セル場合ハ町會隣組ノ證明ニ依リ警察ヨリ發給スル切符ニ依リ配給ヲ受ケ得ルモノトスルコト

三、年齡別、職業別、性別ノ制當區分ニ拘ラズ應念米ノ活用ヲ圖ルコト

四、避難者ニ對スル公共炊事所ヲ設置スルト共ニ隣組、職場單位等ノ共同炊事ヲ行ハシムルコト 以上

「備考」 主要食糧トハ米穀、麥類、甘藷、馬鈴薯、雜穀及干麵類、食パン等ノ加工品ヲ指稱ス

總說

シタガツテ今後ノ國民生活ニ於テハ、食糧供給ノ事情ニ即應シテ、從來ノ食習慣即チ米食本位ノ食生活ヲ出來ルダケ改メ、主食副食ノ觀念ヲ排シ、與ヘラレタル全部ヲ適シテ榮養ノ必需量ヲ攝ルコトヲ旨トシ、獻立調理ニ科學的知識ト工夫トヲ須ヒ保健食ノ組立ヲ無駄排除ニヨリ食糧ソレ自體ノ最大效力ヲ發揮スルヤウニ努メネバナラヌ。

愛ニ特ニ留意スベキハ、求メ得タル食糧物資ノ無駄排除デアル。從來ノ統計ニヨレバ、野菜類ハ三〇%、魚類ハヨリ以上廢棄サレテキルモノノ如クデアルガ、支那食ノ如ク凡テノ部分ヲ利用シテ剩スナキニ至ラシメネバナラヌ。

又食糧配給方法ヲ合理化シ、配給ヲ公平ニシ、買出シ效率上ノ手續ヲ省キ、更ニ廣ク各階層ニ保健食ヲ均霑セシムル措置トシテ或ハ隣組單位乃至ハ組合編成等ニヨル共同獻立材料配給、共同炊事ノ普及、或ハ日用食品各品目ニ亙ル配給切符制度等ノ施行ヲ必要トスル。

更ニ又浮動購買力ヲ吸收シテ無用ノ食糧買溜、購上ダ、間取引ヲ規正スルコト、主婦ノ再教育ニヨリ正シク消費規正能力ヲ涵養セシムルコト、食品規格ヲ制定シテ商品ソレ自體ノ浪費的部分ヲ排除スルコト等モ必要ナル措置ト言ハネバナラ

之レヲ要スルニ、現下食糧消費規正ノ方途ハ多クアルベキ
モ消費ノ合理化、配分ノ公平、購買力ノ吸收ノ三項ニ要約ス
ルヲ得ベシト思料サレド。

第一、主要食糧ノ用途制限 消費ノ轉換

主要食糧ノ消費用途ニ關シテハ、酒造米ヲ米穀本來ノ用途
タル飯米ニ轉換セシメ、醬油用麥類ヲ優位ナル消費面ニ移行
セシメル等所謂消費ノ轉換ニ萬全ヲ竭スベキデアル。而シテ
之レガ實行ニハ合成酒、アミノ酸醬油等ノ代替品ノ補給ト共
ニ品質ノ改善ヲ忽ニシテハナラナイ。

食品規格ノ確定

主要食糧ノ用途制限ニ關聯シテ、消費節約ヲ目的トスル食
品規格ノ確定ガ實現セラルベキデアル。即チ規格ガ規定サレ
テキナイタメニ不經濟ナ食糧ガ生産サレテキル事實ガアル。
又營養充足ノ見地カラ見テモ、浪費的デアリ不合理ナコトガ
少クナイ。パンヤ麵類ノ如キモノハコレニ少重ノ大豆粉又ハ
魚粉ヲ混入スレバ、小麦蛋白ノ營養的實質ノ改善ガ行ハレ、
價値ノ高イ蛋白質トシテ完全ニ利用サレ、魚介、肉、卵ノ不

見ヲ或程度マデ補ヒ得ルニ拘ラズ小麦粉ノミヲ以テ製造スル
パン、麵類ガ依然トシテ販賣サレテキルガ如キ現状デアル。
又重量本位ノ食味不良、廢棄部分多ク葱ヤ、茄子、胡瓜等ノ
過熟蔬菜ガ横行シテアル等、例示スルニ堪ヘナイ程多イ。

殊ニ食糧生産者方面ノ無駄排除ハ徹底的ニ勵行セシメネバ
ナラヌ。例ヘバ販賣米ハ大體七分揚ノ實行、コレニ外米ノ混
合ニヨツテ略々節約ノ目的ヲ達シテキルガ、農家ニアツテハ
法定精米ノ趣旨ヲ没却シ、經濟的ニ營養的ニ不利ナル白米食
ヲナシテキルモノモ相當アル。コレハ一方ニ於テ食糧ノ國家
管理ノ強化ニヨツテモ又是正スベキデアル。カ、ル不合理ヲ
一掃スルニハ、食品規格ノ制定ヲ廣範圍ニ亘ツテ實行スル必
要ガアル。

第二、配給機構ノ整備 基本措置

食糧消費規正上考慮ヲ要スル問題ハ消費ノ組織化デアル。
而シテ本件ノ實行ニハ、先ヅソノ前提トシテ國民最低生活限
度確保ノ措置(營養ニ關スル生産部門ト消費部門トノ表裏一
體ノ計畫ヲ樹立シ、生産ハ質ヨリモ量ニ重點ヲオキ、例ヘバ
從來ノ品質本位ノ米作等ニ執着スルコトナク、安全多收穫品

種ヲ栽培シ、又國民食糧ノ對象ヲ從來ノ如ク米麥ニ重點ヲ置
クコトナク蔬菜、魚介、油脂、調味料等ノ全般ニワタツテコ
レヲ重視シ、ソノ適當ナル配給比率ヲ確保スルニアル)ヲ講
ジ、更ニ配給機構ニ末端配給機構ノ組織ヲ整備シ、米、砂
糖等ノ切符制ニヨル配給品ノ過、不足ヲ下部組織間ニオイテ
融通シ、無駄排除、徹底的消費規正ノ實行ヲ可能ナラシメ、
魚介類、野菜類ノ如キ配給上特ニ技術ヲ要スルモノニ就テハ
配給所(或ハ指定商配給所)ニオイテ配給又ハ分配スルノ仕
組ミヲスルコトガ必要デアル。

消費者ノ組織化

生活必需品ノ不足シテキル今日、コレヲ國民大家ニ均霑
セシムルニハ、先ヅ配給機構ノ整備就中消費者ノ組織化ガ念
務デアル。コレニヨツテ奢侈的消費面(例ヘバ料理屋等)ヘ
ノ物資ノ流入、即チソノ偏在ヲ矯正シテ行カネバナラヌ。都
市ノ野菜不足、魚肉不足等ハ何等カノ緊急施設ヲ急務トシテ
キル。即チ消費者ノ組織化、配給機構ノ合理化ガ表裏一體ト
ナツテ始メテ國民大家ニ必需品ガ假令少ナクモ公平ニ分配
セラルコト、ナルデアラウ。生鮮魚介類、青果物、酒類ノ配
給ノ合理化等若クハ方面ハ整備セシ、生産地カラ市場マデ

ノ出荷ハ漸ク軌道ニ乘ツタガ、殘ル問題ハ消費者ノ下部組織
ヲ如何ニスルカデアリ、之ガ適正ナ組織ヲ持タヌ現在ノ狀態
ヲコノマ、ニ放任スレバ、結局生活必需品ノ偏在ハ免カレ
ナイ。コ、ニ於テ消費者ノ下部組織編成ガ急務デアル。

地域、人口、都鄙、村落等ニヨツテ、コノ組織ニハ種々ノ
考究ヲ要スルガ、人口ト地域トヲ觀ミ合セ、成ルベク家事勞
働ヲ節約シ得ルヤウナ單位ヲ決定シ、之ヲ基準トシテ共同配
給所ヲ設置スル必要ガアル。先ヅ村落ニハ村落單位ノ配給所
又ハ數部落單位ノ配給所ノ設置ガ考ヘラレル。ソノ中心ハ産
業組合、單位消費者ノ下部組織ノ中ソノ何レニテモヨイ。ト
ニ角從來魚介類ノ如キハ主トシテ水揚地ノ婦女ノ努力ヲ配給
サレテキタモノヲ、配給機構ノ變更ニヨリ、新タニ魚介ヲ求
ムルタメ、農村ニ努力ヲ更ニ加重スルガ如キ組織ハ避クベキ
デアル。都市ニ於テハ、町會單位、警察派出所單位、隣組ノ
聯合單位デモヨイ、トニカタ百戸内外ヲ一單位トシテ消費者
ノ下部組織編成ノ必要ガアル。

農村ノ共同炊事

次ニ農村婦人ノ家事勞働ヲ生産方面ニ振り向ケルト共ニ、
粗食多量ニナリ勝チノ農村家庭ノ炊事ヲ營養的ニ向上セシ

、地位ノ低下ヲ阻止シ、ソノ向上ヲハカルタメ、實行シ易イ部ヲヨリ共同炊事ノ普及ヲハカリ、漸時都市集會體ニ對シテモ、コノ施設ヲ及ボスベキデアル(長野縣、石川縣ノ如キハ實施ノ結果ヲ見ルヨリ)。又現ニ小商工業集會ニハ、榮養食配給ノ設備ノ如キガ發達整備シテキルトコロモアルガ、コレ等ノ施設ヲ普及スルコトモ必要デアル。

都市ノ共同配給

次ニ共同配給ノ仕組ミデアル。農村ヤ、小商工業地域デハ、榮養食配給、共同自炊ノ方法ニヨリ、努力ノ節約合理化ガ行ハレルトイフ利益ガ多大デアルガ、難多ナ階級ヲ含ム都市ノ普通住宅地區デハ、ソコマデ進ムニハ容易ナラヌコトデアル。ソコデコレ等ノ地域ニハ食糧ノ材料ノミヲ、科學的ニ研究サレタ榮養食配給ニヨリ、共同的ニ購入分配スル制度ヲ施行スル。コノ制度ハ魚不足、野菜不足等ノ場合ニ於テ、一層有效ナ方法トナル。

共同配給ニハ、調味ノ變化ト自由材料ノ追加使用ガアル程度出來ル以外、少量ノ材料モ組合セニヨリ活用シ得ルコト、内容ヲ豊富ニシテ比較的材料ノ節約ヲ計リ得ルコト、材料ノ出廻リ狀況ニ應ジテ最モ適切ナル配給組合セガ可能ナルコト

最少ノ材料ヲ最大ノ榮養ト保健ヲ期シ得ルコト、配給設備ガ著シク簡易化シ、ソノ方面ノ努力ノ節約ヲナシ得ルコト等幾多ノ利點ガアリ、消費規正ノ徹底ヲ期スルニハ極メテ效果多キモノト考ヘル。

第三、配給配給制ノ是正

異動申告ノ勵行

異動ニ對スル申告ノ怠慢ニヨリ二重配給ノ行ハレツ、アル點ニ鑑ミ、配給ノ嚴正ヲ期スルタメ申告勵行ノ方策ヲ講ズベキデアル。而シテ之レガ實施ヲ圓滑ナラシムルニハ、申告ニヨリ改訂ヲ迅速ナラシムルヤウ、事務的處理ノ簡潔化ヲ計ラネバナラナイ。

外食券制度ノ強化

外食券制度ノ全面的強化ハ、外食券ナシニハ戶外ニ於テ米飯ヲ食シ得ザル事トナリ、相當ノ窮屈化ヲ招ク結果トナルガ實際的ニハ代用食ノ利用等ニヨツテ之ヲ緩和シ得ベク、何レモ克服シ得ザル如キ困難ナル場合ハ豫想サレナイ。而シテ之レヲ斷行セザレバ、米穀ノ消費規正ノ究極ハ到底望ムベクモアラズ、斯ル外食ノ窮屈化ノ如キハ家庭米入手不安解消ノ爲メ當然忍ブベキデアラウ。

個人配當ノ是正

現在ノ配給ニ於テハ、職別、年齢別、性別ニ對スル配當ガ適正ヲ缺クタメ、發育兒童ヲ持ツ家庭及ビ重労働者方面ニ於テ配當米ノ不足ヲ告グル一面、過剩ノ配給ヲ受クル世帯ノ存在スル實情ニアリ、コレガ適當ナル是正ハ急ヲ要スルモノト思ハレル。

集團生活體ノ豫備米

學校、工場、病院、事業場等ノ集團生活體内ニ於テハ、單ニ配給ノ一時的運送ノ爲メニモ、多量ノ代用食ヲ調達スルノ困難ニヨリ混亂ヲ招ク虞アリ、若干豫備米配給ガ望マシイノデアアル。

第四、消費ニ關スル國民教育

食糧消費ノ節約

食糧ノ卸小賣過程ニ於ケル廢棄量ハ相當大ナルモノガアル試ミニ昭和十二年度ニ於テ東京市産業局及東京府市場協會ノ調査ニ就テミルニ、魚介廢棄率五〇%、野菜廢棄率三〇%、果實廢棄率七%、ニ達シテキル。

又家庭ニ於ケル食糧廢棄量モ少クナイ。昭和十二年度ニ於ケル東京市清掃課調査ニ依レバ一日平均〇、七六斤ニ達シテ

キル。

コノホカ米麥ノ淘洗ニヨリ一、五%ノ損失ヲ毎日繰返シ、野菜ノ加熱、漬物等ノ調理過程ニ於テ無機質ノ二〇%以上、ビタミンCノ大半ヲ損失シテキル。

如何ニ供給量ノ確保ニ努力シテモ、カ、ル無駄ヲ繰返スコギリ、折角ノ努力モ報ヒラレルトコロガ少ク、若シ供給量ガ保健ノ最低必要量デアル場合ハ、タチマチ榮養不良ニ陥ルデアラウ。

故ニコレ等ノ無駄ヲ無クシ、原料榮養價值ヲ損セズ、又從來食用ニ供セザリシ生鮮食糧ノ廢棄部分ヲ食用化スルヤウ、又殘飯殘菜ヲ出サヌヤウ國民ヲ教育スル必要ガアル。

カ、ル教育ガ徹底シ、ソノ實行ガ促進サレ、バ、生鮮食糧ハ從來ノ二倍ノ利用價值ヲ生ムニ至リ節約ノ實ハ大ニ學ガルノデアアル。

榮養學的合理化

其ノ他食糧節約上留意スベキハ食物ノ榮養學的合理化デア。毎日ノ食物配立ガ榮養學的ニ當ラ得ズ、部分的ナ榮養缺陷ガアル場合ハ、榮養失調症ヲ惹起シ、骨ニ健康ヲ害スルノミナラズ、國民ノ死亡率ヲ高メ、不消化等ニヨル食物浪費モ

少クナイノデアル。

農山村ノ食事はハ一般ニ若干ノ營養缺陷ガアルガ(動物性食品、脂肪、ビタミンBノ不足等)、コレヲ改善シタタメニ主食物ノ攝取量ガ軽減シ、醫療費モ低減シタトイフ實驗ガ各方面カラ報告サレテキル事實ハ、獻立ノ合理化ニヨリ節約ノ實ヲ擧ゲ得ルモノナルコトヲ證シテキル。

故ニ今後ハ、各地各階層ノ日常食物ノ營養缺陷ヲ精査シ、コレガ合理化ノ指導ヲ徹底スル必要ガアル。

消費指導ノ徹底

戰時生活下ニオケル消費ノ不合理ノ排除、高度ノ消費規正榮養知識ノ普及ニヨル國民保健ノ向上等ノタメニハ、消費方法ノ徹底的指導ガ肝要デアル。コノ際上部下部ヲ通ジ、先ヅ消費指導機關ノ整備ヲハカラネバナラヌ。

コノ機關ヲ通ジ、食糧並ニ生活全般ニ其ル具體的ナ消費指導事項ヲ國民各層ニ呈示シ、實質的ナ消費指導ヲナシ、國民ノ覺悟ヲ促ス事ガ必要デアル。

戰時生活ノ消費指導ハ、要スルニ自己ノ使用ニ任セラレタ生活費材ヲ如何ニスレバ國家及ビ國民全體ノ利益ニ合致スルカラ周知セシムルニアル。從ツテ一切ノ食糧品ノ消費即チ一

般食糧調理法ノ合理化ガ重要目標トナル。又各食糧品ニツキ、無駄ナ場合ヲ具體的ニ指摘シ、且ツコレヲ排除スル方法ヲ示シテ主婦ノ再教育ニ努メネバナラヌ。コレハ結局ノトコロ國民生活ノ科學化ノ問題ニ歸スルコト、ナル。

コノ消費指導ヲ更ニ徹底セシムルニハ一般消費者ニ之ヲ行フト共ニ全國飲食店營業者及ビ調理人ノ團體ヲシテ、消費規正ニ付協力セシムル方途ヲ講ズベキデアル。

今日一般家庭ノ榮養及消費知識ノ程度ヲ高メ、多年ノ弊風ヲ是正スルハ相當ノ努力ヲ要スルモノト認メラル、ヲ以テ、コレガ國民指導ノ徹底ヲ期スル爲メニハ、師範教育並ニ國民學校教員ノ再教育ニヨリ國民學校ヲ初メ、各學校教育ニ於テ正シキ消費觀念ノ鍊成ヲ行フベキデアル。

購買力ノ吸收ニヨル消費規正

通貨ハ膨脹ノ一途ヲ辿ツテキル。現ニ九月ノ日銀兌換券ノ最高發行高ハ四十六億一千九百餘萬圓ニ達シ、昨年末ノ四十九億七千七百餘萬圓ノ戰時經濟下最高ノ發行高ニ近イ數字ヲ示シテキル。ソノタメ通貨ト物資トニ民需物資トノ不均衡ハ益々増大シツ、アル。消費規正方策トシテモ、凡ユル手段ヲ講ジテノ通貨ノ收縮、購買力ノ吸收ガ必要デアル。通貨面、

對策ヲ閉却シテハ、如何ニ努力シテモ消費ノ規正ハ容易デナイ。國民所得ハ如何ナル方面カラ得ラレテモ、一度家計ニ入

レバ購買力ノ源トナル。消費ノ規正ヲ策スルニハ、家計ニ入りタル收入ヲ、貯蓄、租税等凡ユル方法デ吸收シテ、消費方面ニ殘ル額ヲ減少セシメネバナラヌ。シカルニ事實ハ反對デアリ、通貨ノ膨脹、預金ノ鈍化、トイフ逼迫セル經濟實相ハ、更ニ浮動購買力ノ激増ヲ來シテキル。

依テ(一)貯蓄獎勵策ノ強化(二)貯蓄ノ安全性強化(三)殊ニ大衆的貯蓄ノ強化(四)増税等ニ重點ヲ置キ、購買力ノ吸收ヲ策スベキデアル。

第五、非常災害時ノ對策

非常災害時ニ於テ罹災者ヘノ食糧給與ハ最大ノ緊急事ニシテ、簡易敏捷ナル特別措置ヲ講ズルハ勿論デアルガ、一部分ノ災害ニヨツテ全地域ノ配給機構ノ秩序ヲ失フ如キハ嚴重ニ戒メテバナラナイ。從ツテ割當配給法ハ常時ノ機構ニ從フヲ原則トシ、ソノ手續キ及處理法ノ簡易化ヲ圖ル方針ヲ採ルベキデアル。

應急ノ配給ニ關シテハ、隣組及ビ職場單位等ヲ動員シテ、共同炊事ノ設備及ビ訓練ニ適切ナル對策ヲ準備セネバナラナイ

イ。例ヘベ罹災者ヘノ公共炊事ニ、飲食店ノ調理設備ヲ開放セシムルノガ適當デ、常時隣組又ハ町會等ニ於テ飲食店ト連絡方法ニツキ打合せテ置クノモ一途デアラウ。

結言

國民ノ食糧ニ對スル時局的認識ノ普及及徹底ヲ計リ、我が國食糧事情ニ鑑ミ、適切ナル消費規正ヲ斷行スルコトハ刻下ノ急務デアル。今ヤ單ナル議論ニ時日ヲ徒消スル秋デハナイ。實踐第一ヲ旨トシテ一踏邁進スベキデアル。

第七委員會第二小委員會

資料目錄

番號	件名	備考
一	在監者食糧給與手續	
二	榮養食代用食糧食ニ關スル座談會	日滿農政資料 村上委員提供
三	救荒略	本會寫本 大槓委員提供
四	野生食用植物及動物ニ關スル調査 其ノ一	中澤清治郎調 本會編
五	同 其ノ二	同
六	同 其ノ三	同
七	同 其ノ四	同

- 八 國民營養基準 食糧管理委員 中澤委員提供
- 九 ビタミンCを失はぬ調理法 食糧協會 三井委員提供
- 一〇 炊米に寒天利用の件 黒澤西蔵 大植委員提供
- 一一 國民保健と郷土食 黒澤西蔵 黒澤委員提供
- 一二 臨戦時確保すべき國民食糧の件(副食料) 藤原平八 藤原委員提供
- 一三 乳幼児期營養方法の基準 厚生科學研究 所小兒衛生部 林委員提供
- 一四 營養及食糧の國家管理(の道程)(飲立材料配給の實行) 香川昇三造 國民食共済會 材料配給所提供
- 特一 適正食量と推定食量との比 厚生科學研究 所國民營養部
- 同二 實質性營養質性食量の供給増加による推定食量の質的改善
- 同三 農産物に於ける營養共同飲 帝國農會編 帝國農會提供
- 同四 農産共同作業と農産託兒所 同 同
- 島田委員長 只今小委員長ノ御報告ニアリマシタウニ度々御會合ヲ願フテ御審議ノ結果コレダケノ成案ヲ得タ譯デアリマス。先づ要綱ニツイテ御審議ヲ願フテ行キタイト思ヒマスガ、コレハドウイフ風ニヤリマスカ。全體ヲ總括ニシテマリアスカ、或ハ一項目づ、マリアセウカ。先づ全體ニ

フイテ御意見ガアリマシレバ伺ヒマス。

村上小委員長 尙チヨットオ断リシテ置キマスガ、コノ審議ノ途中デ出テ御意見ニ依ツテ斯ウイフ風ニナツテ參ツタノデアリマスガ、コノ中ニハ既ニ政府ニ於テ御發表ニナツテ居ルモノモアリマス。ソレダカラト云ツテソノ部分ダケ抜キマスト形ガ崩レテシマヒマスノデ、既ニ政府ガ御發表ニナツテ居ルモノモコノ中ニ載ツテ居リマスカラ、ソノ點ハ御放棄ヲ願ヒタイト思ヒマス。

島田委員長 規正要綱ノ方ハ大體宜シウゴザイマスカ。

三聯委員 第四ノ「消費ニ關スル國民教育」トイフ所ハ説明要綱ノ「消費指導ノ徹底」トイフ所デ明カニナツテ居リマスカラ非常ニ結構ダト思ヒマスガ、此處ニハ唯「指導者ノ養成及施設ヲ擴充スルコト」トシテアリマスケレドモ、モウ一步進ンデ學校教育ニ於テ正シキ消費觀念ヲ鍊成セシメルトイフヤウナコトヲ何カ之ニ附加ヘタ方ガヨイデヤナイカトイフ氣持ガ致シマス。此處ハ學校教育ニ非常ニ重點ヲ置イテアルヤウデアリマスガ、私モ學校教育デヤツタ方ガ消費規正ハ一層徹底スルト思ツテ居リマスガ、如何デセウカ。

村上小委員長 コレハ三聯サンノ言ハレル通りデス。文章ガ少シ硬リクドイカ知レマセマスガ、圓ルガ爲指導者ノ養成、圓ルガ爲施設ヲ擴充スル」トイフコトノ意味ナンデス。

三聯委員 大體ノ御意見ハサウダラウト思フテ居リマスガ、村上小委員長 コレハ委員會デモサウイフ點ヲ十分話合ツタノデス。圓ルガ爲指導者ヲ作ツテ行クコトガ一ツ、圓ルガ爲施設ヲ擴充スルコトガ一ツトイフ意味ニナツテ居ル積リナノデアリマス。

岡田委員 チョットシタコトデスガ、第一ノ用途制限ノ一番末項デス。「甘藷、馬鈴薯、王蜀黍、大豆等及ビ其ノ粉又ハ澱粉ヲ小麥粉製品中ニ混入セシムルコト」之ニ文字ヲ二字加ヘテ「強制混入」トイフ言葉ヲ使ツタラ如何デセウ。コレハ御承知ノ通り政府モ既ニ發表シテ居リマスガ、斯ウイフモノモ混入セシムルコトハモウ當然ノ事ノヤウデスシ、絕對的ノモノデスカラ、原則トシテ強制混入トスル。政府ノ發表ハ一割ダツタト思フガ、ソレデハ少シ足ラナイ「二割以上」トイフヤウナ言葉ヲ使ヒタイト思フ位デス。

村上小委員長 初メノ案ニハ「二割」トイフ字ガ入ツテ居ツタノデスガ……

岡田委員 割合ハ言ハナクテモヨイカ知ラヌガ、「強制」トイフ文字ヲ入レタラドウデスカ。

村上小委員長 サウイフ氣持ダツタノデス。「二割」トイフ文字モ入ツテ居ツタノデスガ、出來得ル限リトイフ意味ニ持ツテ行ツタ譯デス。ソレカラ一モ二モ三モ矢張り相當イ意味ナンデス。

岡田委員 コレハ絕對デヨイヤウデスネ。小麥粉ノ如キハ強制的ニ統制スルガ當然ダシ……

島田委員長 小委員會ノ時ノ案ハサウイフ意味ヲ含ンデ居ツタノデス。ケレドモ數字ヲ此處ニ入レルノハ物質ノ關係等、ガアツテ、餘リ指圖スルヤウニハツキリスルノヲ避ケタ方ガヨカラウ。ソレカラ絕對トイフコトモ矢張りサウイフ意味デ、粉、澱粉等ノ配給等ノ關係モアルカラ、強イ意味ヲ含ンデ居ルケレドモ、表ス文字トシテハコノ程度ガヨカラウトイフコトデ、強イ文字ヲワザト委員會デ取ラレタノデス。

三聯委員 文章ニ捉ハレル譯デアリマセマスガ、「甘藷、馬鈴薯、王蜀黍、大豆等」ト云フト甘藷モ小麥粉製品中ニ混入スル、馬鈴薯モ小麥粉製品中ニ混入スル、又ソノ粉又ハ澱粉

粉モ混入スルヤウニ考ヘラレト思ヒマス。恐ラクコノ意味ハ甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍、大豆ノ粉又ハ澱粉ヲ混入スルトイフ意味デヤナイカト思フ。サウシマス「甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍、大豆等ノ粉又ハ澱粉」トセスト、甘藷モ小麦粉ニ混ゼルシ、甘藷ノ粉又ハ澱粉モ混ゼルトイフヤウニナツテ變ナモノニナルト思ヒマス。「等ノ粉又ハ澱粉」トシタ方ガヨイト思ヒマスガドウデセウカ。

三井委員 ソノ方が意味ガ徹底シマス。サウイフ意味デス。村上小委員長 コレハ色々話ガアリマシテ、粉ニシテ混ゼルトマヅイノデ寧ロソノ健混ゼルノガアル。ツマリ粉ニシテ混ゼルノトソノ健混ゼルノト兩方アルカラトイフノデ斯ウイフ風ニシタノデアリマス。

三井委員 ソレハ粉ニシテ混ゼルノモアリ澱粉ニシテ混ゼルノモアリマスカラ、ソレハヨイト思ヒマスガ、甘藷ソノモノヲ小麦粉ニ混ゼルコトハナイト思フノデス。從ツテソレヲ明カニスル爲ニハ「大豆等ノ粉又ハ澱粉」トスル方がヨイト思ヒマス。

岡田委員 チョットソノ點デスガ、私モ實ハ三井君ノ言ハレルヤウニ思ツタノデス。トコロガソノ道ノ専門家ノ説明ニ

依ルト、パンニ入レル場合ニハ粉ニシテ入レルヨリモ生ノ體デ入レタ方がヨイサウデス。私共常識デ粉ニシテ入レムトイカスト思ツテ居ツタノデスガ生ノ體ノ方がヨイサウデス。但シ生ハ常時アル譯デナイ、ソレデ粉ニシテ置イテ入レル場合モアル、併シ生ノアル場合ニハリザ、切干シニシテ粉ニスル必要ハナイトイフ説明デシタ。私モ四割ホド入レタパンヲ食ベテ見タガ平氣デ食ベラレマス。

村上小委員長 サウイフ御意見モアリマシテ、文章ヲコネ廻シタ結果到頭コ、ニ來タノデス。

三井委員 ソレナラバ宜シウゴザイマス。

岡田委員 第三ノ主要食糧ノ創當配給制度デスガ、コレハナカ、ムヅカシイ問題デアツテ、私モ適當ナ成案ガアツテ申スノデハアリマセメガ、農村方面ニ於ケル消費規正、從ツテ若シハ消費規正ヲ目標トスル創當制度ノ實施、之ニ對シテ何か妙案ガナカツタモノデアルカ。御承知ノ通り農村ハ原則トシテ自分が生産者デアルカラ、之ニ向ツテ自分が作ツタモノヲ嚴重ニ消費規正ラスルトイフコトニ非常ニムヅカシイトイフノガ日本ノ社會情勢デアルコトハ事實デス。併シ他面カラ云フト、之ガ爲ニ消費節約上ノ重大ナル

缺點ヲ暴露シテ來ルコトモ事實ナラズ。故ニ一變ト有テナル消費規正ヲヤルトイフコトニナルト、ドウシテモ生産者即チ農村方面ニ對シテ何等カ消費規正、創當ニ配給ニ關スル案ヲ考ヘルコトガ最大ノ問題ダト思ヒマス。私モソレニ對スル二三ノ考ヲ出シテ居ルコトモアリマスガ、自ラ本當ノ確信ヲ得ナイ。非常ニ苦心ノ存スル問題デスガ、委員會デハ如何デシカ。

村上小委員長 答ヘ申シマス。ソノ點ニツイテハ實ハ斯ウシタラトイフ案ガナイノデアリマス。ナイトイフカ、具體的ニ現シテ行ク論議ガ出ナカツタノデアリマス。尙此處ニ對イテアルノデモ、實行トナルト相當者ガ折レルト思フノデス。只今岡田君ノ言ハレル點ニツキマシテハ尙色々研究シナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマスガ、ソノ論議ハ得ルニ至ラナカツタノデス。

岡田委員 御尤デス。申上ゲタ通り實ハ私自ラモ肯ケルノデス。併シセメテ何か抽象的デモヨイデスカラ、ソノ部面ニ對スル政府ノ忘ルベカラザル一ツノ政策、考慮ヲ促スヤウナ文句デモセメテ入レテ置ク必要ガナイカ。コレハ消費規正ノ問題デハ非常ニ大事ナ問題デ、恐ラク最大ノ問題ダト

思ヒマス。具體案マデ捕ヘテ入レルトイフコトハ餘程困難デスガ、何かセメテ抽象的ニデモサウイフヤウナ政策ヲ促スベキ刺戟ヲ與ヘルダケノ文句デモ入レテ置ク必要ガナイカ。私ニモ多少ノ考ハアルノデスガ、ドウモ今政府ニソレヲ求メテモ直グヤレサウモナイト思ハレルノデ具體案ヲ申上ゲルコトヲ難シヘマスガ、ヤレバヤレナイコトモナイト思ヒマス。ヤリ方ハ幾々アルト思ヒマス。ソノ問題ニツイテ我々農林省ニ質問シマス、無論ヤル積リダ、ヤラネバナラストイフコトヲ答辯シテ居ル。併シ事實ニ現ヤナイノデス。ソレハ困難ダカラ現セナイノダラウトイフ寛容ナ態度ヲ以テ考ヘテ居リマスガ、コレハヤル必要ガアルノデスカラ、ソレヲ促ス文句ヲ一言入レテ置ク必要ガアリマスマイカ。

小林委員 岡田君ノ御説明御尤ノ點モアルヤウニ思ヒマス。何かオ考ガアレバ、何か具體的ニ斯ウイフ條項ヲ入レタラ何かト伺ツテ見タラドウデスカ。ソレカラ今ノ政府ガヤルサウデアルトカ、ヤレサウガナイトイフコトハ當委員會ニ於テハ考慮ニ入レナイデ、政府ヲシテ之ヲヤラシメルトイフ建前カラ委員ノ考ヲ率直ニ御披露ニナツタラ如何カト、

思フ。併シ岡田君ノ考ヘテ居ラレル案ヲ出シテ載イテ、ソ
レヲ參考トシテ尙案ヲ練ルトイフコトニサレタラ如何ニス
カ。

岡田委員 ソレデハチヨット御参考迄ニ申上ゲマセウカ。
島田委員長 チヨット岡田君ニ申上ゲマスガ、コノ委員會ハ

小委員會カラ報告サレテソレデ終了スル體デハナイ。今オ
話ノヤウナ問題ニツイテ殘サレタモノガアレバ、重要ナ事
柄ニツイテハ更ニ小委員會ニ考慮ヲ願フツテヨイノデス。ア
ナタト小委員長トノ應答ヲ見マスツイフト、小委員長ハソ
ノ點ニツイテ大賛成デアルケレドモ、コノ要綱ヲ作ル迄ニ
ハ結論ヲ得ナカツタツイフトコトデアリマスカラ、アナタガ
今コノ要綱ニ對シテ修正ノヤウナ意見ヲ挿入スル文句ヲオ
持チニナツテ居レバ、ソレヲ聽取シテ行キタイノデス。
サモナケレバ、コノ委員會ノ報告ハ一應コレヲ済マシテ、
ソレカラ全體ノ意見トシテ尙ソノ問題ヲ採上ゲテ小委員會
ニ移シ、更ニ研究シテ實方都合ガヨイシヤナイイカト
思ヒマス。如何ニスカ。修正ノ御意見ヲ持ツテ居ルナラバ
述ベテ載キタイ。

岡田委員 分リマシタ。何か抽象的ニ二三行入レテ置テ程度

居リマスガ、コノ資料ヲ附加ヘマシテ、本委員會ノ決定ト
シテ

主要食糧消費規正要綱

主要食糧消費規正要綱說明

資料

コレダケヲ一括シテ本部ノ方ニ差出スコトニ致シマス。

大體カラ云ヘバ委員會ニ付託サレタ食糧問題ニツイテ各
小委員會ノ報告ヲ取讀メテ報告スルノガヨイカト考ヘマシ
タケレドモ、コレハ刻下ノ急ヲ要スル問題、政府ニ於テモ
直グヤツテ實ハナケレバナラヌ問題デアリマスカラ、實ハ
出來タモノカラ段々ニ報告ヲシテ行クノガ都合ガヨカラウ
ト考ヘマシテ、先ヅ出來上リマシタモノヲ本日上程シテ御
審議ヲ願フツテアリマス。サウイフ風ニシテ、他ノ小委
員會ニ付託シテアリマスノモ、小委員會ノ報告ガ出來次第
本委員會ノ御審議ヲ願フコトニ致シタイと思ヒマスカラ左
様御諒承ヲ願フツテ置キマス。

ソコデ一ツオ路リヲ致シタイと思ヒマスコトハ、先般來
各地ヲ御調査願フタ方々ノ報告會ヲオ聽キテ願フツタノデア
リマスガ、ソノ報告會ニ現レタ各地方ノ要望事項トイフノ

ノ文句ナラ書ケヌコトモアリマセヌガ、強イテ之ニ入レル
必要モアリマセヌ。尤モナンデス。配給ニ關スル小委員會
モアルコトデアリマスカラ、アノ方デ考ヘタ方ガヨイカ知
レマセヌ。折角議事ガ進行シテ居ル際デスカラ私ノ考ハ撤
回シマセウ。

島田委員長 他ニ御意見ゴザイマセヌケレバコノ要綱ハ小委
員長報告ノ通り決定スルコトニ致シマス。字句ノ點ハ整理
ノ都合上一二直スコトガアルカ知レマセヌガ御諒承願ヒマ
ス。

次ニ要綱ノ説明デアリマス。表現ノ仕方等ニツイテ若シ
御意見ガアリマスレバオ述ベテ願ヒタイと思ヒマス。

小林委員 コノ要綱ノ説明モ小委員會ニ於テ相嘗練ツタモノ
デ大變ヨク出來テ居リマスカラ、字句等ニツイテ一二直ス
コトガアレバオ直シ願フツテ、コノ案通りデ差支ナイと思ヒ
マス。

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

島田委員長 ソレデハコノ説明モ一二字句ハ直スカ知レマセ
ヌガ御賛成ヲ願フツテ御承認ヲ得タコトニ致シマス。

就キマシテハ、茲ニ「資料」トシテ目錄ヲ以テ報告サレテ

ガアリマス。之ヲ事務ノ方デ整理ヲシテ實ヒマシテ今日オ
手許ニ配付シテアリマス。一應之ヲオ目通シテ願ヒマシテ
コレハ唯羅列シテアルダケニナツテ居リマスカラ、之等ノ
事項中——全部デモ宜シウゴザイマスガ、特ニ採上ゲテ、
之ヲ本委員會ノ報告ノ一ツトシテ、政府ヘコノ要望事項ソ
ノモノヲ申達シテ置クノガ然ルベキデヤナイカト考ヘテ居
リマス。少シ時ガ経ツテ居リマスノデ不適當ナ感ジモアリ
マスケレドモ、尙要望トシテハ繼續シテ強ク述ベテヨイ點
モ多クアルヤウニ考ヘマスカラ、ソレ等ノ取扱方ニツイテ
モ十分御審議ヲ願ヒマス。

差上ゲテアル書類ノ中

刻下農村ノ要望事項

何ガ本村ヲシテ食糧増産優良村タラシメタカ。

コノ二ツデアリマス。一應朗讀シテ實ヒマス。

〔八谷書記朗讀〕

刻下農村ノ要望事項

調査委員會第七委員會

(第一小委員會)

ツキ調査委員ヲ派遣シ、食糧増産ニ精進シツ、アル農村ノ
實狀ヲ視察調査セリ。

本調査ノ報告事項中地元農民ノ切實ナル要望事項ヲ擧グ
レバ次ノ如シ。

調査町村名

- 秋田縣 仙北郡内小友村
- 同 平鹿郡旭村
- 山形縣 東置賜郡沖郷村
- 同 飽海郡本楯村
- 新潟縣 中頸城郡春日村
- 同 北蒲原郡加治村
- 富山縣 婦負郡熊野村
- 同 西礪波郡津澤町
- 群馬縣 勢多郡北橋村
- 同 邑樂郡千江田村
- 埼玉縣 南埼玉郡萩島村
- 同 比企郡七郷村
- 滋賀縣 神崎郡八幡村
- 同 高島郡水尾村

- 岡山縣 瀧口郡六條院町
- 同 川上郡富家村
- 香川縣 大川郡相生村
- 同 綾頃郡岡田村
- 徳島縣 勝浦郡小松島町
- 同 那賀郡羽ノ浦町
- 同 板野郡松茂村
- 佐賀縣 神崎郡三田川村
- 同 杵島郡福富村
- 鹿兒島縣 喉嚨郡西志布志村
- 同 出水郡高尾野町
- 北海道 十勝國大正村
- 同 根室國標津村
- 同 釧路國標茶村
- 同 同 弟子屈村
- 同 北見國野付牛町
- 同 興部村
- 同 天鹽國名寄町
- 同 石狩國東廣橋村

- 同 空知郡栗澤村
- 同 同 岩見澤町
- 同 雨龍郡妹背牛村
- 同 上川郡永山村

- (一) 農民ノ全國的要望事項
- (二) 肥料並資材其他生活必需品ニ關スル要望
- (三) 勞力問題ニ關スル要望
- (四) 農産物價格ニ關スル要望
- (五) 土地問題ニ關スル要望
- (六) 補助金、助成金ニ關スル要望
- (七) 農業保險並ニ農家經濟ニ關スル要望
- (七) 其他要望事項

- 1 肥料ノ一元配給
- 2 單肥配給
- 3 有機質肥料ノ増配
- 4 誘酸肥料ノ増配(特に北海道、東北地方)
- 5 畑作中心地帯ニ對シ、米麥重點主義ノ配給再檢討
- 6 肥料取締規則ヲ改正シ、肥料類似品取締ノ強化
- 7 飼料、特に糠ノ増配
- 8 飼料不足緩和ノ爲白米供出ヲ認メ確保保ヲ要望
- 9 農機具ノ増配ト適期配給並ニ規格ノ統一
- 10 農業藥劑ノ配給方法ヲ改善シ、農會技術員ニ取扱ヲ行
ナハシムベシ、又農業藥劑ノ國家管理
- 11 リヤカー、自轉車ノタイヤ、ノ配給
- 12 温床代用油紙ノ油ノ配給(北海道)
- 13 作業服、其他綿製品並ニ地下足袋、軍手、長靴ノ増
配
- 14 農村へ魚ノ配給
- 15 製箱用釘、屋根井用釘、並ニ針金ノ増配
- 16 農村物資配給機構ノ一元化
- 17 農産各種生活必需品ノ自家保有量ノ増量(茶種、胡麻
等)

二、勞力問題ニ關スル要望

漸ク勞力不足ハ深刻化シ、勞力ノ計畫的調整、共同作業
勸勞奉仕、有畜農業機械力導入等總ユル克服策ニ邁進シテ
キル農村モ基本問題タル農村經濟問題ヨリスル離農者ノ防
止ハ益々深刻、困難化シツマアル

- 1 政府は速ニ離農政策を樹立セラレタシ
 - 2 勞力調整ニ對シ、町村長ノ權限強化
 - 3 勞賃並備入ニ對スル勞力統制
 - 4 勞力徵用ニ關シ特ニ農村技術者徵用ニ對シテハ國民職業指導所ノ勝手ニユダネザル様
 - 5 勞務動員ヨリ農家長男ノ除外
 - 6 學生勤勞奉仕ノ全國的均衡
- 三、農產物價格問題ニ關スル要望
- 今回米價措置ニ關シテハ、農村各層ニ相當好影響ヲ與ヘテキルガ、一般農產物價ノ引上ゲニ對シテハ、工場方面從業者、其他トノ甚ダシキ收入差ヲ現實ニ見聞シテキルタメ相當根強キ要望ガアル、又農產物價トソレガ加工製品トノ値開キ、又生産價格安ト消費地價格高等ニ關スル是正ノ聲望シ
- 1 養價格引上(主トシテ小作農)
 - 2 養價格ト養製品ノ價開キ是正
即白米、押小麥、押裸麥、麵類等ノ原料穀類加工ニヨル利益ガ甚ダ大デアル
 - 3 農產物價ノ生産地安、消費地價格高ノ是正、特ニ諸穀

- 價格
- 即馬鈴薯價格ノ今回ノ決定ニヨリ、生産者ノ手取六〇錢(一俵當リ)安價トナリ、又消費者ニハ四〇錢位高價トナツテキル
- 4 軍馬徵發價格ノ再檢討、並ニ二歳馬ノ國家管理
即價格上ヨリスル農家ノ經濟的見地並ニ勞力問題上ノ見地ニ立脚シ、現行徵發價格ニテハ農家ハ大ナル犧牲ヲ蒙リ、又全テ二歳馬ハ最高價格値段ニテ取引セラレ品種改良モ期待出來ズ、尙徵發サレシ後ノ補給モ困難ニテ、價格改訂、並ニ格差ヲ設定並ニ國家管理ヲ要望ス
- 四、土地問題ニ關スル要望
- 自作農創設維持ニ關スル要望ノ聲甚ダ多シ、適正小作料設定ニ關スル要望ノ聲ハ時節柄聲ヲ大ニシテ要望スルモノ少シ、然レドモ内然シテ離農的傾向顯著ナルモノアリ
- 1 自作農創設維持ヲ此際積極的ニ取上ゲラレタシ
創設維持ノ申込ハ資金之ニ應ジ切レザル狀況ナリ
 - 2 適正小作料設定
 - 5、助成金、補助金ニ關スル要望
 - 1 助成金、補助金ノ交付ノ速期迅速ヲ要望ス——交付期

- 日運延ニ對スル上記要望ハ殆ンド全國的ニ聲ヲ一ニス
- 2 助成金、補助金ヲ町村ヘノ一括交付
 - 3 農家倉庫ノ増設ト補助金ノ増額
- 六、農業保險及農家經濟再檢討ニ關スル要望
- 1 農業保險ヲ全面的ニ擴大シ、農業保險制度確立ニヨリ農業危險ノ國家保證
 - 2 農工收入不均衡是正ノタメ適切ナル施策樹立
 - 3 農家負債整理ヲ國家ハ積極的ニ取上ゲラレタシ
- 七、其他一般要望事項
- 1 現行作付規正ニ再檢討ヲ加ヘ食糧綜合計畫を樹立シシ地適作ヲ考慮サレタシ
 - 2 現行作付規正ニ關シ政府ハ確固タル理由ト今後ノ方針ヲ明示サレタシ
 - 3 水田煙草作付ヲ撤廢サレタシ
 - 4 自給肥料増産等ノ見地ヨリ國有林開放
 - 5 町村長、實行組合長、其他ノ農村實地指導者ノ優遇並ニ功勞表彰
 - 6 官廳ノ事務手續ノ簡易化ト事務處理ノ迅速化 (以上)
「何ガ本村ヲシテ食糧増産優良村ヲラシメタカ」

- 大吹賣會調查委員會第七委員會第一小委員會ニ於テ去ル九月上旬ヨリ一ヶ月ニ亘リ全國的ニ食糧増産優良町村ヲ調査セシガ、ソノ中、「何ニガ食糧増産優良町村ヲラシメタカ」ニ就テノ調査ヲ綜合スレバ次ノ様デアアル。勿論村を優良村ナラシムル原因ハ、一概ニ論ゼラレズ又一朝一夕ニ成ルモノゾモナイガ、夫々食糧増産優良村ヲラシメテキル共通點ヲ拾ヘバ次ノ様ナコトガ見出サレル。
- 一、「村民ノ和ノ力」ガ一番不可缺デアアル。
 - 二、村ニ政等ヲ根絶シ、村内ニ於ケル對立抗等ヲナクシ、平和ナ村ヲラシメルコト。
 - 三、如何ナル村ノ會合モ多數決ヲ決メル様ナコトハシナイコト。
 - 四、村ノ指導者ガ先頭ニ立ツテ「率先垂範」スルコト。
 - 五、村内ニ指導者ヲ得タコト、並ニ農村ニ於ケル中堅人物養成ニ努力ヲキルコト、特ニ青年學校男、女生徒ノ實地教育ニ努力ヲ傾注スルコト。
 - 六、村指導者ト學校教育者トノ協力ニヨリ小國民ヲ訓練シテキルコト。
 - 七、村ノ指導者ノ人格、徳望ニ支配サレ、指導者ノ長ク勤

渡シテキルコト。

八、農會技術員ニ人物ヲ得テキルコト。

九、農村婦女ノ職身ノ努力ト團結ヲ得テキルコト。

一〇、統一アル村内ノ指導機關トソレニ伴フ指導者ノ一體的

努力、——即チ役場、産業組合、農會ノ三位一體ノ統制

アル指導力。

一一、實行組合ノ活潑ナル部落ノ生産、生活共同體トシテノ

活動(組織、運営)

一二、實業會下部組織ノ活潑ナル運営。

一三、早クカラノ組織的、計畫的ナル生産計畫、資材計畫勞

務動員計畫化。

一四、共同一致低位收穫農家向上ニ努メタルコト。

一五、農業技術向上ニ村一致總智恵ヲ絞ツテ邁進セルコト。

一六、實行組合ガ共同試驗地、共同收谷地ヲモツテ居ルコ

ト。

島田委員長 コレハ第一小委員會ノ方チオ編メ關ツテ適當ナ

機會ニ報告シテ下サルノガヨイダラウト思ヒマスガ、先程

申上ゲマシタヤウニ第一小委員會ノ報告ノ際ニハ全員御通

知シテオ聴取ヲ願フタヤウナ關係モアリマスノデ、致デー

應御覽ニ入レタ次第デアリマス。何レ第一小委員會ノ方チ
オ編メ願フ際デアリマスガ、コノ機會ニ之等ノ點ニツイテ
御意見ナリ、特ニ御注意下サルコトガアレバ、小委員長モ
見エテ居リマスカラオ述べ下サルト參考ニナルト思ヒマ
ス。

三井委員 私ハ先般長野、石川ノ方ノ財政經濟方面ノ公聴會
ニ出マシテ觀シク聞イタノデアリマスガ、第二小委員會ニ
ハ關係ガナイト思ツテ今迄申上ゲナカッタノデアリマスガ
御參考迄ニ申上ゲテ置キマス。

ソレハ本年ノ米作ハ御承知ノ通り昨年ヨリモ先ヅ百萬石
生産減デアリマス。ソコデ政府ハ第一次豫想ノ當時カラ疾
ニコノ生産減ヲ若干見越サレテ、各府縣ニ對シテ裏作ヲ奨
勵ユナツテ居ル。ソレヲ石川縣ニツイテ申シマス、同縣
ヂハドウシテモ二割五分或ハ二割七八分減産トイフノデ、
少クトモ二割五分ハ裏作ヲ以テ補フ、麥ヲ作ラストイフコ
トヲ縣農會チ決定シテ、強制的ニヤラストイフ決議ヲ取ツ
タ。トコロガ、御承知ノ如クアノ地方ハ從來裏作トイフモ
ノハヤツテ居ナイ。水田ガ多イ。ソノ水田ノ土ヲ起シテ麥
ヲ植エル。サウシテ裏作ヲヤストドウレテモ米作ガ二割位

收穫ガ減ズル。ソレデ農民ハ裏作ヲヤラナカフタ。ソレヲ
強制的ニ麥ヲ作ラストスレバ、政府ハドウシテモソレダケ

ノ手段ヲ盡サナケレバ出來ナイ。即チ麥ノ値ガ安イ。米ハ

十六年度ニ於テ獎勵金ヲ五圓出シ、又配給ソノ他ノ關係カ

ラ一圓ノ手當ガアル。ソレダケハ農民ノ手ニ入ル。併シナ

ガラ麥ニツイテハ何等ノ手當ガナイ。現在ノ價格デ麥ヲ作

ツタナラバ農村ハ非常ナ損ヲスル、肥料代ニモナラナイ。

コレハ何トカーツ至急政府チ考ヘテ賈ハナケレバナラヌト

イフ意見ガアツタ。コレハ無論地方長官會議ニモ出タコト

ト思ヒマスガ、コノ際參考ノ爲ニ申上ゲテ置キタイ。コレ

ハ全國ニ亘ツテ或程度ノ強制ヲナサルダラウト思ヒマスガ

ラ——價格モ當然研究ヲナサルダラウガ、裏作ヲヤラスナ

ラバ、早ク價格ノ決定ヲシナケレバ農村ハ損ガ行タカラヤ

リマセヌ。マダ政府ガ決メタコトヲ聞イテ居リマセヌガ如

何チセウ。

三井委員 政府ハ今ノ處上ゲルヤウナ考ハナイヤウデスネ。

長野委員 先日ノ委員會チハ農林大臣ハ麥ハ上ゲナイトイフ

言明ダツタデス。

三井委員 ソレハドウイフ理由デ上ゲナイトイフノデスカ。

ソノ理由ヲ含メテ米ノ値段ヲ上ゲテアルトイフノデセウ
カ。

三井委員 併シ今オ話ノヤウナ要望ハ可ナリ各地ニアルト思
ヒマス。北陸バカリデナク關西地方ニモ隨分アリ、九州地
方ニモ相當アルヤウデアリマス。大分數字のニ細カク調査
ヲシタ人モアルヤウデアリマス。

三井委員 我々食糧問題ヲ研究シテ考ヘルト、麥ノ増産獎勵
トイフコトガ今日ノ如キ食糧事情カラ考ヘテモ非常ニ必要
ダラウト思フ。米ノ値段ヲ上ゲタカラソレハ義務ヂヤレト
云ツタモ、矢張り價格ニ依ルノデスカラナカク、サウハイ
カスト思フノデス。

三井委員 私ハ價格問題ニツイテハ斯ウ思フノデス。大體今
迄米ノ價格ガ安カツタ。麥トノ値段ガ餘リ違フ。ソレダカ
ラ米ヲ食ツテ麥ヲ賣ルヤウニスルニハ麥ノ値段ヲ上ゲナケ
レバナラヌトイフノガ農村ノ最初ノ要望デアツタ。トコロ
ガ米ノ値段ヲ上ゲタ。又麥ノ値段ヲ上ゲナケレバイカスト
イフコトハ矛盾シヤシナインチヤナイカト思ヒマスガ、ソ
コハモウ少シ研究シナケレバナラヌト思フ。政府ガ麥ノ値
段ヲ上ゲヌノハソコニ考ガアリヤシナイカ。最初農村ノ要

望ハ麥子米デハナカッタ。トコロガ今度米ノ値段ヲ上ゲタ
米ノ値段ヲ上ゲレバ麥モ上ゲナケレバナラヌ、斯ウイフコ
トニナツテ來テハ常ニ繰返スダケノコトデス。併シ三井サ
シノオ話し通リ麥ヲ作ルト引合ハストカ引合フトイフコト
ハ更ニ検討シテ見ナケレバナラヌト思ヒマス。私ハコレハ
農村ノ努力ノ問題或ハ肥料ノ問題等トモ考ヘ合セテ、果シ
テ麥ヲ作ルトゾノ結果ガドウイフ風ニナルカトイフコトハ
十分検討シタ上デナイト、コノ委員會デ直チニ之ヲ決メテ
麥ノ値段ヲ上ゲヨトイフコトハドウカト思ヒマス。私ハ之
ヲ見マス、コレハ各地ノ要望デアツテ、ソノ儘言フベキ
デアルカ、或ハコノ委員會デ検討シテ、コレハ地方ノ言フ
ノガ當然ダ、コレハ當ラナイ、斯ウイフコトハ言ツテモ出
來ナイ、トイフヤウナコトノ見究メヲツケテ、適當ト思フ
モノダケ政府ニ要望スルノガヨイカ。或ハ地方デ言ツタモ
ノラソノ儘、何デモ言ツタダケノコトヲ採上ゲテ言フノガ
ヨイノカ、コレハ一ツオ考ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマ
ス。

島田委員長 今ノ麥ノ價格引上ノコトモコノ要望事項ノ中ニ
アリマス。「麥買各引上(主トシテ小作農)」トイフヤウナ

コトガアル。コレハ三善君ノオ話しヤウニ、コノ要望事項
ヲソノ儘申達スベキデアルカ。或ハコノモノノ中ニ検討ヲ
加ヘテ、適當ナモノダケ採上ゲテヤルベキカ。サウイフコ
トニツイテハ先程申上ゲタヤウニ第一小委員會ノ方ノ仕事
ダカラ、其處デ適當ニ御處置願ヒタイノデスケレドモ、併
シアノ時ニ觀察ノ報告ヲ全員ガ聞イテ居リマスカラ、ソレ
デ便宜コノ機會ニ見テ置イテ戴イテ、若シ何か御意見ガア
レバ、小委員會ノ方デ處置サレル時ニ御参考ニナルト思ッ
テ御覽ニ入レタ譯デス。

岡田委員 今三善君ノオ話しモアリマシタガ、大體コレハウマ
ク整理サレテ居ルト思ヒマス。細カニ見レバ更ニ細カク言
ハナケレバナラヌ問題モアリサウデスガ、農村ノ本當ノ要
望ヲヨク現シテ居ルシ、大體ハ尤モノコトデアルト思ヒマ
スノデ、斯ウイフ形デ申達スルノガヨイデヤナイカト思ヒ
マス。

島田委員 結論ヲ得ヨウトイフ趣旨デハナイ。何かオ氣付ノ
點デモアリヤシナイカト思フテオ目ニ掛ケタノデス。

長野委員 チヨットオ尋ネシマスガ、麥ガ安イトイフ議論ハ
多クド、建カラ出テ居リマスカ。

三井委員 私ガ申上ゲタノハ石川縣、長野縣方面デス。

岡田委員 關西地方ガ可ナリ多ウゴザイマスネ。

長野委員 我々ノ方ニハアリマセヌ。

島田委員長 先程三善君ノ言ハレタヤウニ農民トイフモノヲ
生産者トイフ立場カラ云ヘバ、何デモ彼デモ農産物ノ値ハ
上ガリサヘスレバヨイ譯デス。ソコデ米ノ安イ時ニハ米ハ
損ダカラ米ヲ食ツテ麥ヲ賣ラウト云フシ、麥ガ安ケレバ麥
ヲ食ツテ高イ豆ヤナンカラ賣ルヤウニナルカラ、ソノ邊ニ
生産者ト消費者ト、ソレヲ一般ノ第三者ノ立場カラ公平ニ
見ル議論トハ自ラ考ヘ方ガ違ハナケレバナラヌ。ソレガ政
治的ニヤル所ダラウト思フノデス。ソコデ米ノ値段ガ適當
ニナレバ今度ハ麥ニ來ル。麥ノ値段ガ適當ニナレバ外ノ物
ニ來ルトイフコトモアリ得ルコトデ、ソレヲ必ズシモ農村
民ガ全部希望シテ居ルトハ言ヘナイ。ソレハ矢張り斯ウイ
フ所デ適當ニ按配シテ意見ヲ纏メテ行クコトガ必要デ、從
フテコノ報告ノ場合デモ、サウイフコトヲ鑑ミテ適當ニ御
報告シテ下サレバヨインデヤナイカト思ヒマス。

三井委員 私ハ今アナタガ言ハレルコトハ始終裏作ヲヤツテ
裏作ニ價レテ居ル所ハ問題デナイ。トコロガ政府ハ減産シ

タダケハ麥子補足サセヨウトイフコトカラ、石川縣ノ如キ
裏作ノ經驗ノナイ所マデ裏作ヲ獎勵シテ、水田ヲ掘上ゲテ
土ヲ高ク盛ツテ排水シテ裏作ヲヤラス、ソレデハ現在ノ價
段デハ到底作レナイ。ダカラサウイフ地方ハ裏作ヲヤラウ
トシナイ、拒絶スル。縣デハソレデハ困ルカラ、自分ノ縣
ノ生産高ハ豫定ダケヤラスンダ、強制デヤラスンダ、斯ウ
來ルカラ價格ノ問題ガ出テ來タノデアラウト考ヘラレル。
ソレデ今政治的ニ米ノ値段ヲ上ゲタ爲ニ麥ノ方ヲ要望シテ
來ルト見ルベキデナイ。本當ニ算盤ヲ取ツテ見ルト、ソノ
地方ハ裏作ヲヤラシタナラバ農民ハ努力ト肥料ヲ損シテ到
底作レナイトイフコトニナル。麥ヲ作ルコトガ適當ナ地方
ニハ多ク作ラシタ方ガヨイガ、サウイフ地方ハ米ヲ主ニシ
タ方ガヨイノデハナイカ、ソレヲ各々ソノ地方ノ實情ヲ見
ナイデ同ジ責任ヲ持タサウトイフ所ニ今ノヤウナ問題ガ起
ル。コレハ實情會ノ如キハ公平ニ調査シテ、適當ニ要望デ
アツタナラバ政府ニ建言スルノガヨイノデハナイカ。斯ウ
考ヘルノデス。ダカラ、アスコハ言ハナイカラヨイ、此處
ハ言フカラ惡イト見テハイケナイ。事實ヲ調査シテ判斷ス
ベキデアルト思ヒマス。

長官委員 御尤デス。

米ノ値段ガ決マツテ来レバ、米ヲ中心トシテ農家生産ヲスル總テノ概ノ値段ノ再調整ヲヤルコトガ必要デアラウト思フ。私ハ昨年モ今年モ是非實施シテ貰ヒタイトイフコトヲ農林省ニ要望シタノデスガ、例ヘバ木炭ノ値段ガ割合ニ高イ。炭ノ値段ガ高イ爲ニ他ノ努力ヲ創イテ炭炭焼ヲヤルトイフコトニナル。斯ウイフ點カラ考ヘテモ農産物ヲモット調整ヲシナケレバナラヌ。米ノ値段ガ決マツタナラバ、麥ヲ初メトシテ甘藷ソノ他有ラユルモノヲ再調整ヲヤルコトガ必要デハナイカト考ヘマス。

中津委員 ニツバカリ御質問申シタイノデス。「何ガ本村ヲシテ食糧増産優良村タラシメタカ」コレヲ重要項目バカリ擧ゲテアツテ結構ダト思フノデスガ、今度ハコノ反對ニ優良村ヨリ不良村ノ數ガ非常ニ多イト思ヒマスガ、ソノ不良村ハ何故ニソノ村ガ食糧増産上不良村ニナツタカトイフオ調ハアルノデスカ。優良村ノ調ハ非常ニ結構デスガ、ソノ反對ノ不良村ノ不良ニナツタ原因ヲ調べテ、ソノ不良村ヲ優良村ニシテヤルコトモ必要デハナイカト思フ。

ソレカラ重要事項ノ方デス。私ハ第七委員會カラハ参リマセンデ、第二委員會カラ派遣サント農務廳通テ来タノデ思ヒマス。

サウイフ要望ガ地方デハ相當強イノデアリマスガ、サウイフ點ハ第七委員會ノ方デハドウオ取扱ニナルノカ承リタイ。

島田委員長 ソレハ第一小委員會ノ方デ主任ヲ設ケテ現在調べテ居ラレマスカラ、何レソノ報告ガ屬ツテ出ルダラウト思ヒマス。

尙、最初ノ不良村ニナツタ原因ハ調べテアルカトイフ御質問デスガ、コレハ調べタニ違ヒナイガ、コノ間ノ調査ハ増産ノ關係ノ意味デ御出張ヲ願ヒマシテ調査ヲサレタノデ劣等ナモノヲ調査ニ行ツタ譯デハナイ。ダカラ此處ニハ現レナ居ナイノデナイノデス。

中津委員 ソノ方モ必要デヤナイカト思フノデスガ……

島田委員長 併シ、コノ村ガドウシテボロノ村ニナツタカトイフコトデ、調査員ガ縣ノ指定ヲ受ケテ行クトイフヤウナ調査ノ仕方ハ適當デナイ。ソレハ無名ノ視察員ガ行ツテ、悪イ村ヲ少イテ事實檢分ヲシテ来ルナラバ出来ルカ知ラヌガ縣トシテコレハ一番悪イ村ダカラ行ツテ見ルトイフ指定ハ縣デモナカシナイダラウト思フ。ソノ方ノ報告ハ別途ノ形式デヤラナケレバ出テ来ナインデヤナイカト思ヒマ

二六

アリマスガ、ソノ中ニ斯ウイフ要望ガ非常ニ強カツタノデス。例ヘバ四國ニ参リマス、甘土權問題デ數年前迄非常ニ争ツテ居タ。ソレガ今日解決シテ居ルカトイフト解決シテ居ナイ。知事ノ説明ニ依ルト今日マダ五六百件ノ争議ガ甘土權を中心トシテ行ハレテ居ル。ソレガ豊田小作ニ於テ行ハレテ居ルトイフ所モアリマスシ、徳島縣ニ参リマス、コレハ御承知ノ通り麥ダケ特別年貢トシテ取ラレテ居ル、サウイフ制度ガ未ダニ残ツテ居リマス。高知縣ニ参リマス、ト、モウ三年後カニ民法上ノ水小作權ガ解消スル、ソノ水小作權問題ヲ中心ニ地主モ小作人モ憂ヘテ居ル。アノ期限ガ来た場合ニドウナルモノダラウカトイフコトヲ憂ヘテ居ツタノデアリマスガ、矢張り斯ウイツタ委員會ハ土地制度ノ根本的對策ユツイテ考慮ヲ拂フ必要ガアルンデヤナイカトイフ點デス。例ヘバ自作農主義デ行クカ、小作ノ制度デ行クカ、ソノ點ヲハツキリシテ一應ノ考ヘ方ヲ練ルコトモ必要デヤナイカ。ソレト同時ニコノ中ニ適正小作料ノ問題モアリマスガ、適正小作料ヲ決メルコトモ無論必要デアルガ、適正規模農場ノ標準ナドモ決メテロインデヤナイカト思ヒマス。

スサウイフヤウニ御承取ヲ願ヒタイト思ヒマス。

尙、只今オ話ニナリマシタソノ點ニツイテハ第一小委員會ノ方デ主任ヲ置イテ編メテ居ルヤウデアリマスカラ、何レ編メテ御報告ニナルダラウト思ヒマス。

ソレデハ只今「何ガ本村ヲシテ食糧増産優良村タラシメタカ」、「刻下農村ノ重要事項」トイフノハ第一小委員會デ御審議ニナルモノトシテ一應御覽ニ入レタ程度ニ御承取ヲ願ヒマシテ、本日ハコノ程度デ敎會致シタイト思ヒマス。

正午敎會

二七

SK58



